

第10期新座市高齢者福祉計画・
新座市介護保険事業計画策定のための
アンケート調査
結果報告書

令和8年3月
新座市

はじめに

新座市では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、「新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画」を策定し、事業を推進しています。

2040（令和22）年には、介護と医療の複合ニーズを抱える85歳以上人口、認知症高齢者、独居の高齢者等の増加と同時に、生産年齢人口の減少が見込まれる中、地域の状況に応じた、きめ細かな対応と「地域包括ケアシステム」の更なる深化及び推進が求められています。

このような中、この度、高齢者の状態・ニーズの把握、地域やその地域に居住する高齢者の課題、さらには必要となるサービスを分析するため、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」及び「在宅生活改善調査」を実施いたしました。

この報告書は、調査結果を分析し、高齢者の生活実態や心身の状況、家族等介護者の就労状況等を集約したもので、第10期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画（令和9年度～11年度）を策定する上での貴重な資料として活用させていただきます。

終わりに、今回の介護保険に関するアンケート調査に御協力いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

令和8年3月

新座市長 並木 まさる 傑

目 次

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	1
I 調査の概要	3
II 調査結果	8
問1 あなたのご家族や生活状況について.....	8
問2 からだを動かすことについて.....	14
問3 食べることについて	23
問4 毎日の生活について	29
問5 地域での活動について	33
問6 たすけあいについて	39
問7 健康について	52
問8 認知症について	57
問9 成年後見制度の把握について.....	64
問10 在宅医療について	67
問11 介護予防について	75
問12 介護保険制度について.....	80
生活機能評価等について	82
資料 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票.....	92
第2章 在宅介護実態調査	105
I 調査の概要	107
II 調査結果	108
1. 対象者の基本属性	108
2. ご本人に回答していただいた項目.....	109
3. 主な介護者様にご回答・ご記入いただく項目.....	126
資料 在宅介護実態調査 調査票.....	136
第3章 在宅生活改善調査	145
I 調査の概要	147
II 調査結果	149
1. 事業所票	149
2. 利用者票	154
資料 在宅生活改善調査 調査票.....	167

第1章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、要介護認定を受けていない高齢者の方々に日常生活の状況や保健、福祉、介護サービスに対するご要望やお考えをお伺いし、第10期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査対象者

令和7年12月1日現在、65歳以上で、要介護1～5の認定を受けていない高齢者から無作為抽出(要支援者、事業対象者含む)

3. 調査方法

郵送配布、郵送回収

4. 実施期間

実施期間：令和8年1月7日(水) ～ 令和8年1月30日(金)

5. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
7,974	5,441	68.2%

6. 報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表しています。
- 「N」は、症例数のことで、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計100.0%にならない場合があります。
また、複数回答(2つ以上選択)の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。
- 有効回収数は5,441票ですが、基本属性(性別、年齢、日常生活圏域、介護度)不明が4票含まれているため、基本属性とのクロス集計の合計は一致しません。

7. 基本属性

(1) 性別・年齢構成別 回答者数及び回収率

■性別・年齢層別 回答者数

(人、%)

区分	65～74 歳			75 歳以上					総数
	65～69 歳	70～74 歳	小計	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	小計	
男性	509	518	1,027	605	517	239	76	1,437	2,464
	20.7%	21.0%	41.7%	24.6%	21.0%	9.7%	3.1%	58.3%	100.0%
女性	536	636	1,172	711	666	332	92	1,801	2,973
	18.0%	21.4%	39.4%	23.9%	22.4%	11.2%	3.1%	60.6%	100.0%
総数	1,045	1,154	2,199	1,316	1,183	571	168	3,238	5,437
	19.2%	21.2%	40.4%	24.2%	21.8%	10.5%	3.1%	59.6%	100.0%

■年齢層別・性別 回収率

(人、%)

区分	男性			女性			総数		
	配布(人)	回収(人)	回収率(%)	配布(人)	回収(人)	回収率(%)	配布(人)	回収(人)	回収率(%)
65～69 歳	868	509	58.6%	825	536	65.0%	1,693	1,045	61.7%
70～74 歳	800	518	64.8%	953	636	66.7%	1,753	1,154	65.8%
計	1,668	1,027	61.6%	1,778	1,172	65.9%	3,446	2,199	63.8%
75～79 歳	872	605	69.4%	994	711	71.5%	1,866	1,316	70.5%
80～84 歳	701	517	73.8%	903	666	73.8%	1,604	1,183	73.8%
85～89 歳	325	239	73.5%	472	332	70.3%	797	571	71.6%
90 歳以上	108	76	70.4%	153	92	60.1%	261	168	64.4%
計	2,006	1,437	71.6%	2,522	1,801	71.4%	4,528	3,238	71.5%
総数	3,674	2,464	67.1%	4,300	2,973	69.1%	7,974	5,437	68.2%

(2) 性別・認定別 回答者数及び回収率

■性別・認定別 回答者数

(人、%)

区分	一般高齢者		認定別			総数
		事業対象者※	要支援 1	要支援 2	計	
男性	2,357	0	60	47	107	2,464
	95.7%	0.0%	2.4%	1.9%	4.3%	100.0%
女性	2,723	2	123	127	250	2,973
	91.6%	0.1	4.1%	4.3%	8.4%	100.0%
総数	5,080	2	183	174	357	5,437
	93.4%	0.03%	3.4%	3.2%	6.6%	100.0%

※事業対象者は、一般高齢者として算出しています。

■認定別・性別 回収率

(人、%)

区分	男性			女性			総数		
	配布 (人)	回収 (人)	回収率 (%)	配布 (人)	回収 (人)	回収率 (%)	配布 (人)	回収 (人)	回収率 (%)
一般高齢者	3,521	2,357	66.9%	3,950	2,723	68.9%	7,471	5,080	68.0%
(内・事業対象者)	(1)	(0)	(0.0%)	(2)	(2)	(100.0%)	(3)	(2)	(66.7%)
要支援1	83	60	72.3%	174	123	70.7%	257	183	71.2%
要支援2	70	47	67.1%	176	127	72.2%	246	174	70.7%
計	153	107	69.9%	350	250	71.4%	503	357	71.0%
総数	3,674	2,464	67.1%	4,300	2,973	69.1%	7,974	5,437	68.2%

(3) 性別・家族構成別 回答者数及び回収率

■性別・家族構成別 回答者数

(人、%)

区分	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答	総数
男性	381	1,153	191	533	170	36	2,464
	15.5%	46.8%	7.8%	21.6%	6.9%	1.5%	100.0%
女性	716	1,083	59	834	228	53	2,973
	24.1%	36.4%	2.0%	28.1%	7.7%	1.8%	100.0%
総数	1,097	2,236	250	1,367	398	89	5,437
	20.2%	41.1%	4.6%	25.1%	7.3%	1.6%	100.0%

■家族構成別・年齢層別 回答者数

(人、%)

区分	65～74歳			75歳以上					総数
	65～69歳	70～74歳	小計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	小計	
1人暮らし	160	193	353	235	294	172	43	744	1,097
	14.6%	17.6%	32.2%	21.4%	26.8%	15.7%	3.9%	67.8%	100.0%
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	404	526	930	634	451	186	35	1,306	2,236
	18.1%	23.5%	41.6%	28.4%	20.2%	8.3%	1.6%	58.4%	100.0%
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	123	44	167	39	30	9	5	83	250
	49.2%	17.6%	66.8%	15.6%	12.0%	3.6%	2.0%	33.2%	100.0%
息子・娘との 2世帯	235	289	524	316	309	158	60	843	1,367
	17.2%	21.1%	38.3%	23.1%	22.6%	11.6%	4.4%	61.7%	100.0%
その他	115	94	209	71	67	34	17	189	398
	28.9%	23.6%	52.5%	17.8%	16.8%	8.5%	4.3%	47.5%	100.0%
無回答	8	8	16	21	32	12	8	73	89
	9.0%	9.0%	18.0%	23.6%	36.0%	13.5%	9.0%	82.0%	100.0%
総数	1,045	1,154	2,199	1,316	1,183	571	168	3,239	5,438
	19.2%	21.2%	40.4%	24.2%	21.8%	10.5%	3.1%	59.6%	100.0%

(4) 性別・日常生活圏域別 回答者数

■性別・日常生活圏域別 回答者数

(人、%)

区分	東部第一	東部第二	西部		南部	北部第一			北部第二	総数	
			西部地区	西堀・新堀		東・東北	野火止五～八丁目				
男性	343	401	517	266	251	359	493	207	286	351	2,464
	13.9%	16.3%	21.0%	10.8%	10.2%	14.6%	20.0%	8.4%	11.6%	14.2%	100.0%
女性	447	452	576	290	286	463	566	244	322	469	2,973
	15.0%	15.2%	19.4%	9.8%	9.6%	15.6%	19.0%	8.2%	10.8%	15.8%	100.0%
総数	790	853	1,093	556	537	822	1,059	451	608	820	5,437
	14.5%	15.7%	20.1%	10.2%	9.9%	15.1%	19.5%	8.3%	11.2%	15.1%	100.0%

■日常生活圏域別・年齢層別 回答者数

(人、%)

区分	65～74歳			75歳以上					総数	
	65～69歳	70～74歳	小計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	小計		
東部第一	149	152	301	95	250	116	28	489	790	
	18.9%	19.2%	38.1%	12.0%	31.6%	14.7%	3.5%	61.9%	100.0%	
東部第二	176	178	354	225	166	85	23	499	853	
	20.6%	20.9%	41.5%	26.4%	19.5%	10.0%	2.7%	58.5%	100.0%	
西部	203	244	447	278	227	110	31	646	1093	
	18.6%	22.3%	40.9%	25.4%	20.8%	10.1%	2.8%	59.1%	100.0%	
	西部地区	106	104	210	149	119	61	17	346	556
	19.1%	18.7%	37.8%	26.8%	21.4%	11.0%	3.1%	62.2%	100.0%	
	西堀・新堀	97	140	237	129	108	49	14	300	537
	18.1%	26.1%	44.1%	24.0%	20.1%	9.1%	2.6%	55.9%	100.0%	
南部	115	192	307	234	181	75	25	515	822	
	14.0%	23.4%	37.3%	28.5%	22.0%	9.1%	3.0%	62.7%	100.0%	
北部第一	238	223	461	277	189	94	38	598	1059	
	22.5%	21.1%	43.5%	26.2%	17.8%	8.9%	3.6%	56.5%	100.0%	
	東・東北	106	88	194	110	88	47	12	257	451
	23.5%	19.5%	43.0%	24.4%	19.5%	10.4%	2.7%	57.0%	100.0%	
	野火止五～八丁目	132	135	267	167	101	47	26	341	608
	21.7%	22.2%	43.9%	27.5%	16.6%	7.7%	4.3%	56.1%	100.0%	
北部第二	164	165	329	207	170	91	23	491	820	
	20.0%	20.1%	40.1%	25.2%	20.7%	11.1%	2.8%	59.9%	100.0%	
総数	1045	1154	2199	1316	1183	571	168	3238	5437	
	19.2%	21.2%	40.4%	24.2%	21.8%	10.5%	3.1%	59.6%	100.0%	

※「西部」、「北部第一」：(5) 地域について、参照

(5) 地域について

本報告書においては、市内6地区の日常生活圏域のうち、地域包括支援センターの配置により、8地域に分類し集計しています。

圏域名	センター名称	地区
東部第一地区	東部第一地域包括支援センター	池田・道場・片山・野寺
東部第二地区	東部第二地域包括支援センター	畑中・栄・馬場・新塚
西部地区	西部地域包括支援センター	本多・あたご・菅沢・野火止一～四丁目
	西堀・新堀地域包括支援センター	西堀・新堀
南部地区	南部地域包括支援センター	石神・栗原・堀ノ内
北部第一地区	北部第一地域包括支援センター	東・東北
	野火止五～八丁目地域包括支援センター	野火止五～八丁目
北部第二地区	北部第二地域包括支援センター	中野・大和田・新座・北野



Ⅱ 調査結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

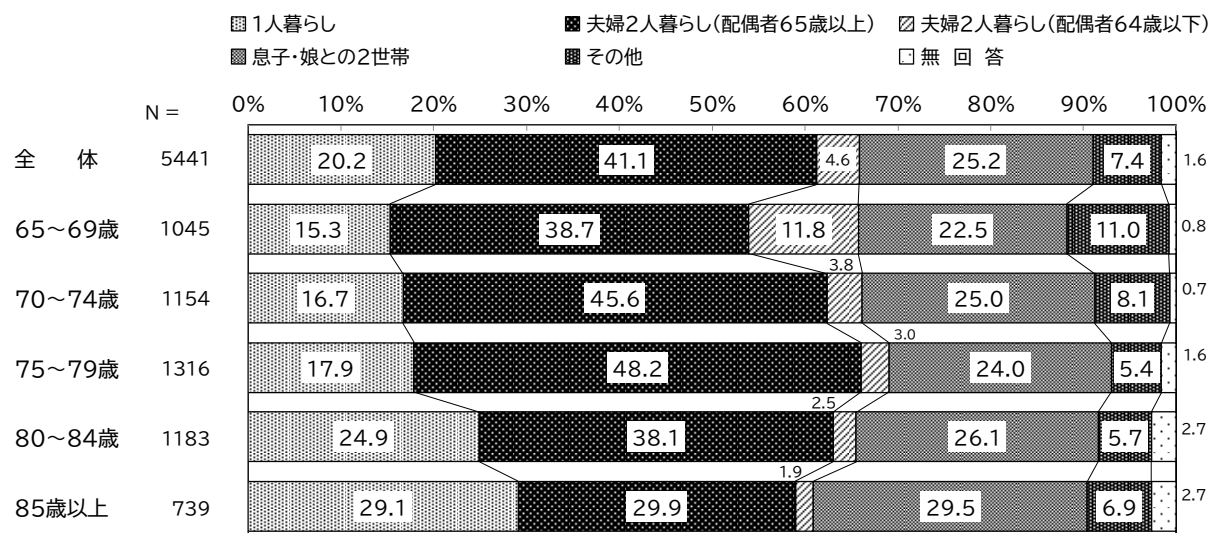
(1) 家族構成をお教えてください (〇は一つ)

【全 体】

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が41.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が25.2%、「1人暮らし」が20.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.6%となっています。

【年齢別】

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は、「75～79歳」で48.2%と最も高くなっていますが、それ以降は徐々に減少し、「85歳以上」では29.9%となっています。また、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」が高くなり、「85歳以上」では29.1%となっています。



【圏域別】

「東部第一」、「西堀・新堀」、「南部」、「東・東北」、「北部第二」で、「1人暮らし」が2割前後と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

		全 体	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答
東部第一		790	182	305	27	197	62	17
		100.0	23.0	38.6	3.4	24.9	7.8	2.2
東部第二		853	144	383	41	207	60	18
		100.0	16.9	44.9	4.8	24.3	7.0	2.1
西 部	西部	556	102	232	23	151	40	8
		100.0	18.3	41.7	4.1	27.2	7.2	1.4
	西堀・新堀	537	104	231	28	136	31	7
		100.0	19.4	43.0	5.2	25.3	5.8	1.3
南部		822	180	315	31	216	72	8
		100.0	21.9	38.3	3.8	26.3	8.8	1.0
北 部 第 一	東・東北	451	93	183	24	108	37	6
		100.0	20.6	40.6	5.3	23.9	8.2	1.3
	野火止五～ 八丁目	608	102	268	26	157	38	17
		100.0	16.8	44.1	4.3	25.8	6.3	2.8
北部第二		820	190	319	50	195	58	8
		100.0	23.2	38.9	6.1	23.8	7.1	1.0

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (〇は一つ)

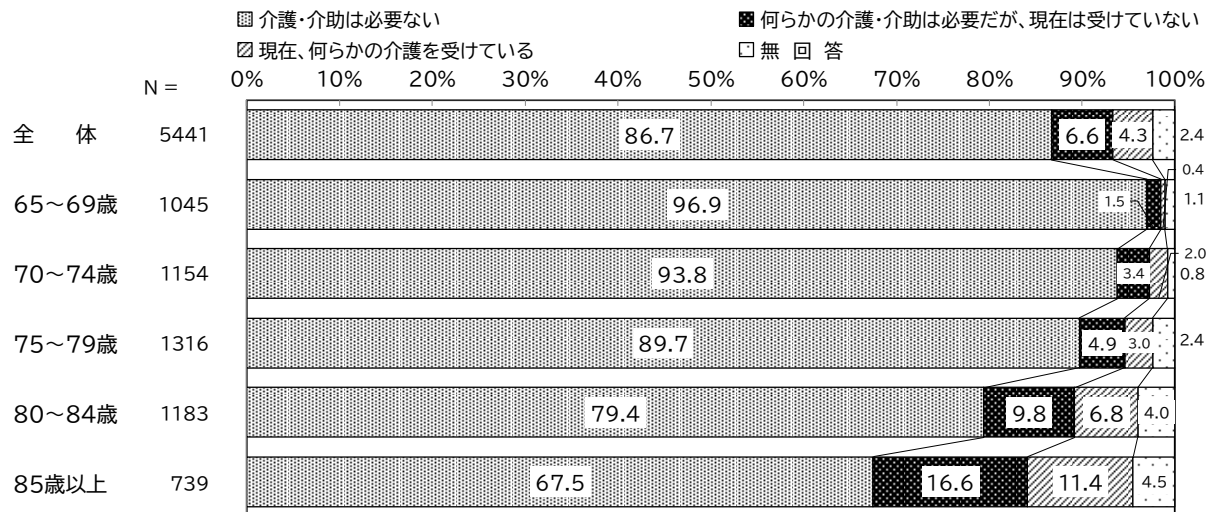
【全 体】

介護・介助が必要かどうかについては、「介護・介助は必要ない」が86.7%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.3%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「介護・介助は必要ない」が低くなり、「85歳以上」では67.5%となっています。

一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」は高くなり、「85歳以上」でそれぞれ16.6%、11.4%となっています。



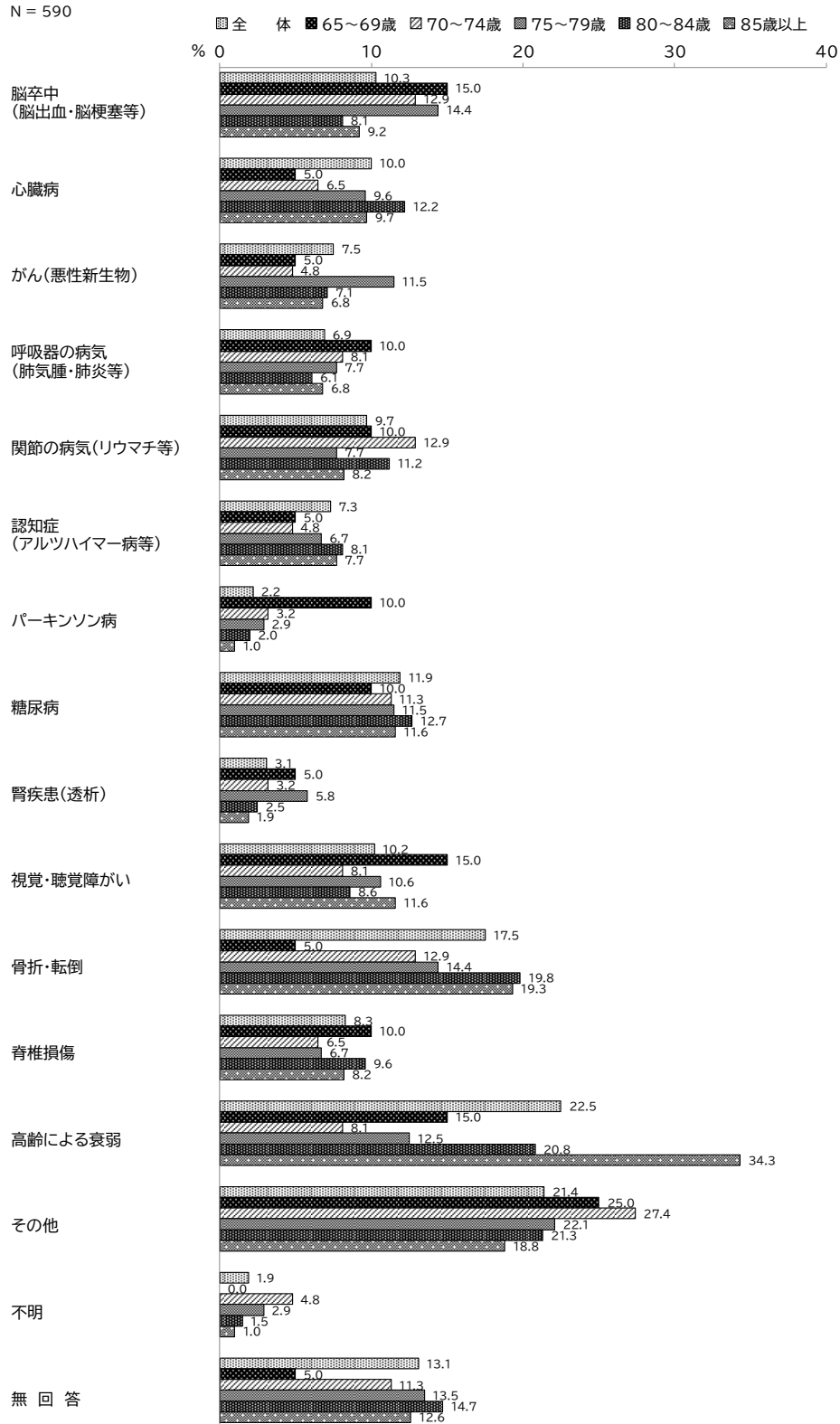
(2)① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (〇はいくつでも)

【全 体】

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が22.5%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が17.5%、「糖尿病」が11.9%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が10.3%、「視覚・聴覚障がい」が10.2%、「心臓病」が10.0%、「関節の病気(リウマチ等)」が9.7%と続いています。

【年齢別】

「85歳以上」で、「高齢による衰弱」が34.3%と高くなっています。



(2)② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (〇はいくつでも)

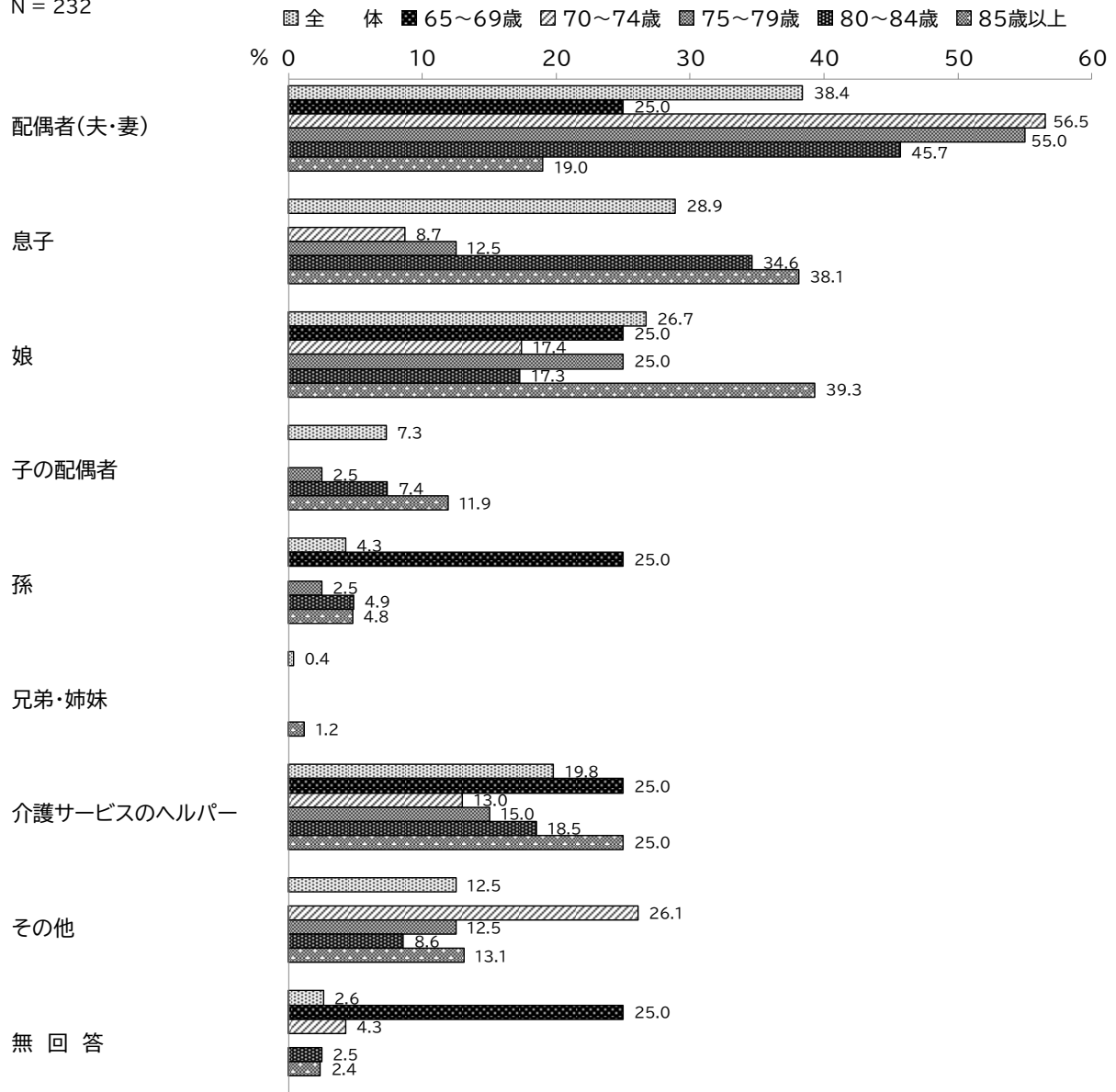
【全 体】

介護・介助を受けている人については、「配偶者(夫・妻)」が38.4%と最も高く、次いで「息子」が28.9%、「娘」が26.7%、「介護サービスのヘルパー」が19.8%と続いています。

【年齢別】

「配偶者(夫・妻)」は「70～74歳」で56.5%と最も高くなっていますが、それ以降は減少し、「85歳以上」では19.0%となっています。また、「85歳以上」では「息子」、「娘」がそれぞれ38.1%、39.3%、「80～84歳」では「息子」が34.6%と高くなっています。

N = 232



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は一つ)

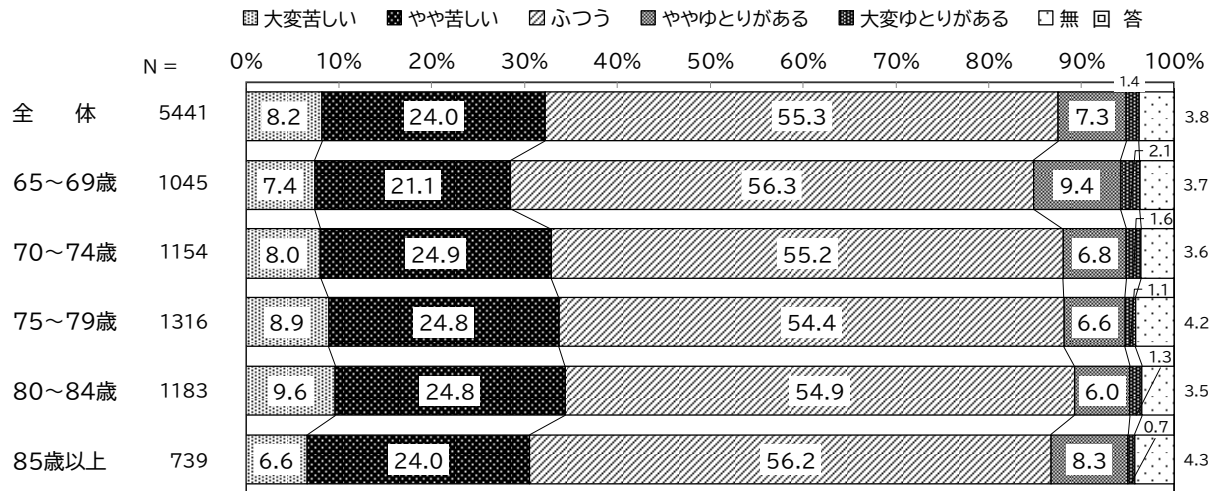
【全 体】

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「大変苦しい」(8.2%)と「やや苦しい」(24.0%)を合わせた『苦しい』が32.2%、「ややゆとりがある」(7.3%)と「大変ゆとりがある」(1.4%)を合わせた『ゆとりがある』が8.7%と『苦しい』人の方が23.5ポイント多くなっています。

なお、「ふつう」は55.3%となっています。

【年齢別】

年代における違いはほとんどありませんが、「65～69歳」で、『苦しい』が28.5%とやや低くなっています。



【家族構成別】

「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が42.0%、「1人暮らし」が37.8%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
1人暮らし	1097	125	290	556	75	15	36
	100.0	11.4	26.4	50.7	6.8	1.4	3.3
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2236	139	498	1288	200	36	75
	100.0	6.2	22.3	57.6	8.9	1.6	3.4
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	250	30	75	119	15	5	6
	100.0	12.0	30.0	47.6	6.0	2.0	2.4
息子・娘との2世帯	1369	108	329	794	77	12	49
	100.0	7.9	24.0	58.0	5.6	0.9	3.6
その他	400	41	97	213	26	3	20
	100.0	10.3	24.3	53.3	6.5	0.8	5.0
無 回 答	89	5	17	38	3	3	23
	100.0	5.6	19.1	42.7	3.4	3.4	25.8

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は一つ)

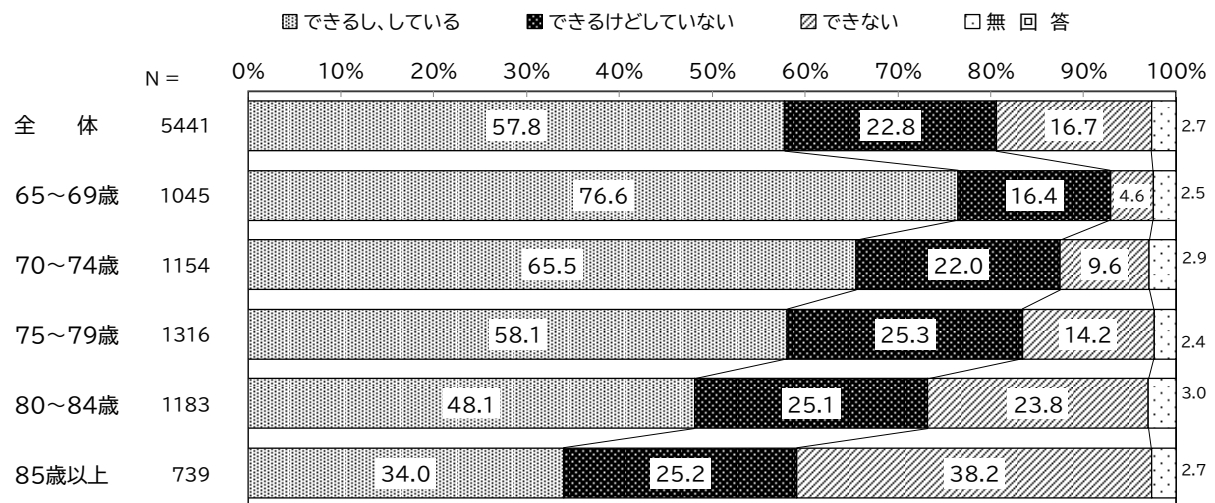
【全 体】

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかどうかについては、「できるし、している」が57.8%、「できるけどしていない」が22.8%、「できない」が16.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなり、「85歳以上」で34.0%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で38.2%となっています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は一つ)

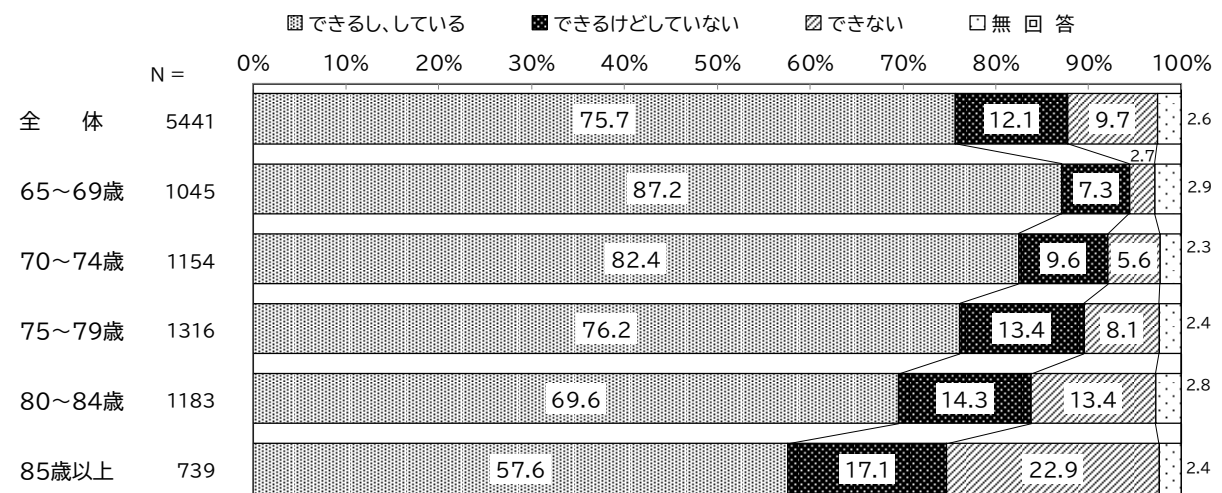
【全 体】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかどうかについては、「できるし、している」が75.7%、「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が9.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなり、「85歳以上」で57.6%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で22.9%となっています。



(3) 15分位続けて歩いていますか (〇は一つ)

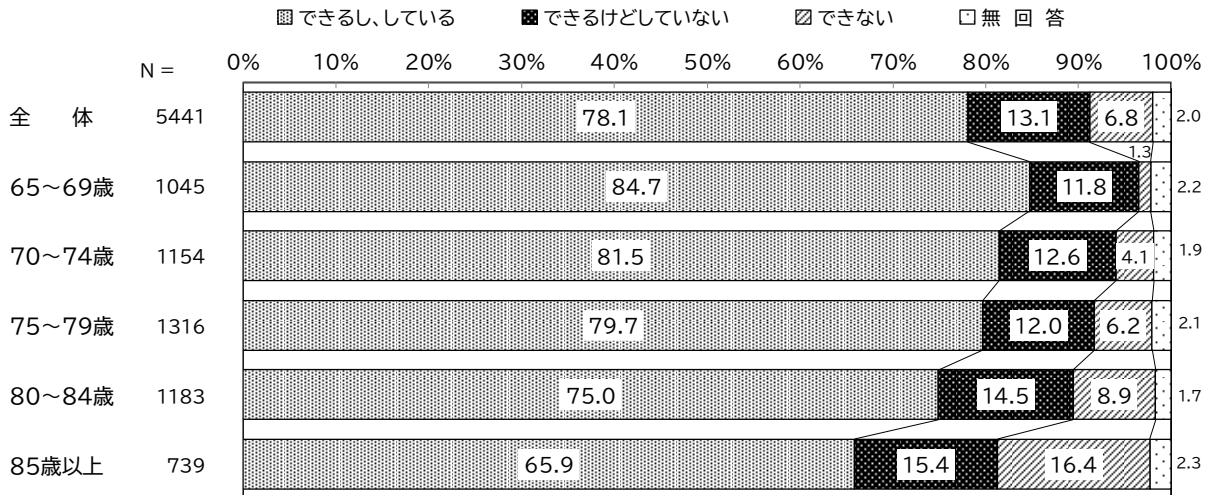
【全 体】

15分位続けて歩いているかどうかについては、「できるし、している」が78.1%、「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が6.8%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなり、「85歳以上」で65.9%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で16.4%となっています。



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (〇は一つ)

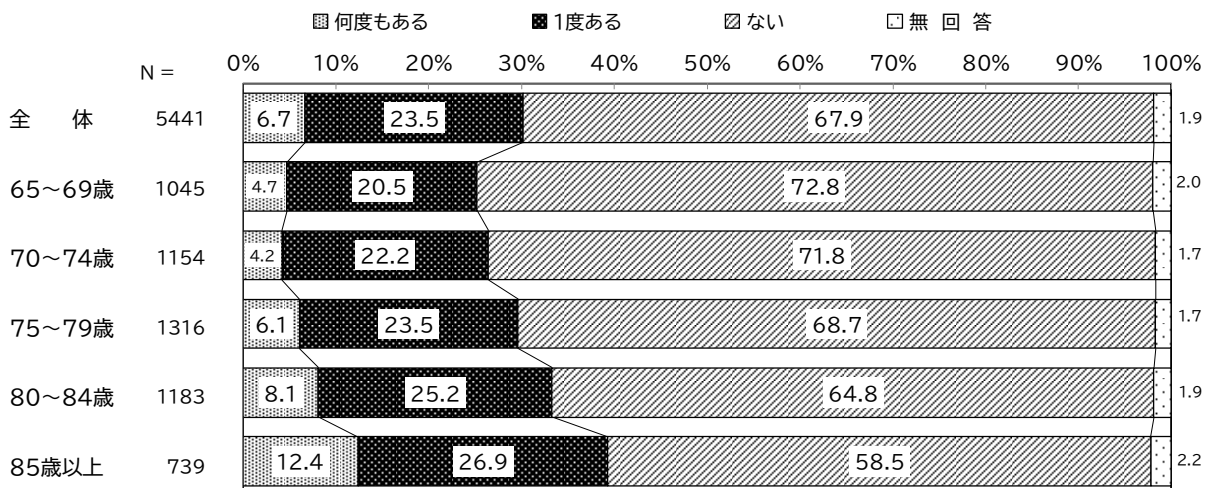
【全 体】

過去1年間に転んだ経験の有無については、「何度もある」が6.7%、「1度ある」が23.5%、「ない」が67.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「何度もある」、「1度ある」が高くなる傾向があり、「85歳以上」でそれぞれ12.4%、26.9%となっています。

一方、「ない」は低くなり、「85歳以上」で58.5%となっています。



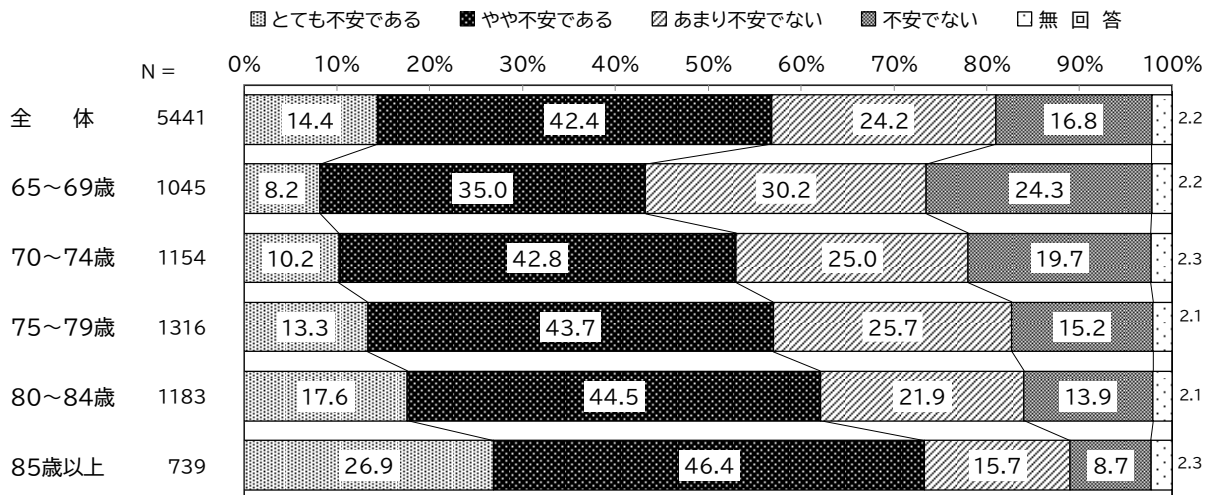
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は一つ)

【全 体】

転倒に対する不安については、「とても不安である」(14.4%)と「やや不安である」(42.4%)を合わせた『不安である』が56.8%、「あまり不安でない」(24.2%)と「不安でない」(16.8%)を合わせた『不安でない』が41.0%と『不安である』人の方が15.8ポイント多くなっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて『不安である』が高くなり、「85歳以上」で73.3%となっています。一方、『不安でない』は低くなり、「85歳以上」で24.4%となっています。



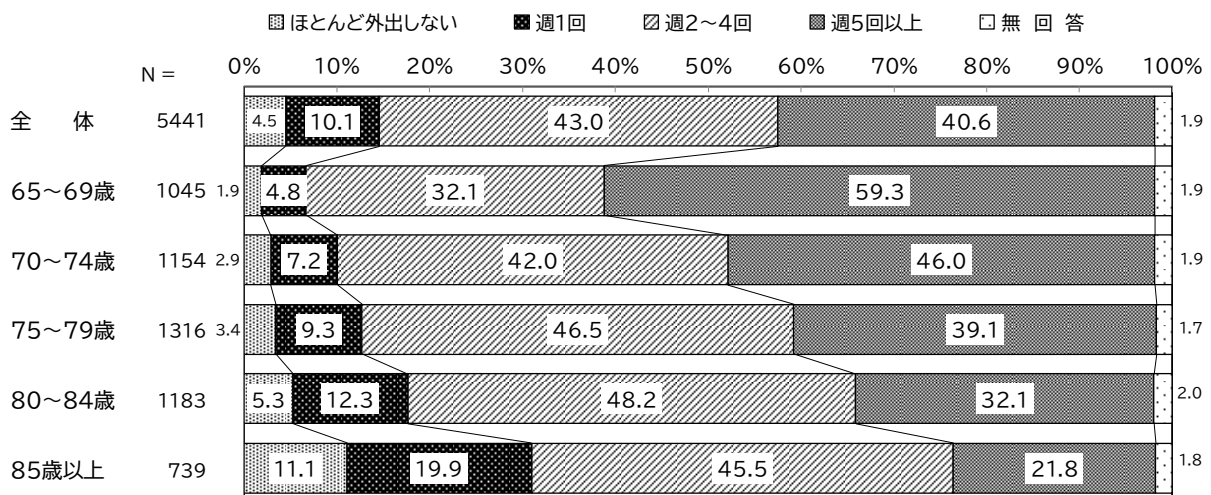
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は一つ)

【全 体】

週に1回以上外出しているかどうかについては、「週2～4回」が43.0%と最も高く、次いで「週5回以上」が40.6%、「週1回」が10.1%、「ほとんど外出しない」が4.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しない」、「週1回」が高くなり、「85歳以上」でそれぞれ11.1%、19.9%となっています。



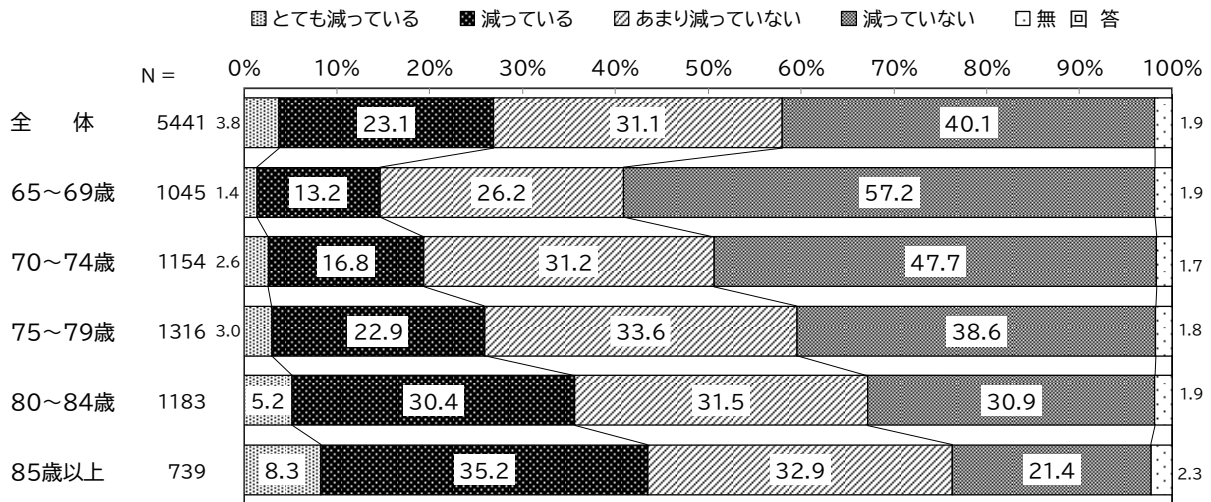
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇は一つ)

【全 体】

昨年と比べて外出の回数が減っているかどうかについては、「とても減っている」(3.8%)と「減っている」(23.1%)を合わせた『減っている』が26.9%、「あまり減っていない」(31.1%)と「減っていない」(40.1%)を合わせた『減っていない』が71.2%と『減っていない』人の方が44.3ポイント多くなっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて『減っている』が高くなり、「85歳以上」で43.5%となっています。一方、『減っていない』は低くなり、「85歳以上」で54.3%となっています。



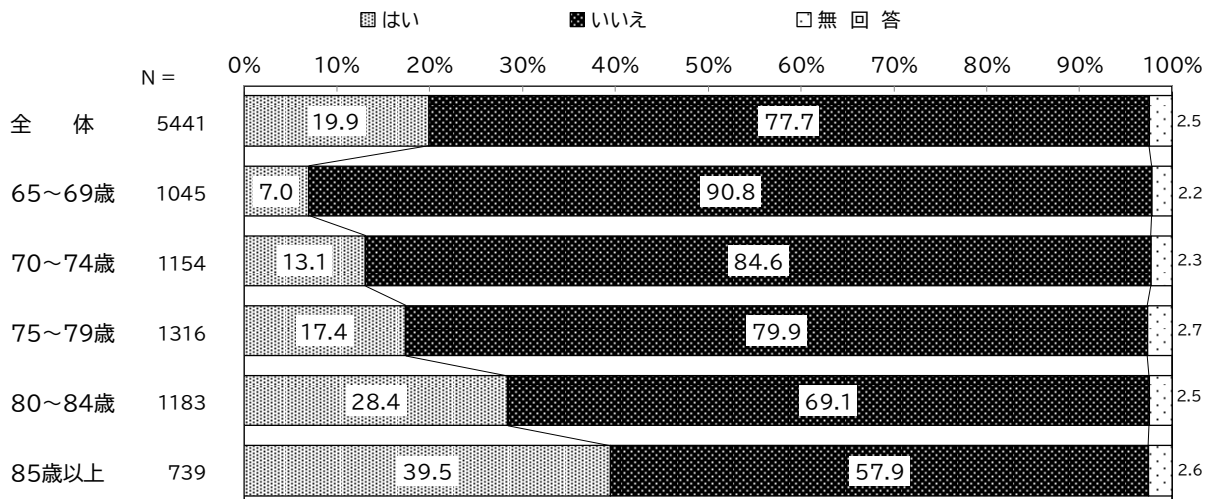
(8) 外出を控えていますか (〇は一つ)

【全 体】

外出を控えているかどうかについては、「はい」が19.9%、「いいえ」が77.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で39.5%となっています。一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で57.9%となっています。



(8)① (8)で「1. はい」と回答した方にお伺いします。外出を控えている理由は、次のどれですか (〇はいくつでも)

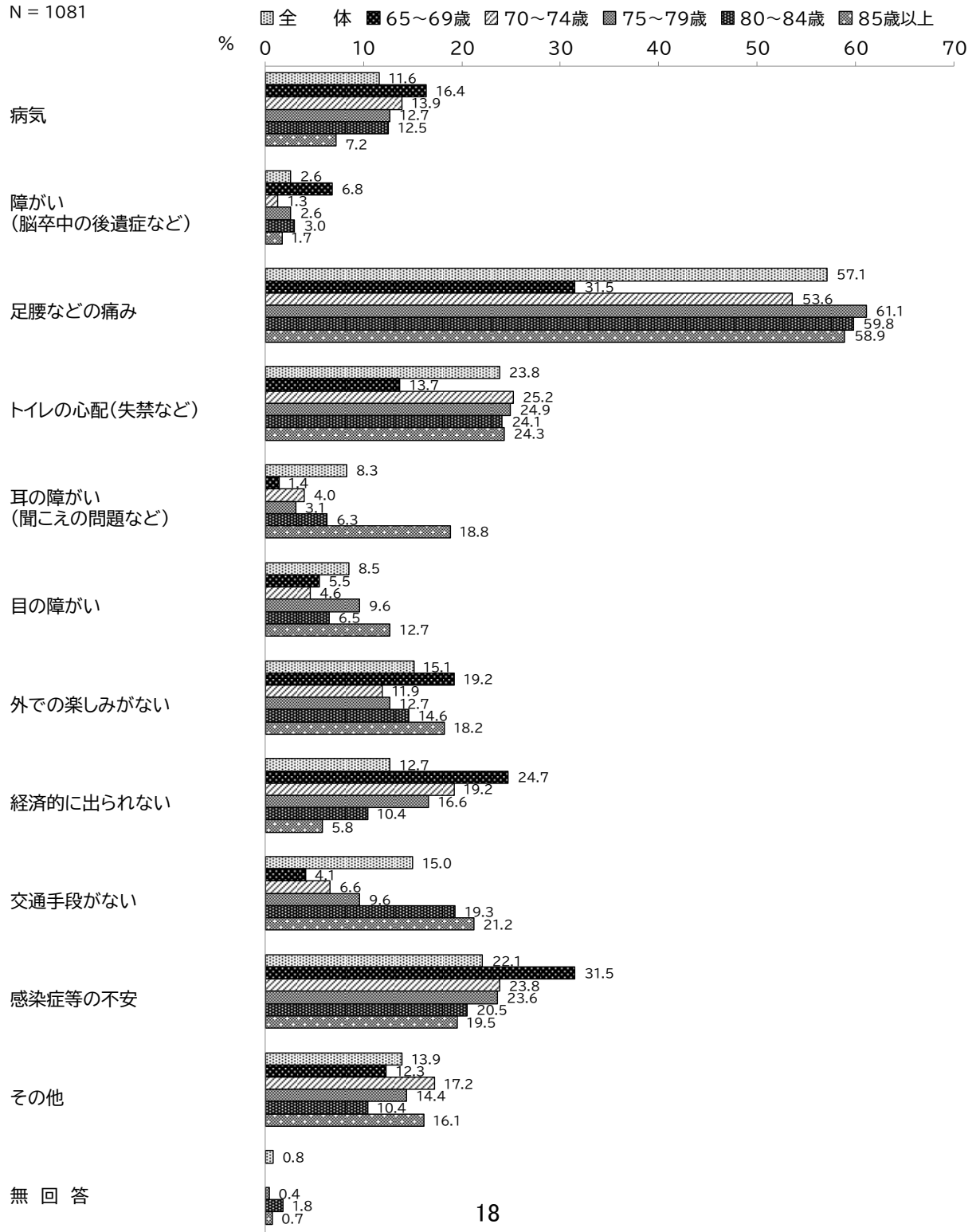
【全 体】

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が57.1%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が23.8%、「感染症等の不安」が22.1%と続いています。

【年齢別】

70歳以上で「足腰などの痛み」は高くなり、「70～74歳」、「75～79歳」、「80～84歳」、「85歳以上」では5割を超えています。また、「85歳以上」で「耳の障がい(聞こえの問題など)」が18.8%、65～69歳で「感染症等の不安」、「経済的に出られない」がそれぞれ31.5%、24.7%と高くなっています。

N = 1081



【性別】

「男性」、「女性」ともに「足腰などの痛み」がそれぞれ53.3%、59.3%と最も高くなっています。また、「男性」では「トイレの心配(失禁など)」が28.8%、「外での楽しみがない」が19.4%と「女性」より高くなっています。一方、「女性」では「感染症等の不安」が25.2%と「男性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	病気	障がい(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障がい(聞こえの問題など)	目の障がい
男性	403	59	14	215	116	44	38
	100.0	14.6	3.5	53.3	28.8	10.9	9.4
女性	678	66	14	402	141	46	54
	100.0	9.7	2.1	59.3	20.8	6.8	8.0

	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	感染症等の不安	その他	無回答
男性	78	53	58	68	50	5
	19.4	13.2	14.4	16.9	12.4	1.2
女性	85	84	104	171	100	4
	12.5	12.4	15.3	25.2	14.7	0.6

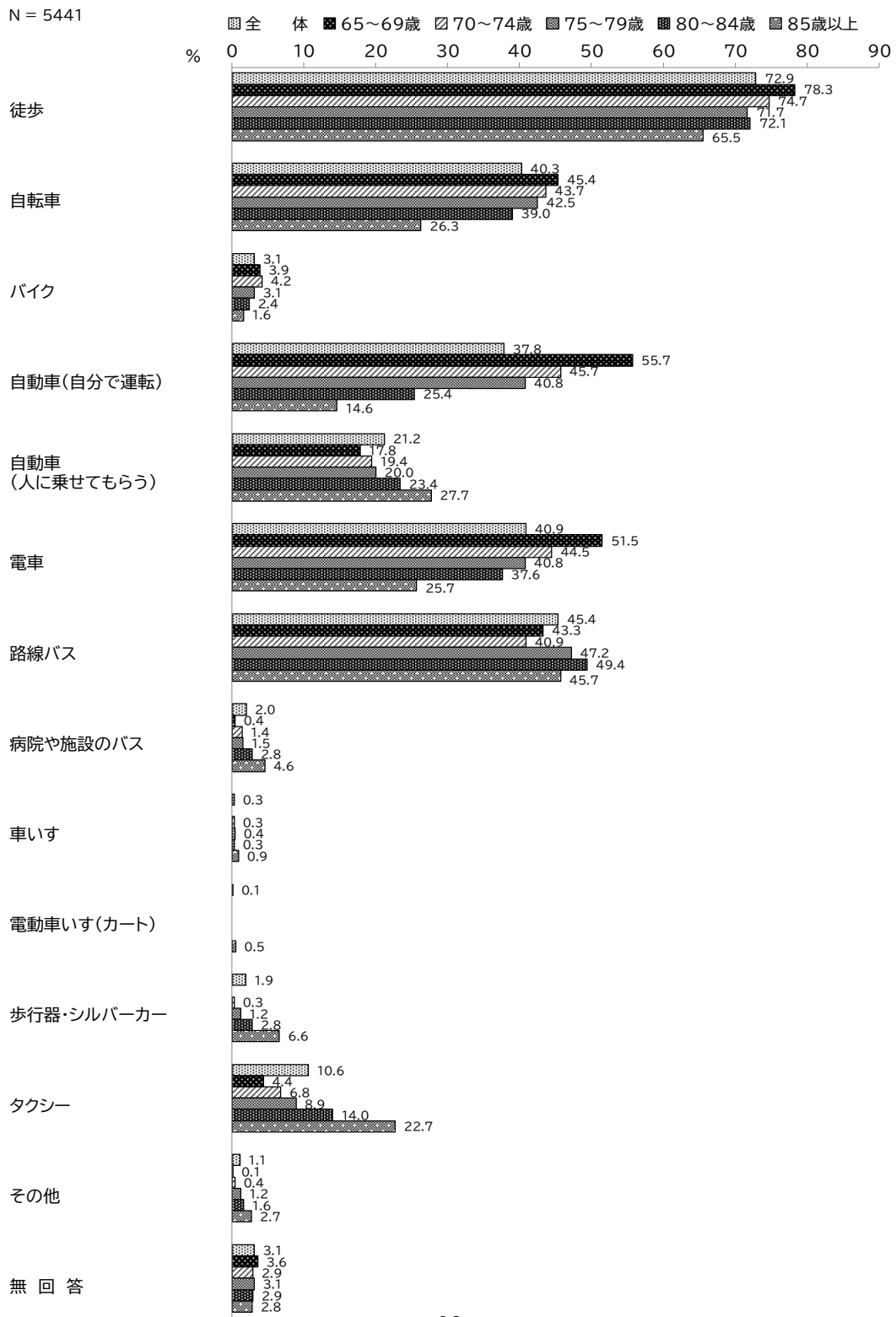
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

【全 体】

外出する際の移動手段については、「徒歩」が72.9%と最も高く、次いで「路線バス」が45.4%、「電車」が40.9%、「自転車」が40.3%、「自動車(自分で運転)」が37.8%、「自動車(人に乗せてもらう)」が21.2%と続いています。

【年齢別】

すべての年代で「徒歩」が高くなっています。また、他の年代と比較して「65～69歳」で「自動車(自分で運転)」、「電車」がそれぞれ55.7%、51.5%、「85歳以上」で「タクシー」が22.7%と高くなっています。



【性別】

「男性」、「女性」ともに「徒歩」がそれぞれ70.9%、74.4%と最も高くなっています。また、「男性」では「自動車(自分で運転)」が57.2%と「女性」より高くなっています。一方、「女性」では「自動車(人に乗せてもらう)」が30.1%、「路線バス」が50.8%と「男性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
男性	2464	1747	1039	113	1410	259	985	959
	100.0	70.9	42.2	4.6	57.2	10.5	40.0	38.9
女性	2973	2213	1153	57	645	896	1239	1509
	100.0	74.4	38.8	1.9	21.7	30.1	41.7	50.8

	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
男性	37	9	2	9	210	18	78
	1.5	0.4	0.1	0.4	8.5	0.7	3.2
女性	70	10	2	93	366	43	89
	2.4	0.3	0.1	3.1	12.3	1.4	3.0

【圏域別】

「東部第一」、「東部第二」で「路線バス」がそれぞれ51.1%、52.5%、「西部」で「自動車（自分で運転）」が45.5%、「東・東北」で「徒歩」が84.3%、「電車」が49.2%と他の地区と比べ高くなっています。また、「西部」では「自転車」が33.1%と低くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

		全 体	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
東部第一		790	555	324	29	292	174	317	404
		100.0	70.3	41.0	3.7	37.0	22.0	40.1	51.1
東部第二		853	599	341	28	360	205	314	448
		100.0	70.2	40.0	3.3	42.2	24.0	36.8	52.5
西 部	西部	556	369	184	14	253	145	190	219
		100.0	66.4	33.1	2.5	45.5	26.1	34.2	39.4
	西堀・新堀	537	393	244	13	190	114	230	188
		100.0	73.2	45.4	2.4	35.4	21.2	42.8	35.0
南部		822	605	354	37	285	152	351	383
		100.0	73.6	43.1	4.5	34.7	18.5	42.7	46.6
北 部 第 一	東・東北	451	380	183	9	136	91	222	187
		100.0	84.3	40.6	2.0	30.2	20.2	49.2	41.5
	野火止五～ 八丁目	608	469	248	14	247	129	269	254
		100.0	77.1	40.8	2.3	40.6	21.2	44.2	41.8
北部第二		820	590	314	26	292	145	331	385
		100.0	72.0	38.3	3.2	35.6	17.7	40.4	47.0

		病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行者・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
東部第一		13	4	1	19	98	9	26
		1.6	0.5	0.1	2.4	12.4	1.1	3.3
東部第二		27	6	1	16	65	11	16
		3.2	0.7	0.1	1.9	7.6	1.3	1.9
西 部	西部	8	2	1	7	47	7	12
		1.4	0.4	0.2	1.3	8.5	1.3	2.2
	西堀・新堀	11	2	-	10	54	6	16
		2.0	0.4	-	1.9	10.1	1.1	3.0
南部		8	1	-	12	86	8	29
		1.0	0.1	-	1.5	10.5	1.0	3.5
北 部 第 一	東・東北	12	1	-	9	51	2	16
		2.7	0.2	-	2.0	11.3	0.4	3.5
	野火止五～ 八丁目	11	-	-	6	79	9	24
		1.8	-	-	1.0	13.0	1.5	3.9
北部第二		17	3	1	23	96	9	28
		2.1	0.4	0.1	2.8	11.7	1.1	3.4

問3 食べることについて

(1) 身長・体重(記述式)

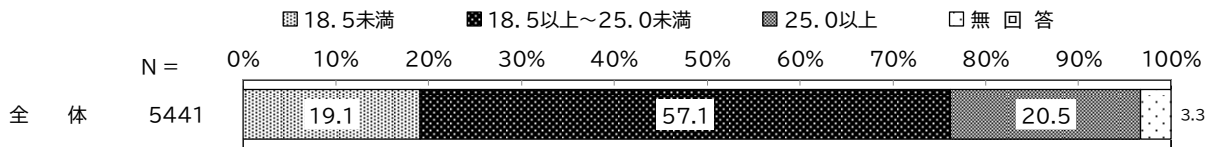
※身長・体重から以下の算出方法を用いてBMIを算出しました。

$$BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長(m)}^2$$

18.5未満 = 低体重(やせ) 18.5以上 25.0未満 = 適正範囲 25.0以上 = 肥満

【全体】

全体では、「18.5未満(低体重(やせ))」が19.1%、「18.5以上 25.0未満(適正範囲)」が57.1%、「25.0以上(肥満)」が20.5%となっています。

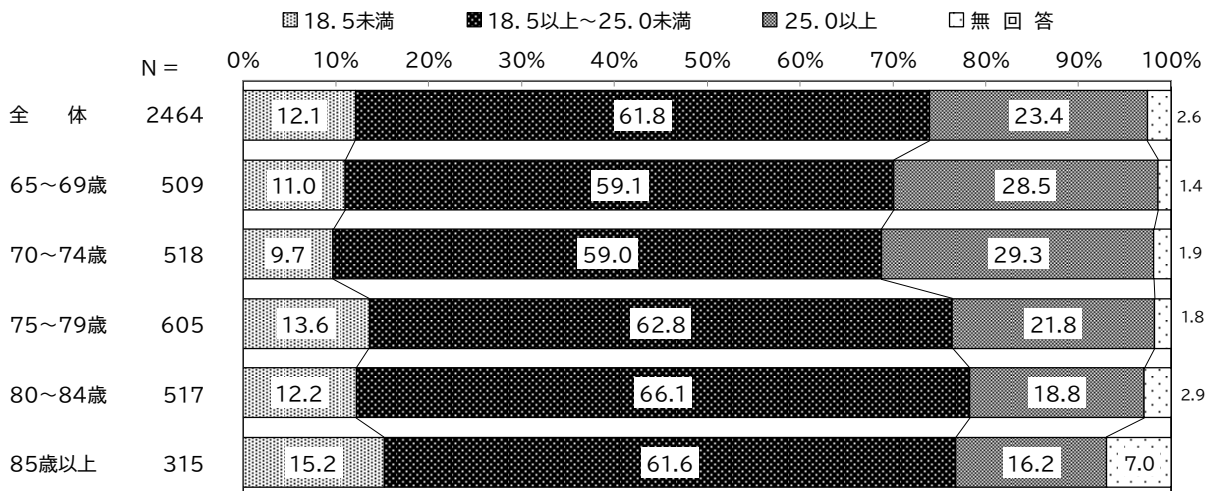


【性・年齢別】

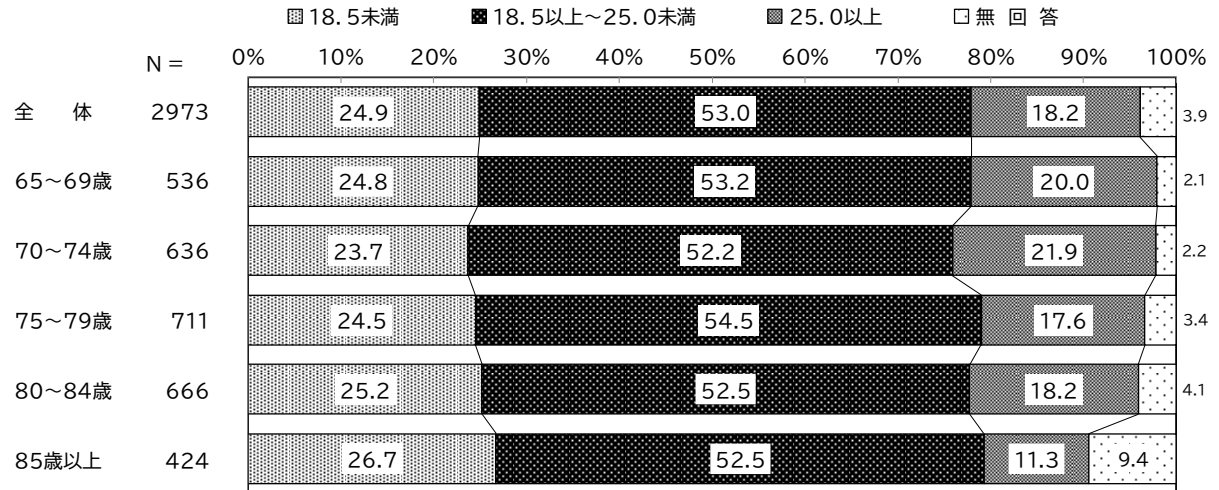
「男性」では、「85歳以上」で「18.5未満(低体重(やせ))」が15.2%と他の年代より高くなっています。また、「25.0以上(肥満)」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向で、「65~69歳」で28.5%、「70~74歳」で29.3%となっています。

「女性」でも、「25.0以上(肥満)」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向で、「65~69歳」で20.0%、「70~74歳」で21.9%となっています。

◆男性



◆女性



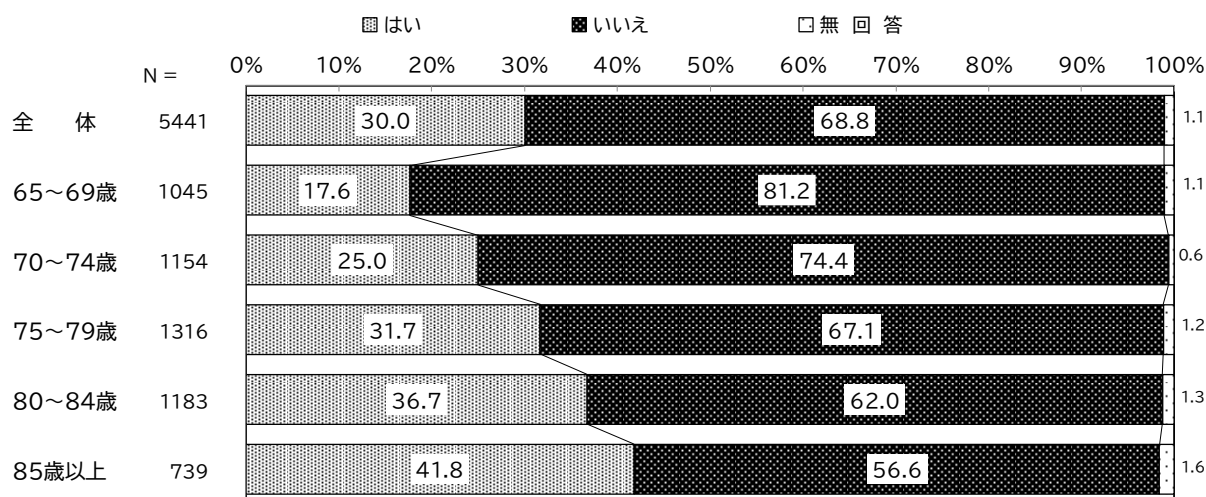
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (〇は一つ)

【全 体】

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかどうかについては、「はい」が30.0%、「いいえ」が68.8%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で41.8%となっています。
一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で56.6%となっています。



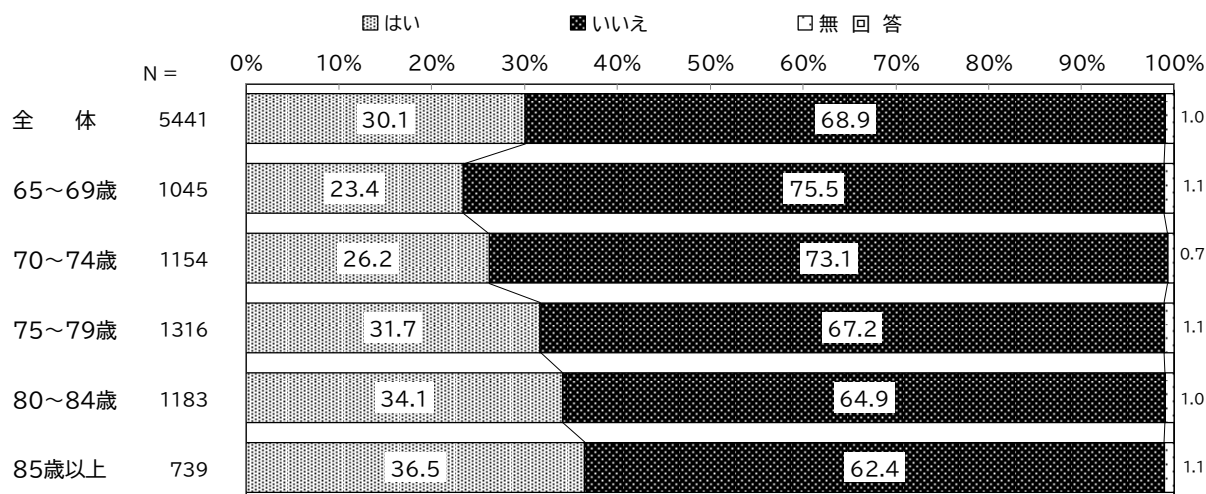
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (〇は一つ)

【全 体】

お茶や汁物等でむせることがあるかどうかについては、「はい」が30.1%、「いいえ」が68.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で36.5%となっています。
一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で62.4%となっています。



(4) 口の渇きが気になりますか (○は一つ)

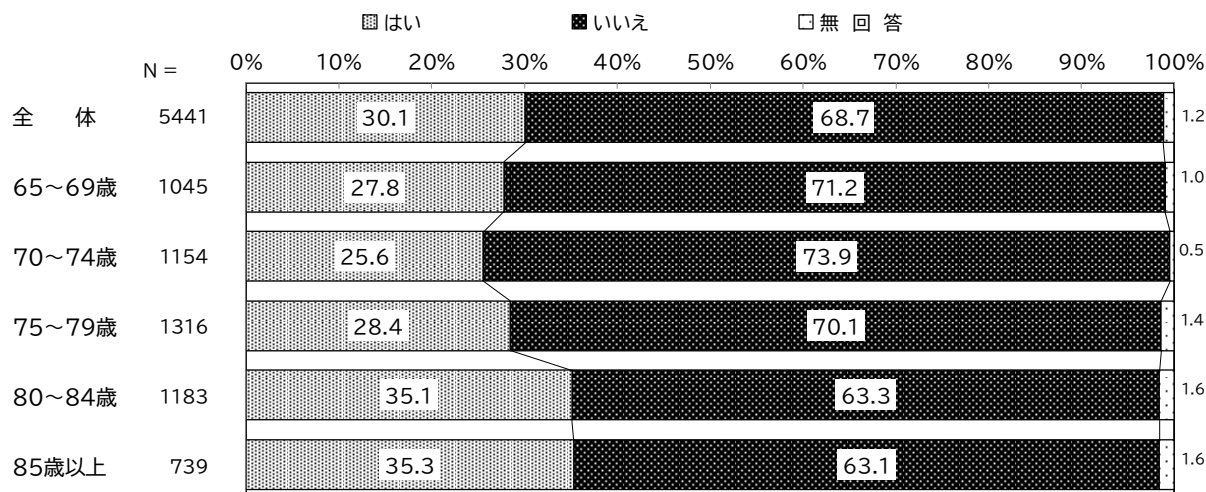
【全 体】

口の渇きが気になるかどうかについては、「はい」が30.1%、「いいえ」が68.7%となっています。

【年齢別】

80歳以上から「はい」が高くなり、「80～84歳」で35.1%、「85歳以上」で35.3%となっています。

一方、「いいえ」は低くなり、「80～84歳」で63.3%、「85歳以上」で63.1%となっています。



(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は一つ)

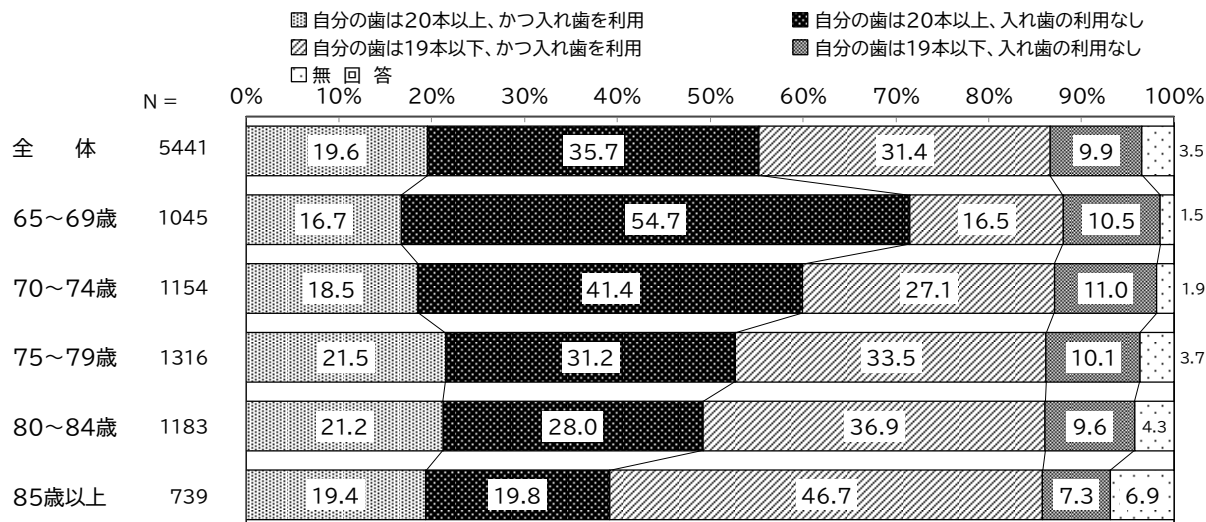
【全 体】

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.7%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.6%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が低くなり、「85歳以上」で19.8%となっています。

一方、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は高くなり、「85歳以上」で46.7%となっています。



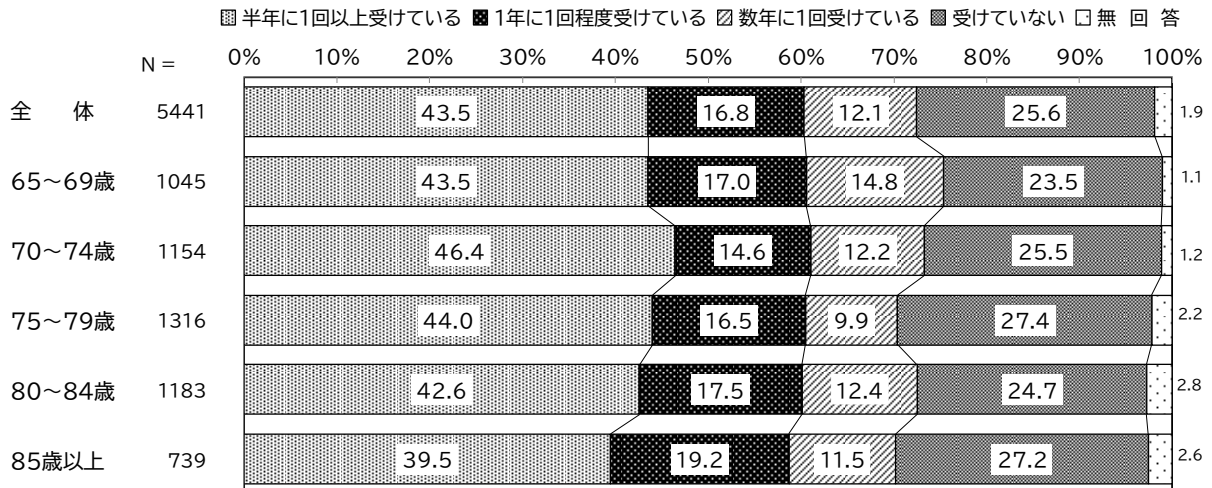
(6) 歯科健診をどのくらいの頻度で受けていますか (〇は一つ)

【全 体】

歯科健診の受診頻度については、「半年に1回以上受けている」が43.5%と最も高く、次いで「1年に1回程度受けている」が16.8%、「数年に1回受けている」が12.1%となっています。なお、「受けていない」は25.6%となっています。

【年齢別】

「受けていない」は、「75～79歳」、「85歳以上」でそれぞれ27.4%、27.2%と他の年代と比較してやや高くなっています。



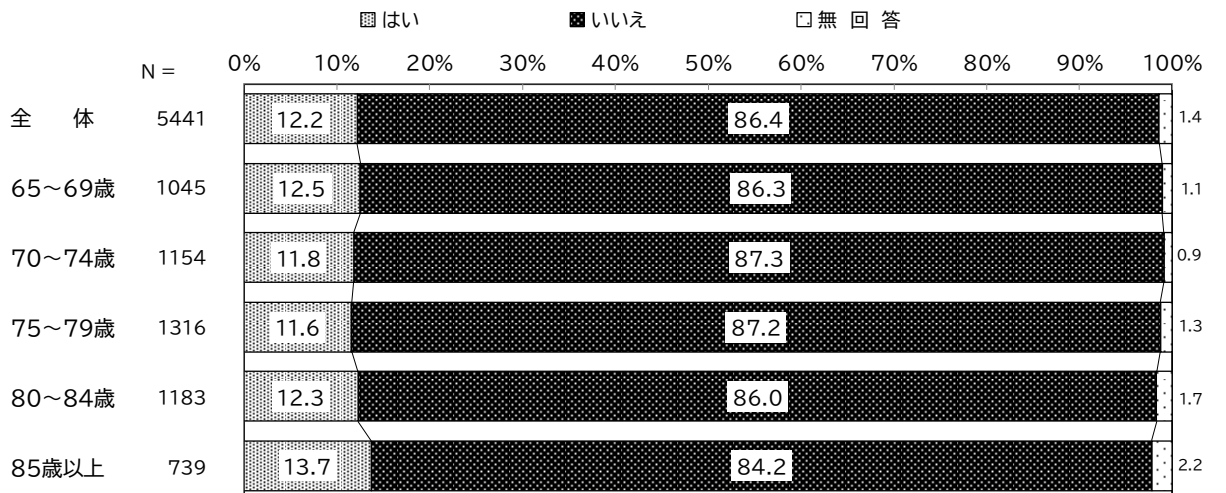
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (〇は一つ)

【全 体】

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかどうかについては、「はい」が12.2%、「いいえ」が86.4%となっています。

【年齢別】

年代における違いはほとんどありません。



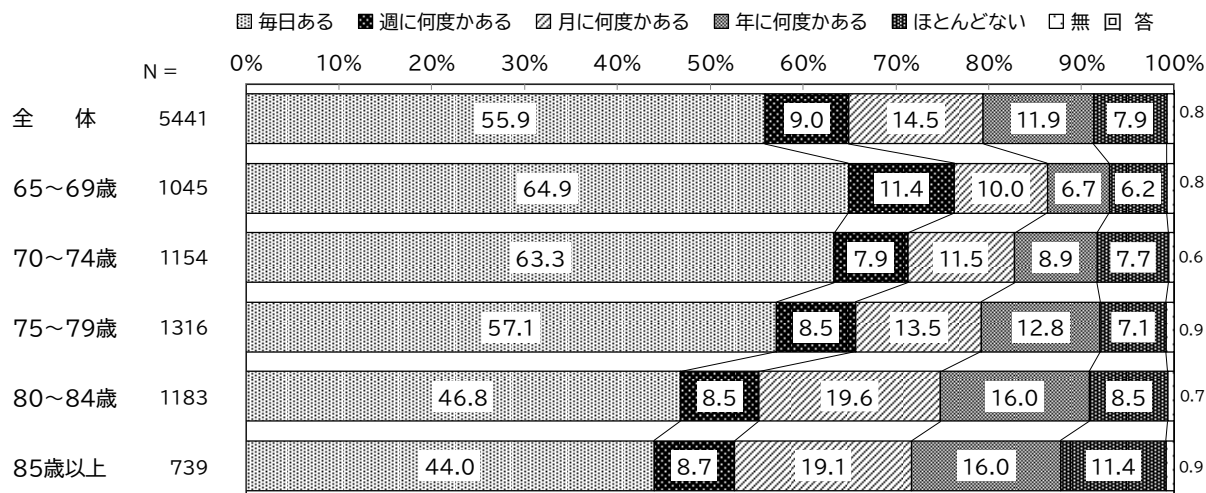
(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか (○は一つ)

【全 体】

どなたかと食事をともにする機会については、「毎日ある」が55.9%と最も高く、次いで「月に何度かある」が14.5%、「年に何度かある」が11.9%、「週に何度かある」が9.0%、「ほとんどない」が7.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「毎日ある」が低くなり、「85歳以上」で44.0%となっています。また、「年に何度かある」は高くなり、「80～84歳」、「85歳以上」でともに16.0%となっています。



【家族構成別】

「1人暮らし」で、「月に何度かある」、「年に何度かある」、「ほとんどない」がそれぞれ36.6%、25.1%、19.3%と高くなっています。

一方、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」、「息子・娘との2世帯」では、「毎日ある」がそれぞれ69.5%、64.8%、69.6%と高くなっています。

(単位 上段:人、下段:%)

	全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
1人暮らし	1097	49	153	401	275	212	7
	100.0	4.5	13.9	36.6	25.1	19.3	0.6
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2236	1553	128	220	214	100	21
	100.0	69.5	5.7	9.8	9.6	4.5	0.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	250	162	25	25	21	15	2
	100.0	64.8	10.0	10.0	8.4	6.0	0.8
息子・娘との2世帯	1369	953	137	101	101	73	4
	100.0	69.6	10.0	7.4	7.4	5.3	0.3
その他	400	286	28	26	31	27	2
	100.0	71.5	7.0	6.5	7.8	6.8	0.5
無回答	89	39	16	16	7	5	6
	100.0	43.8	18.0	18.0	7.9	5.6	6.7

問4 毎日の生活について

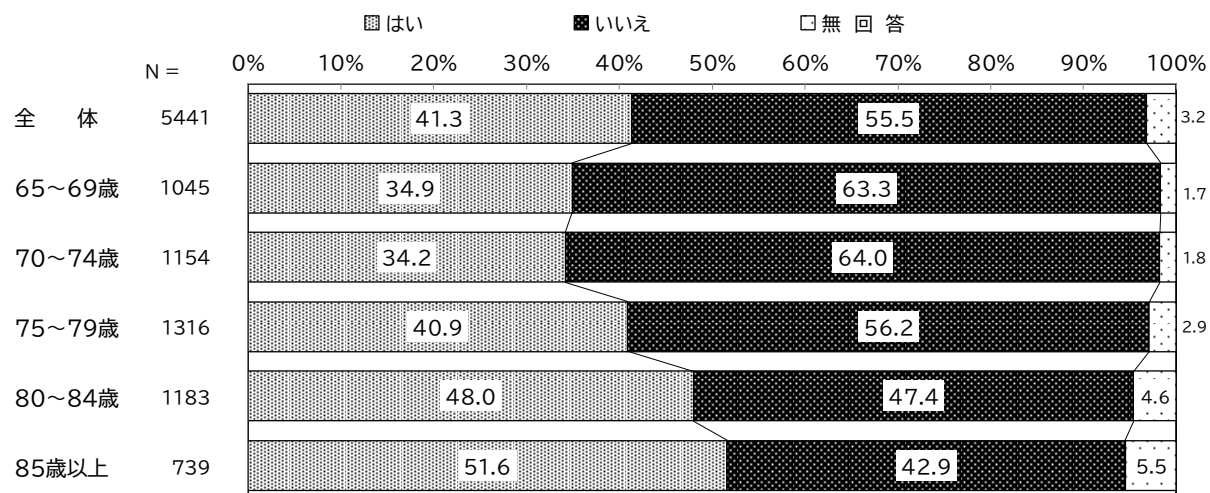
(1)① 物忘れが多いと感じますか (〇は一つ)

【全 体】

物忘れが多いと感じるかどうかについては、「はい」が41.3%、「いいえ」が55.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなる傾向で、「85歳以上」で51.6%となっています。



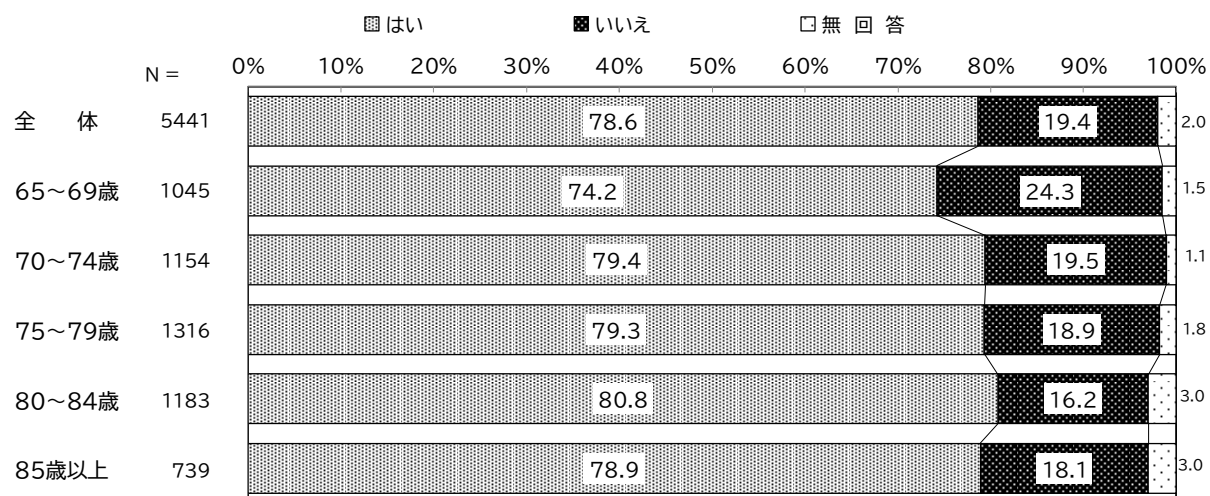
(1)② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (〇は一つ)

【全 体】

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかどうかについては、「はい」が78.6%、「いいえ」が19.4%となっています。

【年齢別】

全ての年代で、「いいえ」は2割前後となっています。



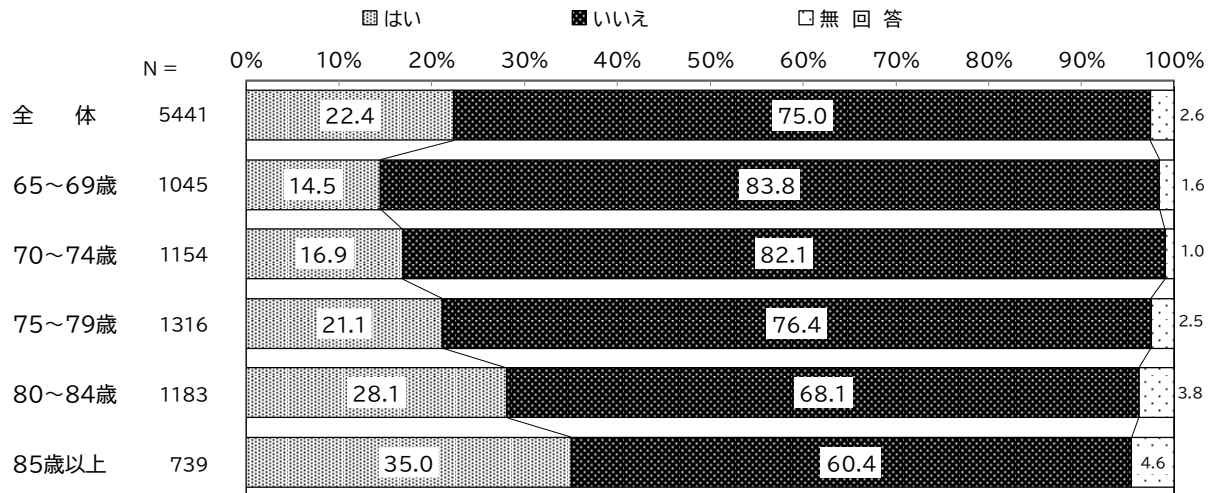
(1)③ 今日が何月何日かわからない時がありますか (〇は一つ)

【全 体】

今日が何月何日かわからない時があるかどうかについては、「はい」が22.4%、「いいえ」が75.0%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で35.0%となっています。



(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (〇は一つ)

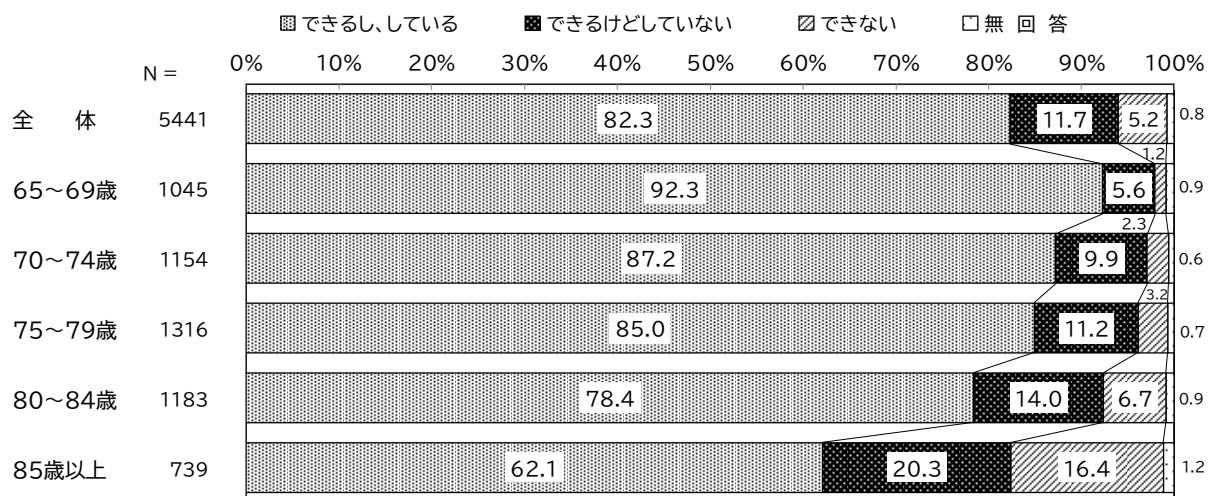
【全 体】

バスや電車を使って1人で外出しているかどうかについては、「できるし、している」が82.3%、「できるけどしていない」が11.7%、「できない」が5.2%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなり、「85歳以上」で62.1%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で16.4%となっています。



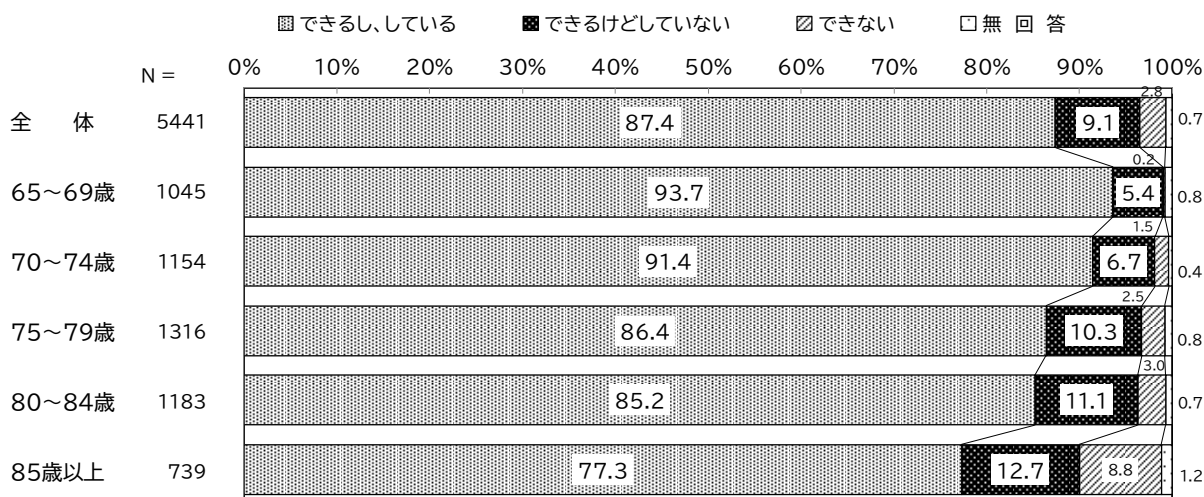
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は一つ)

【全 体】

自分で食品・日用品の買物をしているかどうかについては、「できるし、している」が87.4%、「できるけどしていない」が9.1%、「できない」が2.8%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で8.8%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で77.3%となっています。



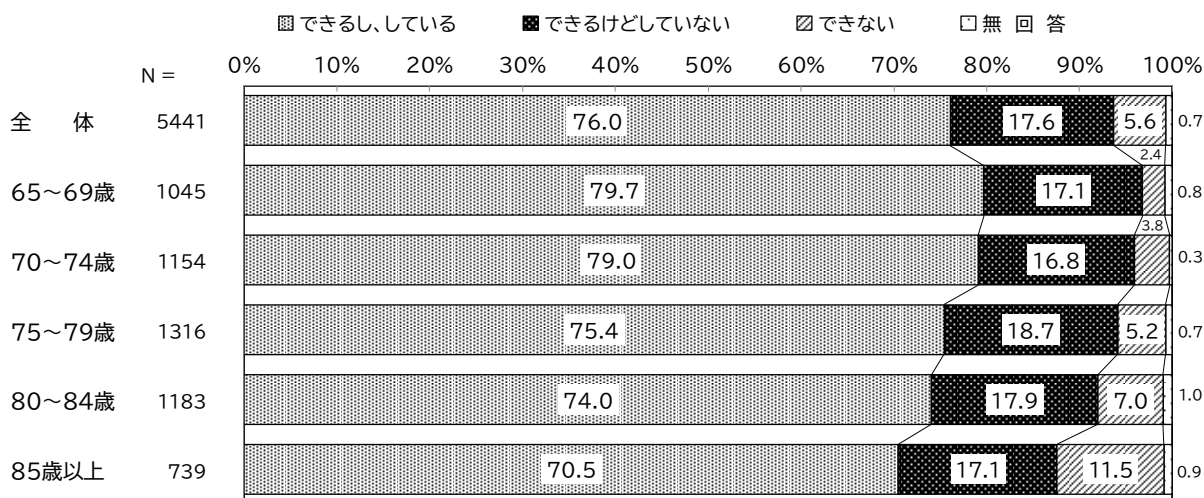
(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は一つ)

【全 体】

自分で食事の用意をしているかどうかについては、「できるし、している」が76.0%、「できるけどしていない」が17.6%、「できない」が5.6%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で11.5%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で70.5%となっています。



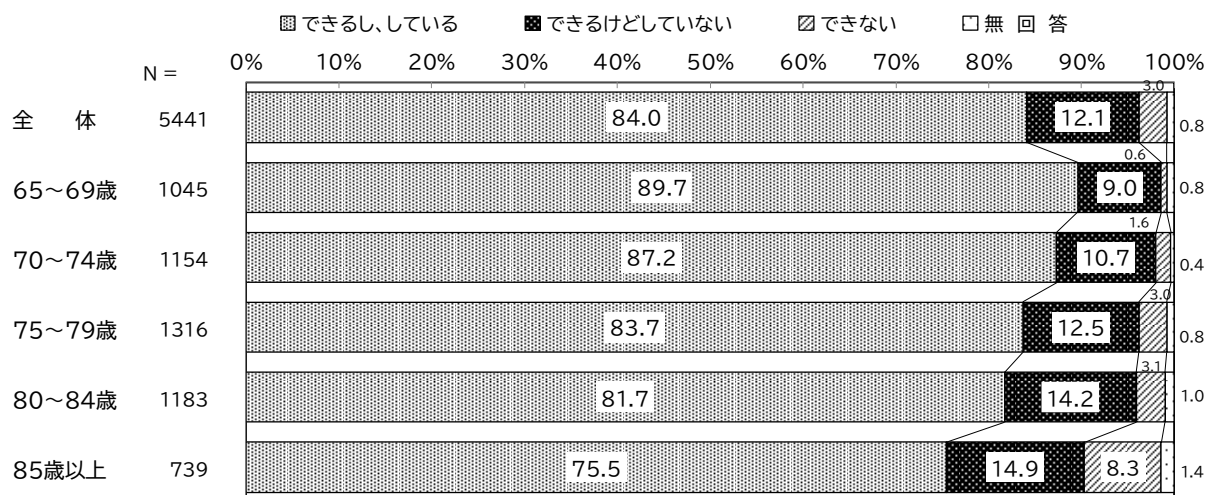
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (〇は一つ)

【全 体】

自分で請求書の支払いをしているかどうかについては、「できるし、している」が84.0%、「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が3.0%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で8.3%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で75.5%となっています。



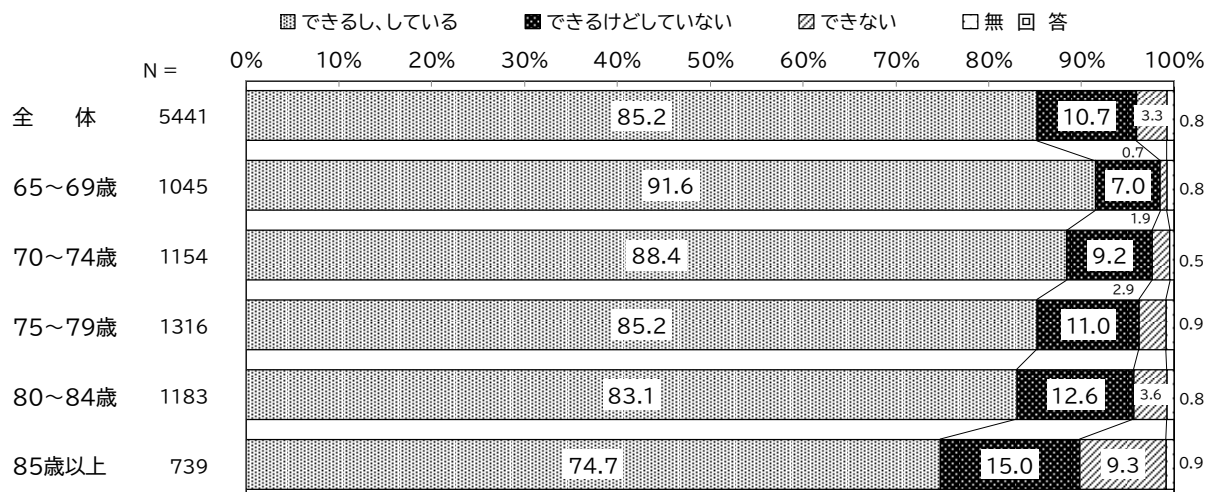
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (〇は一つ)

【全 体】

自分で預貯金の出し入れをしているかどうかについては、「できるし、している」が85.2%、「できるけどしていない」が10.7%、「できない」が3.3%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で9.3%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で74.7%となっています。



問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

(それぞれ○は一つ)

【全 体】

①～⑧のような会・グループ等への参加状況については、すべての項目で「参加していない」が最も高くなっています。特に「①ボランティアのグループ」、「④学習・教養サークル」、「⑤介護予防のための通いの場」、「⑥老人クラブ」は、7割を超え高くなっています。また、グループ別の活動頻度をみると、「①ボランティアのグループ」は、「年に数回」が3.5%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」は、「週2～3回」が6.9%、「③趣味関係のグループ」、「④学習・教養サークル」は、「月1～3回」がそれぞれ11.3%、2.9%、「⑤介護予防のための通いの場」、「⑥老人クラブ」は、「月1～3回」がそれぞれ1.3%、1.4%、「⑦町内会・自治会」は、「年に数回」が13.5%、「⑧収入のある仕事」は、「週4回以上」が14.9%と最も高くなっています。

(単位：%)

	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
① ボランティアのグループ	0.8	1.5	1.2	3.4	3.5	71.0	18.6
② スポーツ関係のグループやクラブ	3.1	6.9	5.5	3.5	2.2	63.3	15.5
③ 趣味関係のグループ	1.0	3.6	4.3	11.3	4.5	61.4	13.9
④ 学習・教養サークル	0.4	0.8	1.3	2.9	2.3	73.7	18.6
⑤ 介護予防のための通いの場	0.3	0.8	1.2	1.3	0.6	77.1	18.7
⑥ 老人クラブ	0.3	0.4	0.4	1.4	1.0	77.8	18.7
⑦ 町内会・自治会	0.2	0.5	0.4	3.4	13.5	64.6	17.3
⑧ 収入のある仕事	14.9	8.5	1.5	1.7	1.3	57.0	15.1

① ボランティアのグループ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が77.8%と「女性」の65.4%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	16	24	25	67	101	1917	314
	100.0	0.6	1.0	1.0	2.7	4.1	77.8	12.7
女性	2973	27	56	42	117	90	1945	696
	100.0	0.9	1.9	1.4	3.9	3.0	65.4	23.4

② スポーツ関係のグループやクラブ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が70.3%と「女性」の57.6%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	63	122	85	102	86	1732	274
	100.0	2.6	5.0	3.4	4.1	3.5	70.3	11.1
女性	2973	108	250	215	88	33	1712	567
	100.0	3.6	8.4	7.2	3.0	1.1	57.6	19.1

③ 趣味関係のグループ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が68.1%と「女性」の55.9%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	27	62	84	210	152	1677	252
	100.0	1.1	2.5	3.4	8.5	6.2	68.1	10.2
女性	2973	27	132	150	403	93	1662	506
	100.0	0.9	4.4	5.0	13.6	3.1	55.9	17.0

④ 学習・教養サークル

【性別】

「男性」で、「参加していない」が81.7%と「女性」の67.1%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	8	7	21	38	49	2013	328
	100.0	0.3	0.3	0.9	1.5	2.0	81.7	13.3
女性	2973	12	36	47	120	78	1996	684
	100.0	0.4	1.2	1.6	4.0	2.6	67.1	23.0

⑤ 介護予防のための通いの場

【性別】

「男性」で、「参加していない」が84.5%と「女性」の71.0%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	6	8	10	9	13	2082	336
	100.0	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	84.5	13.6
女性	2973	9	34	53	60	22	2112	683
	100.0	0.3	1.1	1.8	2.0	0.7	71.0	23.0

⑥ 老人クラブ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が84.0%と「女性」の72.7%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	8	8	7	25	19	2069	328
	100.0	0.3	0.3	0.3	1.0	0.8	84.0	13.3
女性	2973	6	16	14	53	37	2160	687
	100.0	0.2	0.5	0.5	1.8	1.2	72.7	23.1

⑦ 町内会・自治会

【性別】

「男性」で、「参加していない」が71.8%と「女性」の58.7%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	9	12	9	78	281	1768	307
	100.0	0.4	0.5	0.4	3.2	11.4	71.8	12.5
女性	2973	3	15	13	108	455	1746	633
	100.0	0.1	0.5	0.4	3.6	15.3	58.7	21.3

⑧ 収入のある仕事

【性別】

①～⑦の参加状況とは違い、「女性」で、「参加していない」が58.8%と「男性」の54.7%よりやや高くなっています。また、「週4回以上」は「男性」の方が20.3%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2464	500	239	43	47	44	1348	243
	100.0	20.3	9.7	1.7	1.9	1.8	54.7	9.9
女性	2973	310	224	39	43	28	1749	580
	100.0	10.4	7.5	1.3	1.4	0.9	58.8	19.5

(2) (1)で①-⑧の会・グループ等の地域活動に全て「参加していない」と回答された方にお伺いします。「参加していない」理由は何ですか(〇はいくつでも)

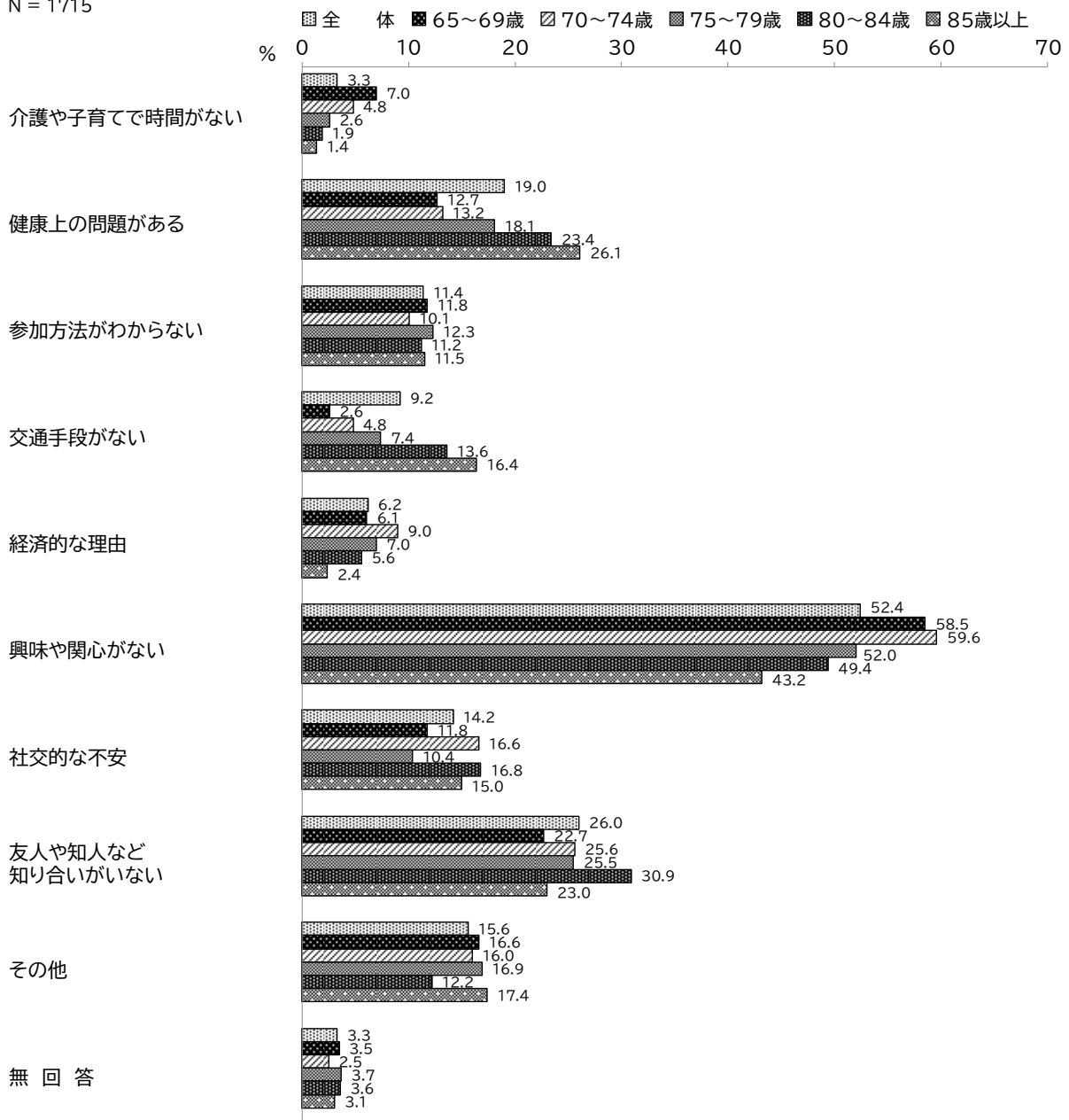
【全 体】

地域活動になにも参加していない理由については、「興味や関心がない」が52.4%と最も高く、次いで「友人や知人など知り合いがいない」が26.0%、「健康上の問題がある」が19.0%と続いています。

【年齢別】

「興味や関心がない」はすべての年代で最も高くなっていますが、特に「65～69歳」、「70～74歳」でそれぞれ58.5%、59.6%となっています。また、「健康上の問題がある」、「交通手段がない」は、年齢が上がるにつれて高くなり、「85歳以上」でそれぞれ26.1%、16.4%となっています。

N = 1715



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は一つ)

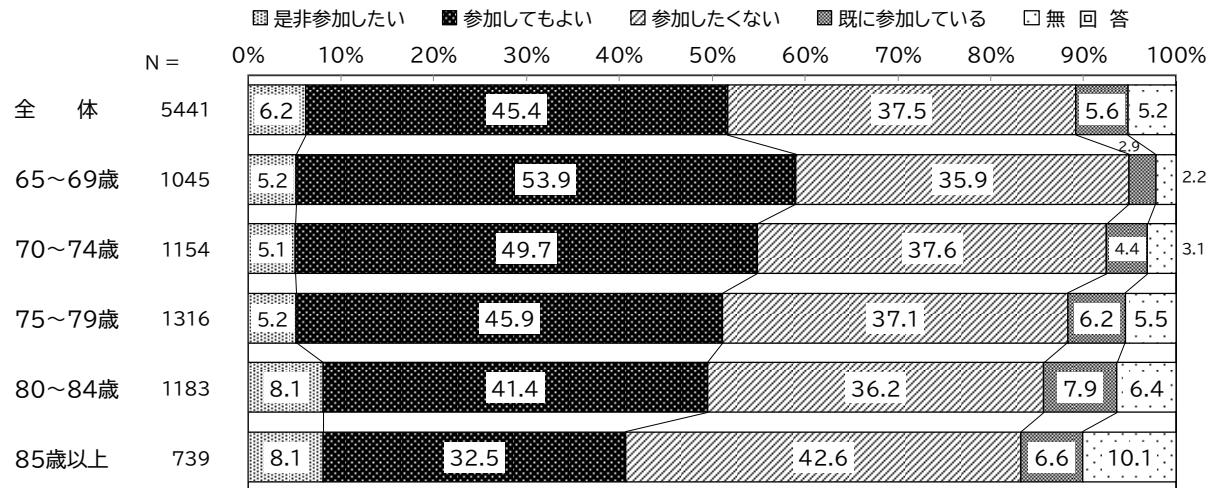
【全 体】

地域住民の有志による、いきいきした地域づくりを進める健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が45.4%と最も高く、次いで「参加したくない」が37.5%、「是非参加したい」が6.2%、「既に参加している」が5.6%となっています。

【年齢別】

「参加してもよい」は、年齢が上がるにつれて低くなり、「85歳以上」で32.5%となっています。

一方、「参加したくない」は、「85歳以上」で42.6%と高くなっています。



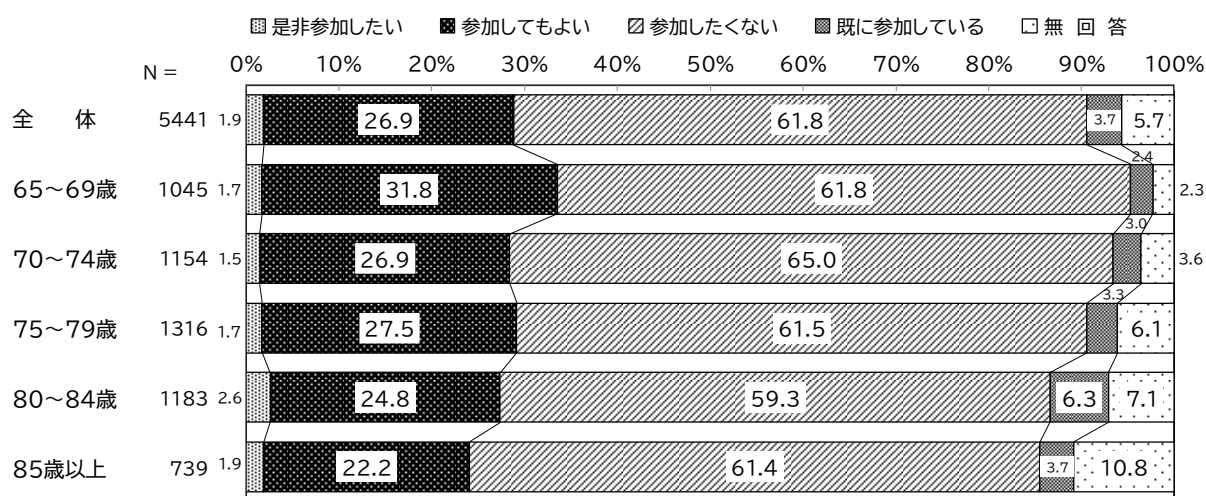
(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は一つ）

【全 体】

地域住民の有志による、いきいきした地域づくりを進める健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「参加したくない」が61.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」が26.9%、「既に参加している」が3.7%、「是非参加したい」が1.9%となっています。

【年齢別】

「65～69歳」で「参加してもよい」は31.8%、「70～74歳」で「参加したくない」は65.0%とやや高くなっています。



問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

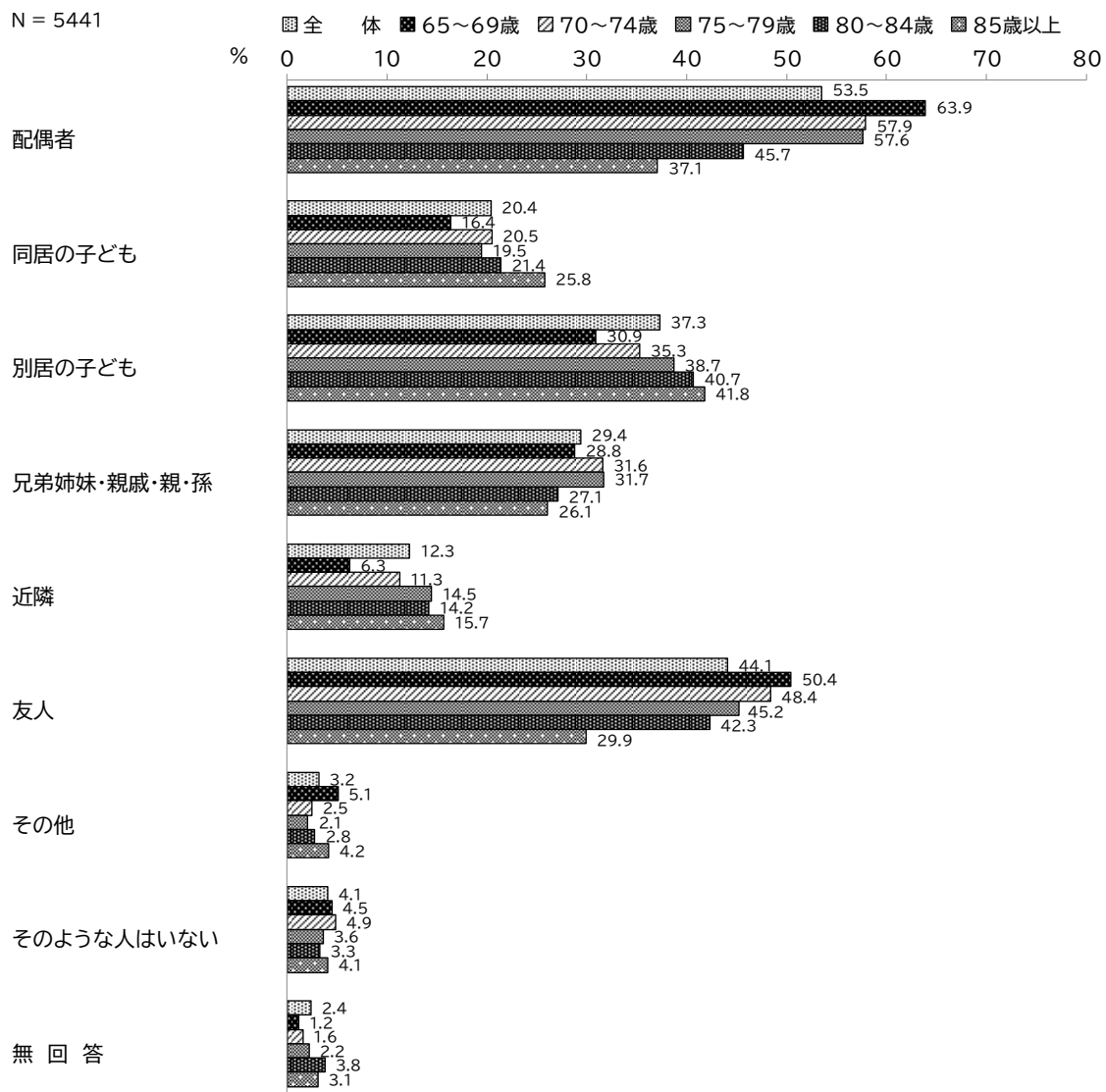
【全 体】

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が53.5%と最も高く、次いで「友人」が44.1%、「別居の子ども」が37.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.4%、「同居の子ども」が20.4%、「近隣」が12.3%となっています。

なお、「そのような人はいない」は4.1%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」を除くすべての年代で「配偶者」が最も高くなっています。一方、「85歳以上」では、「別居の子ども」が41.8%と最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて、「友人」が低くなり、「85歳以上」で29.9%となっています。



【性別】

「男性」では、「配偶者」が69.4%と最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目で、「女性」が「男性」を上回っており、「友人」が56.7%、「別居の子ども」が46.0%と特に高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2464	1710	361	662	501	123	714	78	157	60
	100.0	69.4	14.7	26.9	20.3	5.0	29.0	3.2	6.4	2.4
女性	2973	1199	748	1368	1096	548	1687	95	64	68
	100.0	40.3	25.2	46.0	36.9	18.4	56.7	3.2	2.2	2.3

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

【全 体】

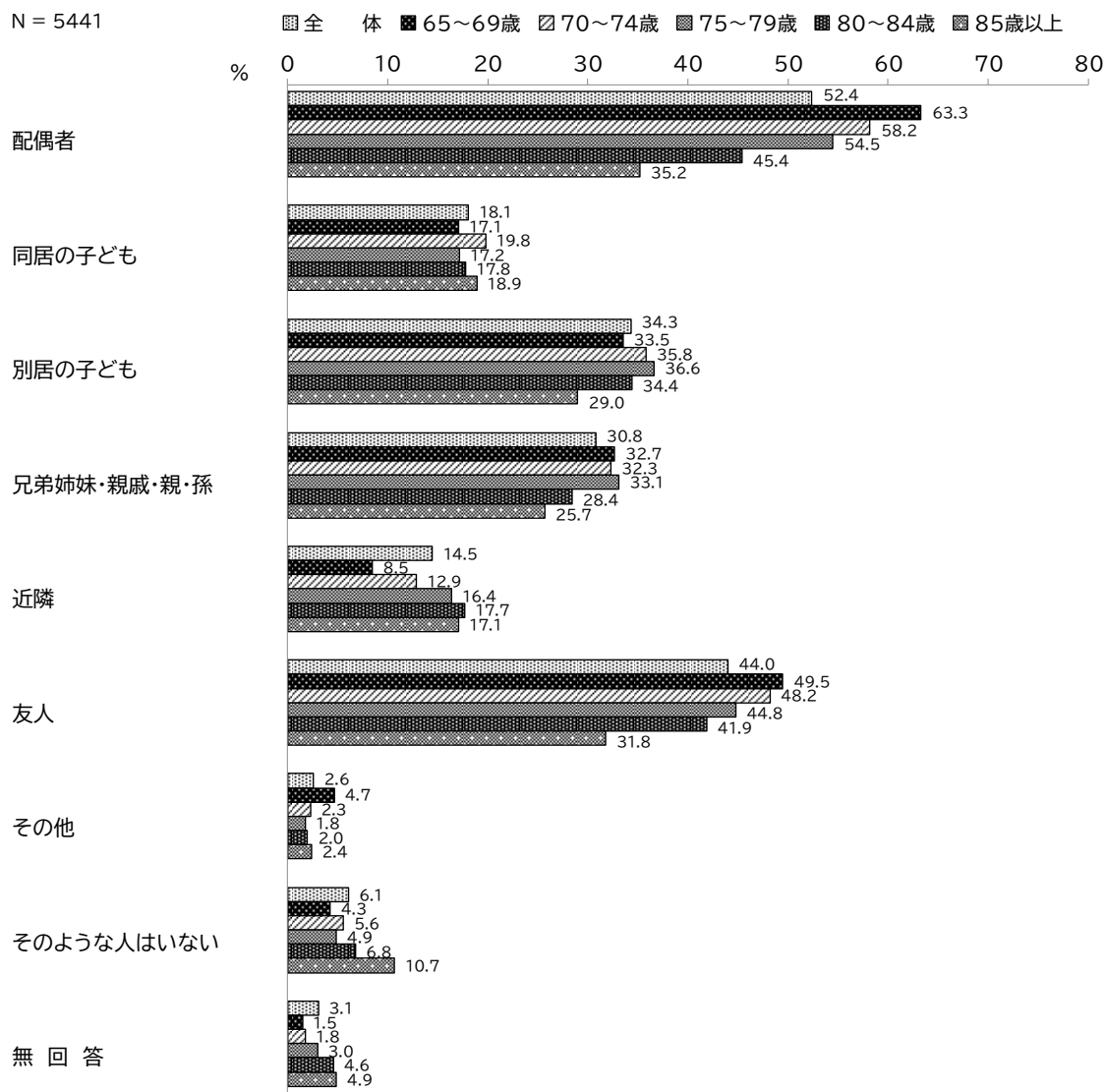
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が52.4%と最も高く、次いで「友人」が44.0%、「別居の子ども」が34.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.8%、「同居の子ども」が18.1%、「近隣」が14.5%となっています。

なお、「そのような人はいない」は6.1%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「配偶者」が最も高く、「65～69歳」では63.3%となっています。一方、「85歳以上」では、他の年代と比較して「そのような人はいない」が10.7%とやや高くなっています。

N = 5441



【性別】

「男性」では、「配偶者」が69.0%と最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目で、「女性」が「男性」を上回っており、「友人」が56.8%と特に高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2464	1699	355	674	554	139	703	68	212	68
	100.0	69.0	14.4	27.4	22.5	5.6	28.5	2.8	8.6	2.8
女性	2973	1149	630	1191	1122	650	1690	74	122	100
	100.0	38.6	21.2	40.1	37.7	21.9	56.8	2.5	4.1	3.4

(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

【全 体】

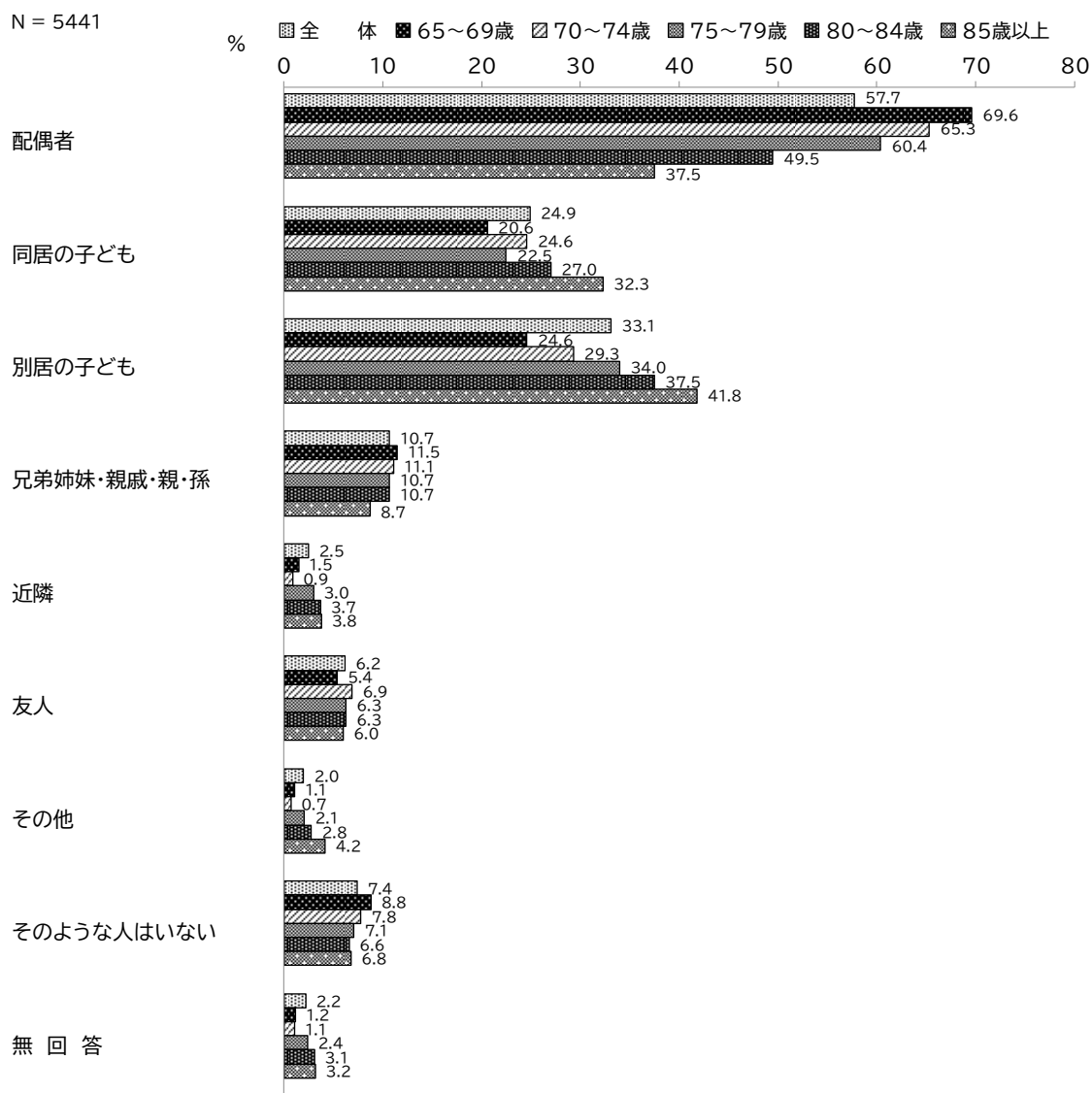
病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が57.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」が33.1%、「同居の子ども」が24.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が10.7%、「友人」が6.2%、「近隣」が2.5%となっています。

なお、「そのような人はいない」は7.4%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」を除くすべての年代で「配偶者」が最も高く、「65～69歳」では69.6%となっています。

一方、「85歳以上」では、「別居の子ども」が41.8%と最も高くなっています。



【性別】

「男性」、「女性」とともに「配偶者」がそれぞれ73.6%、44.6%と最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目では、「女性」が「男性」を上回っており、「別居の子ども」が39.9%、「同居の子ども」が30.2%と特に高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2464	1813	456	609	224	24	69	43	200	45
	100.0	73.6	18.5	24.7	9.1	1.0	2.8	1.7	8.1	1.8
女性	2973	1325	897	1187	355	114	269	67	203	73
	100.0	44.6	30.2	39.9	11.9	3.8	9.0	2.3	6.8	2.5

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

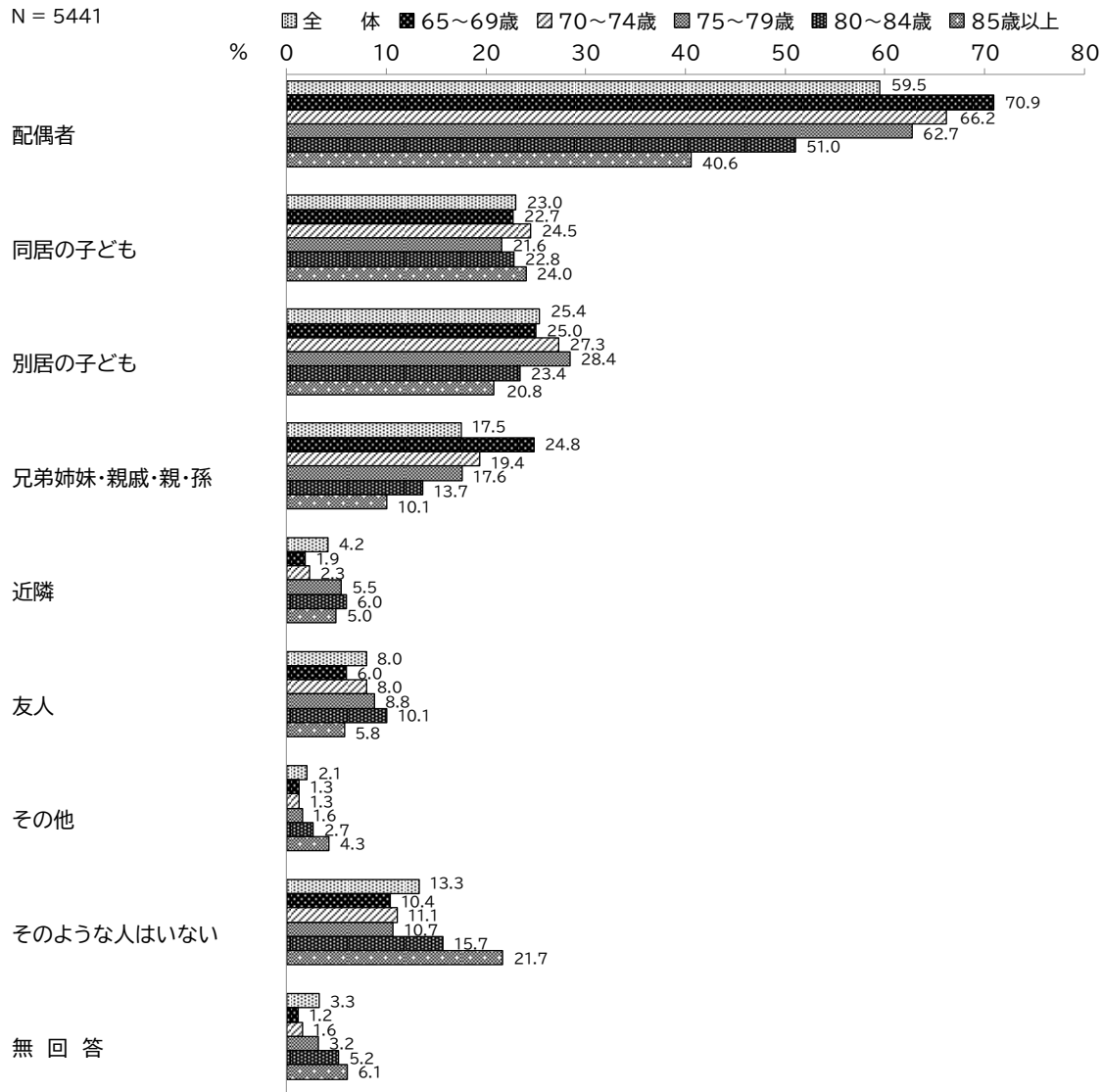
【全 体】

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が59.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が25.4%、「同居の子ども」が23.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が17.5%、「友人」が8.0%、「近隣」が4.2%となっています。

なお、「そのような人はいない」は13.3%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「配偶者」が最も高く、「65～69歳」では70.9%となっています。また、「85歳以上」では、他の年代と比較して「そのような人はいない」が21.7%と高くなっています。



【性別】

「男性」、「女性」ともに「配偶者」がそれぞれ71.1%、49.8%と最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目では、「女性」が「男性」を上回っており、「別居の子ども」が30.8%と特に高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2464	1751	450	465	318	42	99	44	351	62
	100.0	71.1	18.3	18.9	12.9	1.7	4.0	1.8	14.2	2.5
女性	2973	1482	801	916	633	185	334	70	373	118
	100.0	49.8	26.9	30.8	21.3	6.2	11.2	2.4	12.5	4.0

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手をお教えてください

(○はいくつでも)

【全 体】

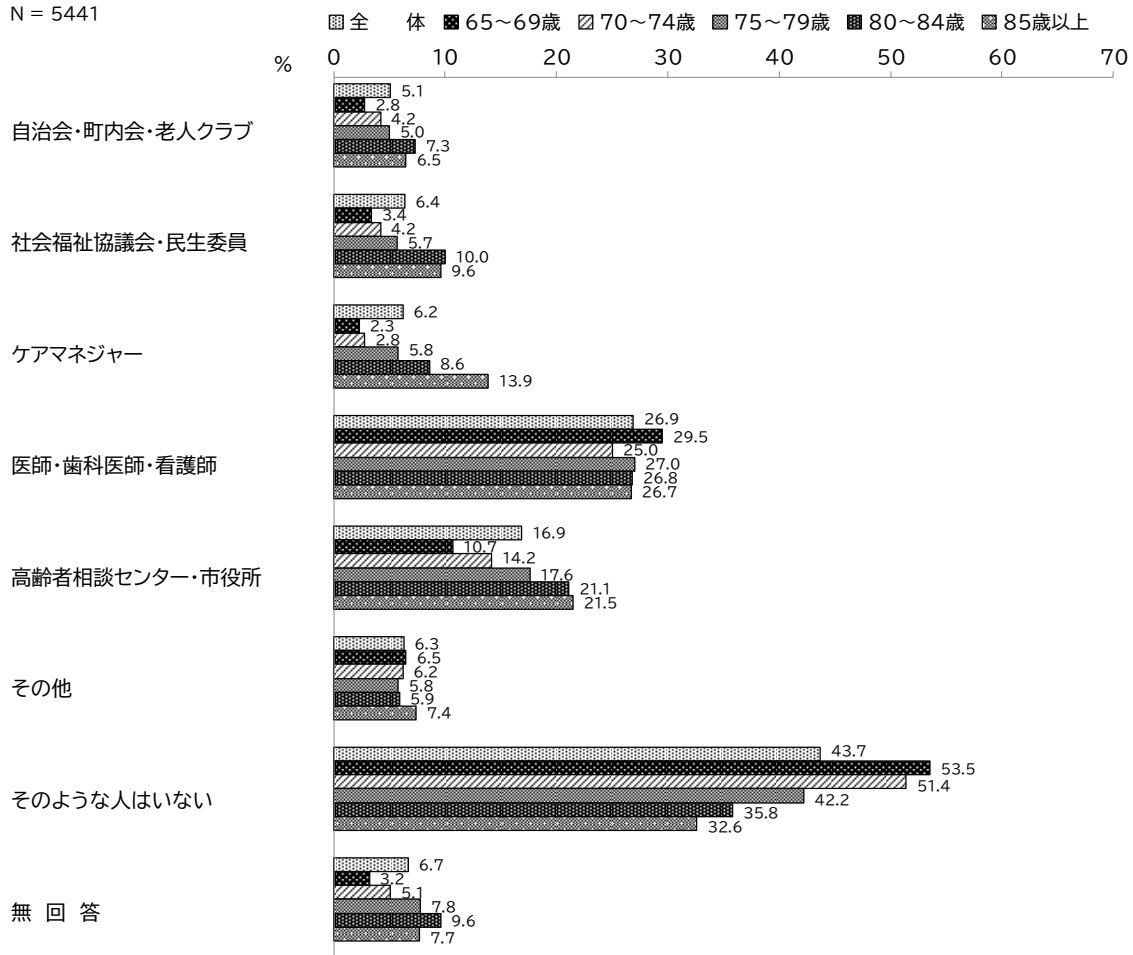
家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が26.9%と最も高く、次いで「高齢者相談センター・市役所」が16.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が6.4%、「ケアマネジャー」が6.2%、「自治会・町内会・老人クラブ」が5.1%となっています。

なお、「そのような人はいない」は43.7%となっています。

【年齢別】

年齢が下がるにつれて「そのような人はいない」が高くなり、「65～69歳」で53.5%となっています。また、「85歳以上」では、他の年代と比較して「ケアマネジャー」が13.9%と高くなっています。

N = 5441



(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (〇は一つ)

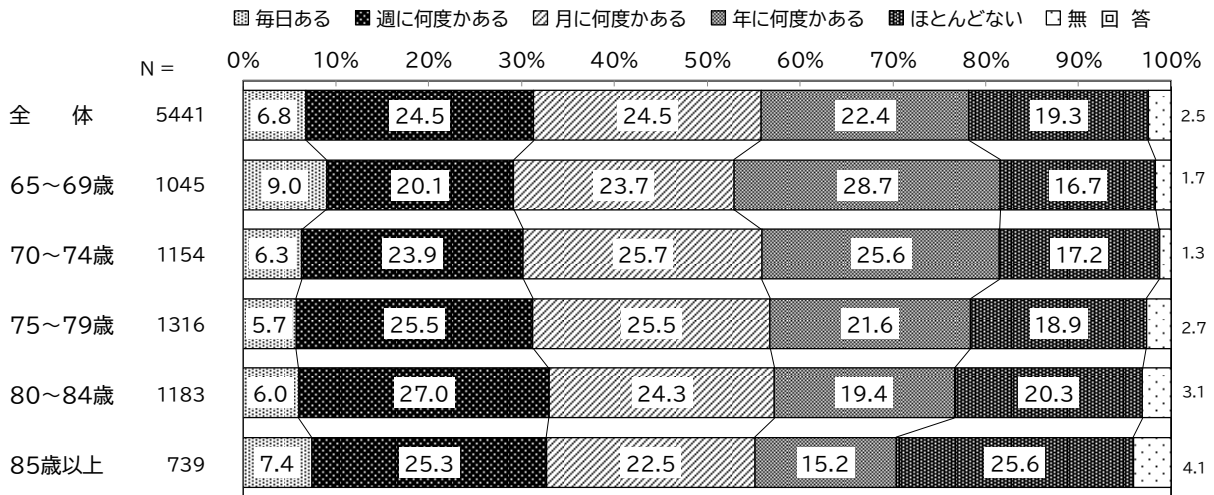
【全 体】

友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」、「月に何度かある」がともに24.5%と最も高く、次いで「年に何度かある」が22.4%、「毎日ある」が6.8%となっています。

なお、「ほとんどない」は19.3%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「ほとんどない」が高くなり、「85歳以上」で25.6%となっています。



【性 別】

「男性」では、「年に何度かある」が25.6%、「ほとんどない」が24.8%と女性より高くなっています。一方、「女性」では「週に何度かある」が28.4%、「月に何度かある」が27.4%と男性より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	毎日ある	週に 何度かある	月に 何度かある	年に 何度かある	ほとんどない	無回答
男性	2464	167	484	519	630	611	53
	100.0	6.8	19.6	21.1	25.6	24.8	2.2
女性	2973	201	844	815	590	440	83
	100.0	6.8	28.4	27.4	19.8	14.8	2.8

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

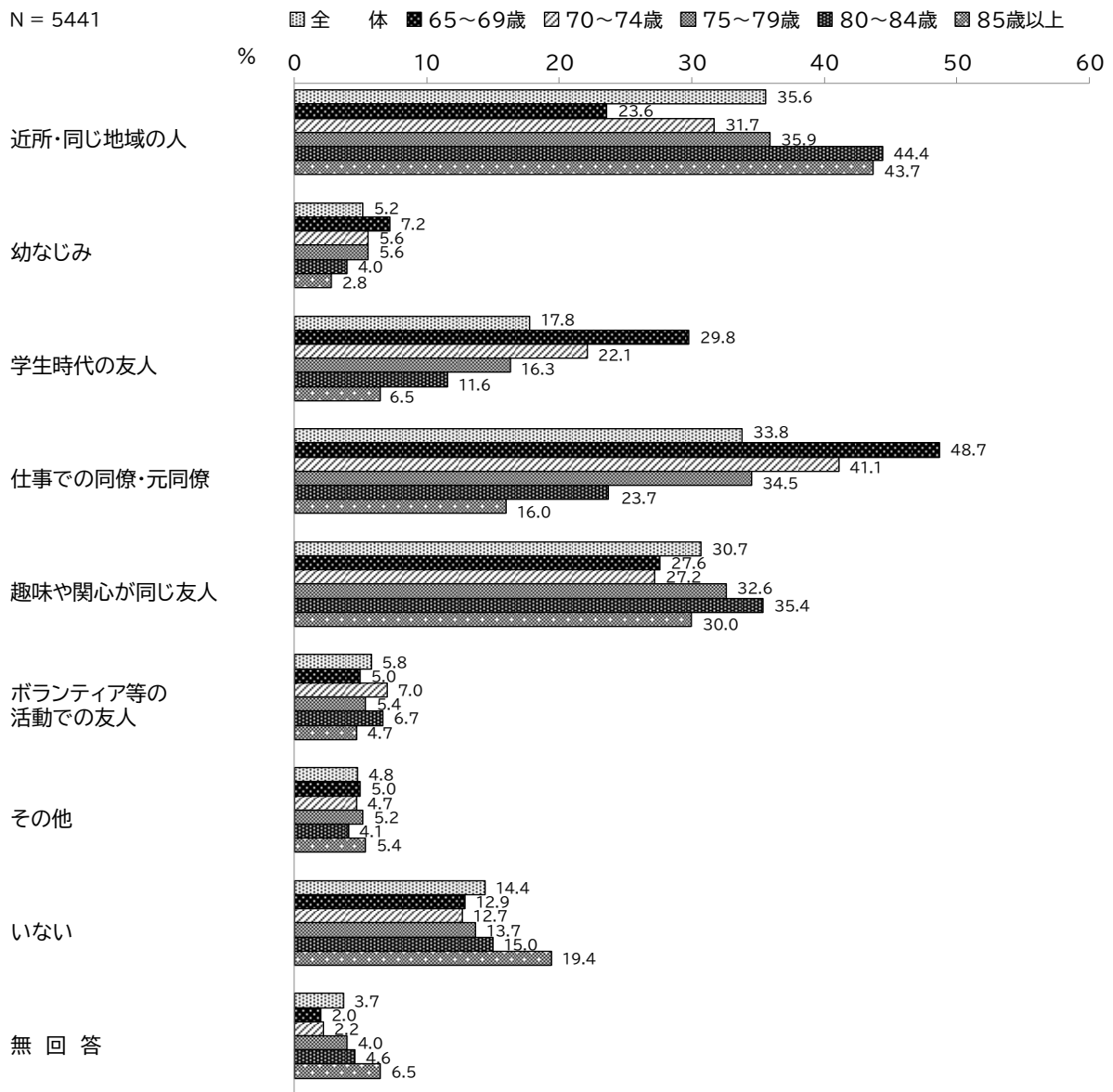
【全 体】

よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が35.6%と最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が33.8%、「趣味や関心が同じ友人」が30.7%、「学生時代の友人」が17.8%、「ボランティア等の活動での友人」が5.8%、「幼なじみ」が5.2%となっています。

なお、「いない」は14.4%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「仕事での同僚・元同僚」、「学生時代の友人」が高く、「65～69歳」でそれぞれ48.7%、29.8%となっています。また、「80～84歳」、「85歳以上」では、「近所・同じ地域の人」がそれぞれ44.4%、43.7%と高くなっています。



(8) 今後、あなたが安心して日常生活を送るためには、どのような見守りが必要だと思いますか (〇はいくつでも)

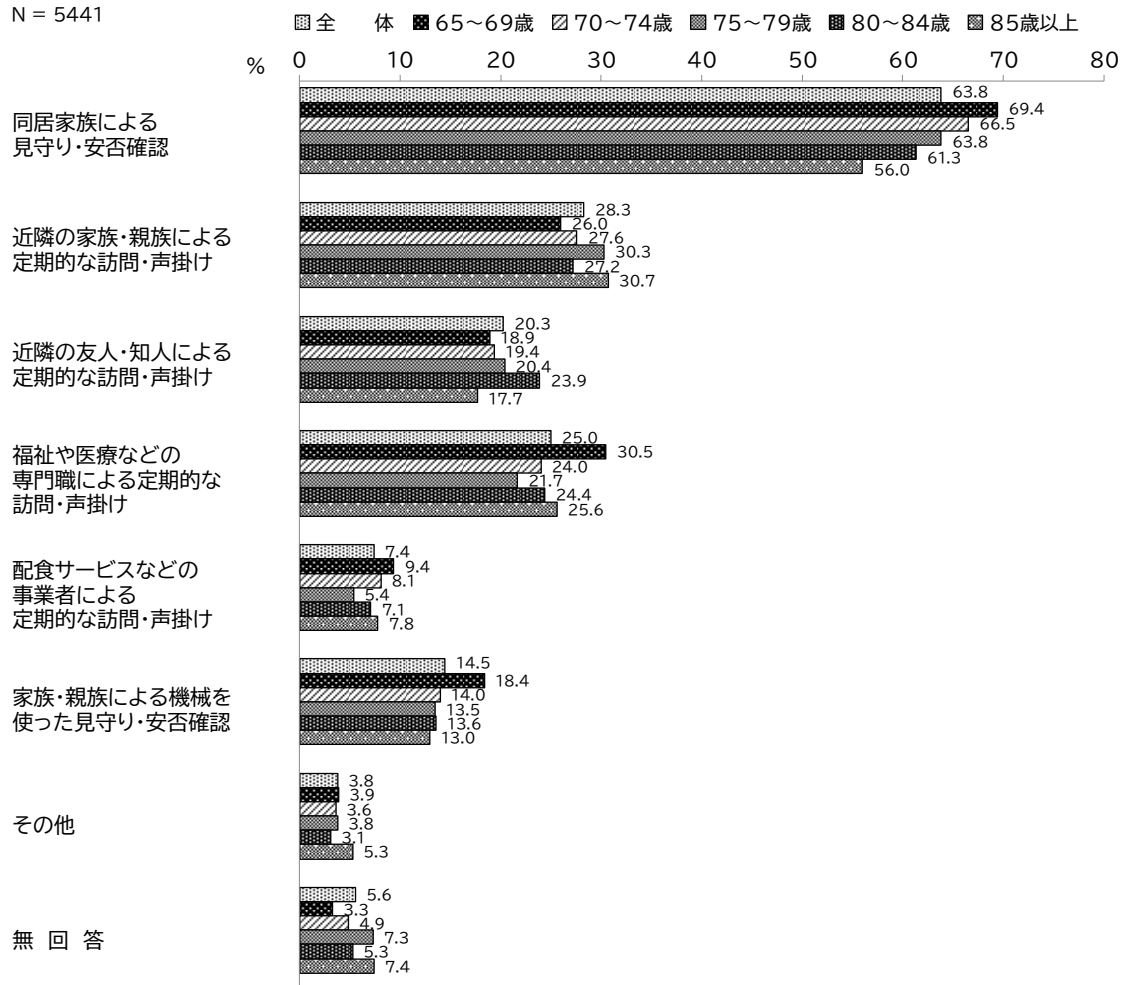
【全 体】

今後、安心して日常生活を送るために必要な見守りについては、「同居家族による見守り・安否確認」が63.8%と最も高く、次いで「近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け」が28.3%、「福祉や医療などの専門職による定期的な訪問・声掛け」が25.0%、「近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け」が20.3%と続いています。

【年齢別】

すべての年代で「同居家族による見守り・安否確認」が最も高く、「65～69歳」では69.4%となっています。

N = 5441



【性別】

「男性」、「女性」ともに「同居家族による見守り・安否確認」がそれぞれ70.9%、58.0%と最も高くなっています。また、「女性」では「近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け」が32.3%、「近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け」が25.7%と「男性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	同居家族による見守り・安否確認	近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け	近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け	福祉や医療などの専門職による定期的な訪問・声掛け	配食サービスなどの事業者による定期的な訪問・声掛け	家族・親族による機械を使った見守り・安否確認	その他	無回答
男性	2464	1748	580	340	607	168	327	88	126
	100.0	70.9	23.5	13.8	24.6	6.8	13.3	3.6	5.1
女性	2973	1723	959	763	753	236	461	120	179
	100.0	58.0	32.3	25.7	25.3	7.9	15.5	4.0	6.0

【家族構成別】

「1人暮らし」では、「同居家族による見守り・安否確認」を除くすべての項目で高く、特に「近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け」が34.1%、「福祉や医療などの専門職による定期的な訪問・声掛け」が32.6%、「近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け」が30.1%と他の家族構成より高くなっています。

一方、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」、「息子・娘との2世帯」では、「同居家族による見守り・安否確認」がそれぞれ73.2%、77.6%、87.7%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	同居家族による見守り・安否確認	近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け	近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け	福祉や医療などの専門職による定期的な訪問・声掛け	配食サービスなどの事業者による定期的な訪問・声掛け	家族・親族による機械を使った見守り・安否確認	その他	無回答
1人暮らし	1097	71	374	330	358	122	234	102	94
	100.0	6.5	34.1	30.1	32.6	11.1	21.3	9.3	8.6
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2236	1637	727	435	545	162	336	57	110
	100.0	73.2	32.5	19.5	24.4	7.2	15.0	2.5	4.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	250	194	56	32	62	14	27	6	12
	100.0	77.6	22.4	12.8	24.8	5.6	10.8	2.4	4.8
息子・娘との2世帯	1369	1201	277	227	299	82	145	26	48
	100.0	87.7	20.2	16.6	21.8	6.0	10.6	1.9	3.5
その他	400	326	90	66	84	20	36	13	23
	100.0	81.5	22.5	16.5	21.0	5.0	9.0	3.3	5.8
無 回 答	89	45	16	14	12	4	11	5	18
	100.0	50.6	18.0	15.7	13.5	4.5	12.4	5.6	20.2

問7 健康について

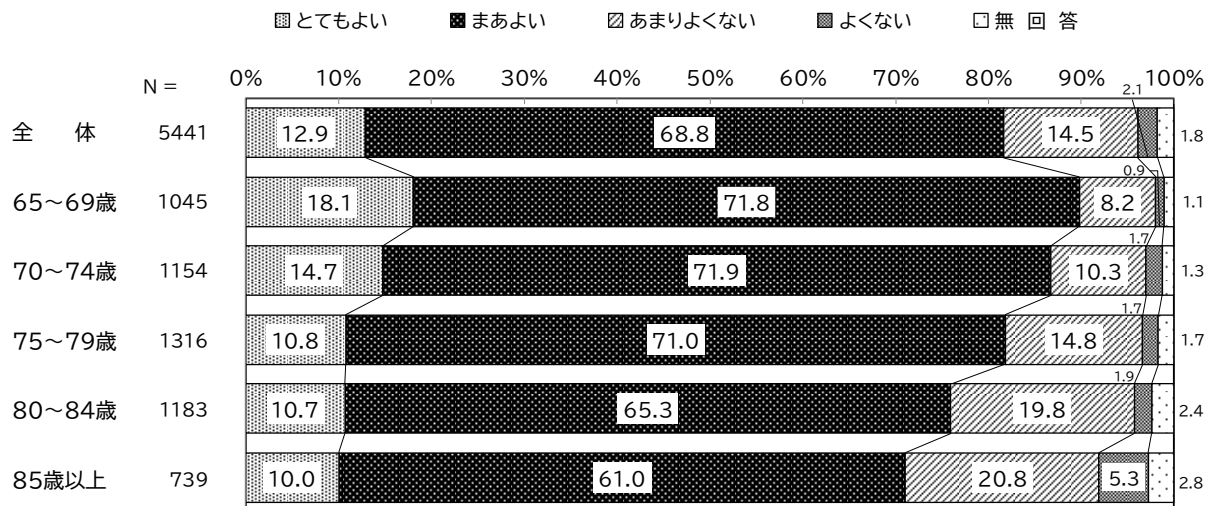
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は一つ)

【全 体】

現在の健康状態については、「とてもよい」(12.9%)と「まあよい」(68.8%)を合わせた『よい』が 81.7%、「あまりよくない」(14.5%)と「よくない」(2.1%)を合わせた『よくない』が 16.6%と『よい』人の方が 65.1 ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて『よい』は低くなり、「85歳以上」で 71.0%となっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は一つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

【全 体】

幸福度については、10点満点中「8点」が 23.8%と最も高く、次いで「5点」が 16.8%、「7点」が 16.4%、「10点」が 13.6%、「9点」が 10.6%、「6点」が 9.2%と続いています。

なお、平均点は「7.1点」となっています。

【年齢別】

すべての年代で「8点」が最も高くなっています。

なお、平均点は「65~69歳」、「70~74歳」、「85歳以上」で「7.1点」、「75~79歳」、「80~84歳」で「7.0点」となっています。

(単位: %)

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全 体	5,441	0.3	0.3	0.9	2.3	2.8	16.8	9.2	16.4	23.8	10.6	13.6	2.9
65~69歳	1,045	0.4	0.4	1.6	1.7	2.4	14.2	7.8	17.0	26.2	13.3	13.1	1.8
70~74歳	1,154	0.2	0.3	0.9	2.3	2.6	15.3	9.6	18.6	24.3	12.1	12.0	1.8
75~79歳	1,316	0.2	0.5	0.5	2.6	2.6	17.9	10.4	16.9	23.0	9.0	13.2	3.0
80~84歳	1,183	0.4	0.1	0.9	2.5	3.3	18.2	9.0	15.1	22.1	9.8	14.5	4.0
85歳以上	739	0.3	0.4	0.8	2.3	3.0	18.8	8.4	13.5	23.8	8.5	15.8	4.3

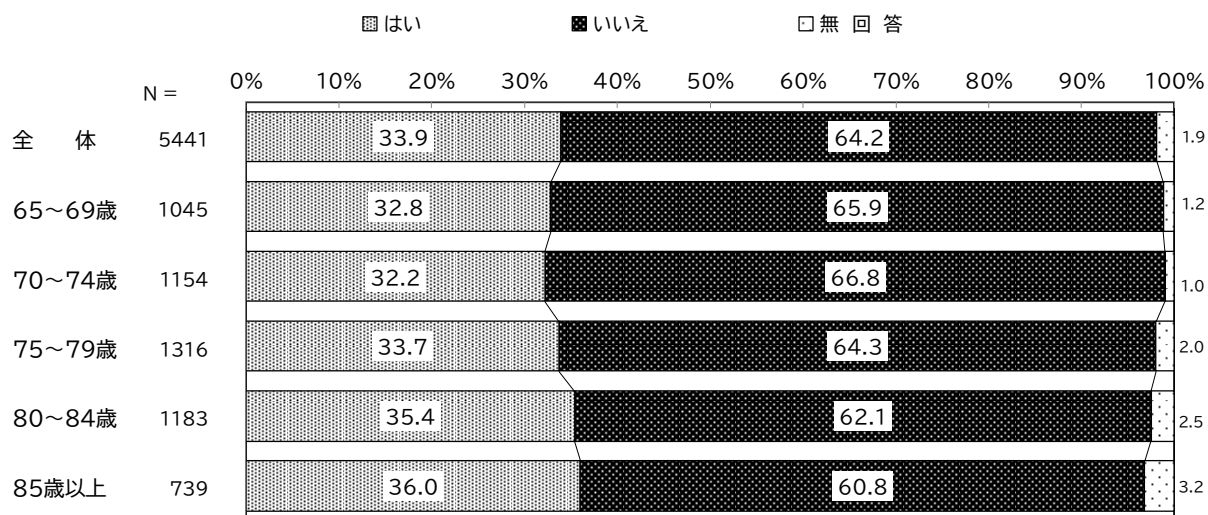
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は一つ)

【全 体】

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかどうかについては、「はい」が33.9%、「いいえ」が64.2%となっています。

【年齢別】

年代における違いはほとんどありません。



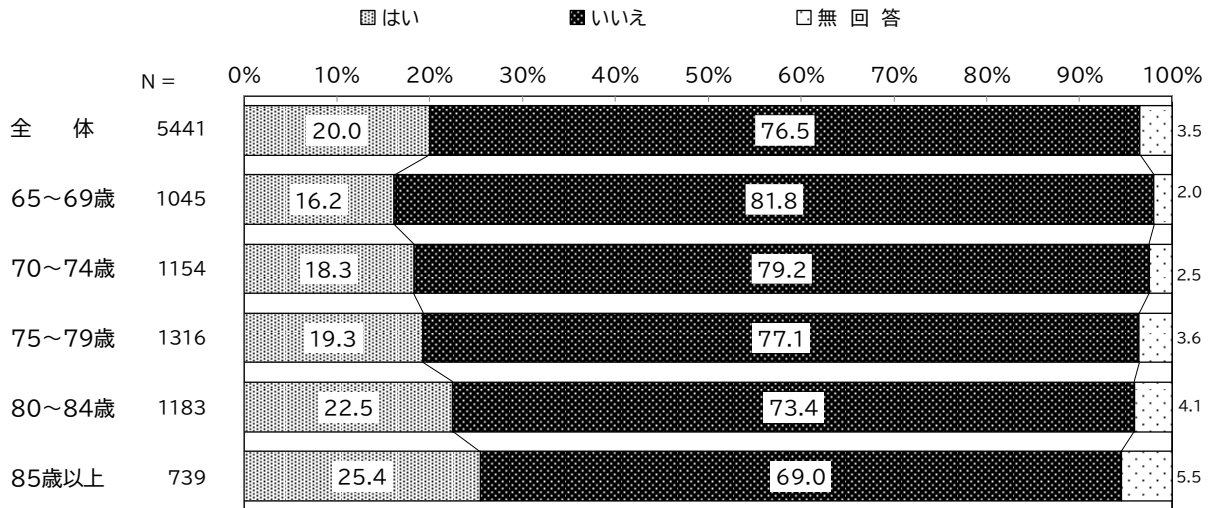
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は一つ)

【全 体】

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかどうかについては、「はい」が20.0%、「いいえ」が76.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」は高くなり、「85歳以上」で25.4%となっています。



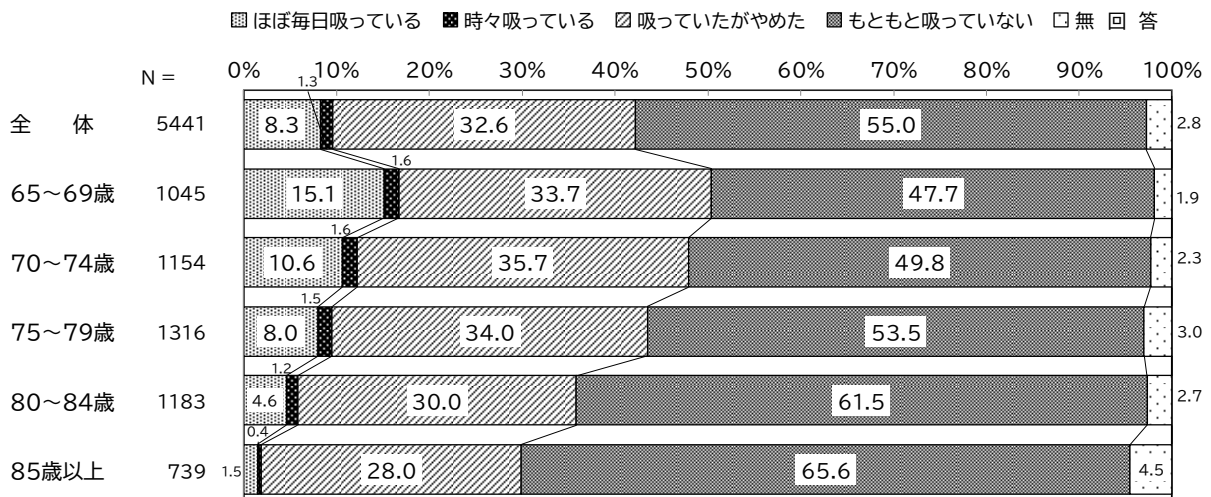
(5) タバコは吸っていますか (〇は一つ)

【全 体】

喫煙状況については、「ほぼ毎日吸っている」(8.3%)と「時々吸っている」(1.3%)を合わせた『吸っている』が9.6%、「吸っていたがやめた」(32.6%)と「もともと吸っていない」(55.0%)を合わせた『吸っていない』が87.6%となっており、『吸っていない』人の方が78.0ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢が下がるにつれて『吸っている』は高くなり、「65～69歳」で16.7%となっています。



(6) 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

【全 体】

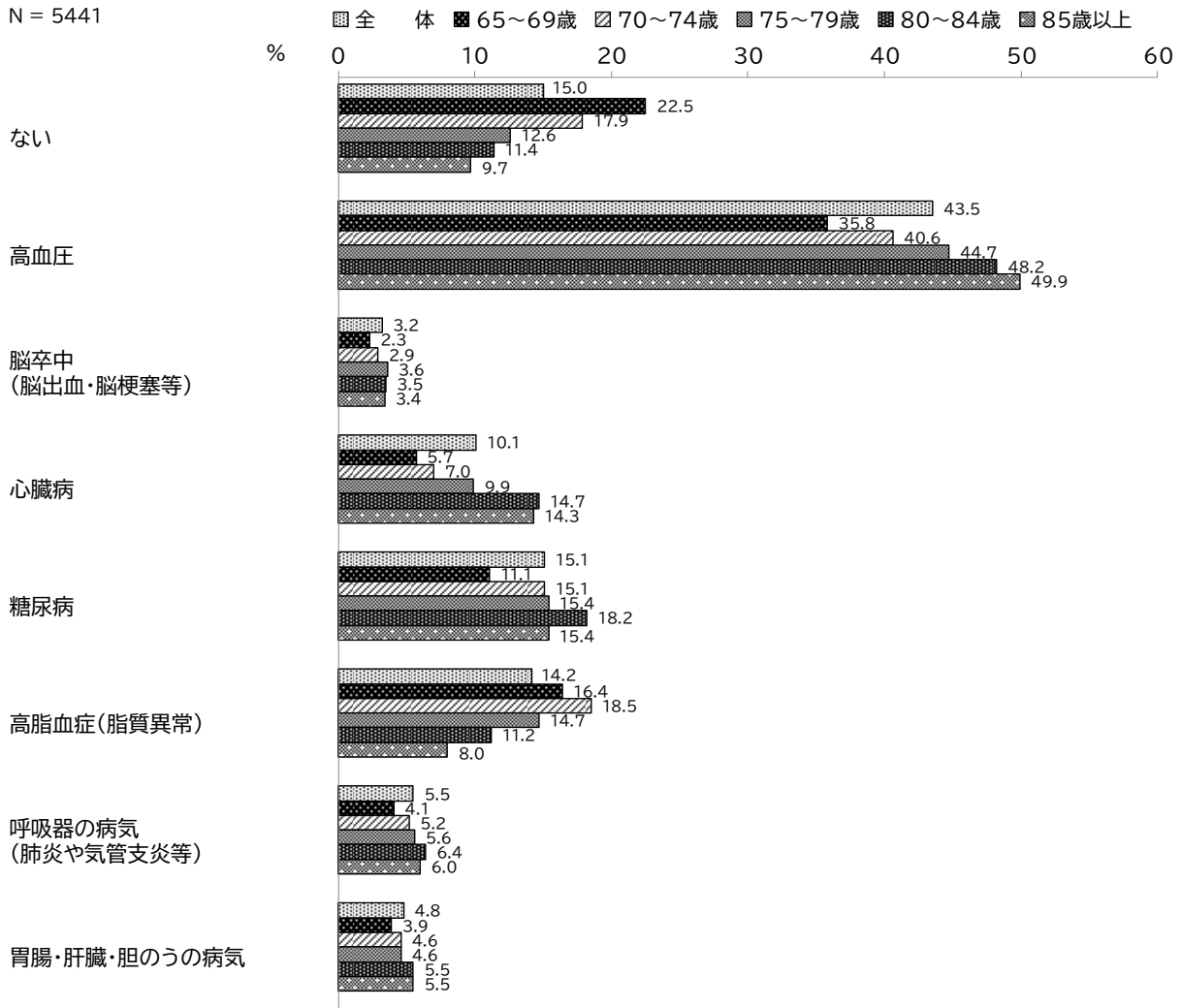
現在治療中、又は後遺症のある病気については、「高血圧」が43.5%と最も高く、次いで「目の病気」が15.7%、「糖尿病」が15.1%、「高脂血症(脂質異常)」が14.2%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が11.6%、「心臓病」が10.1%、「腎臓・前立腺の病気」が9.2%と続いています。

なお、「ない」は15.0%となっています。

【年齢別】

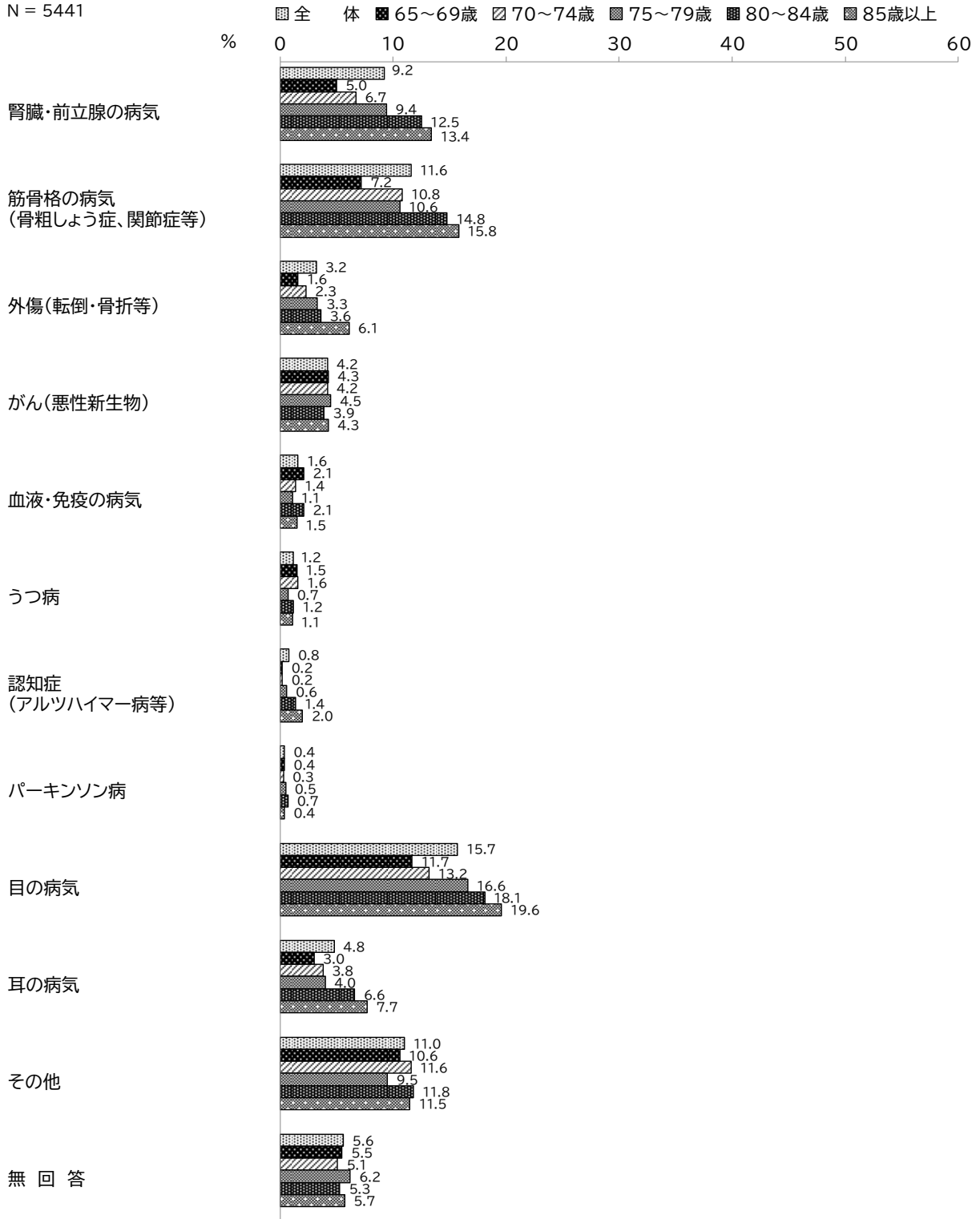
すべての年代で「高血圧」が最も高くなり、「85歳以上」で49.9%となっています。また、「高血圧」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「目の病気」は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向があります。一方、「高脂血症(脂質異常)」、「ない」は年齢が上がるにつれて低くなる傾向があります。

N = 5441



〈続き〉

N = 5441



問8 認知症について

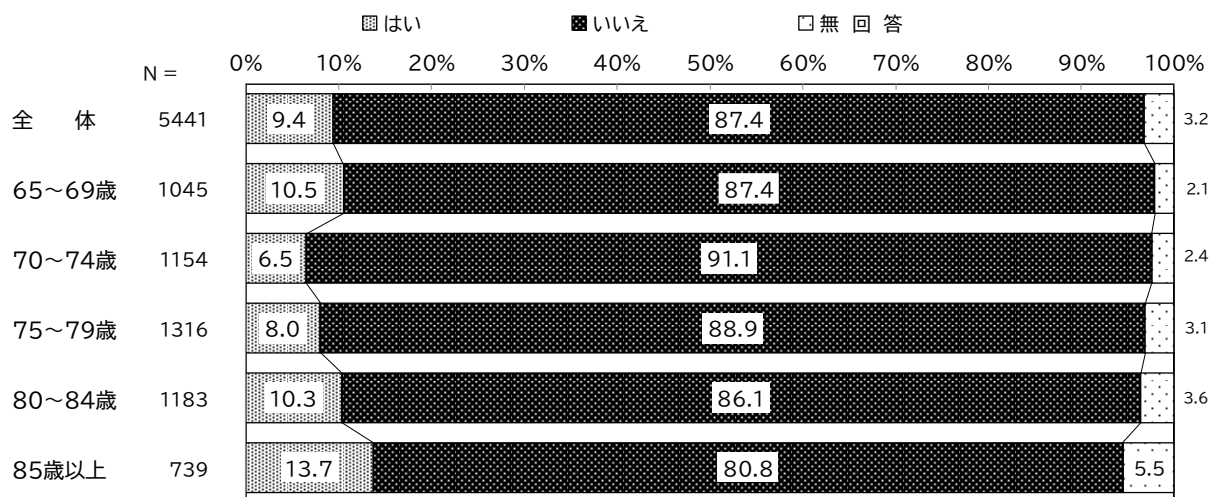
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は一つ)

【全 体】

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「はい」が9.4%、「いいえ」が87.4%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」、「65～69歳」、「80～84歳」では、「はい」がそれぞれ13.7%、10.5%、10.3%とやや高くなっています。また、「65～69歳」を除き、年代が上がるにつれて高くなっています。



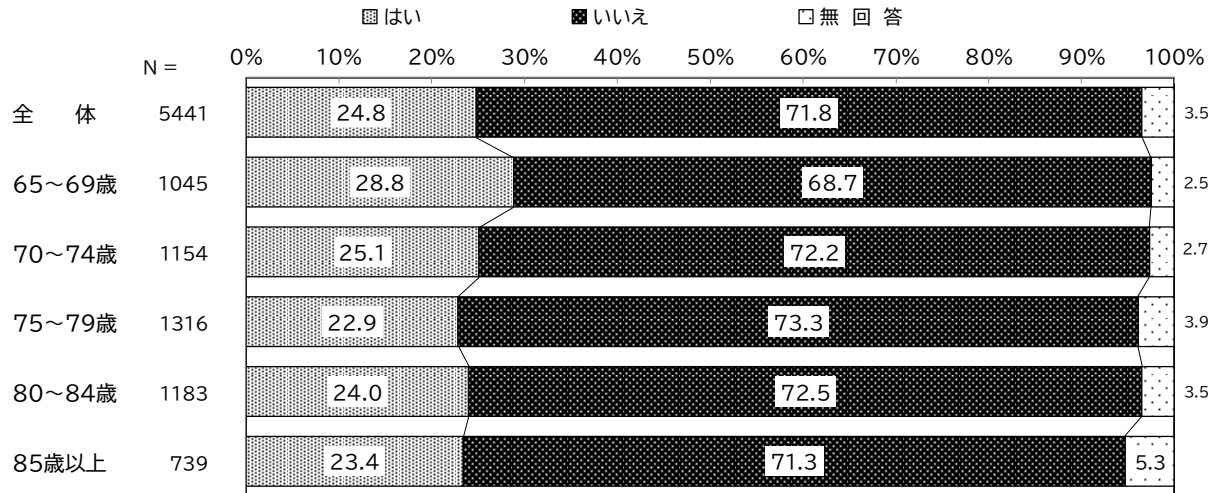
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は一つ)

【全 体】

認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が24.8%、「いいえ」が71.8%となっています。

【年齢別】

「いいえ」は、すべての年代で7割前後と高くなっています。



【性 別】

「男性」、「女性」とともに「いいえ」が高く、特に男性は76.8%と女性の67.5%を大きく上回っています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	はい	いいえ	無回答
男性	2464	497	1893	74
	100.0	20.2	76.8	3.0
女性	2973	852	2007	114
	100.0	28.7	67.5	3.8

(3) あなた自身やご家族などが認知症になった時、どこ(誰)に相談しますか。又はどこ(誰)に相談しましたか (〇はいくつでも)

【全 体】

自身や家族などが認知症になった時、どこ(誰)に相談又は相談するか(したか)については、「家族・親戚」が57.5%と最も高く、次いで「かかりつけ医」が35.6%、「認知症の専門医のいる病院」が25.8%、「高齢者相談センター」が20.2%、「市役所」が19.1%と続いています。

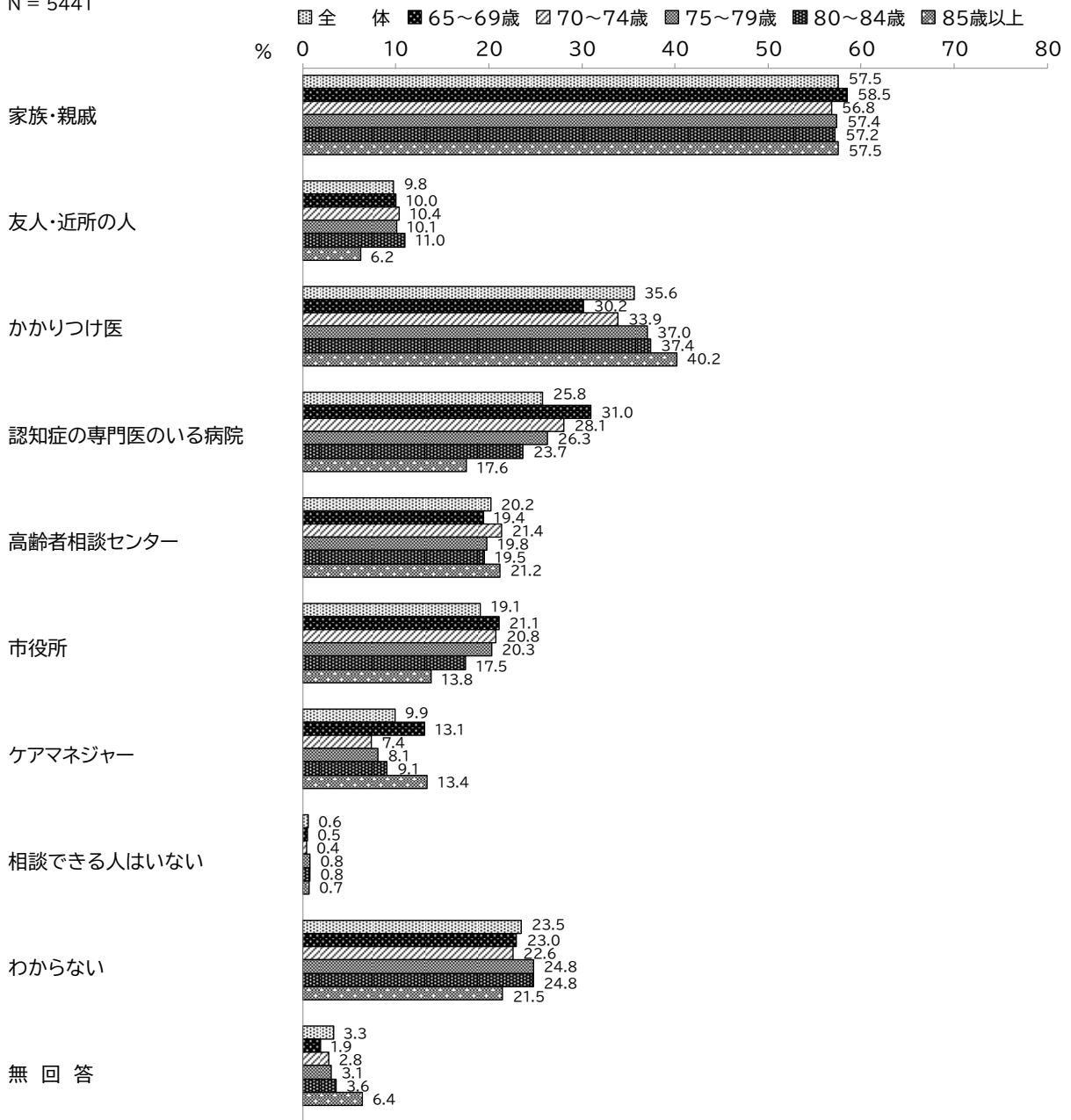
なお、「わからない」は23.5%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「家族・親戚」が5割を超え、最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「かかりつけ医」は高く、「85歳以上」で40.2%となっています。

一方、「わからない」はすべての年代で2割を超えています。

N = 5441



(4) 認知症について知っていることはありますか (〇はいくつでも)

【全 体】

認知症について知っていることについては、「認知症の症状 (記憶障害、妄想、見当識障害など)」が 39.5%と最も高く、次いで「認知症の原因となる病気 (アルツハイマー病など)」が 38.9%、「認知症における早期受診・治療を受けることの有効性」が 38.8%、「認知症の人が自宅での生活を続けられるよう支援するサービス」が 31.8%、「若年性認知症 (64 歳以下の人が発症する認知症)」が 27.8%と続いています。

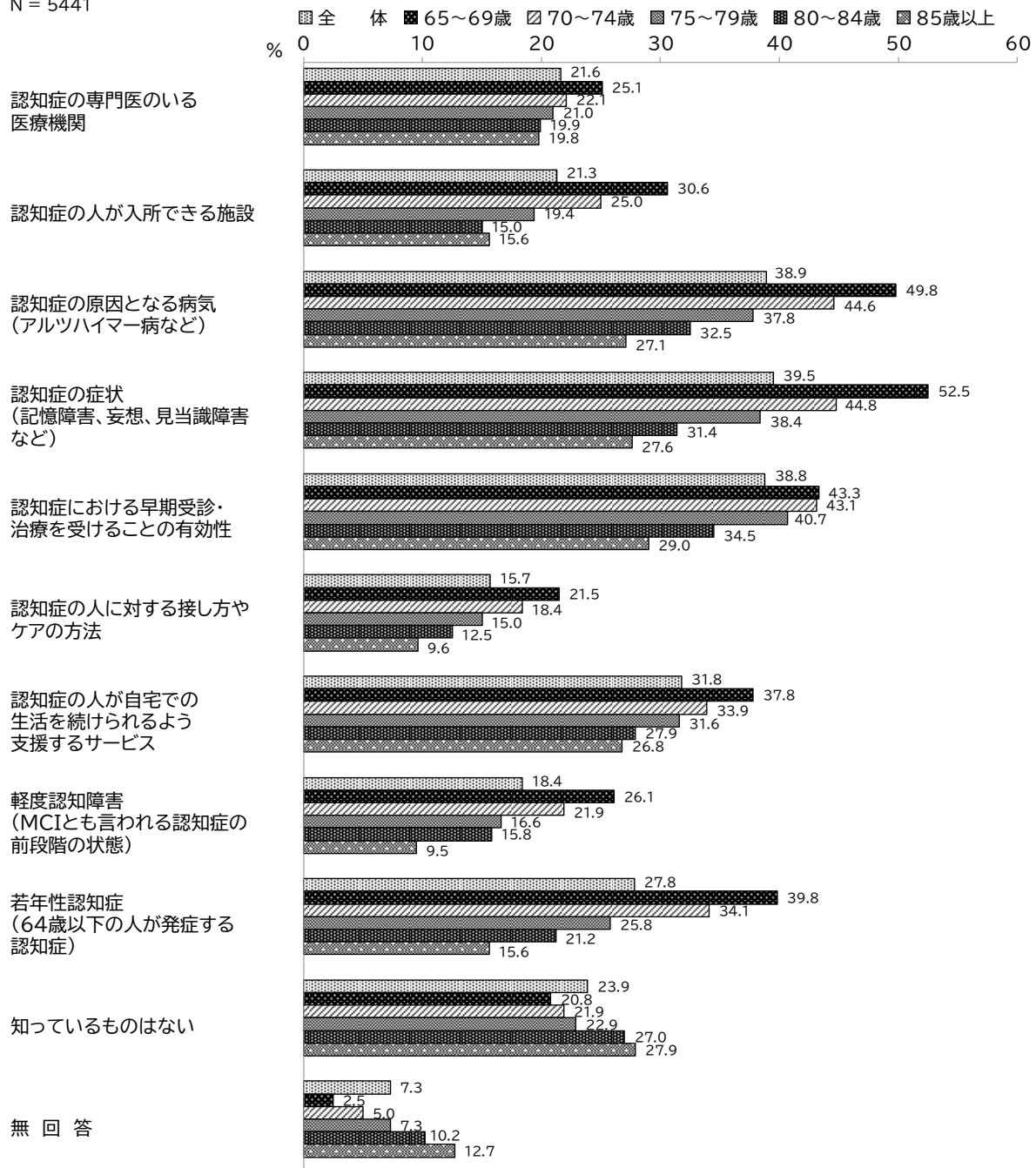
なお、「知っているものはない」は 23.9%となっています。

【年齢別】

すべての項目で「65～69 歳」が高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向となっています。

なお、「知っているものはない」は年齢が上がるにつれて高くなっています。

N = 5441



(5) あなたがもし認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか

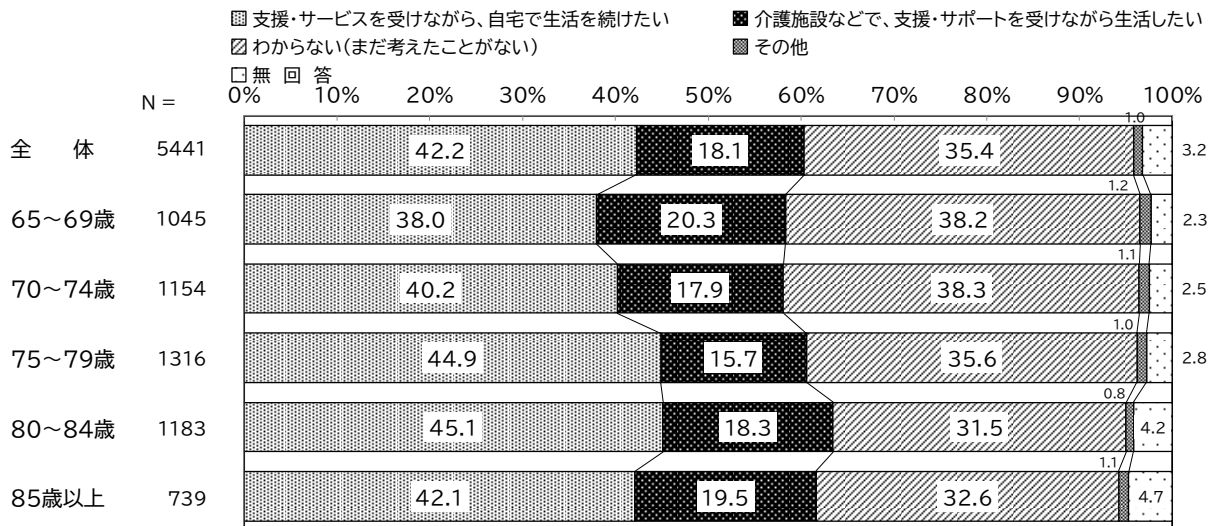
(○は一つ)

【全 体】

認知症になったら、どのように暮らしたいかについては、「支援・サービスを受けながら、自宅で生活を続けたい」が42.2%と最も高く、次いで「わからない(まだ考えたことがない)」が35.4%、「介護施設などで、支援・サポートを受けながら生活したい」が18.1%となっています。

【年齢別】

「支援・サービスを受けながら、自宅で生活を続けたい」は、「65～69歳」を除くすべての年代で4割を超え高くなっています。一方、「わからない(まだ考えたことがない)」は、すべての年代で3割を超えており、特に「65～69歳」、「70～74歳」ではそれぞれ38.2%、38.3%とやや高くなっています。



(6) 認知症支援として必要と感じるものがありますか (〇はいくつでも)

【全 体】

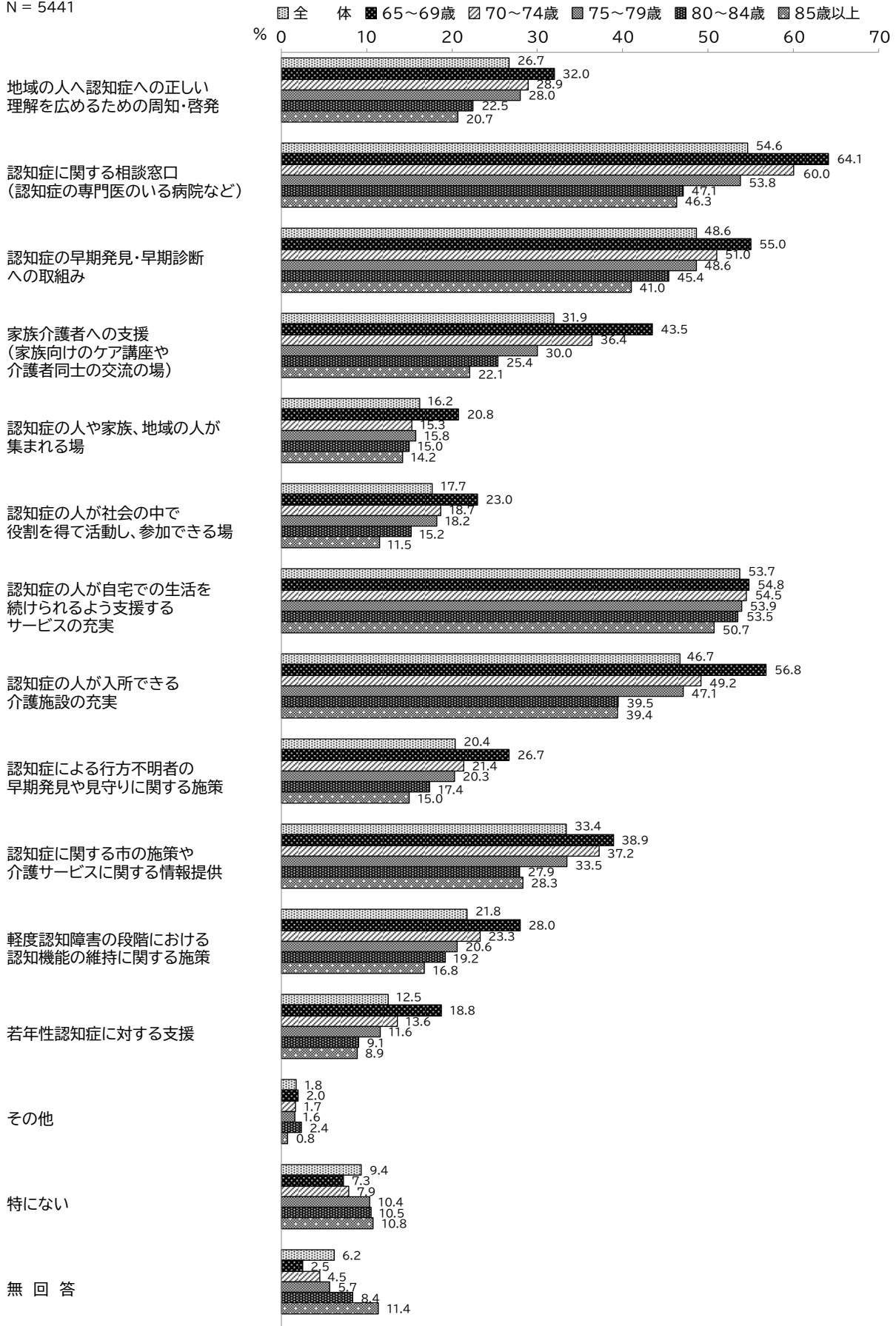
認知症支援として必要と感じるものについては、「認知症に関する相談窓口（認知症の専門医のいる病院など）」が54.6%と最も高く、次いで「認知症の人が自宅での生活を続けられるよう支援するサービスの充実」が53.7%、「認知症の早期発見・早期診断への取組み」が48.6%、「認知症の人が入所できる介護施設の充実」が46.7%、「認知症に関する市の施策や介護サービスに関する情報提供」が33.4%、「家族介護者への支援（家族向けのケア講座や介護者同士の交流の場）」が31.9%と続いています。

【年齢別】

すべての項目で「65～69歳」が高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向となっています。

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

N = 5441



問9 成年後見制度の把握について

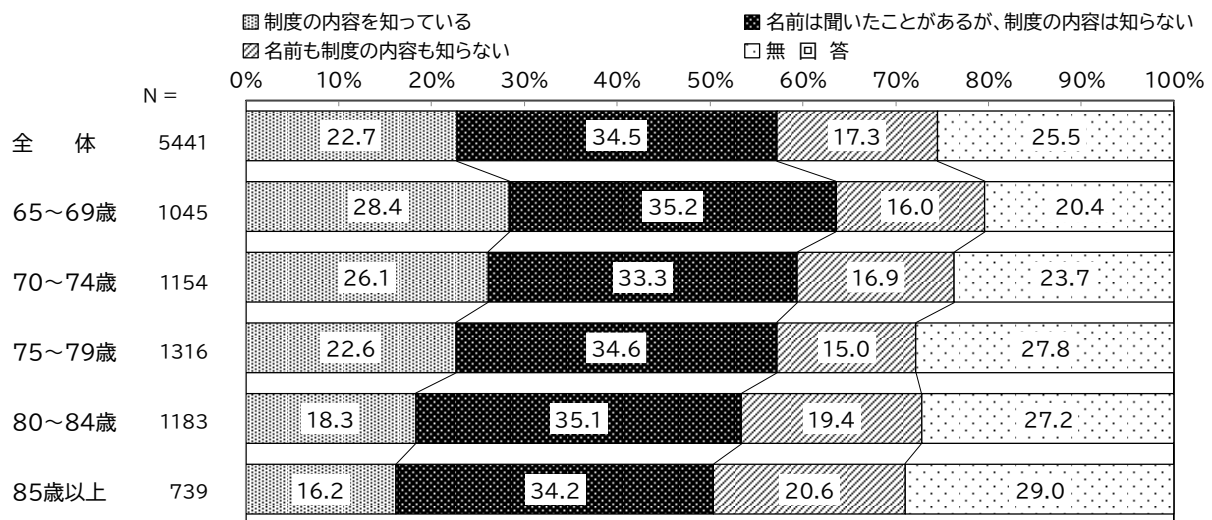
(1) 成年後見制度について知っていますか (〇は一つ)

【全 体】

成年後見制度の認知度については、「制度の内容を知っている」が22.7%、「名前は聞いたことがあるが、制度の内容は知らない」が34.5%、「名前も制度の内容も知らない」が17.3%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「制度の内容を知っている」が低くなり、「85歳以上」で16.2%となっています。



【家族構成別】

「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」では、「名前も制度の内容も知らない」が23.6%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	制度の内容を知っている	名前は聞いたことがあるが、 制度の内容は知らない	名前も制度の内容も 知らない	無回答
1人暮らし	1097	246	342	201	308
	100.0	22.4	31.2	18.3	28.1
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2236	487	801	362	586
	100.0	21.8	35.8	16.2	26.2
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	250	53	84	59	54
	100.0	21.2	33.6	23.6	21.6
息子・娘との2世帯	1369	336	484	234	315
	100.0	24.5	35.4	17.1	23.0
その他	400	97	133	68	102
	100.0	24.3	33.3	17.0	25.5
無 回 答	89	14	32	19	24
	100.0	15.7	36.0	21.3	27.0

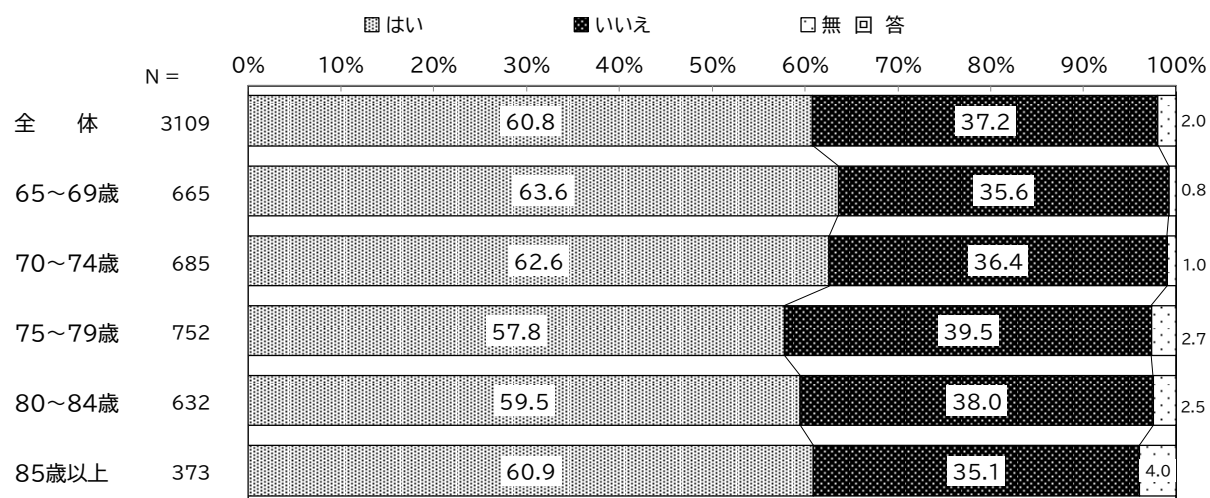
(1)① (1)で「1. 制度の内容を知っている」、「2. 名前は聞いたことがあるが、制度の内容は知らない」と回答した方にお伺いします。あなたやあなたの家族・知人が次のような状態になった時、成年後見制度を「利用したい」あるいは「利用を勧めたい」と思いますか (〇はいくつでも)

【全 体】

自分や家族・知人がどのような状態になった時、成年後見制度を「利用したい」あるいは「利用を勧めたい」と思うかどうかについては、「はい」が60.8%、「いいえ」が37.2%となっています。

【年齢別】

「はい」は、「65～69歳」、「70～74歳」でそれぞれ63.6%、62.6%とやや高くなっています。



(1)①-1 (1)①で「1. はい」と回答した方にお伺いします。どんな時に、「利用したい」あるいは「利用を勧めたい」と思いますか（〇はいくつでも）

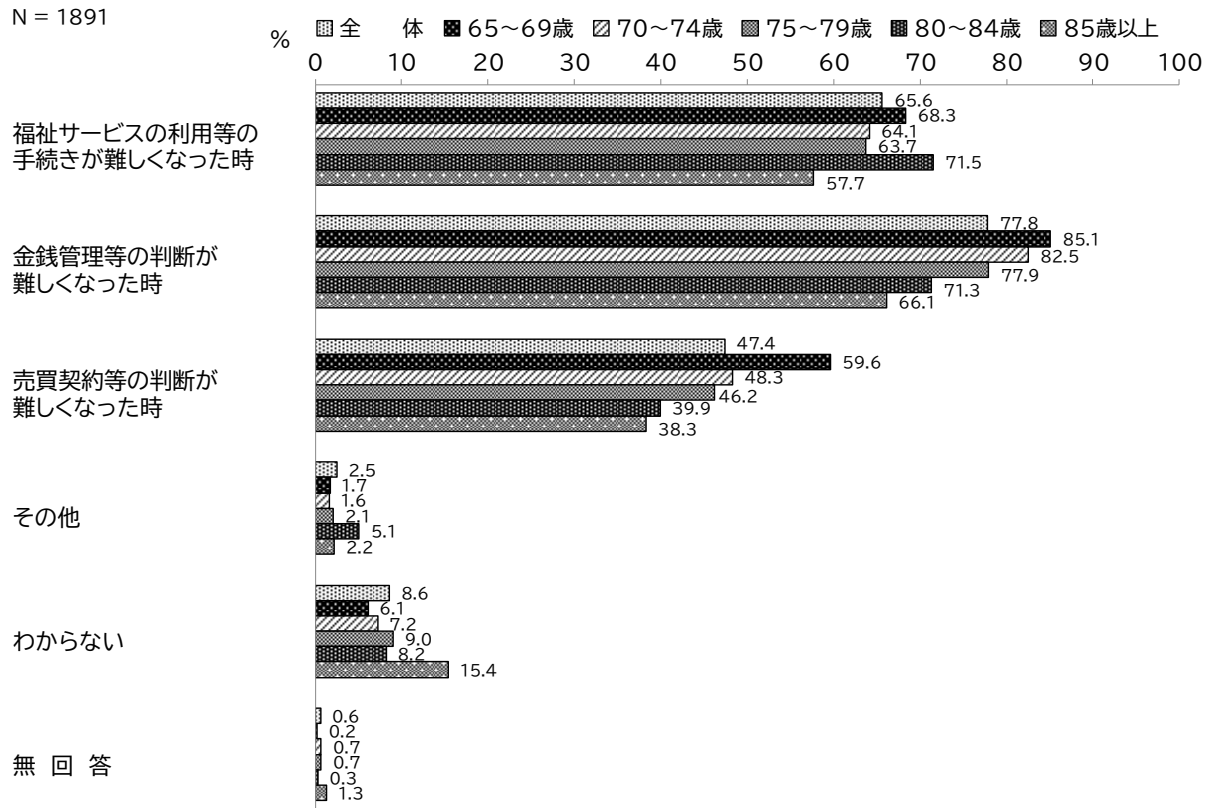
【全 体】

どんな時に、成年後見制度を「利用したい」あるいは「利用を勧めたい」と思うかどうかについては、「金銭管理等の判断が難しくなった時」が77.8%と最も高く、次いで「福祉サービスの利用等の手続きが難しくなった時」が65.6%、「売買契約等の判断が難しくなった時」が47.4%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて、「金銭管理等の判断が難しくなった時」、「売買契約等の判断が難しくなった時」が低くなっており、「85歳以上」でそれぞれ66.1%、38.3%となっています。また、「福祉サービスの利用等の手続きが難しくなった時」は、「80～84歳」で71.5%と高くなっています。

N = 1891



問10 在宅医療について

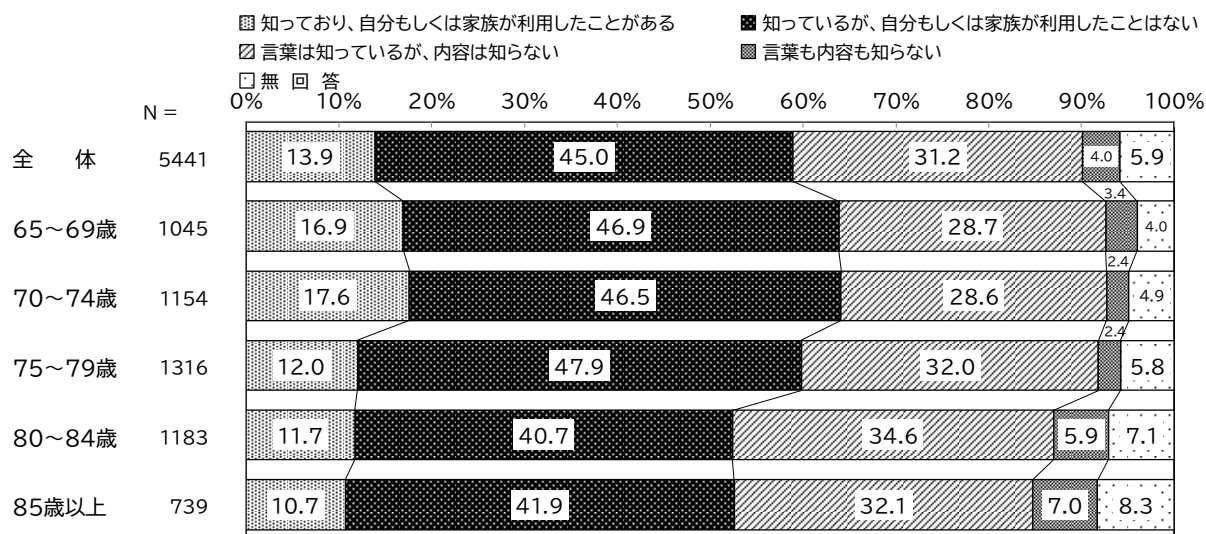
(1) 在宅医療について知っていますか (〇は一つ)

【全 体】

在宅医療の認知度については、「知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない」が45.0%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容は知らない」が31.2%、「知っており、自分もしくは家族が利用したことがある」が13.9%、「言葉も内容も知らない」が4.0%となっています。

【年齢別】

「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『内容は知らない』は、「80～84歳」、「85歳以上」で高く、それぞれ40.5%、39.1%となっています。



【介護度別】

「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『内容は知らない』は、「要支援1」で39.9%と他の区分と比較してやや高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	知っており、自分もしくは家族が利用したことがある	知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	無回答
一般高齢者	5,080	698	2,313	1,584	195	290
	100.0	13.7	45.5	31.2	3.8	5.7
要支援1	183	31	62	60	13	17
	100.0	16.9	33.9	32.8	7.1	9.3
要支援2	174	26	74	53	9	12
	100.0	14.9	42.5	30.5	5.2	6.9

【性別】

「男性」で、「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『知らない』は41.0%と「女性」の30.4%を大きく上回っています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	知っており、 自分もしくは 家族が利用した ことがある	知っているが、 自分もしくは 家族が利用した ことはない	言葉は 知っているが、 内容は知らない	言葉も内容も 知らない	無回答
男性	2464	270	1051	882	128	133
	100.0	11.0	42.7	35.8	5.2	5.4
女性	2973	485	1398	815	89	186
	100.0	16.3	47.0	27.4	3.0	6.3

(2) 在宅で医療・介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか

(〇はいくつでも)

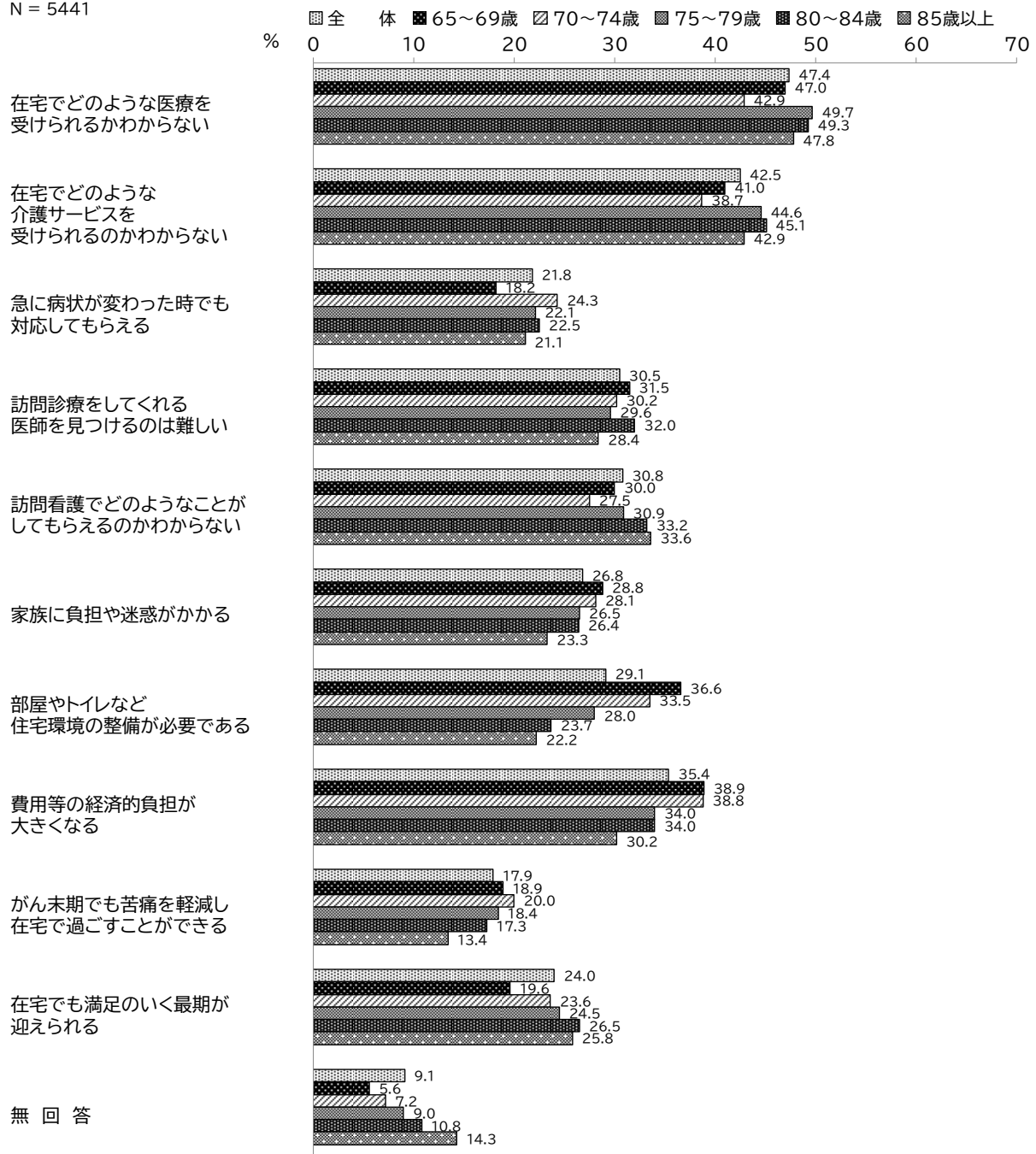
【全 体】

在宅で医療・介護を受けるイメージについては、「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」が47.4%と最も高く、次いで「在宅でどのような介護サービスを受けられるかわからない」が42.5%、「費用等の経済的負担が大きくなる」が35.4%、「訪問看護でどのようなことがしてもらえるかわからない」が30.8%、「訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい」が30.5%と続いています。

【年齢別】

すべての年代で「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」が最も高くなっています。また、「65～69歳」、「70～74歳」で、「費用等の経済的負担が大きくなる」がそれぞれ38.9%、38.8%とやや高くなっています。年代が下がるにつれて、「部屋やトイレなど住宅環境の整備が必要である」が高く、「65～69歳」で36.6%となっています。

N = 5441



【性別】

「男性」では、「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」が53.0%、「在宅でどのような介護のサービス利用ができるかわからない」が47.0%と女性より高くなっています。一方、「女性」では「急に病状が変わった時でも対応してもらえる」が24.9%と男性より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	在宅でどのような医療を受けられるかわからない	在宅でどのような介護のサービス利用ができるかわからない	急に病状が変わった時でも対応してもらえる	訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい	訪問看護でどのようなことができるかわからない
男性	2464	1306	1158	442	761	834
	100.0	53.0	47.0	17.9	30.9	33.8
女性	2973	1270	1154	741	895	844
	100.0	42.7	38.8	24.9	30.1	28.4

	家族に負担や迷惑がかかる	部屋やトイレなど住宅環境の整備が必要である	費用等の経済的負担が大きくなる	がん末期でも苦痛を軽減し在宅で過ごすことができる	在宅でも満足 of いく最期を迎えられる	無回答
男性	639	716	924	370	538	199
	25.9	29.1	37.5	15.0	21.8	8.1
女性	819	866	1002	605	767	296
	27.5	29.1	33.7	20.3	25.8	10.0

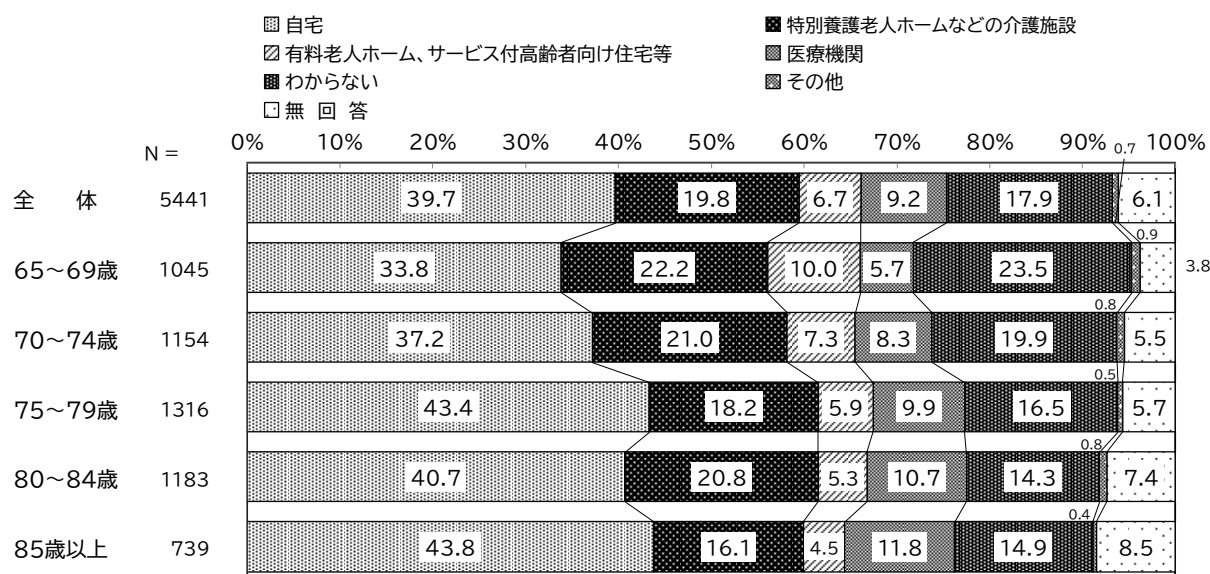
(3) あなたが加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいですか
(○は一つ)

【全 体】

加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、過ごしたい場所については、「自宅」が39.7%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設」が19.8%、「医療機関」が9.2%、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等」が6.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「自宅」が高くなる傾向で、「85歳以上」で43.8%となっています。一方、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等」は年齢が上がるにつれて低く、「85歳以上」で4.5%となっています。



【性 別】

「男性」、「女性」とともに「自宅」が最も高くなっていますが、「男性」が46.4%と「女性」の34.1%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等	医療機関	わからない	その他	無回答
男性	2464	1144	428	161	193	386	16	136
	100.0	46.4	17.4	6.5	7.8	15.7	0.6	5.5
女性	2973	1014	650	201	306	586	22	194
	100.0	34.1	21.9	6.8	10.3	19.7	0.7	6.5

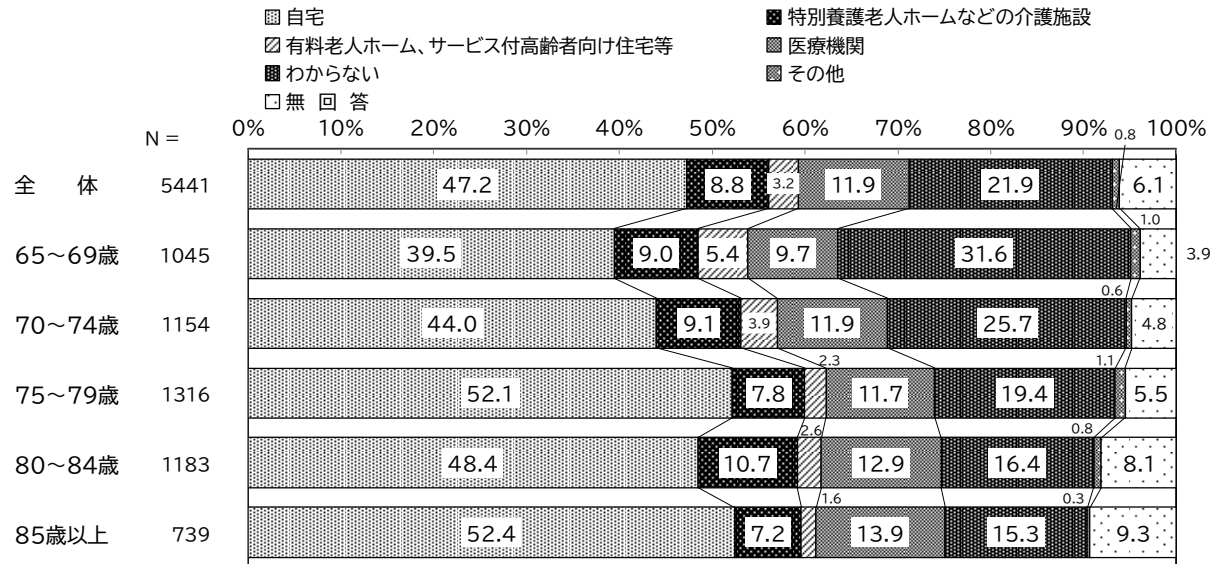
(4) 人生の最期をどこで迎えたいですか (〇は一つ)

【全 体】

人生の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が47.2%と最も高く、次いで「医療機関」が11.9%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が8.8%、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等」が3.2%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「自宅」が高くなる傾向で、「85歳以上」で52.4%となっています。



【性 別】

「男性」、「女性」とともに「自宅」が最も高くなっていますが、「男性」が54.9%と「女性」の40.9%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	自宅	特別養護老人ホーム などの介護施設	有料老人ホーム、 サービス付 高齢者向け住宅等	医療機関	わからない	その他	無回答
男性	2464	1352	167	72	235	484	17	137
	100.0	54.9	6.8	2.9	9.5	19.6	0.7	5.6
女性	2973	1215	314	102	413	705	27	197
	100.0	40.9	10.6	3.4	13.9	23.7	0.9	6.6

【家族構成別】

すべての家族構成で、「自宅」が最も高くなっていますが、「1人暮らし」では32.9%と低くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	自宅	特別養護老人ホーム などの介護施設	有料老人ホーム、 サービス付高齢者 向け住宅等	医療 機関	わから ない	その他	無回答
1人暮らし	1097	361	246	77	111	210	6	86
	100.0	32.9	22.4	7.0	10.1	19.1	0.5	7.8
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2236	922	454	173	172	374	14	127
	100.0	41.2	20.3	7.7	7.7	16.7	0.6	5.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	250	100	50	17	19	49	2	13
	100.0	40.0	20.0	6.8	7.6	19.6	0.8	5.2
息子・娘との2世帯	1369	587	240	67	150	246	11	68
	100.0	42.9	17.5	4.9	11.0	18.0	0.8	5.0
その他	400	156	73	25	38	77	6	25
	100.0	39.0	18.3	6.3	9.5	19.3	1.5	6.3
無 回 答	89	33	15	5	9	16	-	11
	100.0	37.1	16.9	5.6	10.1	18.0	-	12.4

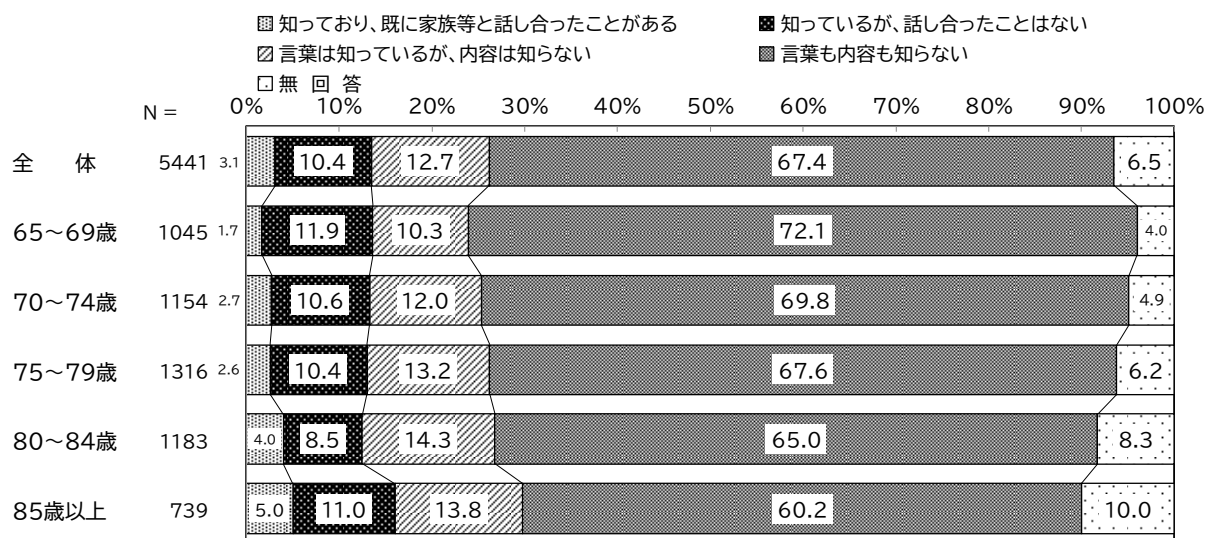
(5) 『人生会議(ACP)』について知っていますか (〇は一つ)

【全 体】

人生会議(ACP)の認知度及び実践度については、「言葉も内容も知らない」が67.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容は知らない」が12.7%、「知っているが、話し合ったことはない」が10.4%、「知っており、既に家族等と話し合ったことがある」が3.1%となっています。

【年齢別】

すべての年代で、「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『知らない』は、7～8割強と高くなっています。



【家族構成別】

すべての家族構成で、「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『知らない』は、7～8割強と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	知っており、既に家族等と話し合ったことがある	知っているが、話し合ったことはない	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	無回答
1人暮らし	1097	43	126	133	706	89
	100.0	3.9	11.5	12.1	64.4	8.1
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2236	67	222	300	1516	131
	100.0	3.0	9.9	13.4	67.8	5.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	250	3	25	29	179	14
	100.0	1.2	10.0	11.6	71.6	5.6
息子・娘との2世帯	1369	42	137	172	938	80
	100.0	3.1	10.0	12.6	68.5	5.8
その他	400	10	43	45	275	27
	100.0	2.5	10.8	11.3	68.8	6.8
無 回 答	89	2	11	13	52	11
	100.0	2.2	12.4	14.6	58.4	12.4

問11 介護予防について

(1) 市の介護予防事業で知っているものはありますか (〇はいくつでも)

【全 体】

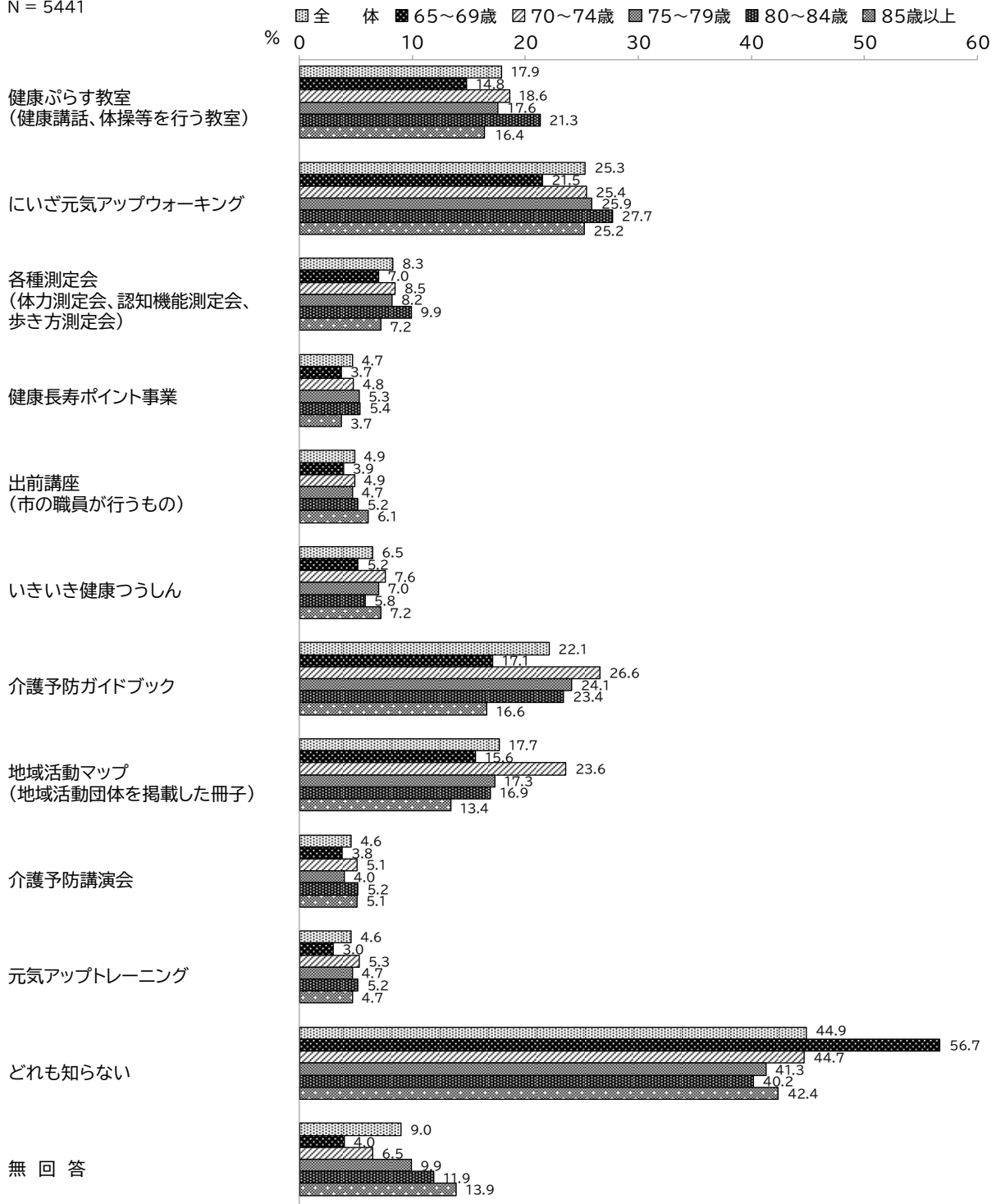
知っている市の介護予防事業については、「にいぎ元気アップウォーキング」が25.3%と最も高く、次いで「介護予防ガイドブック」が22.1%、「健康ぷらす教室(健康講話、体操等を行う教室)」が17.9%、「地域活動マップ」が17.7%と続いています。

なお、「どれも知らない」は44.9%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「どれも知らない」が高く、「65～69歳」では56.7%となっています。

N = 5441



【性別】

「どれも知らない」を除くすべての項目で、「女性」が「男性」より高く、特に「健康ぷらす教室」が23.9%、「にいき元気アップウォーキング」が30.5%と「男性」を大きく上回っています。

一方、「どれも知らない」は、「男性」が55.6%と「女性」を大きく上回っています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	健康ぷらす教室	にいき元気アップ ウォーキング	各種測定会	健康長寿ポイント事業	出前講座
男性	2464	262	466	163	77	91
	100.0	10.6	18.9	6.6	3.1	3.7
女性	2973	712	907	286	178	175
	100.0	23.9	30.5	9.6	6.0	5.9

	いきいき 健康つうしん	介護予防 ガイドブック	地域活動マップ	介護予防 講演会	元気アップ トレーニング	どれも知らない	無回答
男性	137	439	361	73	86	1371	197
	5.6	17.8	14.7	3.0	3.5	55.6	8.0
女性	219	764	601	178	164	1070	294
	7.4	25.7	20.2	6.0	5.5	36.0	9.9

(2) 次の項目の中で、手助けして欲しいことはありますか (〇はいくつでも)

【全 体】

日常的に困っていることについては、「家の中の簡単な修理や電球交換など」が10.5%と最も高く、次いで「健康等に関して助言をもらえる場の提供(病院以外)」が10.3%、「草取り・庭木の剪定」が9.6%と続いています。

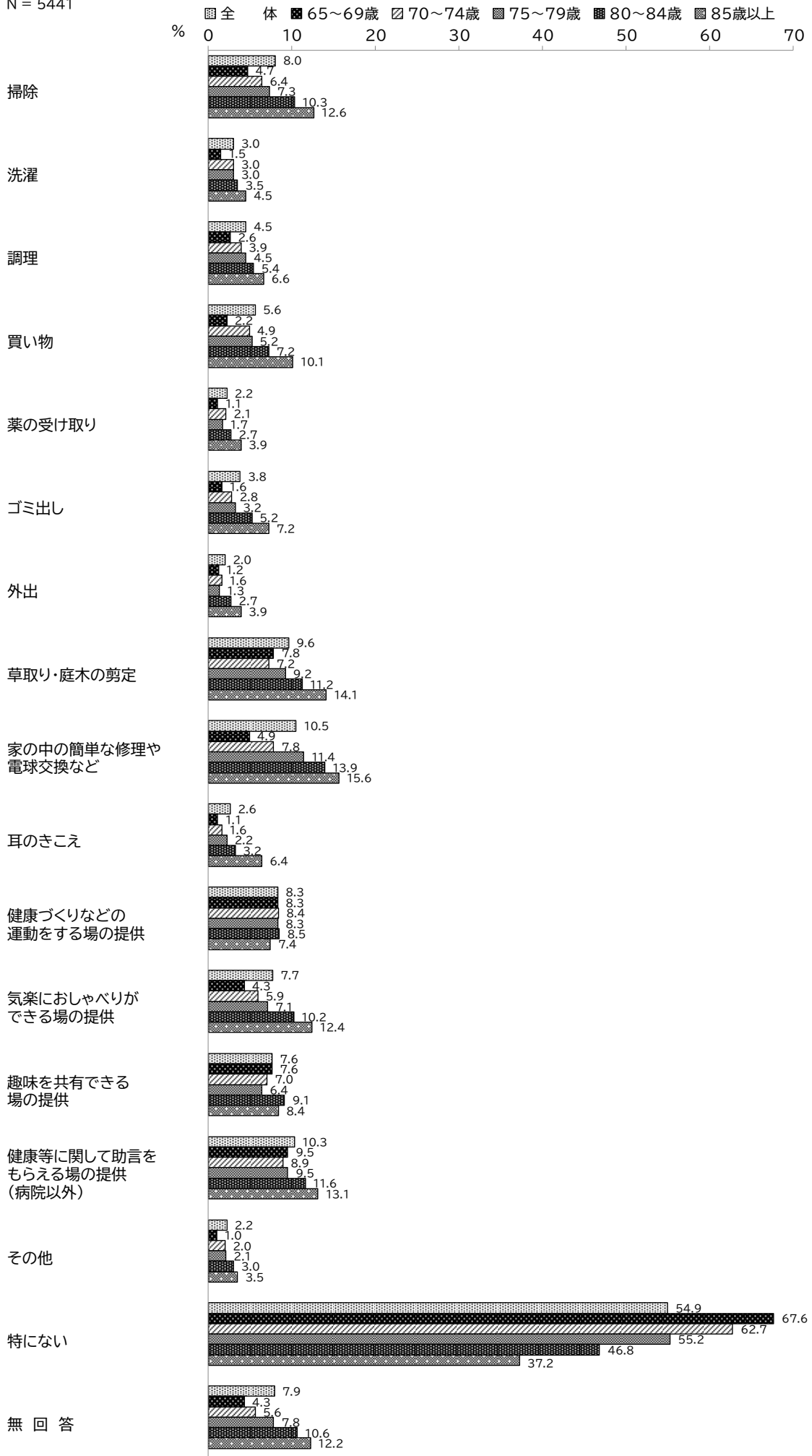
なお、「特にない」が54.9%となっています。

【年齢別】

「健康づくりなどの運動をする場の提供」、「趣味を共有できる場の提供」を除くすべての項目で、「85歳以上」が高くなっています。

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

N = 5441



【性別】

「男性」、「女性」ともに「特にない」がそれぞれ 59.9%、50.7%と最も高くなっています。また、「女性」では「家の中の簡単な修理や電球交換など」が 13.9%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	掃除	洗濯	調理	買い物	薬の 受け取り	ゴミ出し	外出	草取り・ 庭木の剪定	家の中の簡単な 修理や電球交換 など
男性	2464	182	103	146	125	61	88	37	203	157
	100.0	7.4	4.2	5.9	5.1	2.5	3.6	1.5	8.2	6.4
女性	2973	252	61	98	182	59	118	73	319	413
	100.0	8.5	2.1	3.3	6.1	2.0	4.0	2.5	10.7	13.9

耳の きこえ	健康づくりなどの 運動をする場の 提供	気楽に おしゃべりが できる場の提供	趣味を 共有できる 場の提供	健康等に関して 助言をもらえる 場の提供(病院以外)	その他	特にない	無回答
82	176	132	187	222	52	1476	176
3.3	7.1	5.4	7.6	9.0	2.1	59.9	7.1
61	273	288	227	339	69	1508	252
2.1	9.2	9.7	7.6	11.4	2.3	50.7	8.5

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【圏域別】

圏域による大きな違いはありません。

(単位 上段：人、下段：%)

		全体	掃除	洗濯	調理	買い物	薬の 受け取り	ゴミ 出し	外出	草取り・ 庭木の剪定	家の中の簡単な 修理や電球交換 など
東部第一		790	73	29	34	46	27	40	17	107	92
		100.0	9.2	3.7	4.3	5.8	3.4	5.1	2.2	13.5	11.6
東部第二		853	76	33	41	54	22	30	20	87	88
		100.0	8.9	3.9	4.8	6.3	2.6	3.5	2.3	10.2	10.3
西部	西部	556	36	11	25	23	6	16	3	48	52
		100.0	6.5	2.0	4.5	4.1	1.1	2.9	0.5	8.6	9.4
	西堀・新堀	537	37	14	21	31	15	19	13	49	63
		100.0	6.9	2.6	3.9	5.8	2.8	3.5	2.4	9.1	11.7
南部		822	64	20	41	48	17	33	18	93	95
		100.0	7.8	2.4	5.0	5.8	2.1	4.0	2.2	11.3	11.6
北部第一	東・東北	451	29	12	19	13	3	18	7	30	40
		100.0	6.4	2.7	4.2	2.9	0.7	4.0	1.6	6.7	8.9
	野火止 五～八丁目	608	49	21	30	38	14	20	15	51	55
		100.0	8.1	3.5	4.9	6.3	2.3	3.3	2.5	8.4	9.0
北部第二		820	70	24	33	54	16	30	17	57	85
		100.0	8.5	2.9	4.0	6.6	2.0	3.7	2.1	7.0	10.4

		耳の きこえ	健康づくり などの運動 をする場の 提供	気楽に おしゃべりが できる場の提供	趣味を 共有できる 場の提供	健康等に関して 助言をもらえる 場の提供 (病院以外)	その他	特になし	無回答
東部第一		25	67	67	65	80	26	416	61
		3.2	8.5	8.5	8.2	10.1	3.3	52.7	7.7
東部第二		26	65	50	59	85	23	457	73
		3.0	7.6	5.9	6.9	10.0	2.7	53.6	8.6
西部	西部	13	49	48	35	53	13	304	57
		2.3	8.8	8.6	6.3	9.5	2.3	54.7	10.3
	西堀・新堀	13	52	49	40	59	8	296	40
		2.4	9.7	9.1	7.4	11.0	1.5	55.1	7.4
南部		20	67	65	61	79	15	449	60
		2.4	8.2	7.9	7.4	9.6	1.8	54.6	7.3
北部第一	東・東北	11	42	31	43	46	8	260	34
		2.4	9.3	6.9	9.5	10.2	1.8	57.6	7.5
	野火止 五～八丁目	13	52	49	56	70	11	330	42
		2.1	8.6	8.1	9.2	11.5	1.8	54.3	6.9
北部第二		22	55	61	55	89	17	472	61
		2.7	6.7	7.4	6.7	10.9	2.1	57.6	7.4

問 12 介護保険制度について

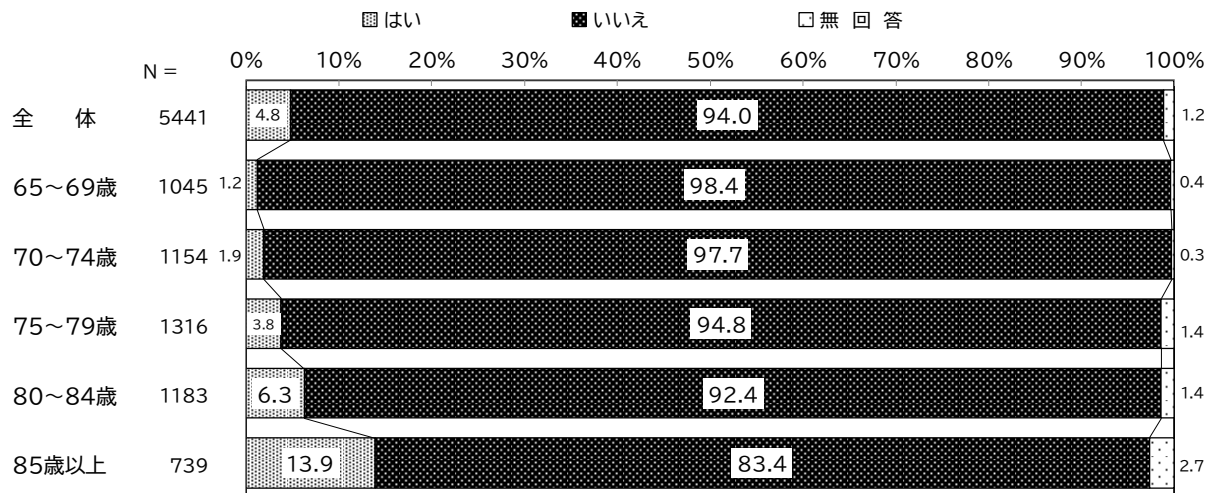
(1) 現在介護保険サービスを利用していますか (〇は一つ)

【全 体】

現在の介護保険サービスの利用状況については、「はい」が4.8%、「いいえ」が94.0%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で13.9%となっています。



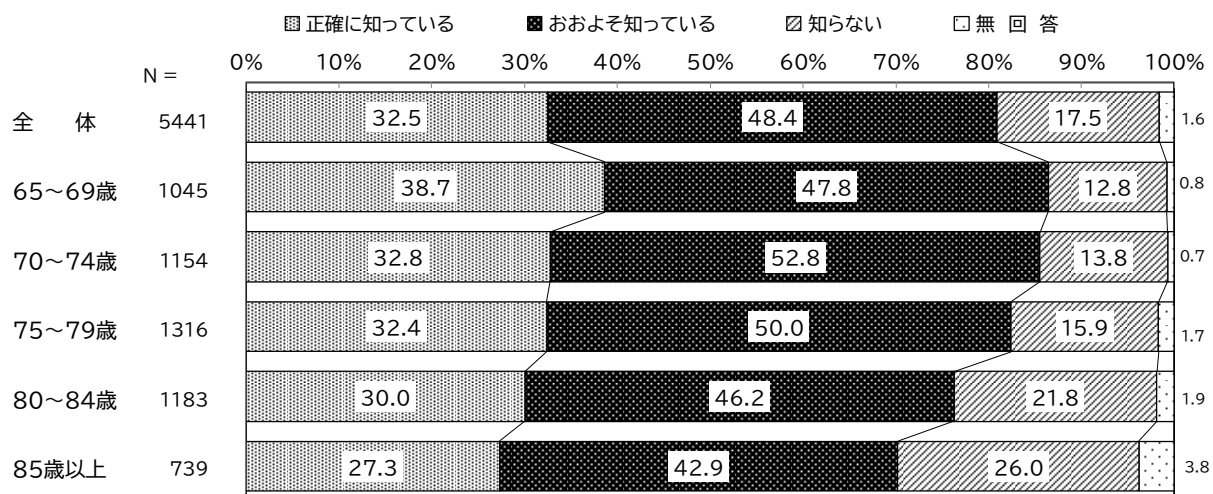
(2) あなたは、現在負担している介護保険料がいくらか知っていますか (〇は一つ)

【全 体】

現在負担している介護保険料を知っているかどうかについては、「正確に知っている」が32.5%、「おおよそ知っている」が48.4%、「知らない」が17.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「知らない」が高くなり、「85歳以上」で26.0%となっています。



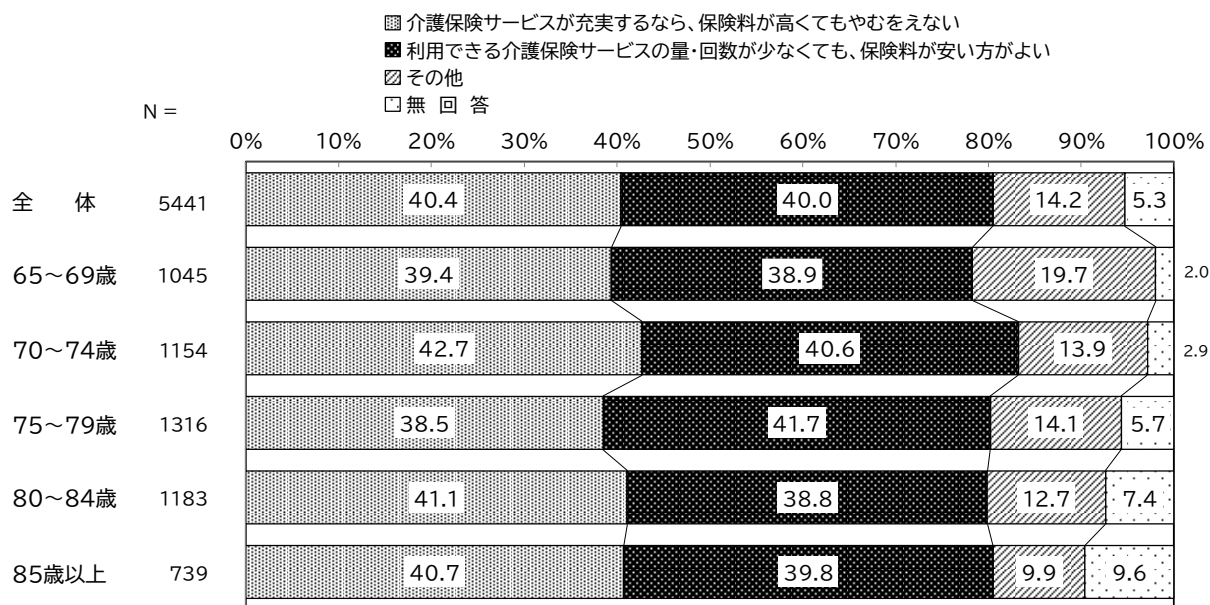
(3) 介護保険サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか(○は一つ)

【全 体】

介護保険サービスと介護保険料の関係についての考えについては、「介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてもやむをえない」が40.4%、「利用できる介護保険サービスの量・回数が少なくても、保険料が安い方がよい」が40.0%となっています。

【年齢別】

年代における違いはほとんどありません。



生活機能評価等について

本調査の設問項目は、「老研式活動能力指標」など、高齢者の生活機能等の状況を判定する項目が含まれています。これらの指標をもとに、生活機能等の分析を行います。

【生活機能評価について】

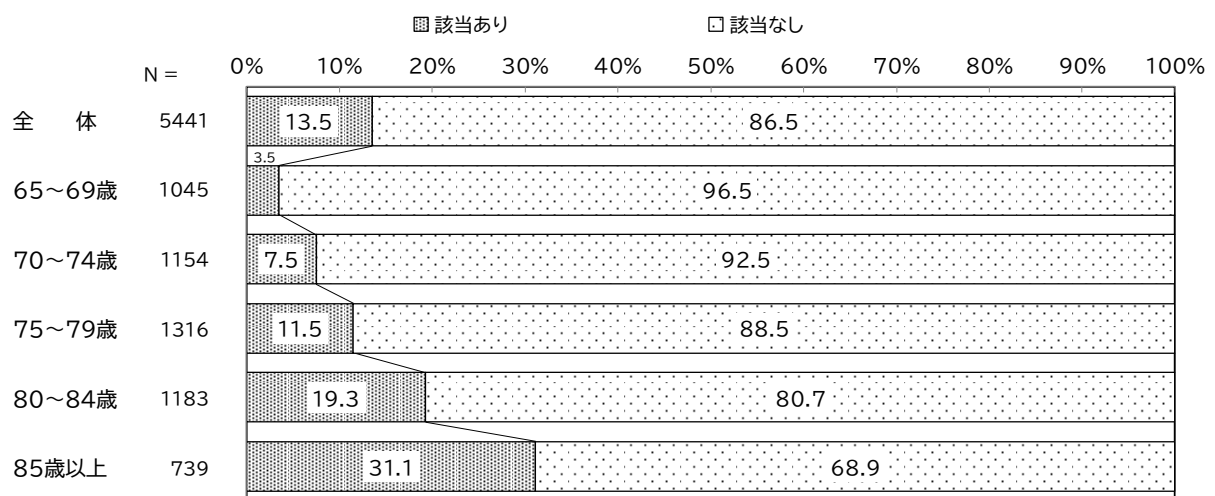
① 運動器機能低下

【全 体】

運動器機能低下については、「該当」が13.5%、「非該当」が86.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなり、「85歳以上」では31.1%となっています。



設問項目		回答				判定基準
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できるし、している	できるけどしていない	できない	非該当	3項目以上が該当
		非該当		該当		
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できるし、している	できるけどしていない	できない	非該当	
		非該当		該当		
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか。	できるし、している	できるけどしていない	できない	非該当	
		非該当		該当		
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない	該当	
		該当		非該当		
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	
		該当		非該当		

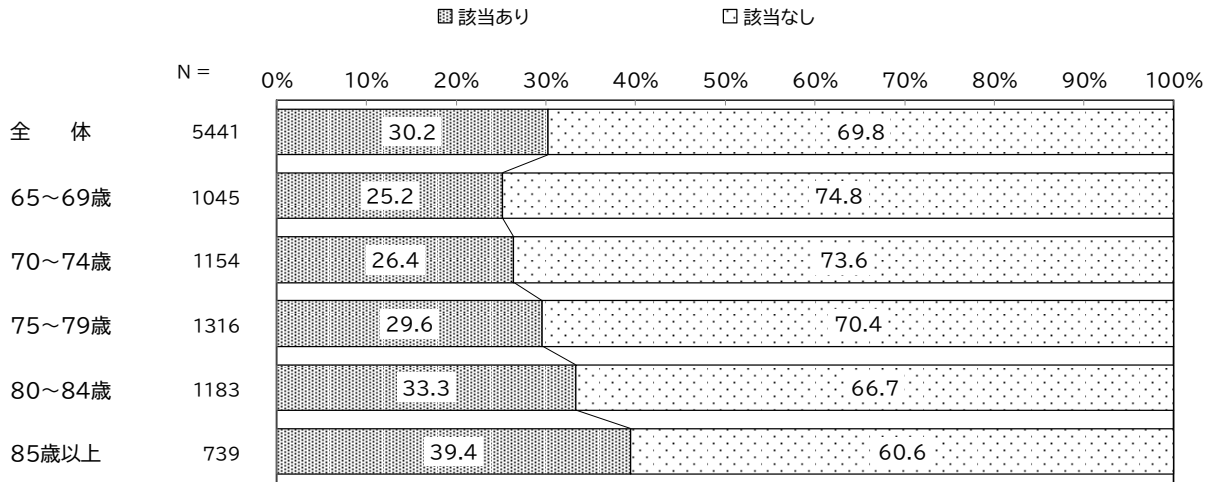
② 転倒リスク

【全 体】

転倒リスクについては、「該当」が30.2%、「非該当」が69.8%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなり、「85歳以上」では39.4%となっています。



設問項目		回答			判定基準
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない	該当
		該当		非該当	

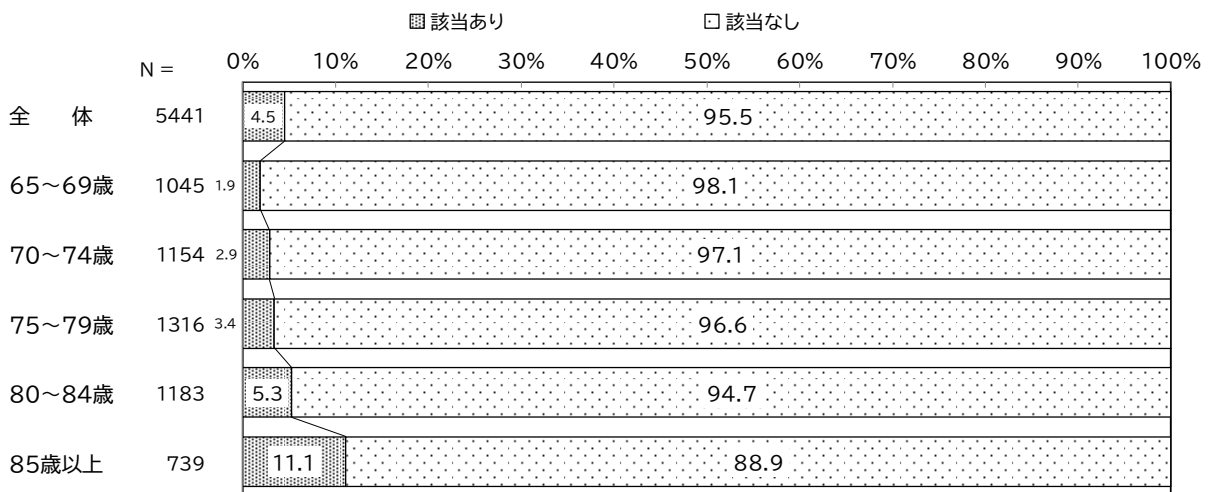
③ 閉じこもり傾向

【全 体】

閉じこもり傾向については、「該当」が4.5%、「非該当」が95.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなり、「85歳以上」では11.1%となっています。



設問項目		回答				判定基準
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない	週1回	週2~4回	週5回以上	該当
		該当		非該当		

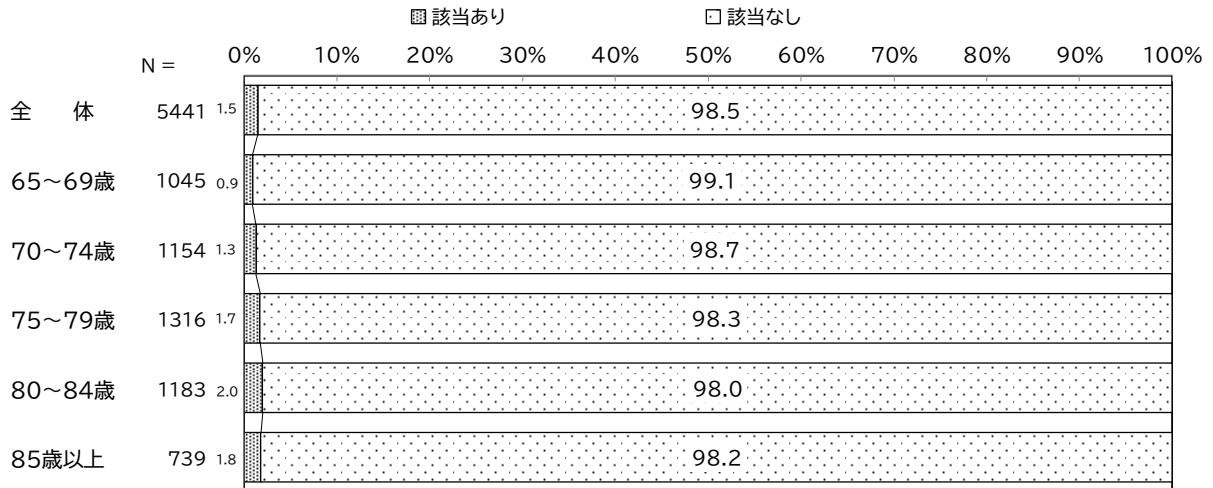
④ 低栄養状態

【全 体】

低栄養状態については、「該当」が1.5%、「非該当」が98.5%となっています。

【年齢別】

年代における違いはほとんどありません。



設問項目		回答			判定基準
問3 (1)	BMI = 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))	18.5 未満	18.5 以上 25.0 未満	25.0 以上	2項目 ともに 該当
		該当	非該当	非該当	
問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少 がありましたか。	はい	いいえ		
		該当	非該当		

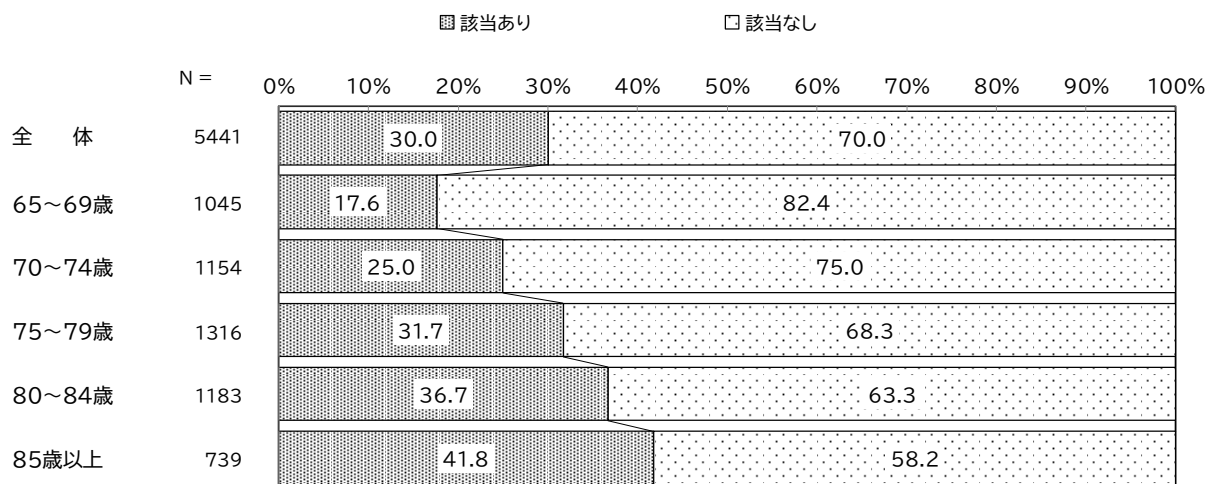
⑤ 咀嚼機能低下

【全 体】

咀嚼機能低下については、「該当」が30.0%、「非該当」が70.0%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなり、「85歳以上」では41.8%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

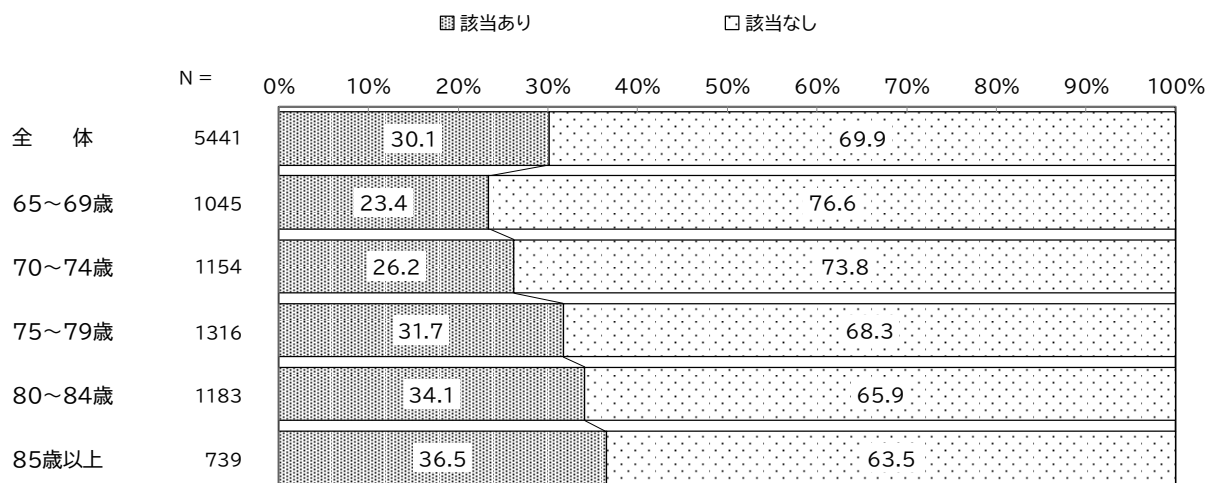
⑥ 嚥下機能低下

【全 体】

嚥下機能低下については、「該当」が30.1%、「非該当」が69.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなり、「85歳以上」では36.5%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

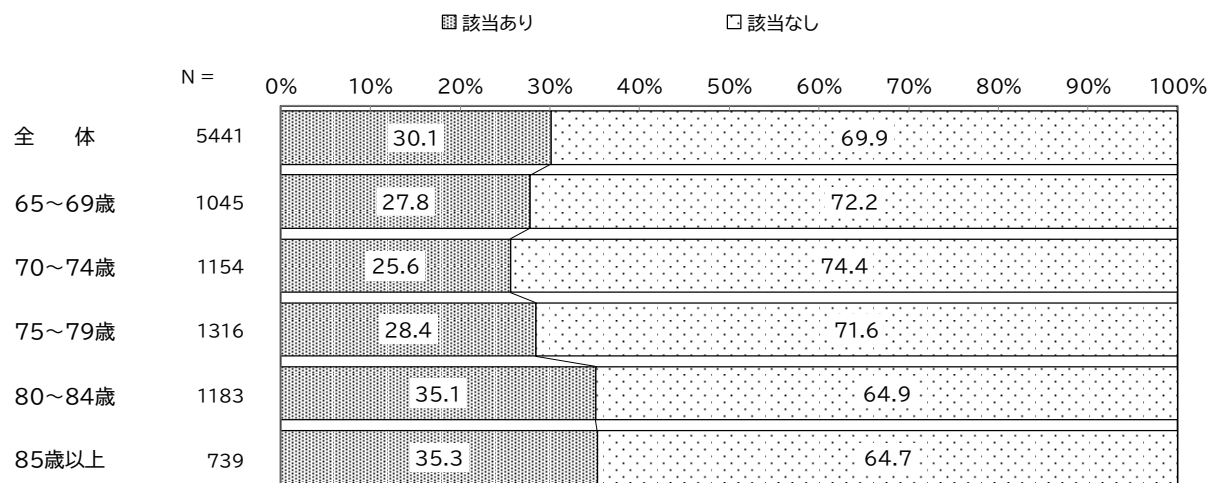
⑦ 肺炎リスク

【全 体】

肺炎リスクについては、「該当」が30.1%、「非該当」が69.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなる傾向で、「85歳以上」では35.3%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3 (3)	口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

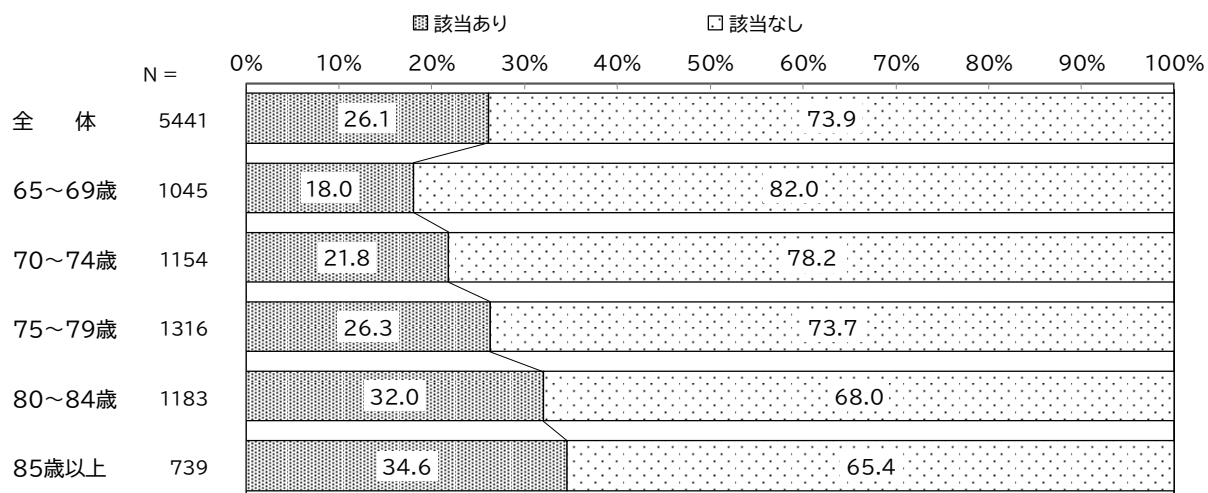
⑧ 口腔機能低下

【全 体】

口腔機能低下については、「該当」が26.1%、「非該当」が73.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなり、「85歳以上」では34.6%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3		はい	いいえ	
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	該当	非該当	2項目以上が該当
(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	該当	非該当	
(4)	口の渇きが気になりますか。	該当	非該当	

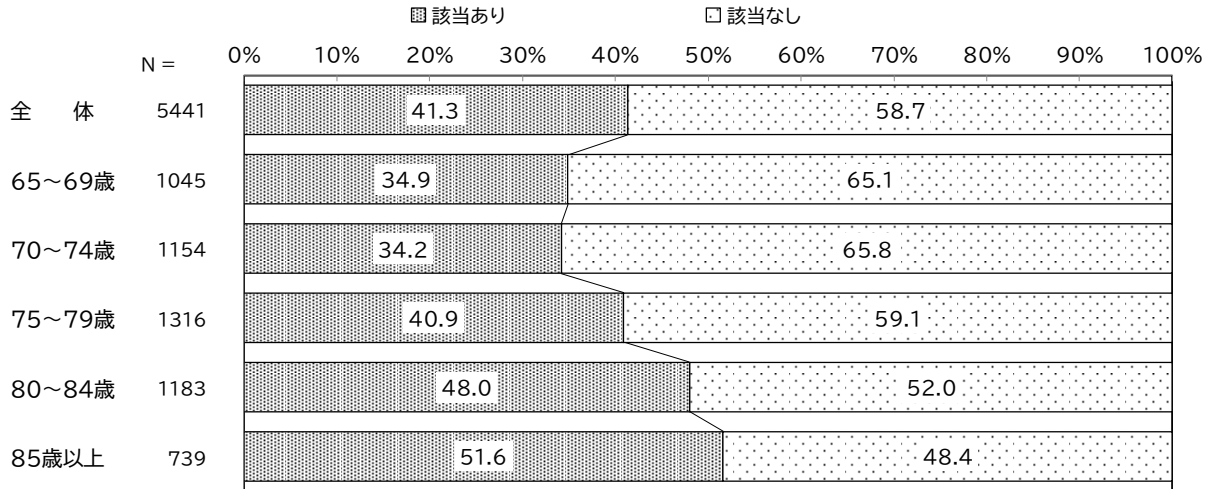
⑨ 認知機能低下

【全 体】

認知機能低下については、「該当」が41.3%、「非該当」が58.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなる傾向で、「85歳以上」では51.6%となっています。



設問項目		回答			判定基準
問4 (1)①	物忘れが多いと感じますか。	はい	いいえ		該当
		該当	非該当		

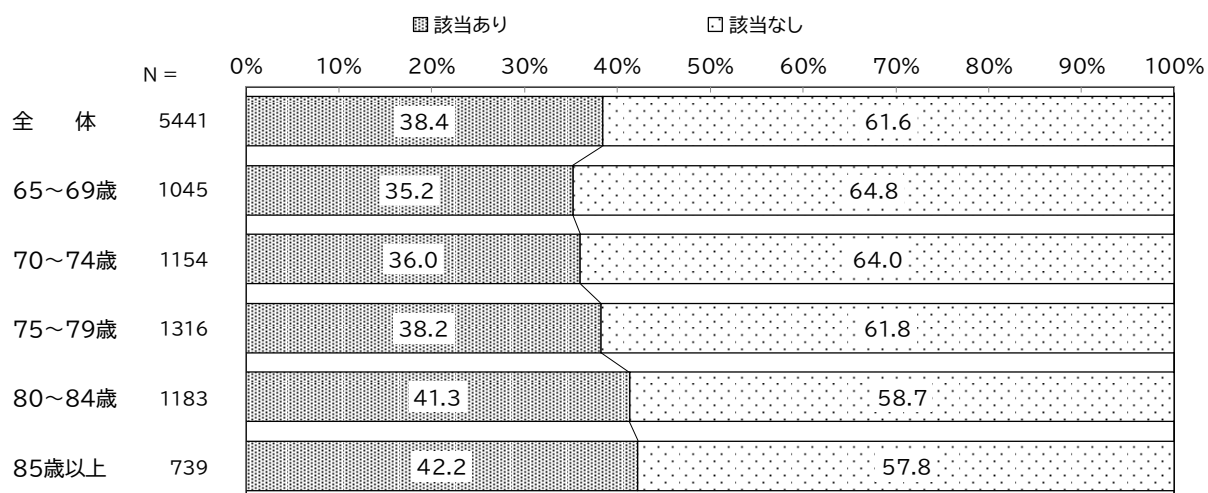
⑩ うつ傾向

【全 体】

うつ傾向については、「該当」が38.4%、「非該当」が61.6%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「該当」は高くなり、「85歳以上」では42.2%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい	いいえ	1項目以上が該当
		該当	非該当	
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい	いいえ	
		該当	非該当	

◆性年齢別

男性では、「80～84歳」で「肺炎リスク」(34.0%)、「口腔機能低下」(30.6%)、「うつ傾向」(39.7%)、他の項目では「85歳以上」が最も高くなっています。なお、「75～79歳」では、「低栄養状態」は「85歳以上」と同率(1.3%)となっています。一方、女性は、「低栄養状態」を除くすべての項目で「85歳以上」が高くなっています。総じて、男性、女性ともに「85歳以上」で該当率が高くなっています。

性年齢別「該当率」

◆男性

(単位：%)

	運動器機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	咀嚼機能低下
男性全体	9.9	27.9	5.3	0.8	27.9
65～69歳	1.8	22.4	2.4	0.2	16.1
70～74歳	4.6	23.7	2.9	0.2	24.1
75～79歳	10.6	29.4	5.6	1.3	30.9
80～84歳	13.2	30.6	6.4	1.0	34.6
85歳以上	25.1	36.2	11.4	1.3	36.2
	嚥下機能低下	肺炎リスク	口腔機能低下	認知機能低下	うつ傾向
男性全体	29.5	27.9	23.6	40.4	35.9
65～69歳	23.6	27.7	17.3	36.7	34.6
70～74歳	25.5	22.0	18.5	33.6	31.7
75～79歳	31.6	26.1	24.3	38.8	36.5
80～84歳	32.7	34.0	30.6	48.0	39.7
85歳以上	36.8	31.1	29.5	48.3	37.5

※無回答を除く

◆女性

(単位：%)

	運動器機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	咀嚼機能低下
女性全体	16.4	32.1	3.8	2.2	31.8
65～69歳	5.2	27.4	1.5	1.5	19.0
70～74歳	9.7	28.6	2.8	2.2	25.8
75～79歳	12.2	29.7	1.5	2.0	32.3
80～84歳	24.0	35.4	4.5	2.9	38.3
85歳以上	35.6	41.7	10.8	2.1	46.0
	嚥下機能低下	肺炎リスク	口腔機能低下	認知機能低下	うつ傾向
女性全体	30.6	31.9	28.2	42.1	40.5
65～69歳	23.3	28.0	18.7	33.2	35.8
70～74歳	26.7	28.5	24.5	34.7	39.5
75～79歳	31.8	30.4	28.0	42.6	39.7
80～84歳	35.1	35.9	33.2	48.0	42.6
85歳以上	36.3	38.4	38.4	54.0	45.8

※無回答を除く

【老研式活動能力指標による評価について】

「老研式活動能力指標」は、手段的自立(IADL)、知的能動性、社会的役割の3つの側面で構成された高次の生活機能評価指標です。本調査では、手段的自立評価を行いました。

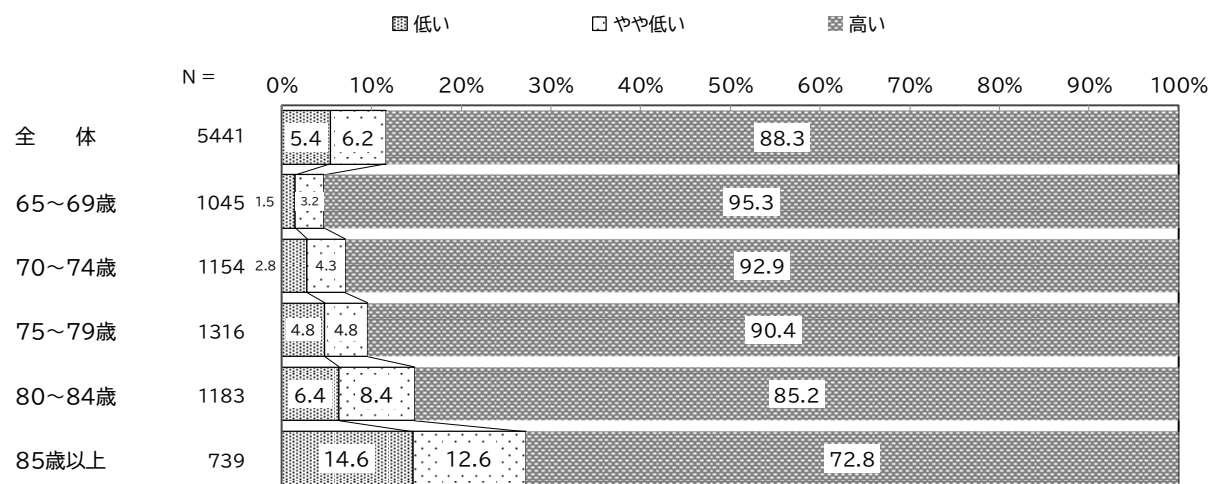
評価項目	設問項目		回答と点数					
	設問	内容	回答	点数	回答	点数	回答	点数
手段的自立評価	問4 (2)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4 (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4 (4)	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4 (5)	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4 (6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点

判定基準

評価項目	低い	やや低い	高い
手段的自立評価	3点以下	4点	5点

手段的自立評価の結果

手段的自立評価については、「該当」が11.6%(「低い」(5.4%)、「やや低い」(6.2%))、「非該当」が88.3%(「高い」)となっています。



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査へのご協力について

皆さまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から新座市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、皆さまの日常生活の状況や保健、福祉、介護サービスに対するご要望やお考えをお伺いし、第10期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画策定のための重要な基礎資料及び介護予防や見守り事業に活用させていただくため、『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』を実施させていただくことになりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願いいたします。調査で収集した情報は、健康情報という皆さまにとって大切な個人情報であるという認識に基づいて、新座市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づく適正な取扱いをいたします。

令和8年1月 新座市

- 1 この調査の対象者は、令和7年12月1日現在、65歳以上で、要介護1～5の認定を受けていない方です（要支援1・2の認定を受けている方は対象となります）。
- 2 この調査は、令和7年12月1日現在の状況でご回答ください。
- 3 ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族等がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- 4 ご回答にあたっては、質問に従って、あてはまる回答の番号に○をつけてください。各設問に「○は一つ」、「○はいくつでも」など指定してありますので、それに従ってご回答ください。質問によっては、記述していただくものもあります。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに
1月30日（金）までにご投函ください。

〔お問合せ先〕

新座市 いきいき健康部 介護保険課

電話：048-424-5361（直通）

個人情報の取扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきますので、予めご了承ください。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、新座市の介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報を基に、無作為に抽出した対象者の方へ送付しています。
- 本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定、効果的な介護予防政策の立案、効果評価の基礎資料として利用いたします。また、当該情報については、市で適切に管理いたします。
- 上記の基礎資料利用時には、市が保有する介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報とともに利用・分析させていただきます。
- 介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

記入日	令和 8 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄: _____)	
3. その他	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (○は一つ)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯(息子又は娘との同居) |
| 5. その他(孫を含む3世帯や親との同居等) | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は一つ)

- | |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない [(3) へ] |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない [①へ] |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている [①・②へ]
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 | 3. がん (悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) | 5. 関節の病気 (リウマチ等) | |
| 6. 認知症(アルツハイマー病等) | 7. パーキンソン病 | |
| 8. 糖尿病 | 9. 腎疾患 (透析) | 10. 視覚・聴覚障がい |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 | 13. 高齢による衰弱 |
| 14. その他 (| 15. 不明 |) |

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (○はいくつでも)

- | | | | |
|-------------|----------|----------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 | 7. 介護サービスのヘルパー | |
| 8. その他 () | | | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は一つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は一つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は一つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は一つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は一つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は一つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は一つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は一つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

(8) 外出を控えていますか (○は一つ)

- | | |
|-------|---------------|
| 1. はい | 2. いいえ [(9)へ] |
|-------|---------------|

① 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------|
| 1. 病気 | 2. 障がい (脳卒中の後遺症など) | |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配 (失禁など) | |
| 5. 耳の障がい (聞こえの問題など) | 6. 目の障がい | 7. 外での楽しみがない |
| 8. 経済的に出られない | 9. 交通手段がない | |
| 10. 感染症等の不安 | 11. その他 () | |

問4 毎日の生活について

(1) 以下の① - ③について、それぞれに回答してください（それぞれ〇は一つ）

	はい	いいえ
① 物忘れが多いと感じますか	1	2
② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2
③ 今日が何月何日かわからない時がありますか	1	2

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(4) 自分で食事の用意をしていますか（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか（それぞれ〇は一つ）

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場※	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

※「⑤ 介護予防のための通いの場」とは、月1回以上の頻度で開催している、健康づくりを目的として、住民が主体的に取り組んでいる活動のことです。

※市内、市外に関わらず、参加している活動について回答してください。

(2)(1)の①-⑧の会・グループ等の地域活動に全て「参加していない」と回答された方にお伺いします。

参加していない理由は何ですか (〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1. 介護や子育てで時間がない | 2. 健康上の問題がある |
| 3. 参加方法がわからない | 4. 交通手段がない |
| 5. 経済的な理由 (参加費用が高いなど) | 6. 興味や関心がない |
| 7. 社会的な不安 (緊張する、人と話すのが苦手など) | |
| 8. 友人や知人など知り合いがいない | |
| 9. その他 () | |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は一つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |
|------------|------------|------------|-------------|

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役)として参加してみたいと思いますか (〇は一つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |
|------------|------------|------------|-------------|

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手をお教えてください (〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 高齢者相談センター・市役所 | 6. その他 () |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (〇は一つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 () | 8. いない |

(8) 今後、あなたが安心して日常生活を送るためには、どのような見守りが必要だと思いますか (〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 同居家族による見守り・安否確認 |
| 2. 近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け |
| 3. 近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け |
| 4. 福祉や医療などの専門職による定期的な訪問・声掛け |
| 5. 配食サービスなどの事業者による定期的な訪問・声掛け |
| 6. 家族・親族による機械 (ドアセンサー等) を使った見守り・安否確認 |
| 7. その他 () |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は一つ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は一つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸 ←											→ とても幸せ										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点											

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

(〇は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は一つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) タバコは吸っていますか (○は一つ)

1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気		
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)		
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病	
15. 認知症 (アルツハイマー病など)	16. パーキンソン病	
17. 目の病気	18. 耳の病気	
19. その他 ()		

問8 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は一つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は一つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) あなた自身やご家族などが認知症になった時、どこ(誰)に相談しますか。又はどこ(誰)に相談しましたか (○はいくつでも)

1. 家族・親戚	2. 友人・近所の人	3. かかりつけ医
4. 認知症の専門医のいる病院	5. 高齢者相談センター	6. 市役所
7. ケアマネジャー	8. 相談できる人はいない	
9. わからない (まだ考えていない)		

(4) 認知症について知っていることはありますか (〇はいくつでも)

1. 認知症の専門医のいる医療機関
2. 認知症の人が入所できる施設
3. 認知症の原因となる病気 (アルツハイマー病など)
4. 認知症の症状 (記憶障害、妄想、見当識障害など)
5. 認知症における早期受診・治療を受けることの有効性
6. 認知症の人に対する接し方やケアの方法
7. 認知症の人が自宅での生活を続けられるよう支援するサービス (デイサービスやヘルパーなど)
8. 軽度認知障害 (MCI) とも言われる認知症の前段階の状態
9. 若年性認知症 (64歳以下の人が発症する認知症)
10. 知っているものはない

(5) あなたがもし認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。(〇は一つ)

1. 支援・サービスを受けながら、これまで暮らしてきた自宅で生活を続けたい
2. 介護施設などで、必要な支援・サポートを受けながら生活したい
3. わからない (まだ考えたことがない)
4. その他 ()

(6) 認知症支援として必要と感じるものはありますか。(〇はいくつでも)

1. 地域の人々に向けた、認知症への正しい理解を広めるための周知・啓発
2. 認知症に関する相談窓口 (認知症の専門医のいる病院、高齢者相談センターなど)
3. 認知症の早期発見・早期診断への取り組み
4. 家族介護者への支援 (家族向けのケア講座や介護者同士の交流の場)
5. 認知症の人や家族、地域の人が集まれる場
6. 認知症の人が社会の中で役割を得て活動し、参加できる場
7. 認知症の人が自宅での生活を続けられるよう支援するサービス (デイサービスやヘルパーなど) の充実
8. 認知症の人が入所できる介護施設の充実
9. 認知症による行方不明者の早期発見や見守りに関する施策
10. 認知症に関する市の施策や介護サービスに関する情報提供
11. 軽度認知障害(MCI)の段階における認知機能の維持に関する施策
12. 若年性認知症に対する支援
13. その他 ()
14. 特になし

問9 成年後見制度の把握について

(1) 成年後見制度について知っていますか (〇は一つ)

※ 成年後見制度とは、認知症や知的障がいなどの理由で、判断能力が不十分な方の財産の管理や契約などを行う時、家庭裁判所に選任された成年後見人などが、援助する制度です。

- 1. 制度の内容を知っている [①へ]
- 2. 名前は聞いたことがあるが、制度の内容は知らない [①へ]
- 3. 名前も制度の内容も知らない [問10へ]

① あなたやあなたの家族・知人が次のような状態になった時、成年後見制度を「利用したい」あるいは「利用を勧めたい」と思いますか (〇は一つ)

- 1. はい [①-1へ]
- 2. いいえ

①-1 どんな時に、「利用したい」あるいは「利用を勧めたい」と思いますか (〇はいくつでも)

- 1. 福祉サービスの利用等の手続きが難しくなった時
- 2. 金銭管理等の判断が難しくなった時
- 3. 売買契約等の判断が難しくなった時
- 4. その他 ()
- 5. わからない

問10 在宅医療について

(1) 在宅医療について知っていますか (〇は一つ)

※ 在宅医療とは、通院が困難な患者さんに対して、医師や歯科医、看護師や薬剤師、リハビリ専門職などが、ご自宅又は高齢者住宅などの居宅系施設に訪問して提供する医療のことです。

- 1. 知っており、自分もしくは家族が利用したことがある
- 2. 知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない
- 3. 言葉は知っているが、内容は知らない
- 4. 言葉も内容も知らない

(2) 在宅で医療・介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか (〇はいくつでも)

- 1. 在宅でどのような医療を受けられるのかわからない
- 2. 在宅でどのような介護サービスを受けられるのかわからない
- 3. 急に病状が変わった時でも対応してもらえる
- 4. 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい
- 5. 訪問看護でどのようなことがしてもらえるのかわからない
- 6. 家族に負担や迷惑がかかる
- 7. 療養できる部屋や風呂・トイレなど住宅環境の整備が必要である
- 8. 費用等の経済的負担が大きくなる
- 9. がん末期でも痛みなどの苦痛を軽減しながら在宅で過ごすことができる
- 10. 在宅でも満足のいく最期を迎えられる

(3) あなたが加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいですか (○は一つ)

- | | | |
|--------------------------|---------------------|------------|
| 1. 自宅 | 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 | |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 | | |
| 4. 医療機関 | 5. わからない | 6. その他 () |

(4) 人生の最期をどこで迎えたいですか (○は一つ)

- | | | |
|--------------------------|---------------------|------------|
| 1. 自宅 | 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 | |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 | | |
| 4. 医療機関 | 5. わからない | 6. その他 () |

(5) 『人生会議(ACP)』について知っていますか (○は一つ)

※『人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)』とは、もしもの時のために、あなたが望む医療・ケアについて、前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組みです。

- | |
|---------------------------|
| 1. 知っており、既に家族等と話し合ったことがある |
| 2. 知っているが、話し合ったことはない |
| 3. 言葉は知っているが、内容は知らない |
| 4. 言葉も内容も知らない |

問11 介護予防について

(1) 市の介護予防事業で知っているものはありますか (○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 健康ふらす教室 (健康講話、体操等を行う教室) |
| 2. にいざ元気アップウォーキング |
| 3. 各種測定会
(体力測定会、認知機能測定会(いきいき脳チェック)、歩き方測定会(元気アップ測定会)) |
| 4. 健康長寿ポイント事業 |
| 5. 出前講座 (市の職員が行うもの) |
| 6. いきいき健康つうしん |
| 7. 介護予防ガイドブック |
| 8. 地域活動マップ (サークルや町内会等の地域で活動する団体を掲載した冊子) |
| 9. 介護予防講演会 |
| 10. 元気アップトレーニング |
| 11. どれも知らない |

(2) 次の項目の中で、手助けして欲しいことはありますか (○はいくつでも)

- | | | |
|------------------------------|----------------------|---------|
| 1. 掃除 | 2. 洗濯 | 3. 調理 |
| 4. 買い物 | 5. 薬の受け取り | 6. ゴミ出し |
| 7. 外出 | 8. 草取り・庭木の剪定 | |
| 9. 家の中の簡単な修理や電球交換など | 10. 耳のきこえ | |
| 11. 健康づくりなどの運動をする場の提供 | 12. 気楽におしゃべりができる場の提供 | |
| 13. 趣味を共有できる場の提供 | | |
| 14. 健康等に関して助言をもらえる場の提供(病院以外) | | |
| 15. その他 () | 16. 特にない | |

第2章

在宅介護実態調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、要介護認定を受けている高齢者の方々の日常生活の状況や介護サービスに対するご要望や今後の意向、介護者の介護の状況をお伺いし、第10期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画の策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査対象者

在宅で生活している要介護・要支援認定を受けている方のうち、更新申請及び区分変更申請に伴う認定調査を受けた方とその主な介護者の方

3. 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

4. 実施期間

令和7年7月1日(火)～令和7年11月21日(金)

5. 回収結果

有効回収数	575
-------	-----

6. 報告書を読むにあたっての留意点

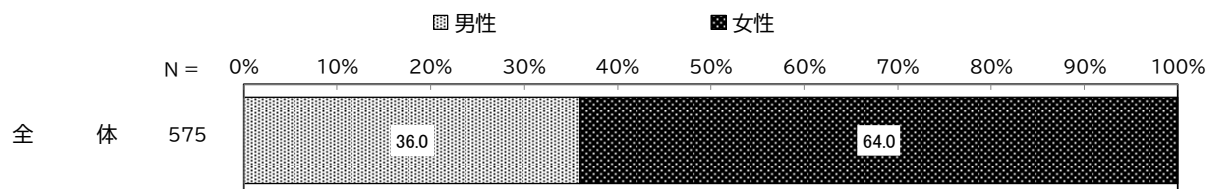
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表しています。
- 「N」は、症例数のことで、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
また、複数回答（2つ以上選択）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

II 調査結果

1. 対象者の基本属性

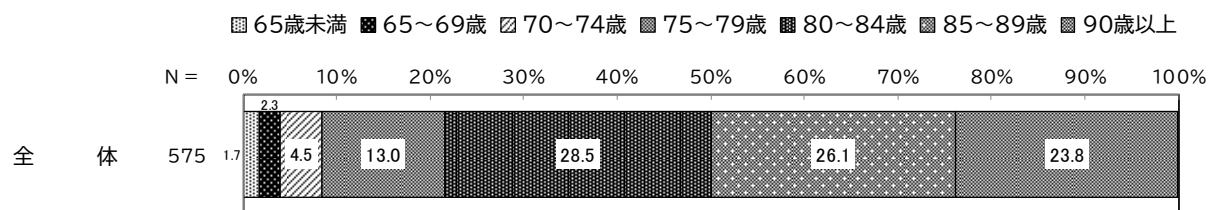
【性別】

「男性」が36.0%、「女性」が64.0%となっています。



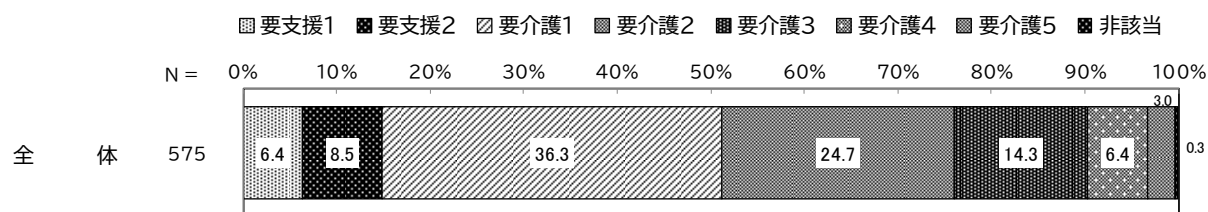
【年齢別】

「80～84歳」が28.5%と最も高く、次いで「85～89歳」が26.1%、「90歳以上」が23.8%、「75～79歳」が13.0%と続いています。



【介護度別】

「要介護1」が36.3%と最も高く、次いで「要介護2」が24.7%、「要介護3」が14.3%、「要支援2」が8.5%と続いています。



2. ご本人に回答していただいた項目

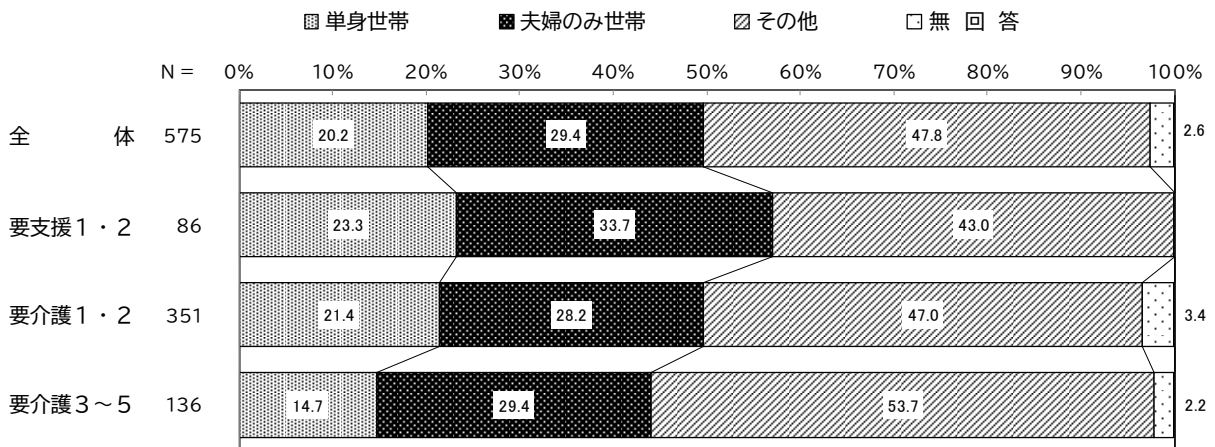
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

【全 体】

世帯類型については、「単身世帯」が20.2%、「夫婦のみ世帯」が29.4%、「その他」が47.8%となっています。

【要介護度別】

すべての介護度で「夫婦のみ世帯」が高くなっています。また、介護度が上がるにつれて、「単身世帯」は低くなり、「要介護3～5」で14.7%となっています。



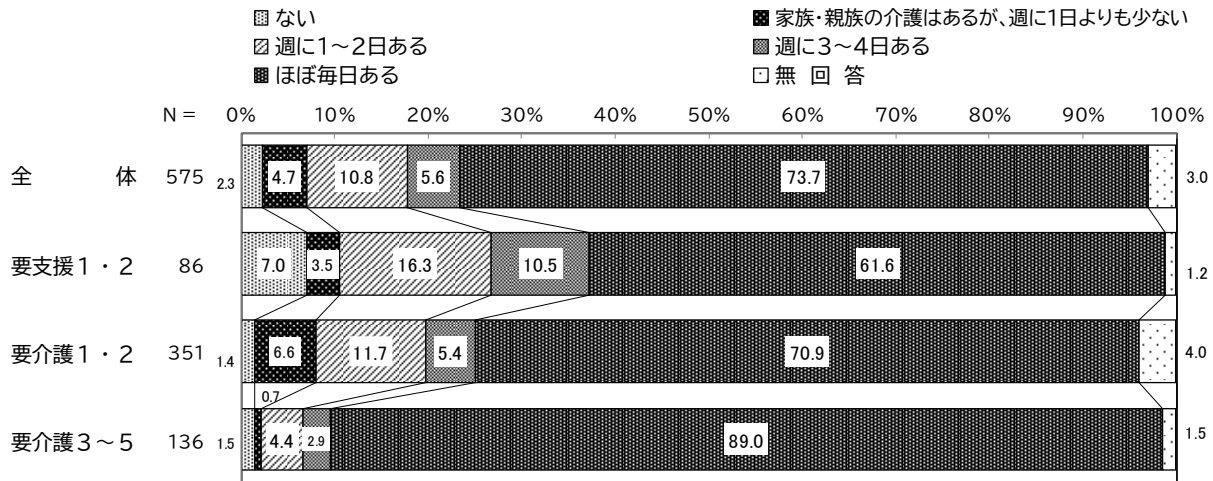
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

【全 体】

家族や親族による介護(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)の頻度については、「ほぼ毎日ある」が73.7%と最も高く、次いで「週に1~2日ある」が10.8%、「週に3~4日ある」が5.6%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が4.7%となっています。
なお、「ない」は2.3%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「ほぼ毎日ある」が高くなり、「要介護3~5」では89.0%となっています。また、「要支援1・2」では、家族や親族による介護(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)が「ない」もしくは介護の頻度が少ない「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」、「週に1~2日ある」を合わせると26.8%と高くなっています。



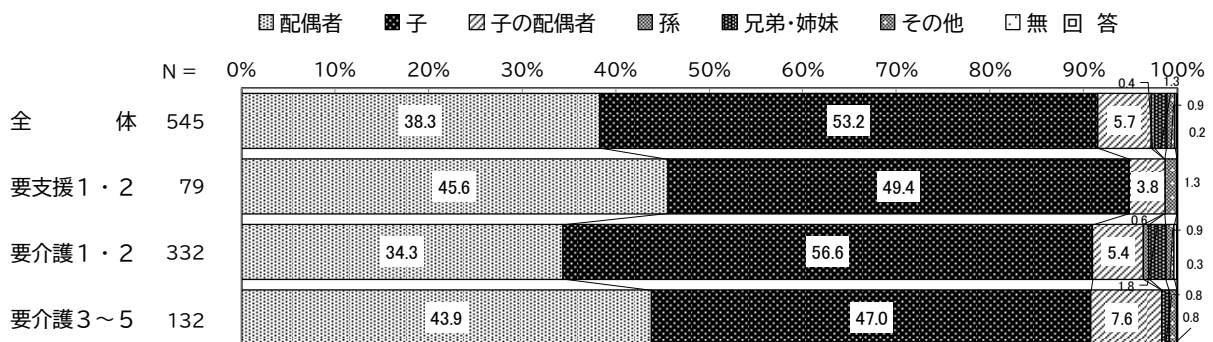
問3 問2で「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」~「5. ほぼ毎日ある」と回答した方にお伺います。主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)

【全 体】

主な介護者との関係については、「子」が53.2%と最も高く、次いで「配偶者」が38.3%、「子の配偶者」が5.7%、「兄弟・姉妹」が1.3%、「孫」が0.4%となっています。

【要介護度別】

「要介護1・2」では、「子」が56.6%と高くなっています。



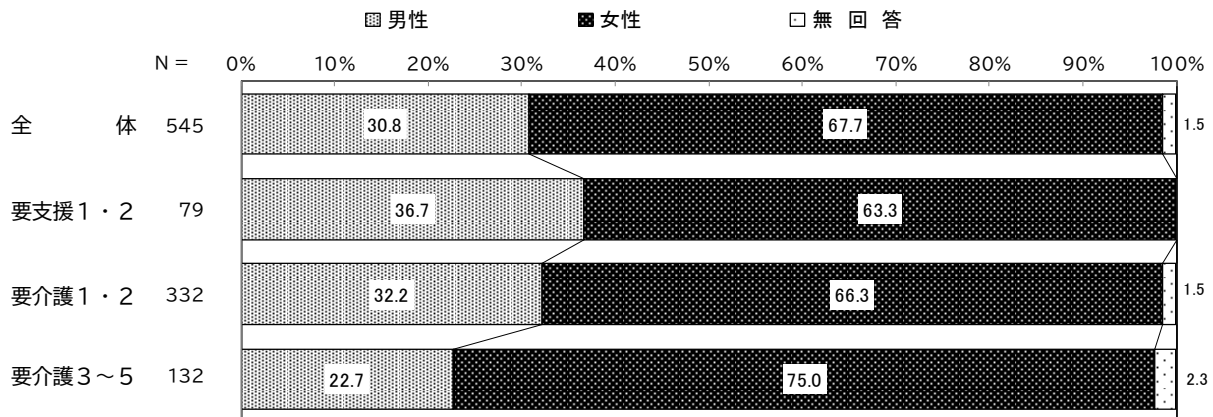
問4 問2で「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「5. ほぼ毎日ある」と回答した方にお伺います。主な介護者の方の性別について、ご回答ください
(1つを選択)

【全 体】

主な介護者の性別については、「男性」が30.8%、「女性」が67.7%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて、「男性」が低くなり、「女性」が高くなっており、「要介護3～5」では、「女性」が75.0%と「男性」(22.7%)の約3倍となっています。



問5 問2で「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「5. ほぼ毎日ある」と回答した方にお伺います。主な介護者の方の年齢について、ご回答ください
(1つを選択)

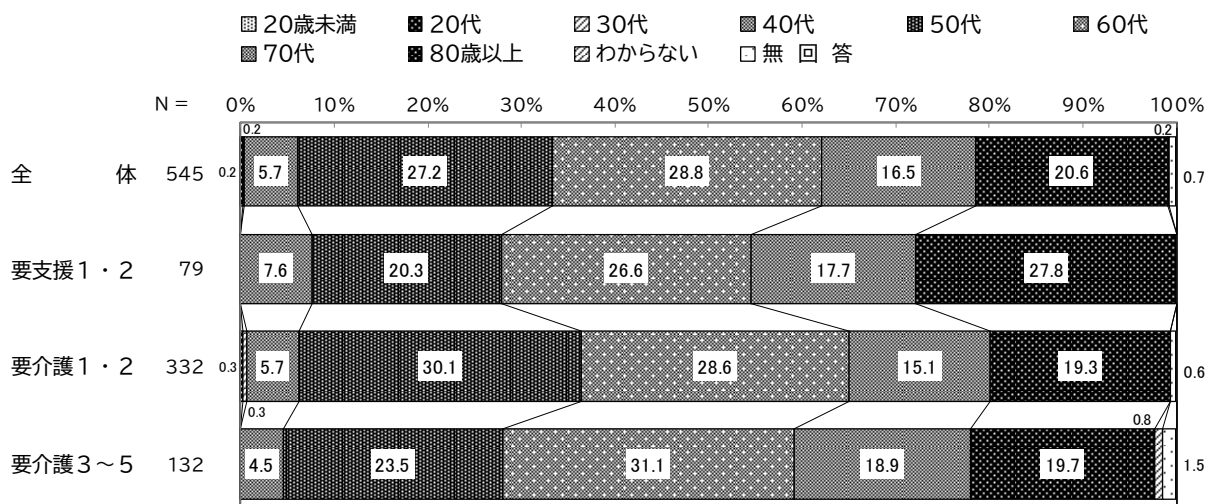
【全 体】

主な介護者の年齢については、「60代」が28.8%と最も高く、次いで「50代」が27.2%、「80歳以上」が20.6%、「70代」が16.5%、「40代」が5.7%と続いています。

なお、「20歳未満」はいませんでした。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「60代」が高くなり、「要介護3～5」では31.1%となっています。また、「80歳以上」では、「要支援1・2」で27.8%と高くなっています。



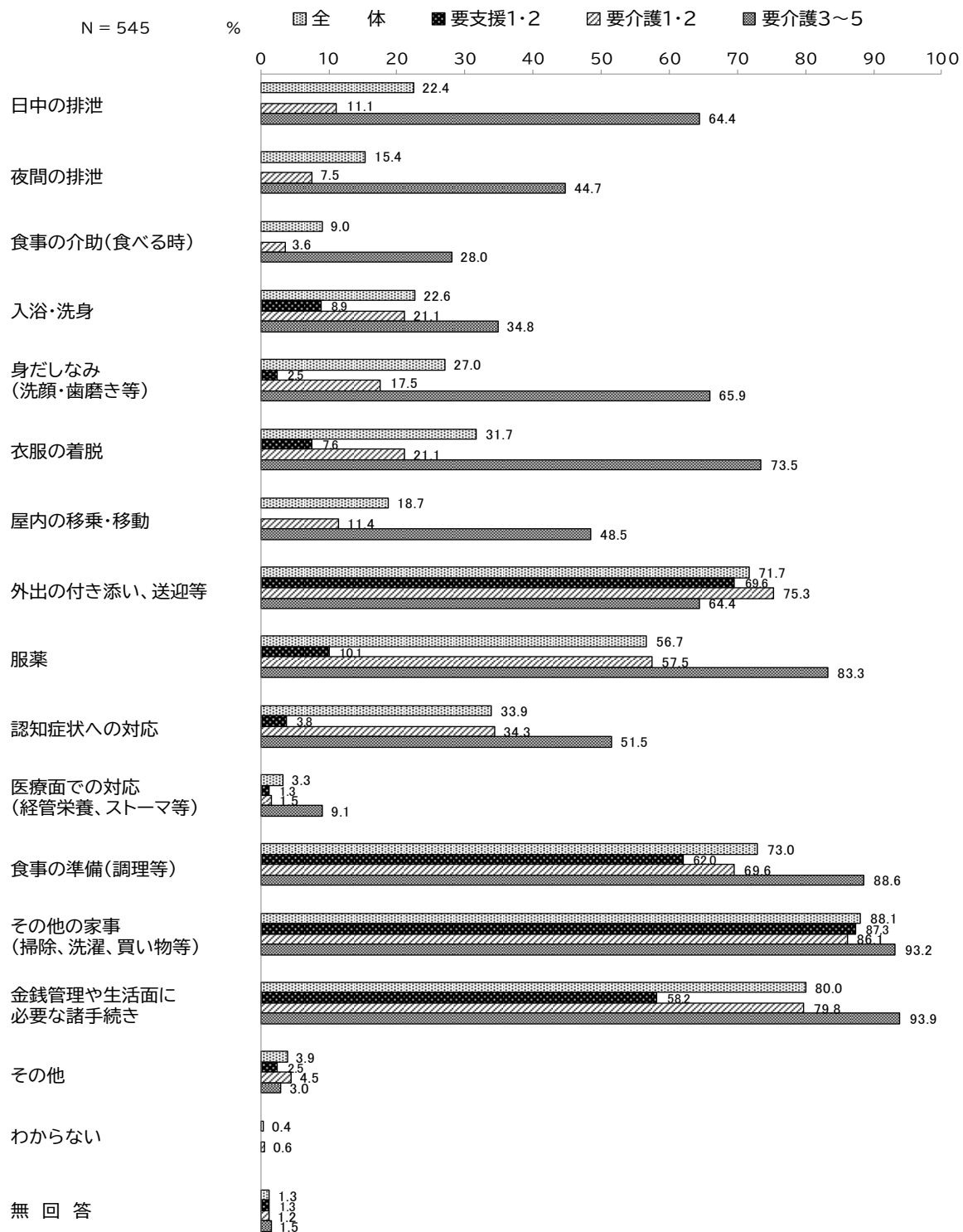
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

【全 体】

主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が88.1%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が80.0%、「食事の準備（調理等）」が73.0%、「外出の付き添い、送迎等」が71.7%、「服薬」が56.7%と続いています。

【要介護度別】

「外出の付き添い、送迎等」を除くすべての項目で「要介護3～5」が高くなっています。特に、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「身だしなみ(洗顔、歯磨き等)」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」は、「要支援1・2」、「要介護1・2」に比べ30ポイント以上高くなっています。



【勤務形態別】

すべての勤務形態で、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備(調理等)」、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が6～9割と高くなっています。また、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を除くすべての項目で「働いていない」が高くなっています。

(単位：%)

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱
フルタイムで働いている	150	16.7	12.0	6.7	14.0	16.7	23.3
パートタイムで働いている	118	19.5	12.7	6.8	22.9	27.1	28.0
働いていない	271	27.3	18.8	11.1	27.3	32.8	38.4

	屋内の移乗・ 移動	外出の 付き添い、送迎等	服薬	認知症状 への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)
フルタイムで働いている	12.7	72.7	56.0	39.3	2.0	60.0
パートタイムで働いている	11.9	74.6	51.7	41.5	3.4	72.0
働いていない	25.1	69.4	60.1	28.4	4.1	81.5

	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
フルタイムで働いている	84.0	84.0	6.7	1.3	-
パートタイムで働いている	85.6	86.4	5.9	-	2.5
働いていない	91.5	74.9	1.5	-	1.5

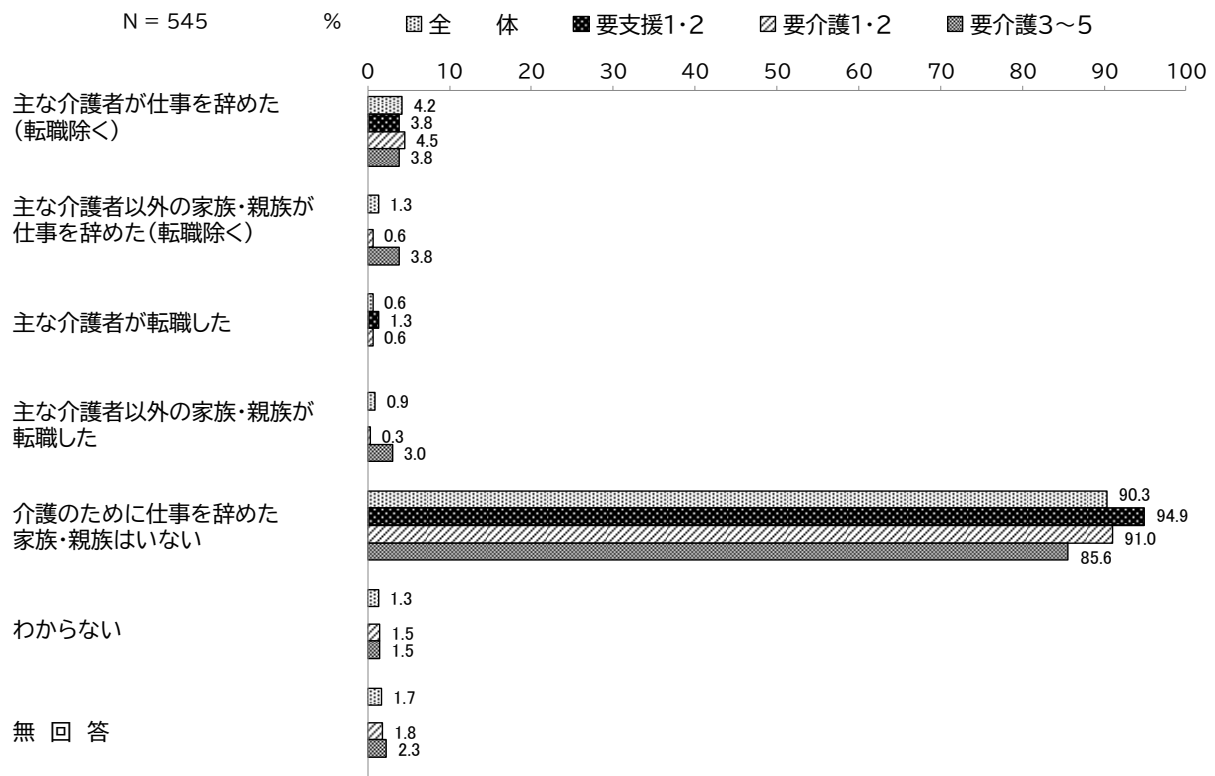
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (複数選択可)

【全 体】

介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が90.3%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が4.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」が1.3%と続いています。

【要介護度別】

すべての介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は8割以上となっており、特に「要支援1・2」では94.9%と高くなっています。



【勤務形態別】

すべての勤務形態で、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が9割前後と高くなっています。一方、「働いていない」では、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」を合わせると、7.0%とやや高くなっています。

(単位：%)

	人数	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
フルタイムで働いている	150	1.3	1.3	0.7	2.7	91.3	1.3	1.3
パートタイムで働いている	118	4.2	1.7	1.7	0.8	87.3	1.7	2.5
働いていない	271	5.9	1.1	-	-	90.8	1.1	1.5

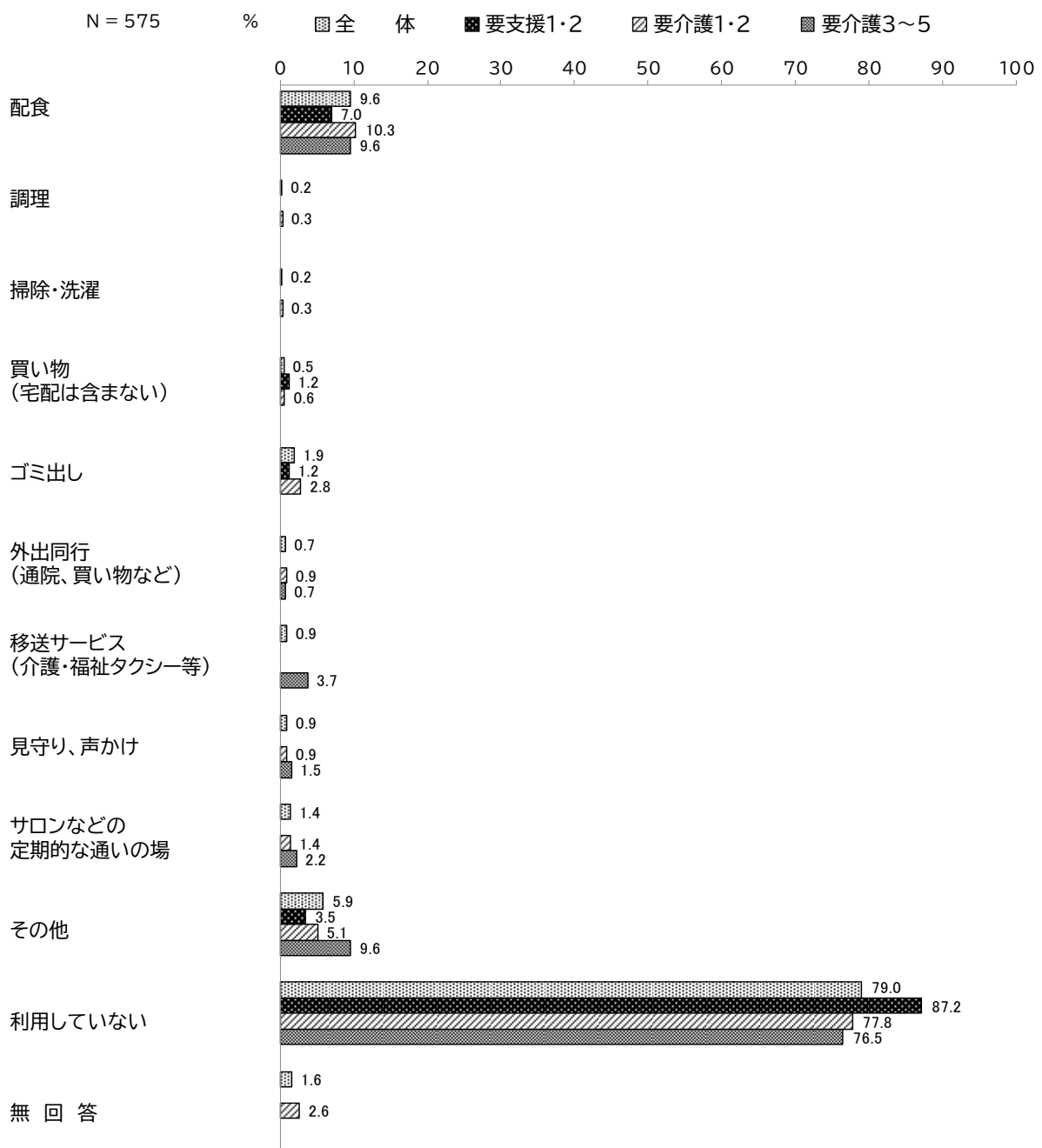
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

【全 体】

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が79.0%と特に高くなっていますが、利用しているサービスでは、「配食」が9.6%と最も高く、次いで「ゴミ出し」が1.9%、「サロンなどの定期的な通いの場」が1.4%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「見守り・声掛け」がともに0.9%と続いています。

【要介護度別】

すべての介護度で「利用していない」は7割以上となっており、特に「要支援1・2」では87.2%と高くなっています。また、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」は、「要介護3～5」のみで3.7%となっています。



【世帯類型別】

すべての世帯類型で「利用していない」が6割以上と最も高くなっていますが、介護保険サービス以外の支援・サービスでは、「単身世帯」で「配食」が19.8%、「ゴミ出し」が8.6%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)
単身世帯	116	19.8	-	-	2.6	8.6	0.9
夫婦のみ世帯	169	7.7	0.6	-	-	0.6	1.2
その他	275	6.2	-	0.4	-	-	0.4

	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、 声かけ	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
単身世帯	-	-	0.9	6.0	64.7	1.7
夫婦のみ世帯	1.8	1.2	1.2	4.1	81.7	1.8
その他	0.7	1.1	1.8	6.9	83.6	1.1

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください

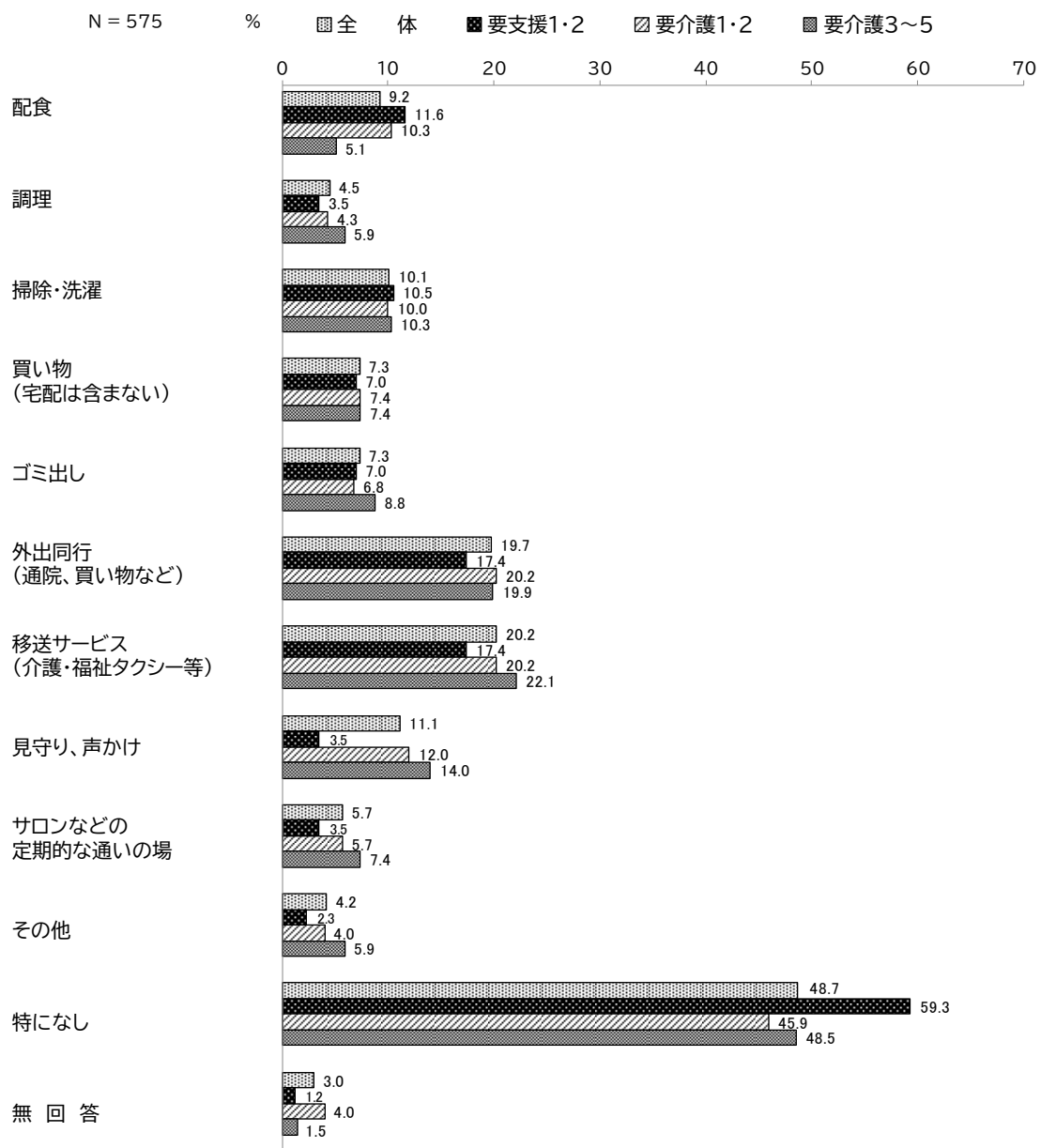
（複数選択可）

【全 体】

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が48.7%と高くなっていますが、必要と感じる支援・サービスでは、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が20.2%と最も高く、次いで「外出同行(通院・買い物など)」が19.7%、「見守り、声かけ」が11.1%、「掃除・洗濯」が10.1%、「配食」が9.2%、「買い物(宅配は含まない)」、「ゴミ出し」がともに7.3%と続いています。

【要介護度別】

すべての介護度で「特になし」が高く、特に「要支援1・2」では59.3%となっています。また、「外出同行(通院・買い物など)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」は、すべての介護度で、2割前後と高くなっています。



【世帯類型別】

「移送サービス(介護・福祉サービス等)」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「特になし」を除くすべての項目で、「単身世帯」が高く、特に「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」は、それぞれ20.7%、19.8%と高くなっています。また、「夫婦のみ世帯」では、「移送サービス(介護・福祉サービス等)」が25.4%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院・買い物など)
単身世帯	116	13.8	7.8	20.7	13.8	18.1	25.9
夫婦のみ世帯	169	8.9	4.7	13.6	10.7	11.2	22.5
その他	275	8.0	3.3	4.0	2.9	0.7	14.9

	移送サービス (介護・福祉サービス等)	見守り、声かけ	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
単身世帯	17.2	19.8	3.4	4.3	37.9	2.6
夫婦のみ世帯	25.4	11.8	4.1	4.1	42.0	1.8
その他	18.5	7.3	7.6	4.0	57.5	3.3

問10 あなたが寝たきりなどで、さらに医療、介護が必要になった時、在宅医療や在宅介護を希望しますか（1つを選択）

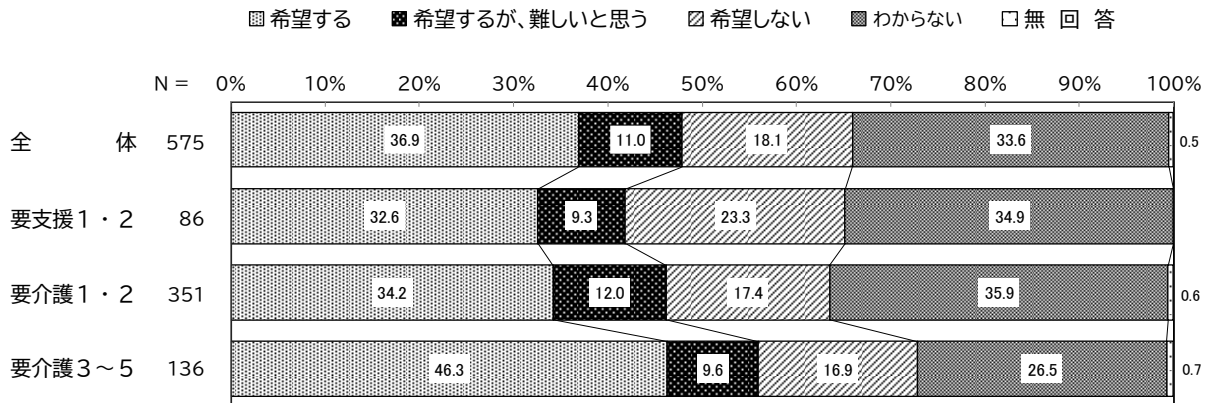
【全 体】

在宅医療が必要になった場合、在宅医療の希望については、「希望する」が36.9%と最も高く、次いで「希望しない」が18.1%、「希望するが、難しいと思う」が11.0%となっています。

なお、「わからない」は33.6%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「希望する」が高くなり、「要介護3～5」では46.3%となっています。



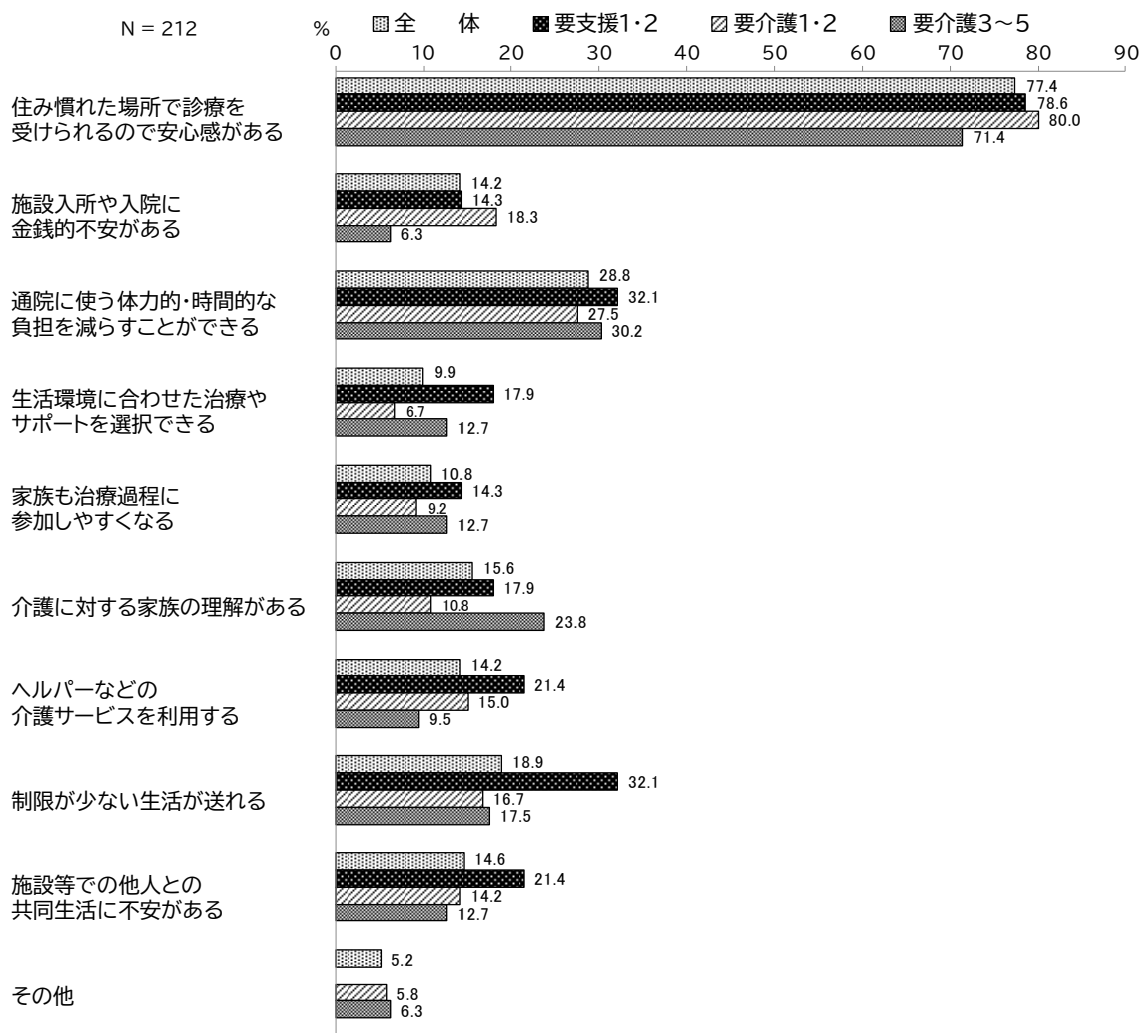
問11 問10で「1. 希望する」と回答した方にお伺います。希望する理由は何ですか
(複数選択可)

【全 体】

在宅医療が必要になった場合、在宅医療を希望する理由については、「住み慣れた場所で診療を受けられるので安心感がある」が77.4%と最も高く、次いで「通院に使う体力的・時間的な負担を減らすことができる」が28.8%、「制限が少ない生活が送れる」が18.9%、「介護に対する家族の理解がある」が15.6%と続いています。

【要介護度別】

すべての介護度で「住み慣れた場所で診療を受けられるので安心感がある」が7割を超え、「通院に使う体力的・時間的な負担を減らすことができる」が3割前後と高くなっています。また、「要支援1・2」では、「通院に使う体力的・時間的な負担を減らすことができる」、「制限が少ない生活が送れる」がともに32.1%と高くなっています。



問12 問10で「2. 希望するが、難しいと思う」「3. 希望しない」「4. わからない」と回答した方にお伺います。

実現が難しい又は希望しない、わからないと思う理由は何ですか（複数選択可）

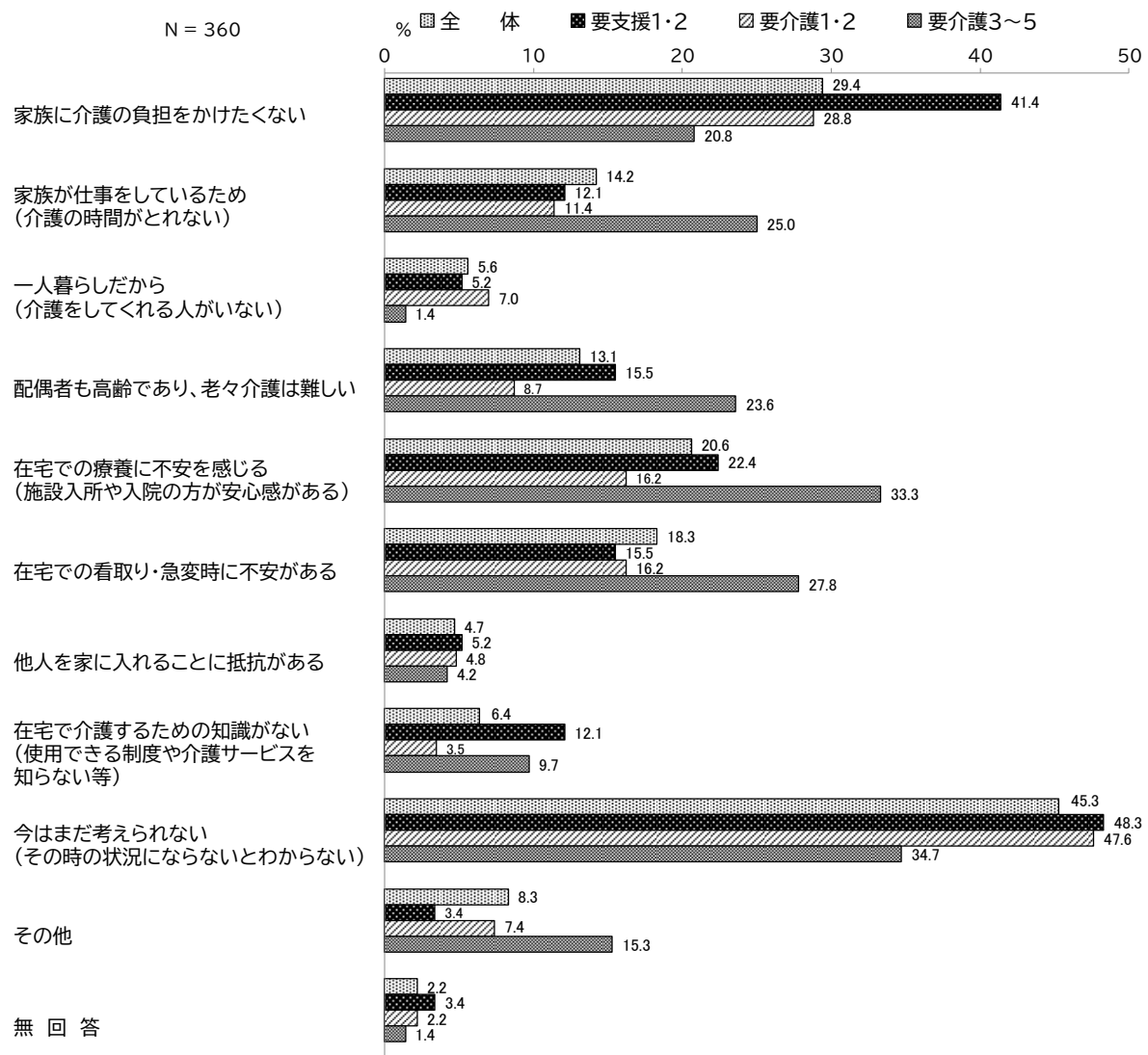
【全 体】

在宅医療が必要になった場合、実現が難しい又は希望しない、わからないと思う理由については、「家族に介護の負担をかけたくない」が29.4%と最も高く、次いで「在宅での療養に不安を感じる(施設入所や入院の方が安心感がある)」が20.6%、「在宅での看取り・急変時に不安がある」が18.3%、「家族が仕事をしているため(介護の時間がとれない)」が14.2%、「配偶者も高齢であり老々介護は難しい」が13.1%と続いています。

なお、「今は考えられない(その時の状況にならないとわからない)」は45.3%となっています。

【要介護度別】

「要支援1・2」では、「家族に介護の負担をかけたくない」が41.4%と特に高くなっています。また、「要介護3～5」では、「家族が仕事をしているため(介護の時間がとれない)」、「配偶者も高齢であり、老々介護は難しい」、「在宅での療養に不安を感じる(施設入所や入院の方が安心感がある)」、「在宅での看取り・急変時に不安がある」が2割を超え高くなっています。



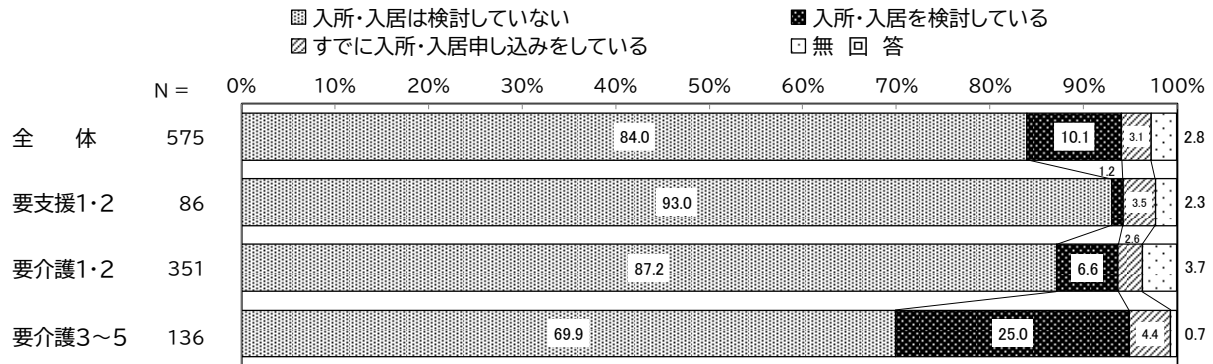
問 13 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

【全 体】

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が84.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が10.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が3.1%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「入所・入居を検討している」が高くなり、「要介護3～5」では25.0%となっています。



◆「入所・入居を検討している」

高齢者介護施設名	人数
特別養護老人ホーム	2
介護老人保健施設	1

◆「すでに入所・入居申し込みをしている」

高齢者介護施設名	人数
グループホーム	4
サービス付き高齢者向け住宅	1
特別養護老人ホーム	1
有料老人ホーム	1
軽費老人ホーム	1

【世帯類型別】

「単身世帯」では、「すでに入所・入居申し込みをしている」が9.5%と高くなっています。一方、「夫婦のみ世帯」では、「入所・入居は検討していない」が87.0%と高くなっています。

(単位: %)

	人数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
単身世帯	116	79.3	8.6	9.5	2.6
夫婦のみ世帯	169	87.0	8.3	1.2	3.6
その他	275	84.4	12.0	1.8	1.8

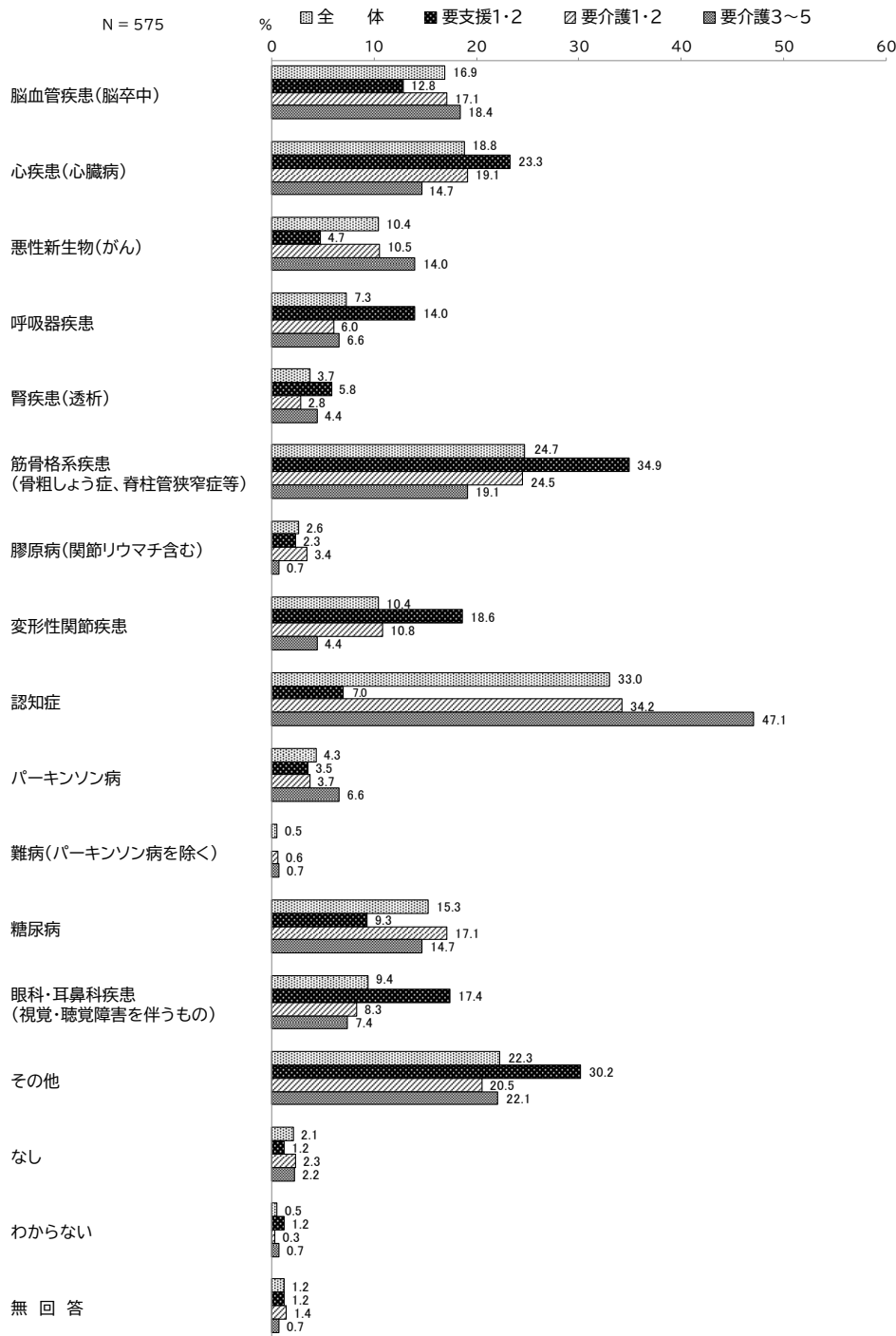
問 14 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

【全 体】

現在抱えている傷病については、「認知症」が33.0%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が24.7%、「心疾患(心臓病)」が18.8%、「脳血管疾患(脳卒中)」が16.9%、「糖尿病」が15.3%、「悪性新生物(がん)」、「変形性関節疾患」がともに10.4%と続いています。

【要介護別】

「要介護3～5」では、「認知症」が47.1%と特に高くなっています。また、「要支援1・2」では、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が34.9%と高くなっています。



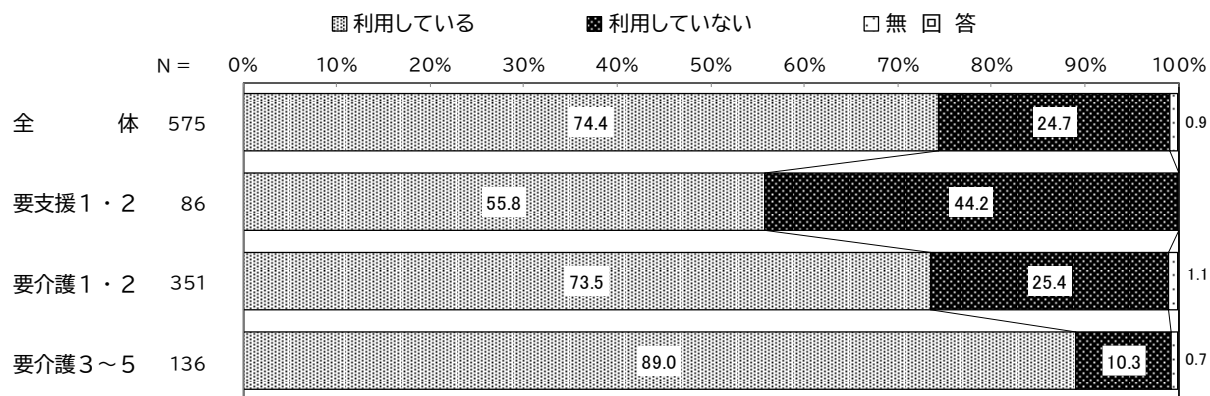
問 15 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか
（1つを選択）

【全 体】

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しているかどうかについては、「利用している」が74.4%、「利用していない」が24.7%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「利用している」が高くなり、「要介護3～5」では89.0%となっています。



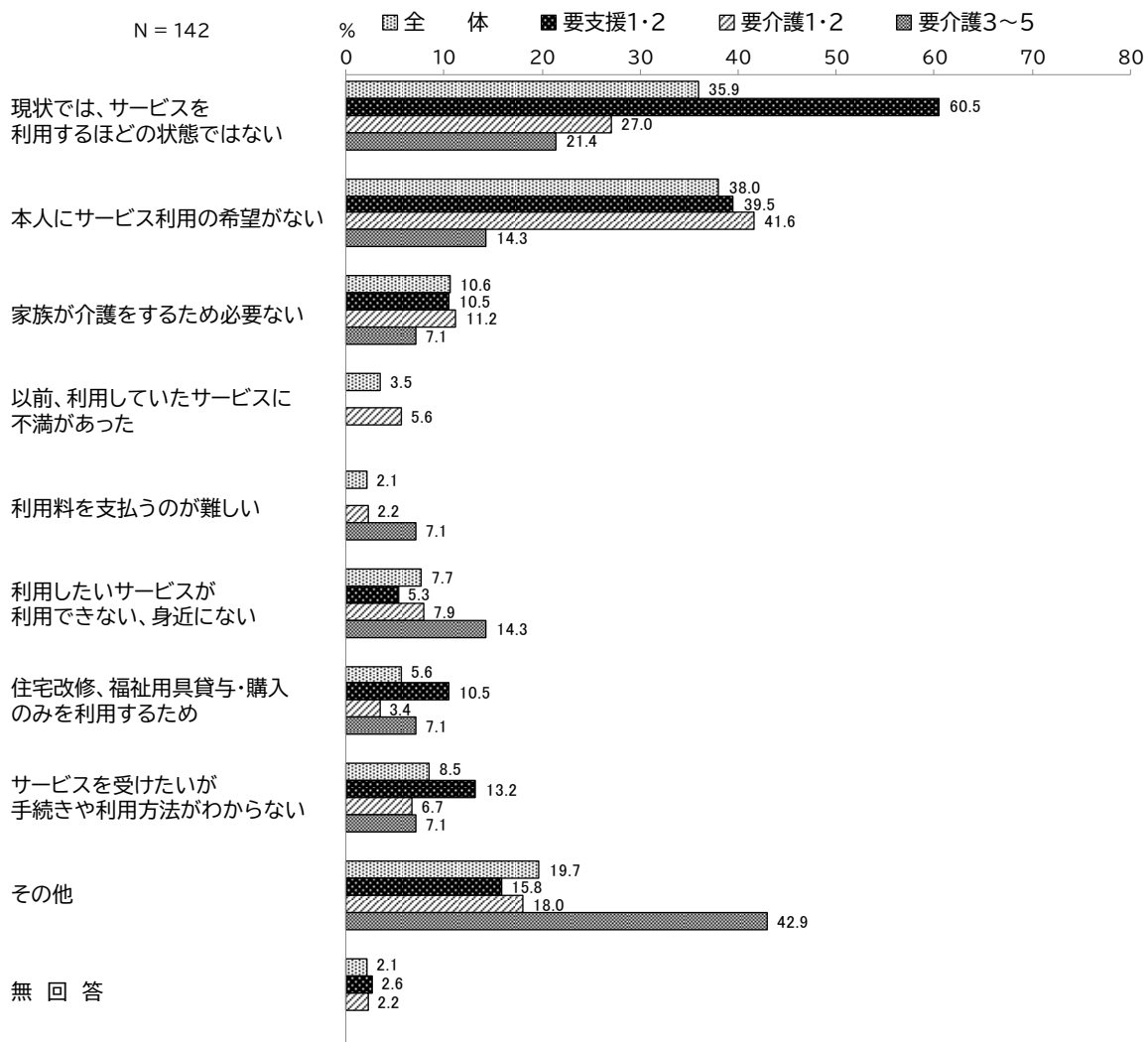
問16 問15で「2. 利用していない」と回答した方にお伺います。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

【全 体】

介護保険サービスを利用していない理由については、「本人にサービス利用の希望がない」が38.0%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.9%、「家族が介護をするため必要ない」が10.6%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1・2」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が60.5%と特に高くなっています。また、「要支援1・2」、「要介護1・2」では、「本人にサービス利用の希望がない」がそれぞれ39.5%、41.6%と高くなっています。



3. 主な介護者様にご回答・ご記入いただく項目

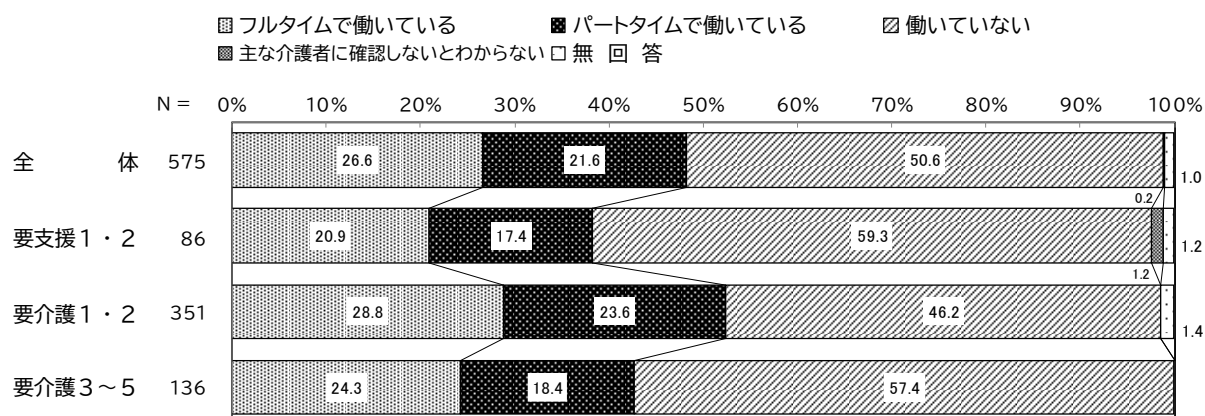
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

【全 体】

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が50.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が26.6%、「パートタイムで働いている」が21.6%となっています。

【要介護度別】

「要介護1・2」では、「フルタイムで働いている」が28.8%と高く、「要支援1・2」、「要介護3～5」では、「働いていない」がそれぞれ59.3%、57.4%と高くなっています。



問2 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺います。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

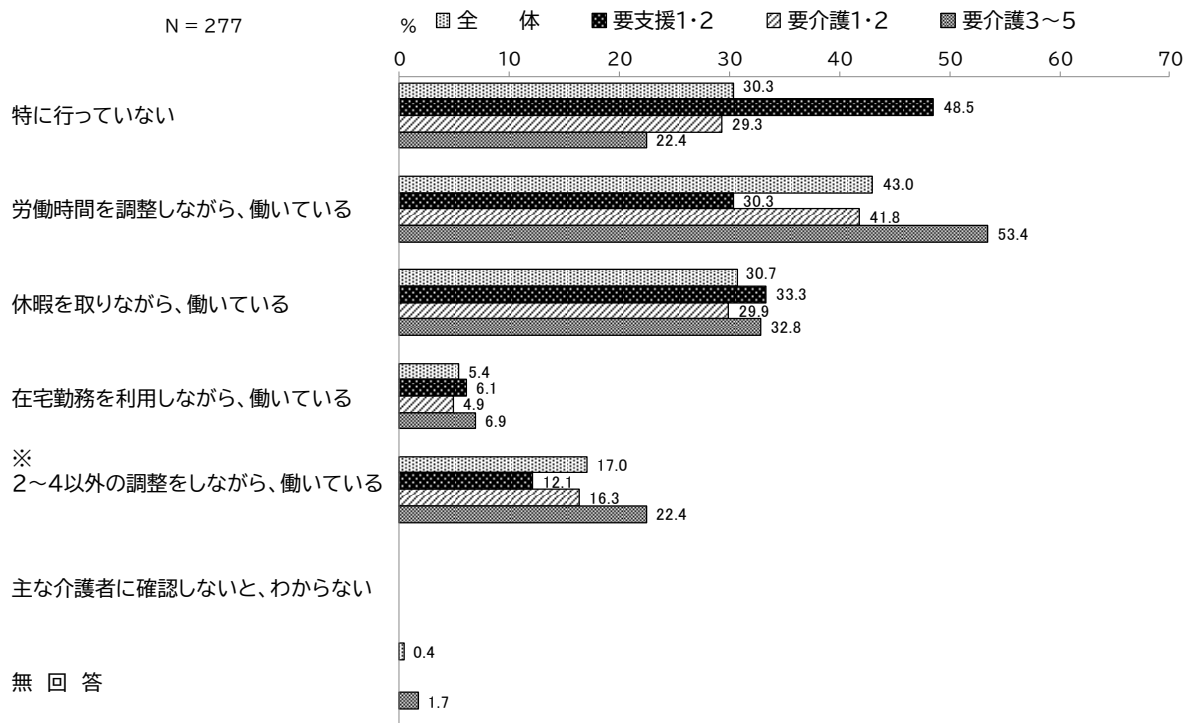
【全 体】

主な介護者が介護をするにあたって、働き方についての調整をしているかどうかについては、「労働時間を調整しながら、働いている」が43.0%と最も高く、次いで「休暇を取りながら、働いている」が30.7%、「2～4以外の調整をしながら、働いている」が17.0%と続いています。なお、「特に行っていない」は30.3%となっています。

【要介護度別】

「要支援1・2」では、「特に行っていない」が48.5%と高くなっています。

一方、「要介護3～5」では、「労働時間を調整しながら、働いている」が53.4%と高くなっています。



※「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」の2～4とは、選択肢2「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」、選択肢3「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」、選択肢4「介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている」の選択肢番号を指す。

【勤務形態別】

「フルタイムで働いている」では、「介護のために、『労働時間を調整』（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」がともに36.6%と高くなっています。また、「パートタイムで働いている」では、「介護のために、『労働時間を調整』（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が50.8%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	特に 行っていない	介護のために、 『労働時間を調整』 (残業免除、短時間勤務、 遅出・早帰・中抜け等) しながら、働いている	介護のために、 『休暇(年休や介護休暇等)』を 取りながら、働いている
フルタイムで働いている	153	30.1	36.6	36.6
パートタイムで働いている	124	30.6	50.8	23.4

	介護のために、 「在宅勤務」を利用しながら、 働いている	介護のために、2～4以外の 調整をしながら、 働いている	主な介護者に 確認しないと、 わからない	無回答
フルタイムで働いている	7.8	17.6	-	0.7
パートタイムで働いている	2.4	16.1	-	-

問3 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

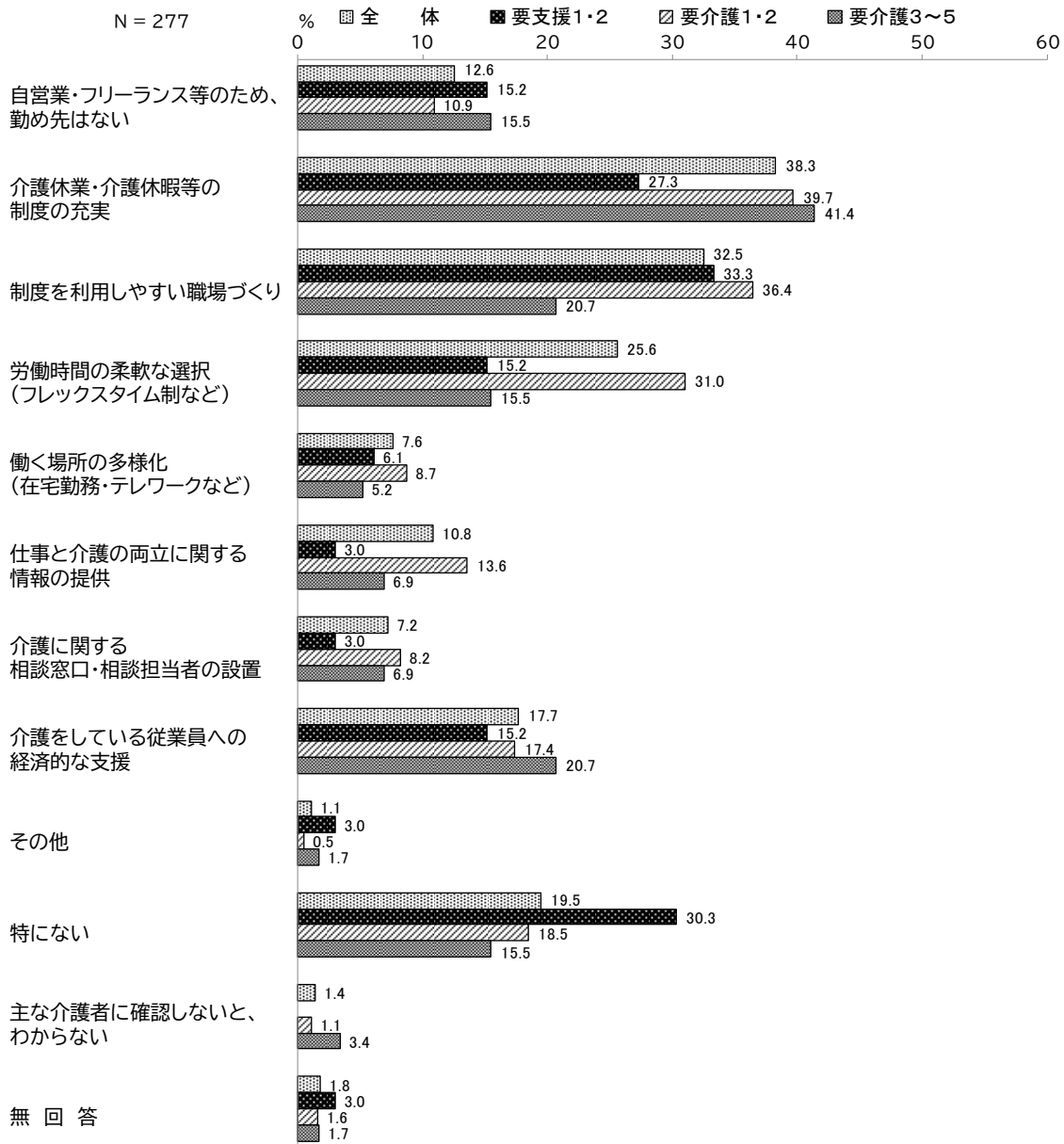
【全 体】

主な介護者が介護をするにあたって、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が38.3%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が32.5%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が25.6%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が17.7%と続いています。

なお、「特にない」は19.5%となっています。

【要介護度別】

「要介護1・2」、「要介護3～5」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が約4割、「要支援1・2」、「要介護1・2」では、「制度を利用しやすい職場づくり」が3割以上と高くなっています。また、「要介護1・2」では、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が31.0%と高くなっています。



【勤務形態別】

「フルタイムで働いている」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が43.8%と高く、「パートタイムで働いている」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」がそれぞれ31.5%、33.1%と高くなっています。

なお、「特にない」は、「パートタイムで働いている」が26.6%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	自営業・フリーランス等のため、勤務先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
フルタイムで働いている	153	13.7	43.8	32.0	25.5	10.5
パートタイムで働いている	124	11.3	31.5	33.1	25.8	4.0

	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
フルタイムで働いている	7.8	7.2	17.0	2.0	13.7	2.0	2.6
パートタイムで働いている	14.5	7.3	18.5	-	26.6	0.8	0.8

問4 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

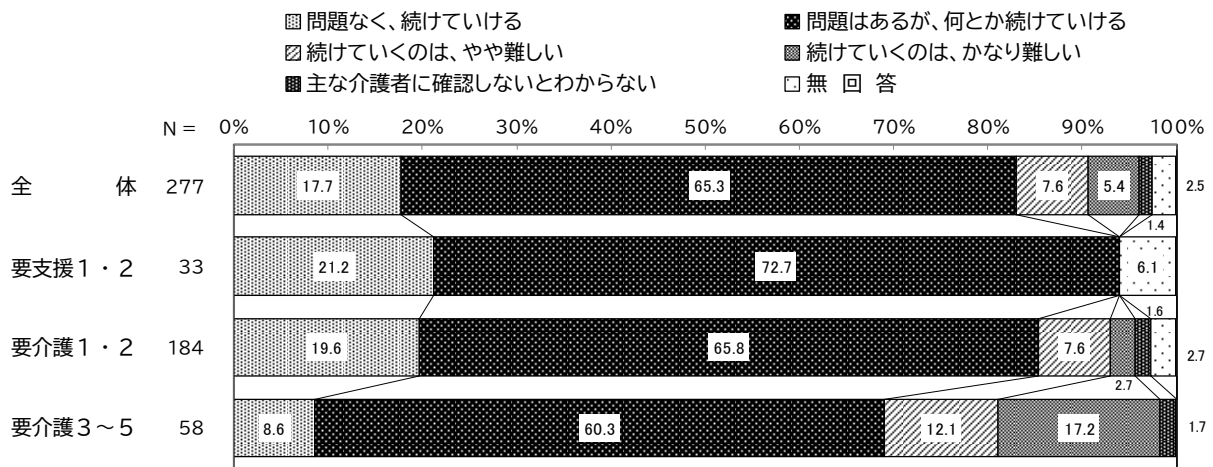
【全 体】

主な介護者が、今後も働きながら介護を続けていけそうかどうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が65.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.7%、「続けていくのは、やや難しい」が7.6%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.4%と続いています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「問題なく、続けていける」、「問題はあるが、何とか続けていける」は低くなり、「要介護3～5」ではそれぞれ8.6%、60.3%となっています。

一方、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」は、「要介護3～5」でそれぞれ12.1%、17.2%と高くなっています。



【勤務形態別】

「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」ともに、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』はそれぞれ80.4%、86.3%と8割を超えています。一方、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『難しい』は、それぞれ13.7%、12.1%となっています。

(単位：%)

	人数	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい
フルタイムで働いている	153	18.3	62.1	7.8
パートタイムで働いている	124	16.9	69.4	7.3

	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
フルタイムで働いている	5.9	2.0	3.9
パートタイムで働いている	4.8	0.8	0.8

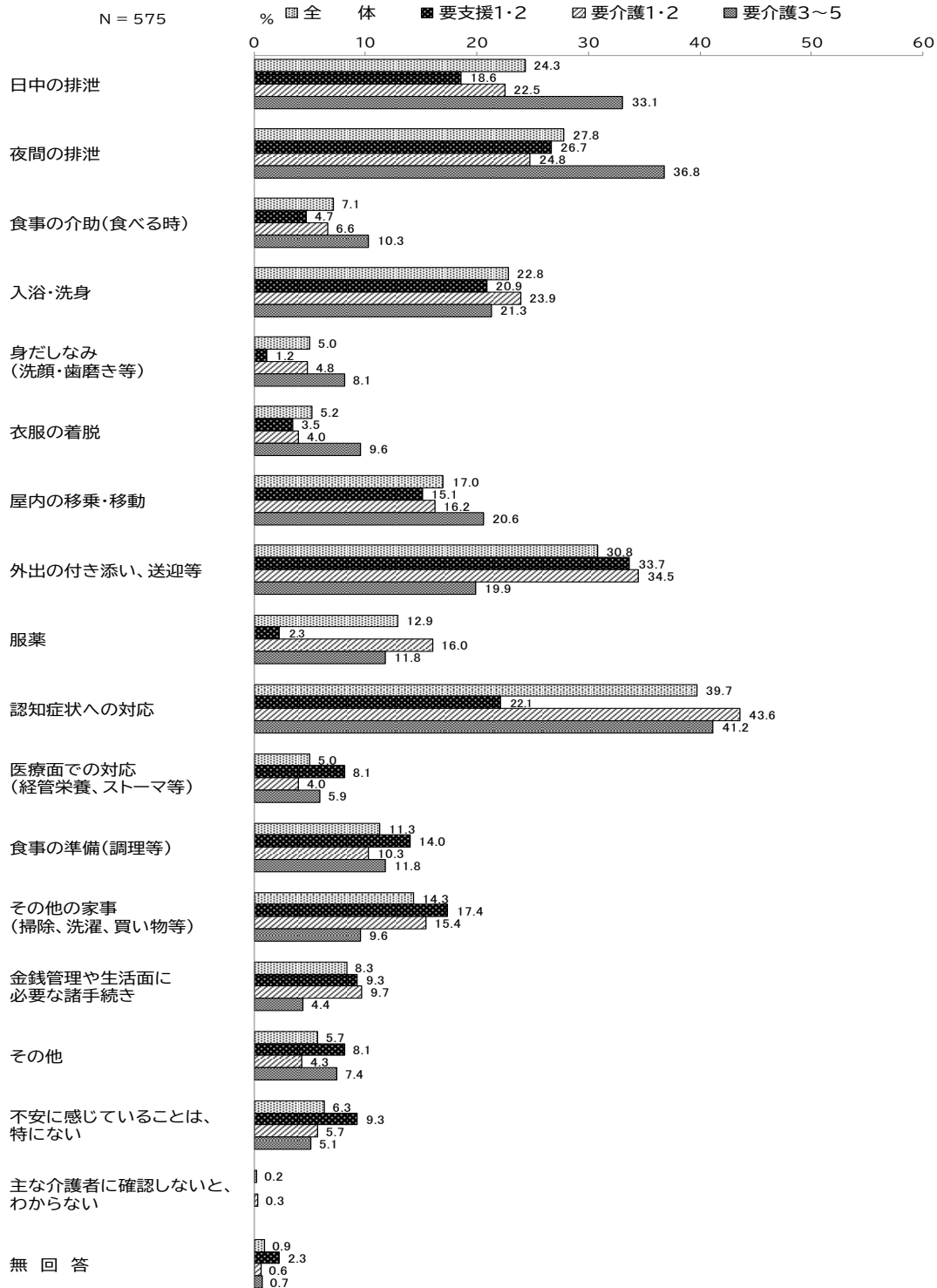
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【全 体】

主な介護者が、不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」が39.7%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.8%、「夜間の排泄」が27.8%、「日中の排泄」が24.3%、「入浴・洗身」が22.8%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1・2」、「要介護1・2」では、「外出の付き添い、送迎等」が3割以上、「要介護1・2」、「要介護3～5」では、「認知症状への対応」が4割以上と高くなっています。また、「要介護3～5」では、「日中の排泄」、「夜間の排泄」が3割を超え高くなっています。



【勤務形態別】

全ての勤務形態で、「認知症状への対応」が最も高く、特に「パートタイムで働いている」では53.2%となっています。

(単位：%)

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱
フルタイムで働いている	153	28.8	28.8	11.1	23.5	6.5	2.0
パートタイムで働いている	124	26.6	26.6	4.8	22.6	5.6	5.6
働いていない	291	21.6	28.5	6.2	23.0	4.1	6.5

	屋内の移乗・ 移動	外出の 付き添い、送迎等	服薬	認知症状 への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)
フルタイムで働いている	19.6	30.1	13.1	45.8	3.3	13.7
パートタイムで働いている	10.5	30.6	11.3	53.2	2.4	8.1
働いていない	18.2	31.3	13.7	31.6	7.2	11.3

	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	不安に感じている ことは、特でない	主な介護者に確認 しないと、わからない	無回答
フルタイムで働いている	13.7	9.8	3.9	2.6	-	-
パートタイムで働いている	11.3	10.5	5.6	3.2	-	1.6
働いていない	15.5	6.9	6.9	9.3	-	0.3

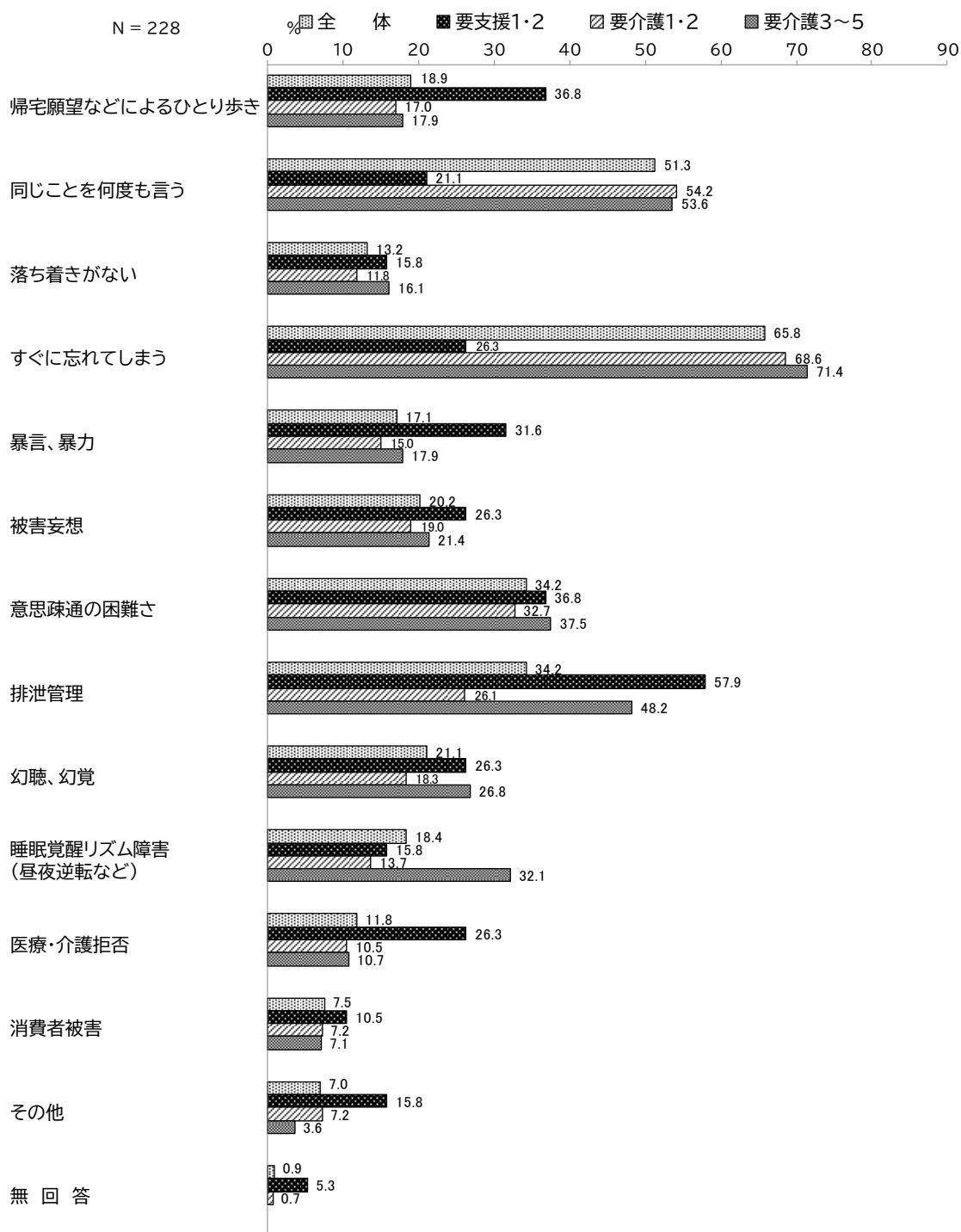
問6 問5で「10. 認知症状への対応」と回答した方にお伺いします。
 具体的に不安を感じる認知症状について、ご回答ください（複数選択可）

【全 体】

主な介護者が、不安を感じる認知症状については、「すぐに忘れてしまう」が65.8%と最も高く、次いで「同じことを何度も言う」が51.3%、「意思疎通の困難さ」、「排泄管理」がともに34.2%、「幻聴、幻覚」が21.1%、「被害妄想」が20.2%と続いています。

【要介護度別】

「要介護1・2」、「要介護3～5」では、「すぐに忘れてしまう」が7割前後、「同じことを何度も言う」が5割以上と高くなっています。また、「要支援1・2」では、「排泄管理」が57.9%、「帰宅願望などによるひとり歩き」、「意思疎通の困難さ」がともに36.8%、「暴言、暴力」が31.6%と高くなっています。



問7 問5で「10. 認知症状への対応」と回答した方にお伺いします。

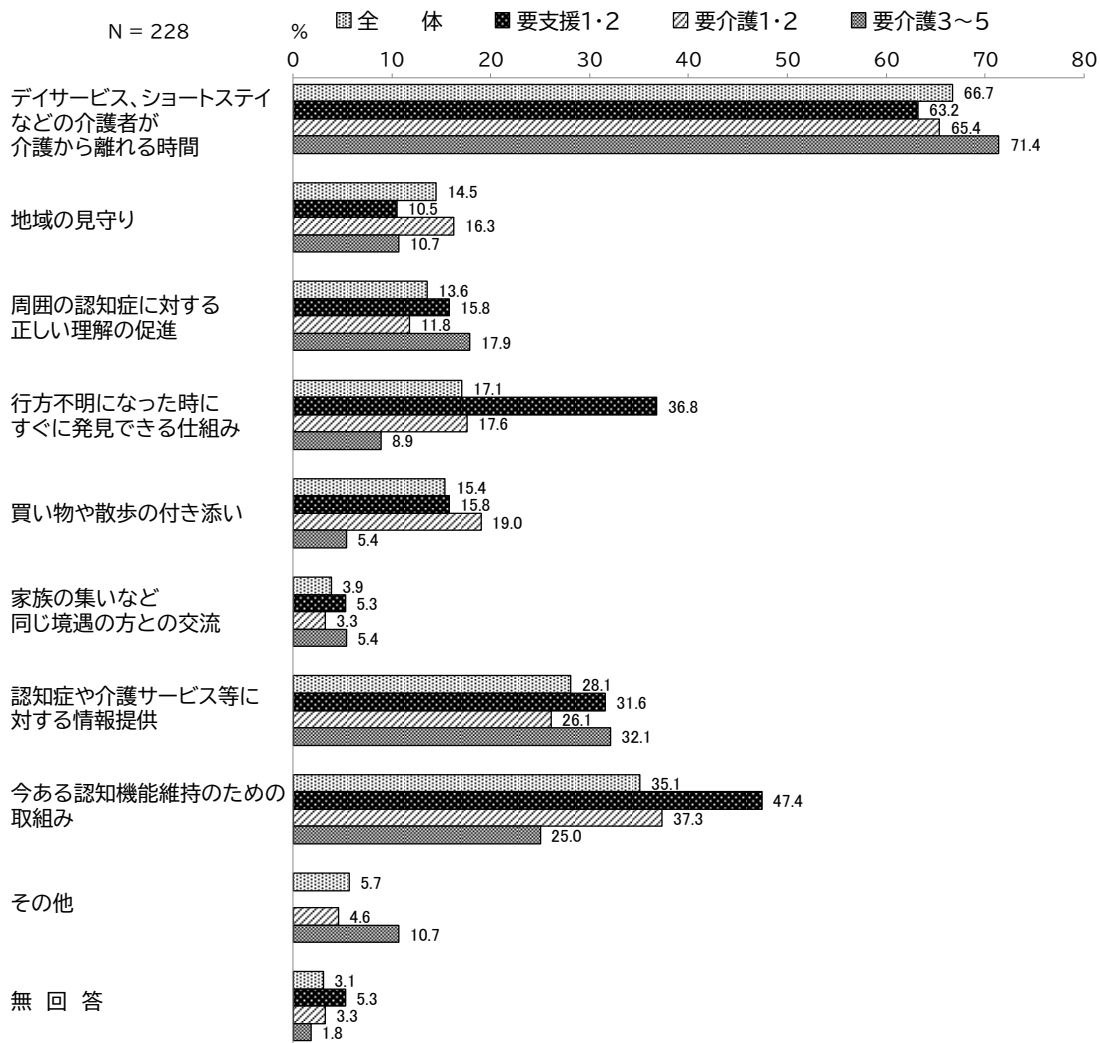
どのような支援・サービスがあれば、今後も在宅での生活を続けることができますか（複数選択可）

【全 体】

認知症状に対してどのような支援・サービスがあれば、今後も在宅での生活を続けることができるかについては、「デイサービス、ショートステイなどの介護者が介護から離れる時間」が66.7%と最も高く、次いで「今ある認知機能維持のための取組み」が35.1%。「認知症や介護サービス等に対する情報提供」が28.1%と続いています。

【要介護度別】

すべての介護度で「デイサービス、ショートステイなどの介護から離れる時間」が6割を超え、高くなっています。また、「要支援1・2」では、「今ある認知機能維持のための取組み」が47.4%、「行方不明になった時にすぐに発見できる仕組み」が36.8%と高くなっています。



介護者様 へ
在宅介護実態調査へのご協力をお願い

日頃から新座市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画第10期計画策定のための重要な基礎資料として、『在宅介護実態調査』を実施させていただくことになりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、調査で収集した個人情報は計画策定の目的にのみ使用し、個人情報の保護に関する法律に基づく適正な取扱いをいたします。

令和7年7月

新座市

〔お問合せ先〕

新座市いきいき健康部介護保険課 048-424-5361（直通）

ご記入に際してのお願い

- 1 この調査の対象者は、調査日現在、在宅で要支援・要介護認定を受けている方と主な介護者（ご家族、ご親族等の介護者）の方です。
- 2 要支援・要介護認定を受けている方に対しましては、本日も訪問した認定調査員が、ご本人様の回答を聴き取り記載いたしました。（回収済み）
- 3 介護者の方へご協力いただきたい調査（B票）について、調査票にご記入の上、返信用封筒でご提出をお願いします。
（本日から10日間程度でご投函していただけると幸いです。）
- 4 ご回答にあたっては、質問に従って、あてはまる回答の番号に○をつけてください。
- 5 本調査への協力の可否や回答内容が要介護認定調査の結果に影響を与えることは一切ありません。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご回答をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、新座市の介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報を基に実施しています。
- 本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定、効果的な介護政策の立案、効果評価の基礎資料として利用いたします。また、当該情報については、市で適切に管理いたします。
- 上記の基礎資料利用時には、市が保有する介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報とともに利用・分析させていただきます。

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号／調査日〔 _____ / 月 日〕

被保険者番号については、8桁で記入してください。例：511の場合は「00000511」
A票、B票の被保険者番号が同じことを確認してください。

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票

ご本人に回答していただく項目（聞き取り調査による）

●問1～問5について

問1～問5の回答については、認定調査票の主訴で確認することができます。
聞き取りを行う前に、認定調査票の主訴をご確認いただき、主訴に基づき問1～問5に該当する選択肢に「○」を付けてください。
なお、認定調査票の主訴で確認できない場合は、ご本人に聞き取りをお願いします。

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか （同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない → 問8へ
 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
 3. 週に1～2日ある
 4. 週に3～4日ある
 5. ほぼ毎日ある
- 2.～5. → 問3へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性
2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

●問6について

問6の回答については、以下の認定調査票の参照該当番号から確認することができます。
聞き取りを行う前に、認定調査票をご確認いただき、該当する選択肢に「○」を付けてください。
なお、認定調査票で確認できない場合は、ご本人に聞き取りをお願いします。

	認定調査票 参照番号		認定調査票 参照番号
〔身体介護〕			
1. 日中の排泄	2-5、2-6	2. 夜間の排泄	2-5、2-6
3. 食事の介助(食べる時)	2-3、2-4	4. 入浴・洗身	1-10
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	2-7、2-8、2-9	6. 衣服の着脱	2-10、2-11
7. 屋内の移乗・移動	1-7、2-1、2-2	8. 外出の付き添い、送迎等	2-12
9. 服薬	5-1	10. 認知症状への対応	3群、4群、7群
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	6群		
〔生活援助〕			
12. 食事の準備(調理等)	5-6	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	5-5
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	5-2		

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか

(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● **ここから再び、全員に調査してください。**

**問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)**

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 | 11. 利用していない |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 | 11. 特になし |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

**問10 あなたが寝たきりなどで、さらに医療、介護が必要になった時、在宅医療や在宅介護を希望しますか
(1つを選択)**

- | | | |
|-----------------|---|------|
| 1. 希望する | → | 問11へ |
| 2. 希望するが、難しいと思う | } | 問12へ |
| 3. 希望しない | | |
| 4. わからない | | |

問11 問10で「1.」と回答した方にお伺いします。希望する理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 家の方が住み慣れた場所で診療を受けられるので安心感がある | 2. 施設入所や入院に金銭的不安がある |
| 3. 通院に使う体力的・時間的な負担を減らすことができる | 4. 生活環境に合わせた治療やサポートを選択できる |
| 5. 家族も治療過程に参加しやすくなる | 6. 介護に対する家族の理解がある |
| 7. ヘルパーなどの介護サービスを利用する | 8. 制限が少ない生活が送れる |
| 9. 施設等での他人との共同生活に不安がある | 10. その他() |

問12 問10で「2.」～「4.」と回答した方にお伺いします。実現が難しい又は希望しない、わからないと思う理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 家族に介護の負担をかけたくない | 2. 家族が仕事をしているため(介護の時間がとれない) |
| 3. 一人暮らしだから(介護をしてくれる人がいない) | 4. 配偶者も高齢であり、老々介護は難しい |
| 5. 在宅での療養に不安を感じる(施設入所や入院の方が安心感がある) | 6. 在宅での看取り・急変時に不安がある |
| 7. 他人を家に入れることに抵抗がある | 8. 在宅で介護するための知識がない(使用できる制度や介護サービスを知らない等) |
| 9. 今はまだ考えられない(その時の状況にならないとわからない) | 10. その他() |

●問13について

問13の回答については、認定調査票の主訴で、現在施設に入居しているかどうかを確認することができます。聞き取りを行う前に、認定調査票の主訴をご確認いただき、施設に入居していない方だけに聞き取りをお願いします。

問13 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している (施設名: _____)
 3. すでに入所・入居申し込みをしている (施設名: _____)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問14 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中) 2. 心疾患(心臓病)
 3. 悪性新生物(がん) 4. 呼吸器疾患
 5. 腎疾患(透析) 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
 7. 膠原病(関節リウマチ含む) 8. 変形性関節疾患
 9. 認知症 10. パーキンソン病
 11. 難病(パーキンソン病を除く) 12. 糖尿病
 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
 14. その他 15. なし
 16. わからない

問15 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか
(1つを選択)

1. 利用している —————> A 票終了 2. 利用していない —————> 問16へ

問16 問15で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか
(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
 2. 本人にサービス利用の希望がない
 3. 家族が介護をするため必要ない
 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
 5. 利用料を支払うのが難しい
 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
 9. その他(_____)

- 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合、また、B票の記入にお時間がかかる場合は、返信用封筒とB票をお渡しし、後ほど郵送による回答のご協力をお願いしてください。

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号／調査日〔 _____ / 月 日〕

B票

主な介護者様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願いいたします。

問3、問5のご回答は、3つまでです。4つ以上に「○」を付けないようお願いいたします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|-----|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問6 問5で「10.」と回答した方にお伺いします。具体的に不安に感じる認知症状について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|---------------|------------|
| 1. 帰宅願望などによるひとり歩き | 2. 同じことを何度も言う | 3. 落ち着きがない |
| 4. すぐに忘れてしまう | 5. 暴言、暴力 | 6. 被害妄想 |
| 7. 意思疎通の困難さ | 8. 排泄管理 | 9. 幻聴、幻覚 |
| 10. 睡眠覚醒リズム傷害(昼夜逆転など) | 11. 医療・介護拒否 | 12. 消費者被害 |
| 13. その他() | | |

問7 問5で「10.」と回答した方にお伺いします。どのような支援・サービスがあれば、今後も在宅での生活を続けることができますか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. デイサービス、ショートステイなどの介護者が介護から離れる時間 | 2. 地域の見守り |
| 3. 周囲の認知症に対する正しい理解の促進 | 4. 行方不明になった時にすぐに発見できる仕組み |
| 5. 買い物や散歩の付き添い | 6. 家族の集いなど同じ境遇の方との交流 |
| 7. 認知症や介護サービス等に対する情報提供 | 8. 今ある認知機能維持のための取組み |
| 9. その他() | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

第3章

在宅生活改善調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第10期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画の策定のための基礎資料として、自宅等(サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム含む)に住んでいる方で、現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討することを目的として実施しました。

2. 調査対象者

市内の居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所及び事業所に所属するケアマネジャー

3. 調査方法

メールによる配布・回収

4. 実施期間

令和7年12月2日(火) ～ 令和7年12月23日(火)

5. 回収結果

	調査対象事業所数	回答事業所数	回収率
居宅介護支援事業所	36	18	50.0%
小規模多機能型居宅介護事業所	2	2	100.0%
介護予防支援事業所	8	8	100.0%
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1	1	100.0%

6. 報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表しています。
- 「N」は、症例数のことで、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
また、複数回答(2つ以上選択)の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

- サービス名の略称：在宅及び住まい・施設サービスについては、一部略称を用いています。正式名称は下表のとおりです。
- 「自宅等」については、定義が一部異なっている場合があるため、「※」印により注を付けています。

■在宅サービス

本書で用いた名称（略称含む）	正式名称
訪問介護	※（同左）
訪問入浴	※（同左）
訪問看護	※（同左）
訪問リハ	訪問リハビリテーション
通所介護	※（同左）
通所リハ	通所リハビリテーション
ショートステイ	短期入居者生活介護
定期巡回サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
夜間対応型訪問介護	※（同左）
認知症対応型通所	認知症対応型通所介護
小規模多機能	小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能	看護小規模多機能型居宅介護

■住まい・施設等

本書で用いた名称（略称含む）	正式名称
住宅型有料	住宅型有料老人ホーム
サ高住	サービス付高齢者向け住宅
軽費老人ホーム	※（同左）
グループホーム	認知症対応型共同生活介護
特定施設	特定施設入居者生活介護
介護老人保健施設	※（同左）
介護医療院	※（同左）
特養／特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設
地域密着型特定施設	地域密着型特定施設入居者生活介護
地域密着型特別養護老人ホーム	地域密着型介護老人福祉施設

Ⅱ 調査結果

1. 事業所票

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

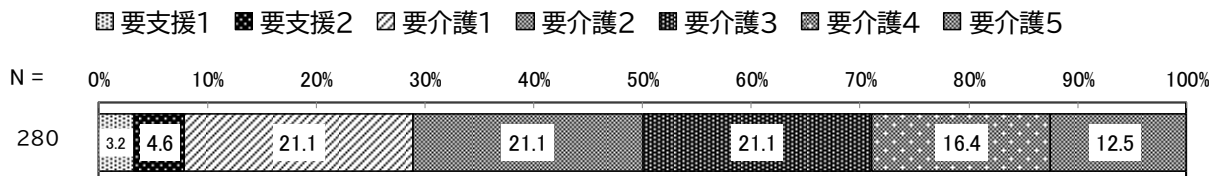
回答のあった事業所に所属するケアマネジャーの人数は合計95人、「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」を除く「自宅等」にお住いの利用者数は1,989人、「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数は243人となっています。

(単位：人)

所属するケアマネジャーの人数(合計)	95
「自宅等」にお住まいの利用者数 ※「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数を除く	1,989
「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	243

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。

過去1年(R6.12.1~R7.11.30)の間に自宅等から、居場所を変更した利用者の要介護度については、「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」が同率で21.1%と最も高く、次いで「要介護4」が16.4%、「要介護5」が12.5%と続いています。

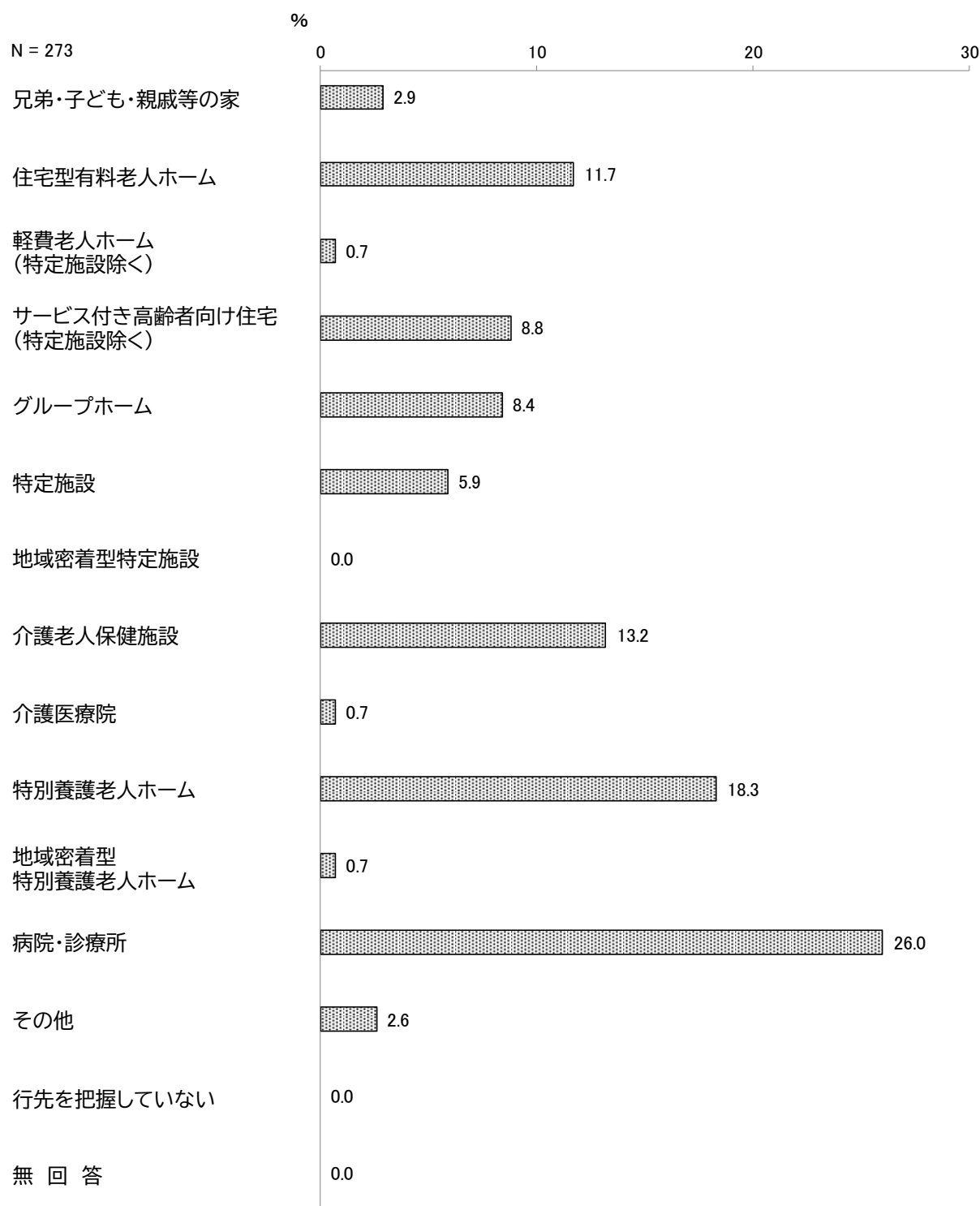


問3 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。

【全 体】

過去1年(R6.12.1~R7.11.30)の間に自宅等から、居場所を変更した人は273人、死亡した人は145人となっています。自宅等から、居場所を変更した人では、「病院・診療所」が26.0%(71人)、「特別養護老人ホーム」が18.3%(50人)、「介護老人保健施設」が13.2%(36人)、「住宅型有料老人ホーム」が11.7%(32人)と続いています。

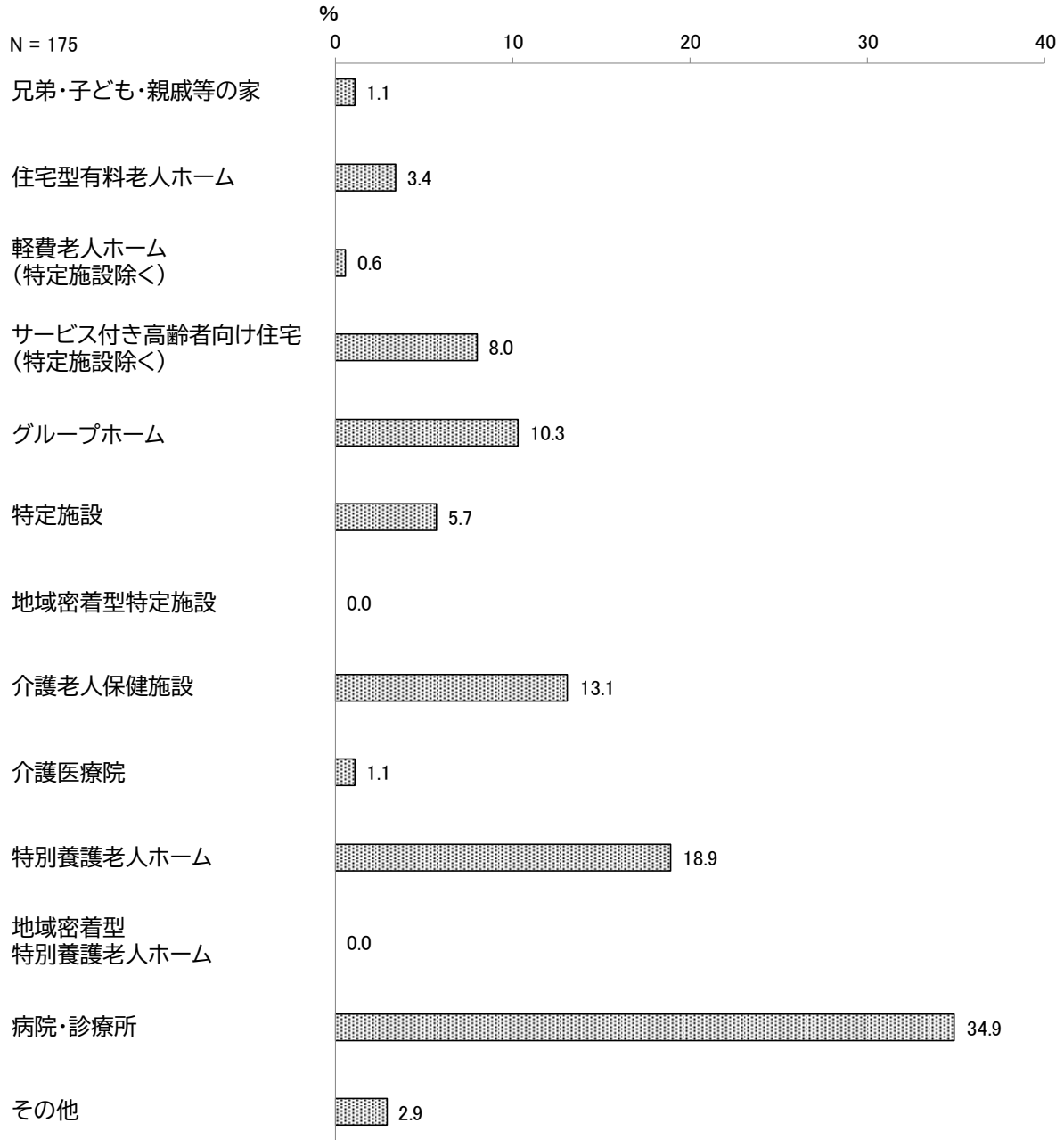
※「自宅等」には、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームは含まれない。



【市内】

過去1年(R6.12.1~R7.11.30)の間に自宅等から、市内に居場所を変更した人は全体で175人となっており、「病院・診療所」が34.9%(61人)、「特別養護老人ホーム」が18.9%(33人)、「介護老人保健施設」が13.1%(23人)、「グループホーム」が10.3%(18人)、「サービス付き高齢者向け住宅」が8.0%(14人)と続いています。

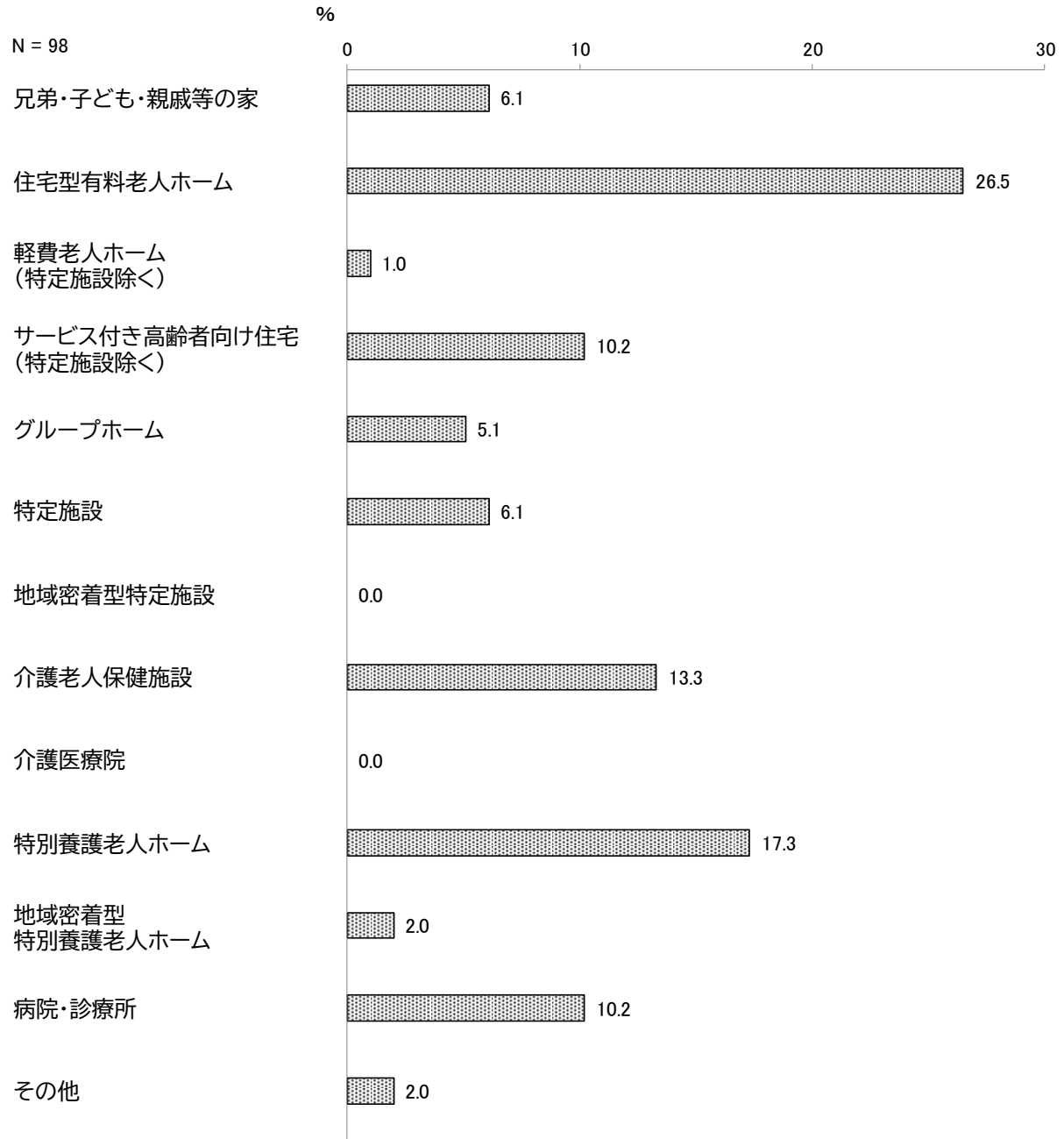
※「自宅等」には、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームは含まれない。



【市 外】

過去1年(R6.12.1~R7.11.30)の間に自宅等から、市外に居場所を変更した人は全体で98人となり、「住宅型有料老人ホーム」が26.5%(26人)、「特別養護老人ホーム」が17.3%(17人)、「介護老人保健施設」13.3%(13人)が、「サービス付き高齢者向け住宅」、「病院・診療所」がともに10.2%(10人)と続いています。

※「自宅等」には、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームは含まれない。



問4 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。

◆**居宅介護支援事業所**

<ul style="list-style-type: none"> ・入院等でADLが低下し、介護者の負担が大きくなった場合。日中の見守り・介護が3回以上必要となると、デイサービスを毎日利用するしかなくなるが、送り出しお迎えやデイの荷物準備などが必要となるため、入所系の支援を選択せざるを得なくなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の進行により家族の負担が多くなったり、ADLの低下で生活動作が困難になる場合。サービスの必要量が増え、在宅の介護保険ではまかなえなくなる場合も含まれる。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能の低下、受診や内服ができなくなる、片付けができなくなる等。 ・エレベーターのないアパートで階段の昇降ができなくなった。 ・介護者の負担が大きくなった。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の進行や病状の悪化により、介護の必要性が高くなり、介護者の心身への負担及び金銭面で、在宅での生活維持が困難となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護者が就労していてサービスを利用しても介護が難しい状況。
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自身や同居、別居家族が、利用者の認知症状含め、心身状況の把握や病状把握ができておらず、ケアマネがなんとかしてくれるだろうと受け身で現状を理解しようとしにくい様子もあり、介護サービスや地域のサービスを案内しても繋がらない。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能低下に加え、身体機能低下が重なり、サービス提供だけでは本人の生命の安全が確保できなくなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の介護が頻回。排泄が自立できなくなる。介護者の体調不良、介護負担増大。
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの過度な要求や厳しい言葉で介護する側が精神的に強いストレスを受け、介入できなくなる。(※特定のケースにおいて)
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で訪問等のサービスを使っただけの生活が病状や身体状況の悪化により、継続困難になったケースが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・下肢筋力低下により、屋内移動が困難になった時。 ・介護者不在でヘルパーが1日一回では成り立たなくなった時。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方・近隣の方よりクレームが増えて、家族が難しいと感じた場合。 ・家族のことがわからない、自分の家だとわからなくなった場合。 ・身体介護だと介護者の疲弊や介護者の病気等がきっかけになることが多い。 ・認知周辺症状の悪化。家族と同居・別居を問わず本人と家族の意見の相違が大きい場合。
<ul style="list-style-type: none"> ・入院によるADL低下 主に排泄介助 食事 中心静脈栄養 寝たきり状態 精神病重度 痰吸引必要。 ・認知機能の低下等により、身の回りのことを行うことが困難になるケース。

◆**介護予防支援事業所**

<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には要支援の方々なので状態悪化すれば区分変更することによりサービスを増やし在宅生活を維持していくこととなります。ただし、ゴミ収集に関しては要介護から要支援になると「ふれあい収集」が利用できなくなりゴミ捨てが困難になるということは在宅生活継続の上で困難となる一要因になりえます。
<ul style="list-style-type: none"> ・貧困 ・認知症や精神疾患による判断力低下による独居生活困難者 ・病気や怪我
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の悪化で近所とトラブル（ゴミや車の運転など）が増え、通報があったり警察沙汰が多くなってきた場合 ・独居で自分のことができなくなった場合
<ul style="list-style-type: none"> ・病状悪化等によりお身体の状態に変化が見られ、おひとり暮らしや老々介護に限界になったとき。 ・同居の家族が居なくなりその後の独居での生活が困難になるケース
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の進行により、金銭管理や、火の不始末の問題が生じた場合。 <p>独居または高齢者夫婦世帯で疾患やけがのため、自力で歩行が困難になった場合。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、区分変更をして、担当を外れることが多く、上記の数字には上がりません。 <p>この一年であった一件は、ご自身で在宅生活はしたくないと言って、ご自身で施設を探された方になります。</p>

◆**小規模多機能型・看護小規模多機能型居宅介護事業所**

<ul style="list-style-type: none"> ・家族の体調不良、介護負担増強により、在宅サービス利用が困難となってしまうため。
<ul style="list-style-type: none"> ・独居の場合、常にだれかが駆け付けられる場所にいることが必要になった場合。 ・家族介護者が介護が難しくなった場合。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症進行・ADL低下により在宅生活継続困難。

2. 利用者票

■問1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」利用者の状況等

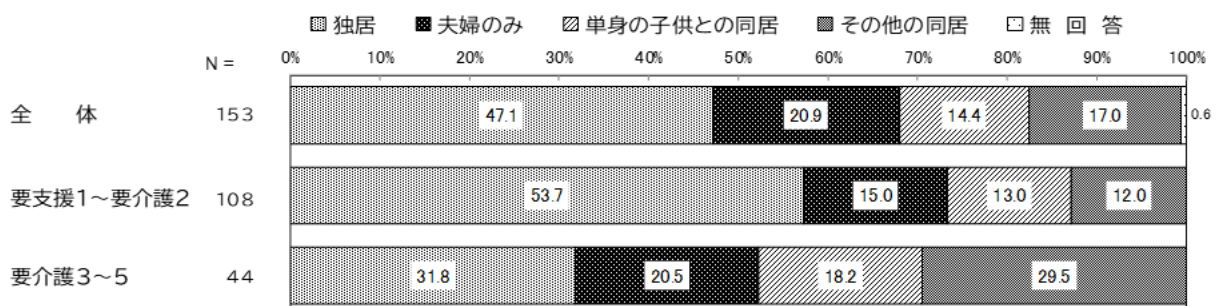
問1-1 利用者の世帯類型について

【全 体】

利用者の世帯類型については、「独居」が47.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が20.9%、「その他の同居」が17.0%、「単身の子供との同居」が14.4%となっています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」、「要介護3～5」とともに「独居」が最も高くなっていますが、「要支援1～要介護2」では53.7%と「要介護3～5」の31.8%より特に高くなっています。また、「要介護3～5」では「その他の同居」も29.5%と高くなっています。



問1-2 利用者の現在の居所について

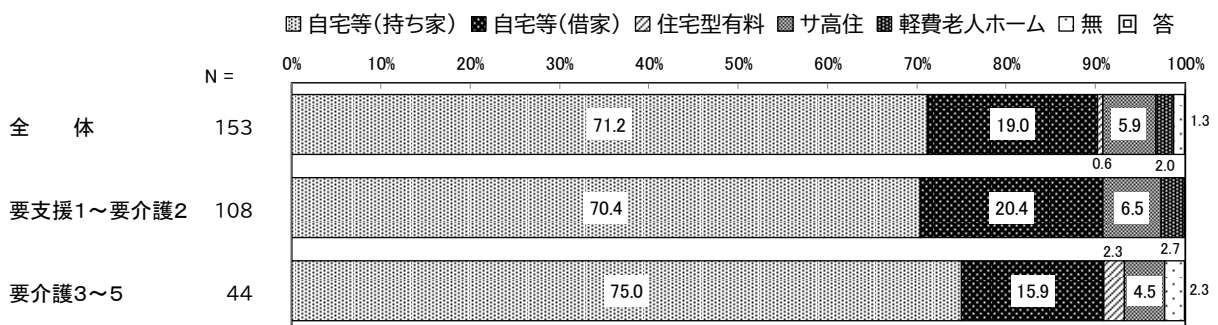
【全 体】

利用者の現在の居所については、「自宅等(持ち家)」が71.2%と最も高く、次いで「自宅等(借家)」が19.0%と続いています。

なお、「サ高住」は5.9%、「軽費老人ホーム」は2.0%となっています。

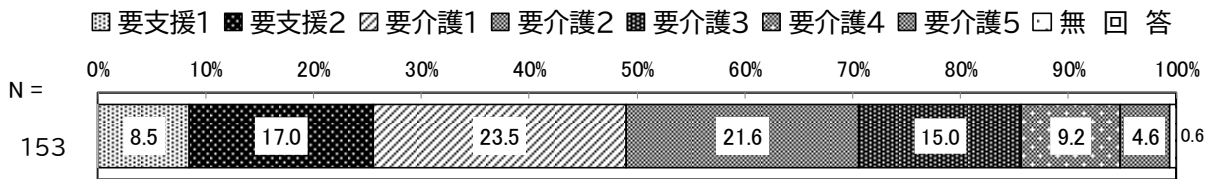
【要介護度別】

「要支援1～要介護2」、「要介護3～5」とともに「自宅等(持ち家)」がそれぞれ70.4%、75.0%と高くなっています。



問1-3 利用者の要支援・要介護度について

利用者の要支援・要介護度については、「要介護1」が23.5%と最も高く、次いで「要介護2」が21.6%、「要支援2」が17.0%、「要介護3」が15.0%と続いています。



問2 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由

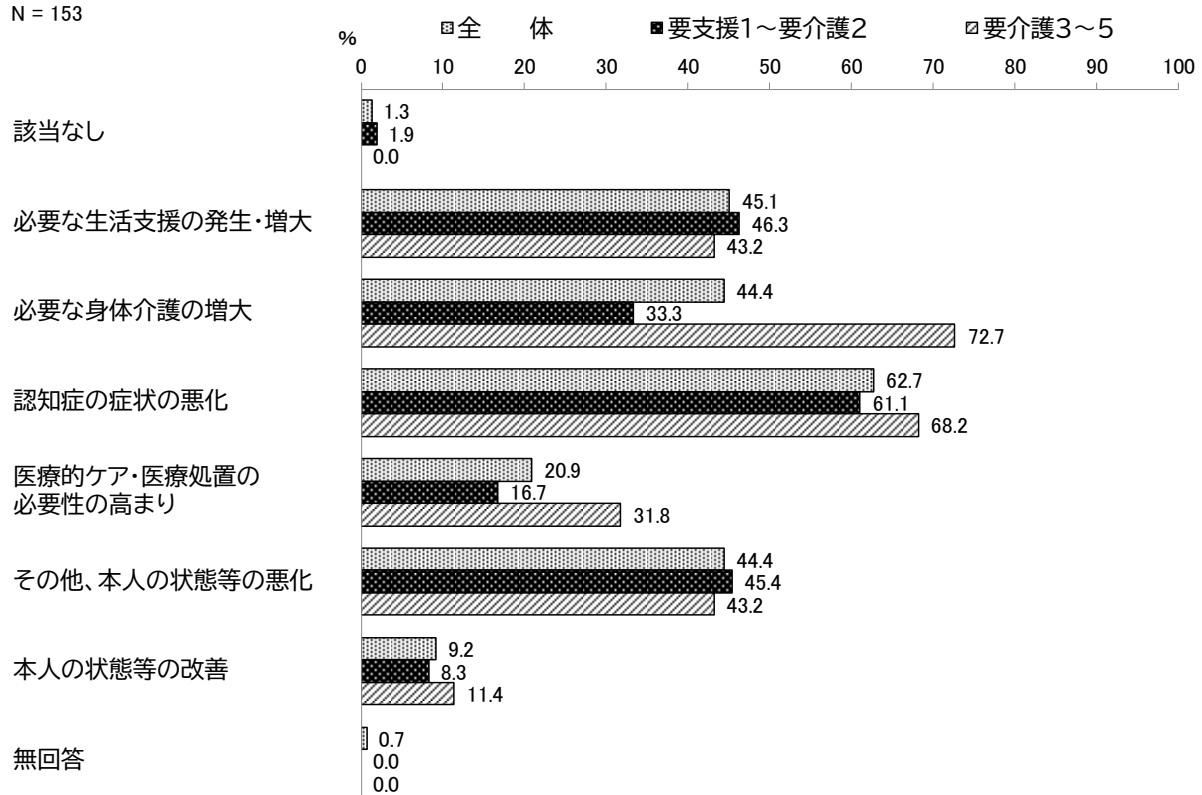
問2-1 本人の状態等に属する理由について

【全体】

本人の状態等に属する理由については、「認知症の症状の悪化」が62.7%と最も高く、次いで「必要な生活支援の発生・増大」が45.1%、「必要な身体介護の増大」、「その他、本人の状態等の悪化」がともに44.4%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「認知症の症状の悪化」が61.1%と高くなっています。また、「要介護3～5」では、「必要な身体介護の増大」が72.7%、「認知症の症状の悪化」が68.2%の順で高くなっています。



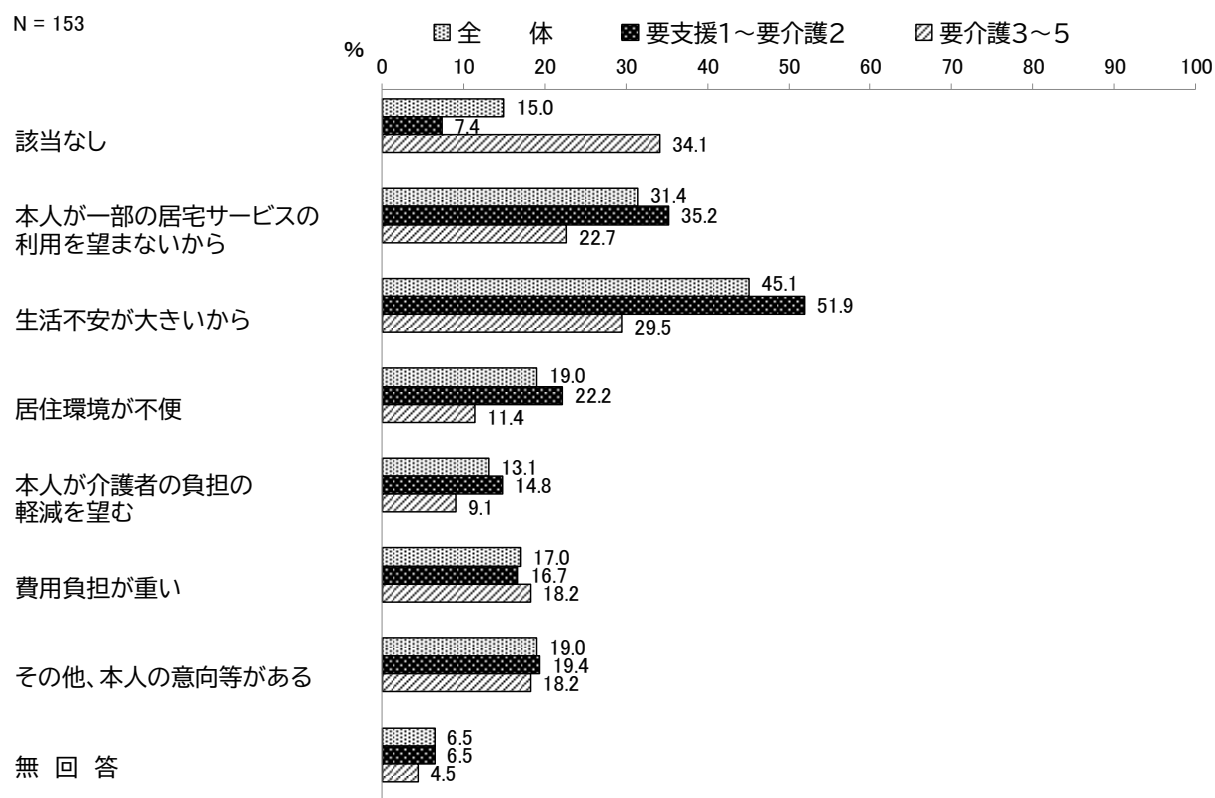
問2-2 主に本人の意向等に属する理由について

【全 体】

本人の意向等に属する理由については、「生活不安が大きいから」が45.1%と最も高く、次いで「本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから」が31.4%、「居住環境が不便だから」、「その他、本人の意向等があるから」がともに19.0%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「生活不安が大きいから」が51.9%、「本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから」が35.2%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「生活不安が大きいから」が29.5%、「本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから」が22.7%の順で高くなっています。



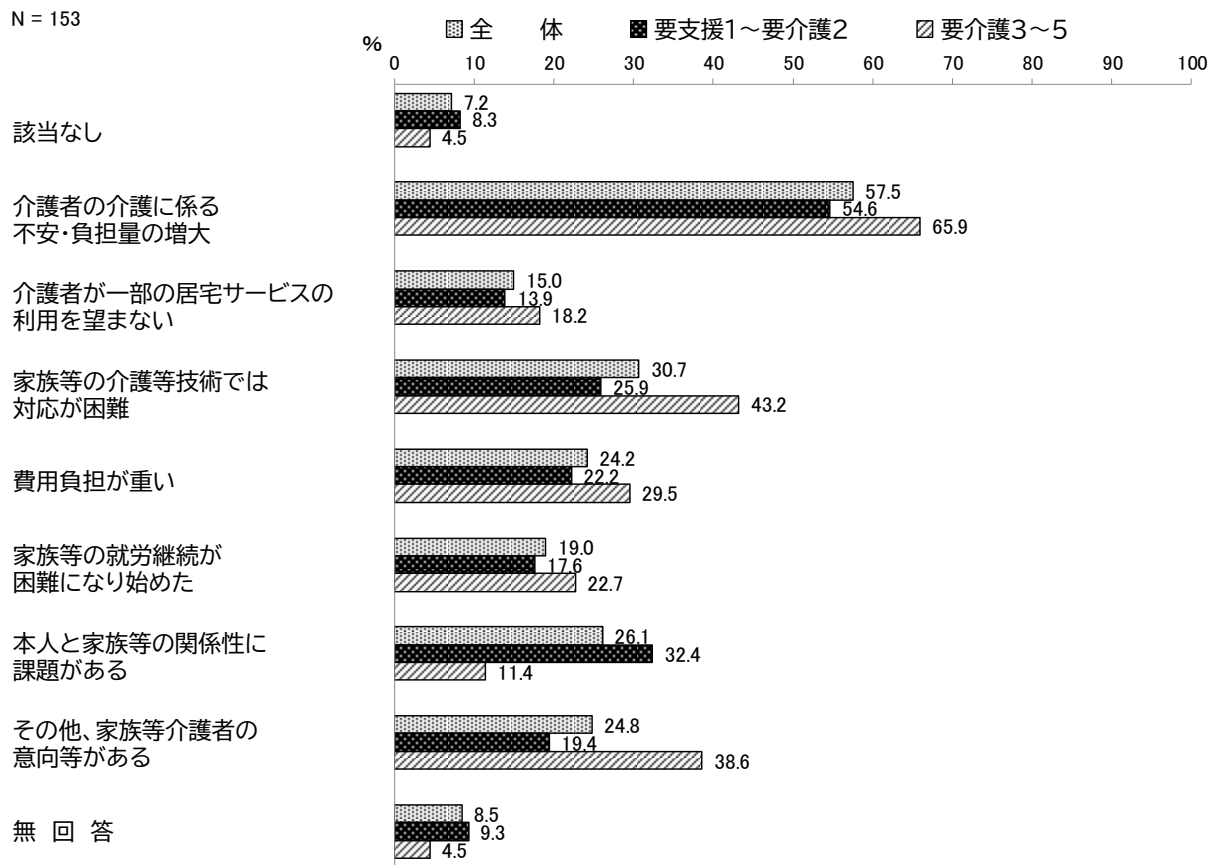
問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について

【全 体】

家族等介護者の意向・負担等に属する理由については、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が57.5%と最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」が30.7%、「本人と家族等の関係性に課題がある」が26.1%、「その他、家族等介護者の意向等がある」が24.8%、「費用負担が重い」が24.2%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が54.6%、「本人と家族等の関係性に課題がある」が32.4%、「家族等の介護等技術では対応が困難」が25.9%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が65.9%、「家族等の介護等技術では対応が困難」が43.2%、「その他、家族等介護者の意向等がある」が38.6%の順で高くなっています。



問2-4 本人の状態等に属する理由が「必要な身体介護の増大」の場合の具体的な「身体介護」について

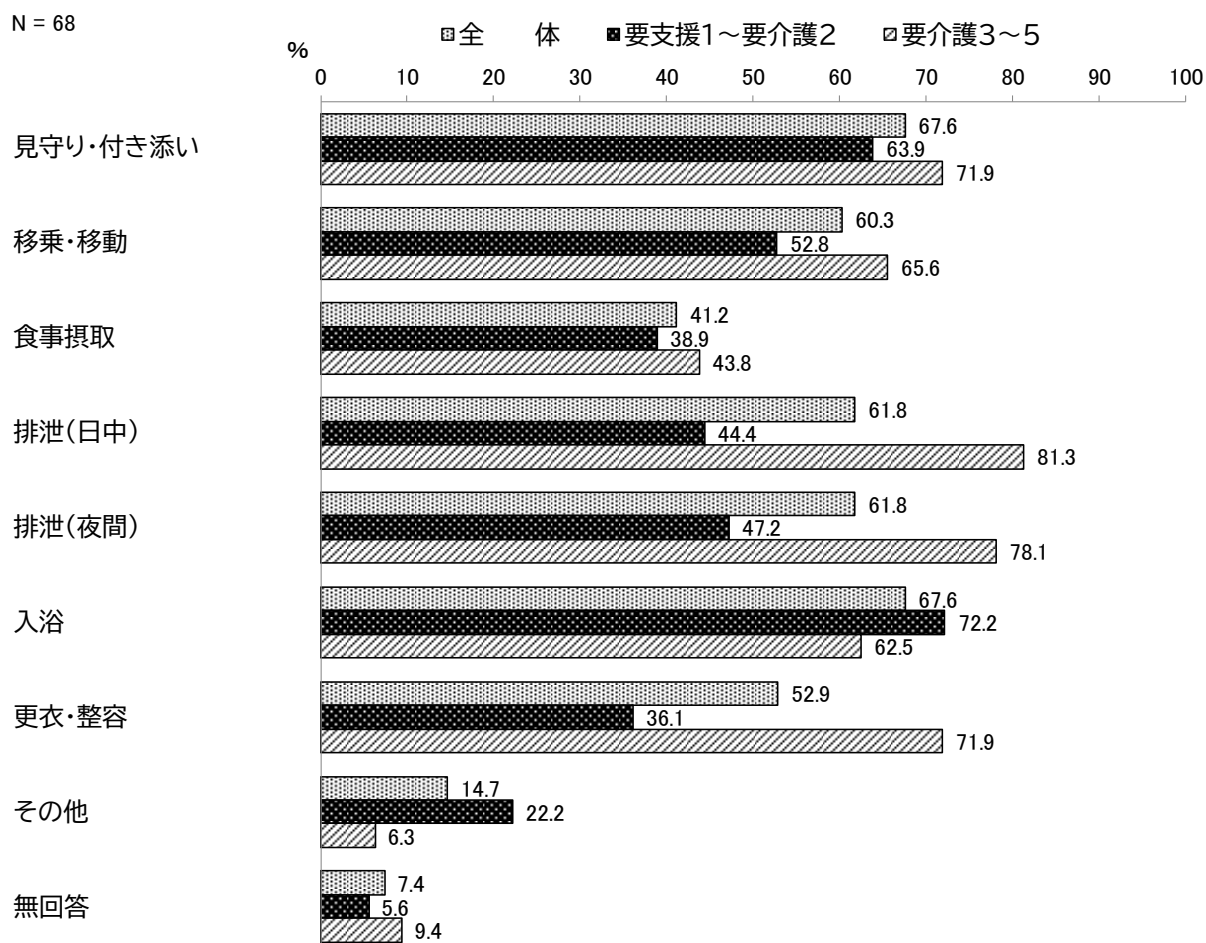
【全 体】

必要な身体介護の増大が理由の具体的な「身体介護」の内容については、「見守り・付き添い」、「入浴」がともに67.6%と最も高く、次いで「排泄(日中)」、「排泄(夜間)」がともに61.8%、「移乗・移動」が60.3%、「更衣・整容」が52.9%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「入浴」が72.2%、「見守り・付き添い」が63.9%、「移乗・移動」が52.8%、「排泄(夜間)」が47.2%、「排泄(日中)」が44.4%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「排泄(日中)」が81.3%、「排泄(夜間)」が78.1%、「見守り・付き添い」、「更衣・整容」がともに71.9%、「移乗・移動」が65.6%、「入浴」が62.5%の順で高くなっています。

なお、「入浴」を除くすべての項目で、「要介護3～5」が「要支援1～要介護2」より高く、「食事摂取」を除くすべての項目で6割を超えています。



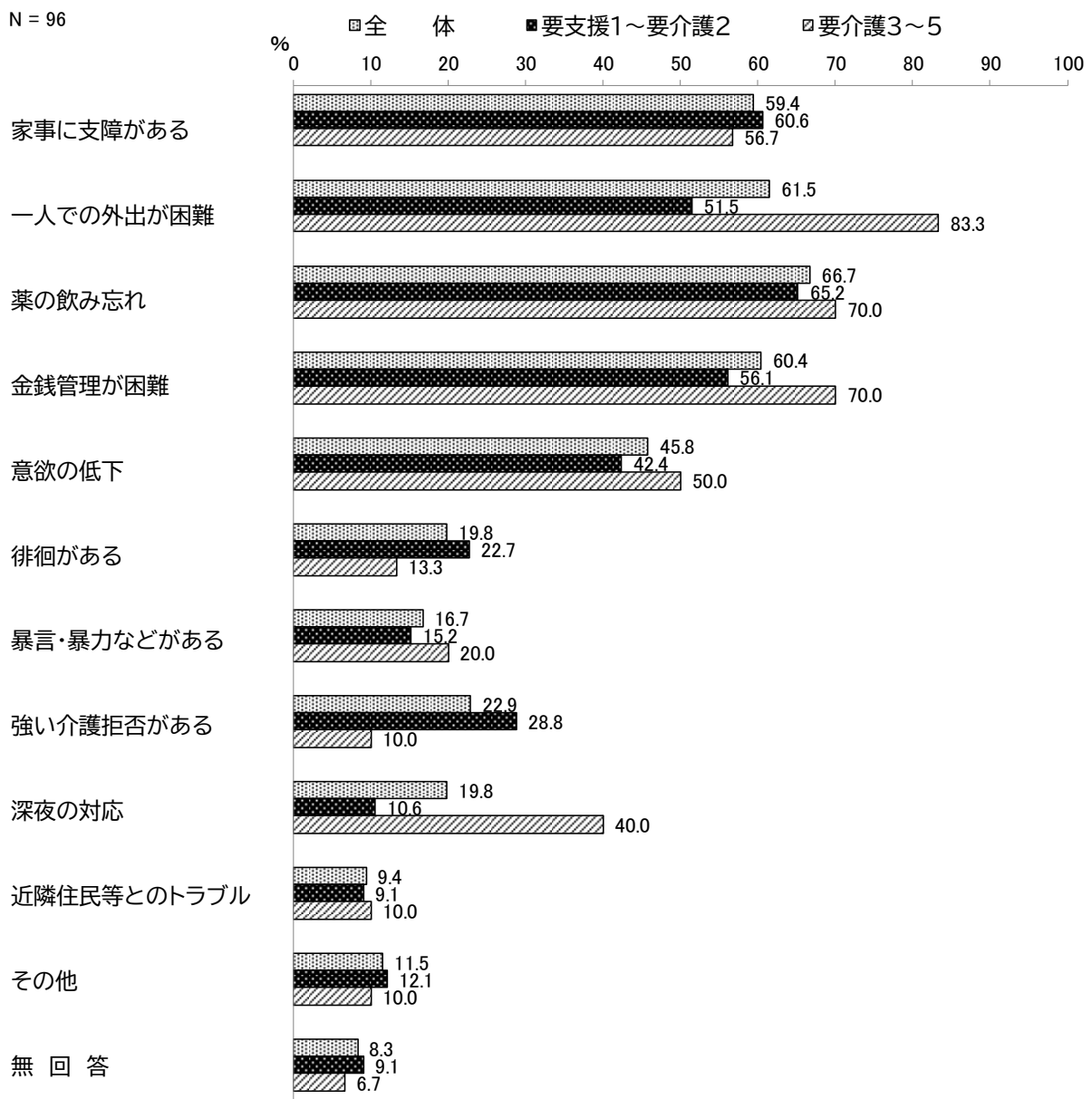
問2-5 本人の状態等に属する理由が「認知症の症状の悪化」の場合の具体的な「認知症の症状」について

【全 体】

認知症の症状の悪化が理由の具体的な「認知症の症状」の内容については、「薬の飲み忘れ」が66.7%と最も高く、次いで「一人での外出が困難」が61.5%、「金銭管理が困難」が60.4%、「家事に支障がある」が59.4%、「意欲の低下」が45.8%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「薬の飲み忘れ」が65.2%、「家事に支障がある」が60.6%、「金銭管理が困難」が56.1%、「一人での外出が困難」が51.5%、「意欲の低下」が42.4%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」は、「一人での外出が困難」が83.3%、「薬の飲み忘れ」、「金銭管理が困難」がともに70.0%、「家事に支障がある」が56.7%、「意欲の低下」が50.0%、「深夜の対応」が40.0%の順で高くなっています。



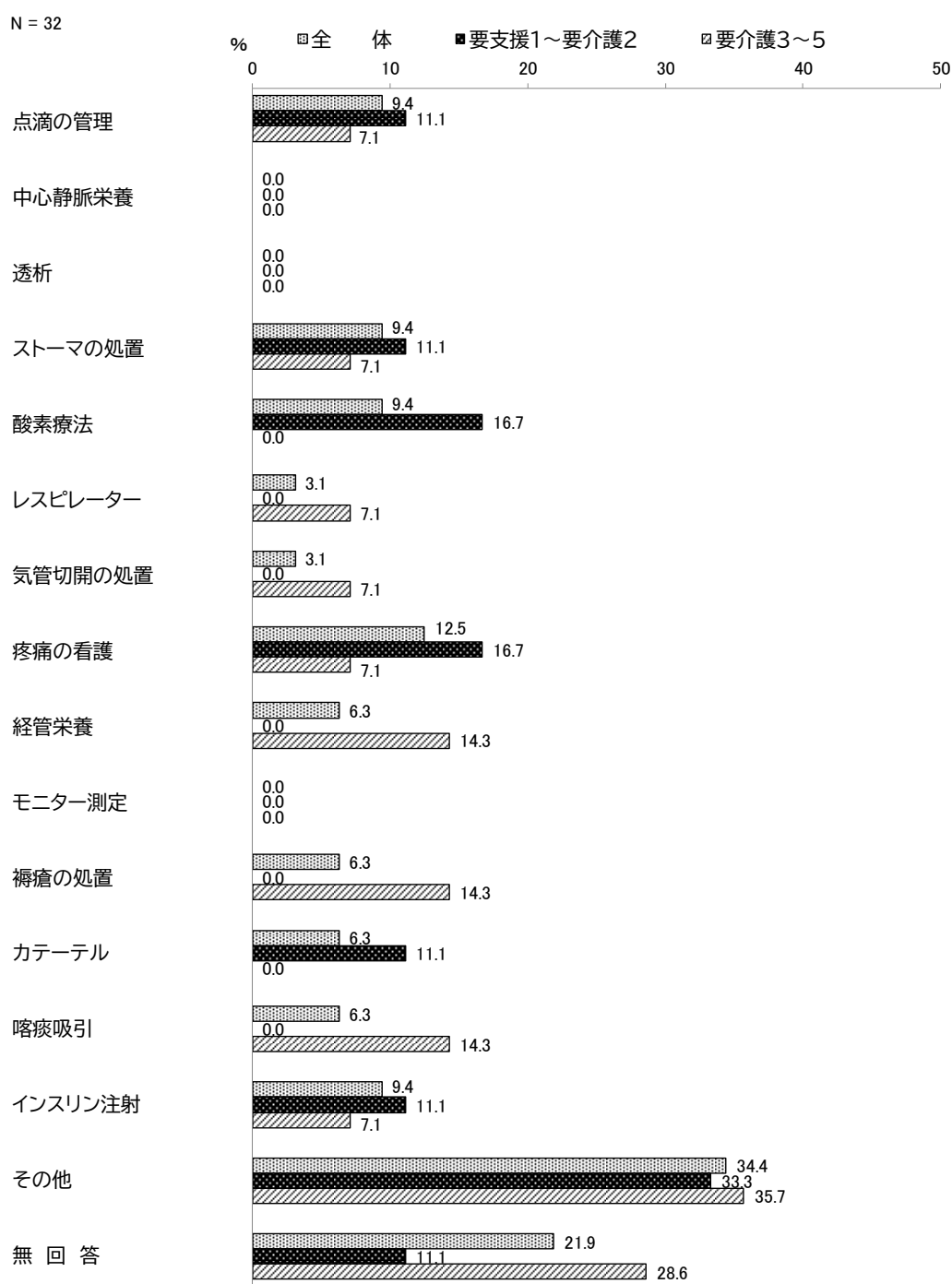
問2-6 本人の状態等に属する理由が「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」の場合の具体的な「医療的ケア」、「医療処置」について

【全体】

医療的ケア・医療処置の必要性の高まりが理由の具体的な介護内容については、「疼痛の看護」が12.5%(4人)と最も高く、次いで「点滴の管理」、「ストーマの処置」、「酸素療法」、「インスリン注射」がともに9.4%(3人)と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「酸素療法」、「疼痛の看護」がそれぞれ16.7%(3人)、「点滴の管理」、「ストーマの処置」、「カテーテル」、「インスリン注射」がともに11.1%(2人)の順となっています。また、「要介護3～5」では、「経管栄養」、「褥瘡の処置」、「喀痰吸引」が同率で14.3%(2人)と最も高くなっています。



■問3 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等

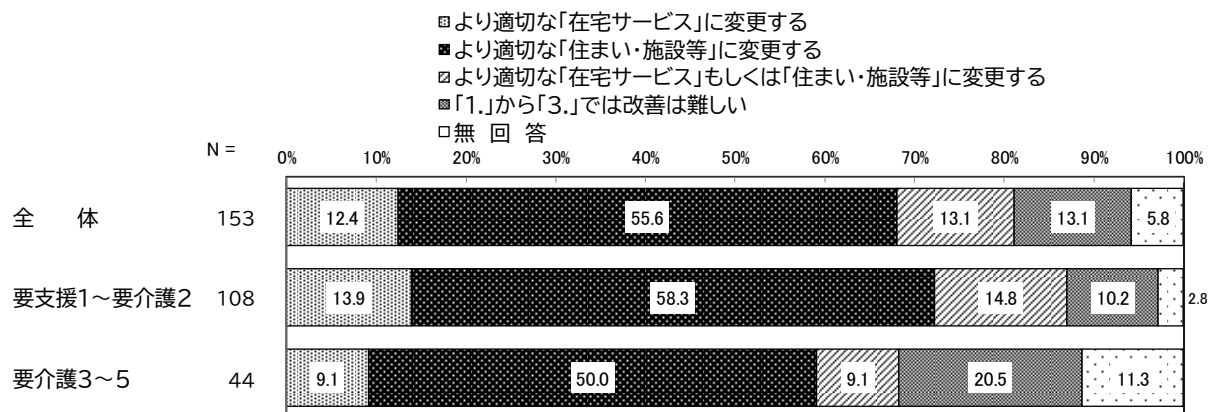
問3-1 どのようなサービスに変更することで改善できると思うか

【全体】

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思うかについては、「より適切な「住まい・施設等」に変更する」が55.6%、「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」が13.1%、「より適切な「在宅サービス」に変更する」が12.4%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」、「要介護3～5」とともに「より適切な「住まい・施設等」に変更する」がそれぞれ58.3%、50.0%、「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」がそれぞれ14.8%、9.1%、「より適切な「在宅サービス」に変更する」がそれぞれ13.9%、9.1%の順で高くなっています。なお、『「より適切な「住まい・施設等」に変更する」、「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」「より適切な「在宅サービス」に変更する」では改善は難しい』は、「要支援1～要介護2」が10.2%、「要介護3～5」が20.5%となっています。



※「「1.」から「3.」では、改善は難しい」の「1.」から「3.」とは、選択肢1「より適切な「在宅サービス」に変更する」、選択肢2「より適切な「住まい・施設等」に変更する」、選択肢3「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」の選択肢番号を指す。

問3-2 サービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスについて

■在宅サービス

【全 体】

生活を維持するために必要な具体的な在宅サービスについては、「訪問診療」が12.9%と最も高く、次いで「訪問看護」が12.1%、「居宅療養管理指導」が9.7%、「ショートステイ」、「定期巡回サービス」がともに8.9%、「訪問介護、訪問入浴」が7.3%、「訪問リハビリテーション」、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」がともに6.5%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「訪問看護」、「訪問診療」がともに11.7%、「定期巡回サービス」、「居宅療養管理指導」がともに9.6%、「ショートステイ」、「訪問介護、訪問入浴」がともに7.4%の順となっています。また、「要介護3～5」では、「訪問診療」が16.7%、「ショートステイ」、「訪問看護」がともに13.3%、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」、「看護小規模多機能」、「居宅療養管理指導」がともに10.0%の順となっています。

■住まい・施設等

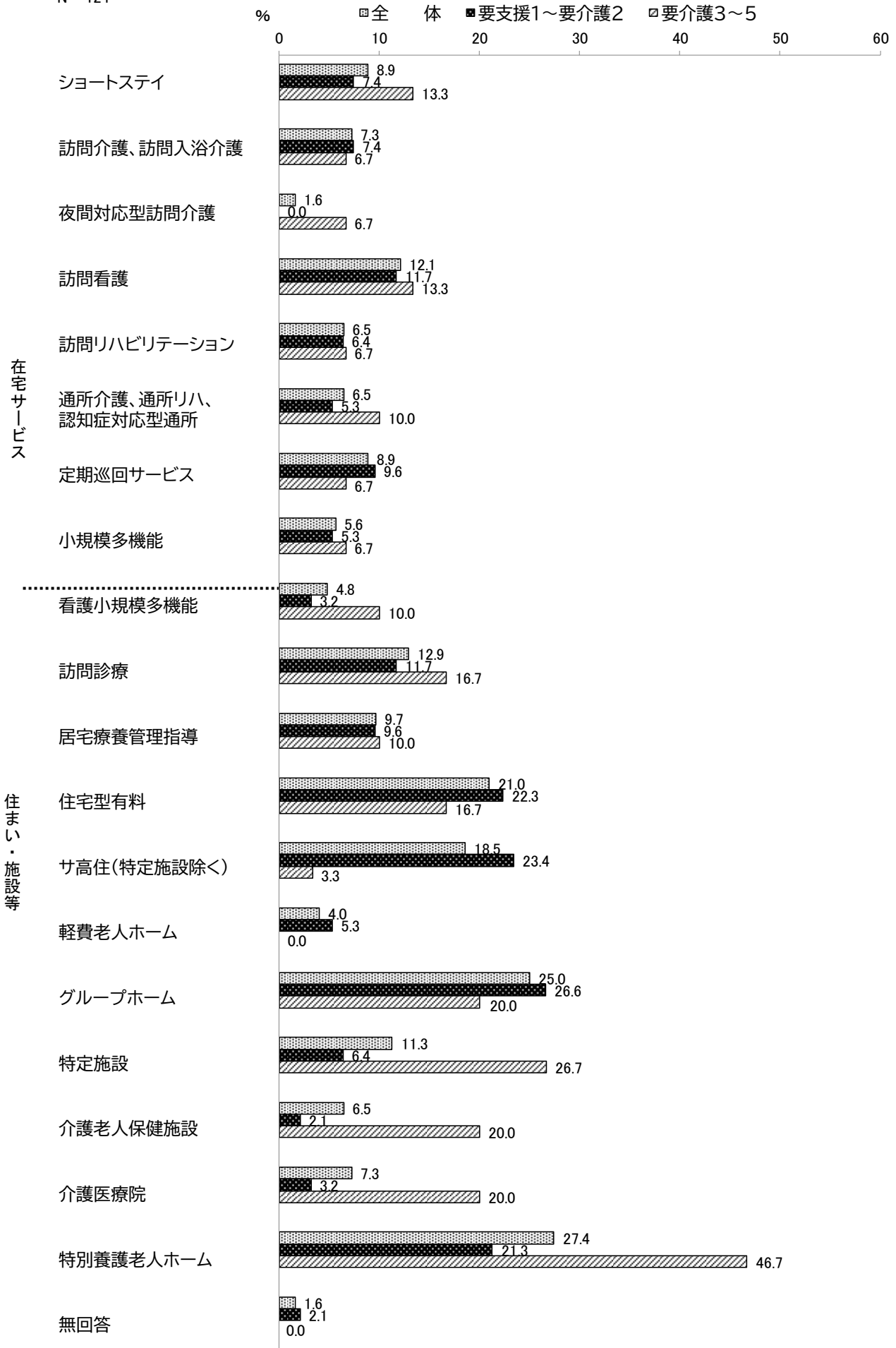
【全 体】

生活を維持するために必要な具体的な住まい・施設等については、「特別養護老人ホーム」が27.4%と最も高く、次いで「グループホーム」が25.0%、「住宅型有料」が21.0%、「サ高住(特定施設除く)」が18.5%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「グループホーム」が26.6%、「サ高住(特定施設除く)」が23.4%、「住宅型有料」が22.3%、「特別養護老人ホーム」が21.3%の順となっています。また、「要介護3～5」では、「特別養護老人ホーム」が46.7%、「特定施設」が26.7%、「グループホーム」、「介護老人保健施設」、「介護医療院」がともに20.0%の順となっています。

N = 124



問3-3 利用者の入所・入居の緊急度について

※問3-2で「住宅型有料」から「特別養護老人ホーム」を選択した場合の入所・入居の緊急度

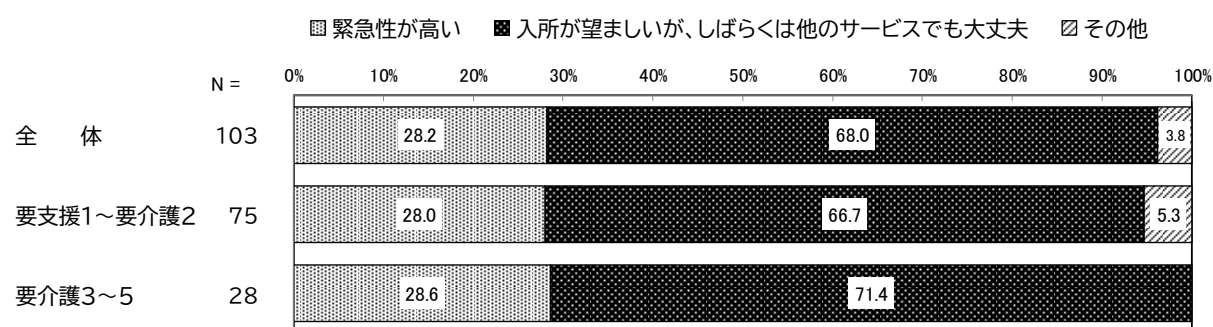
【全体】

入所・入居の緊急度については、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が68.0%となっています。

なお、「緊急性が高い」は28.2%となっています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が66.7%、「緊急性が高い」が28.0%となっています。また、「要介護3～5」では、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が71.4%、「緊急性が高い」が28.6%となっています。



問3-4 入所・入居できていない理由について

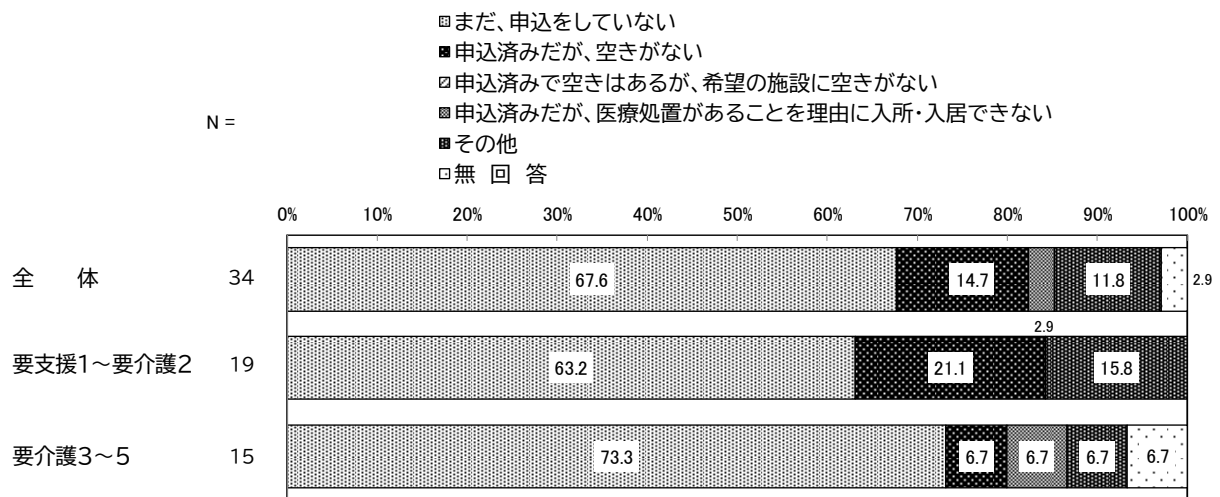
※問3-2で「住宅型有料」から「介護医療院」を選択した場合の入所・入居できていない理由

【全 体】

入所・入居できていない理由については、「まだ、申込をしていない」が67.6%(23人)と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」が14.7%(5人)、「申し込み済だが、医療処置があることを理由に入所・入居できない」が11.8%(4人)、「申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない」が2.9%(1人)となっています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「まだ、申込をしていない」が63.2%(12人)、「申込済みだが、空きがない」が21.1%(4人)、「申し込み済だが、医療処置があることを理由に入所・入居できない」が15.8%(3人)となっています。また、「要介護3～5」では、「まだ、申込をしていない」が73.3%(11人)、「申込済みだが、空きがない」、「申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない」、「申し込み済だが、医療処置があることを理由に入所・入居できない」がともに6.7%(1人)となっています。



問3-5 特養に入所できていない理由について

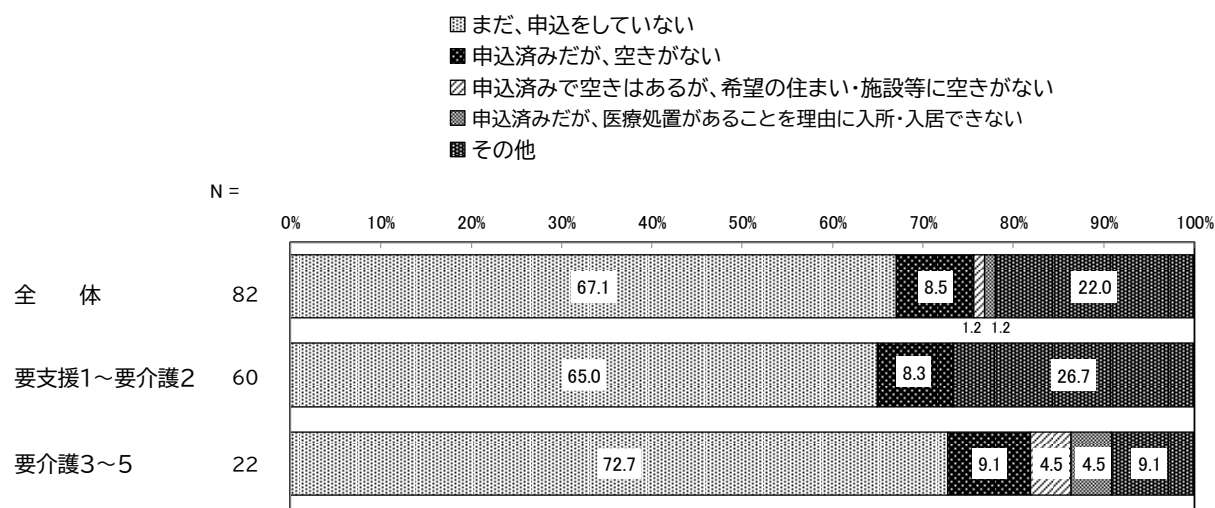
※問3-2で「特別養護老人ホーム」を選択した場合の入所できていない理由

【全 体】

特養に入所できていない理由については、「まだ、申込をしていない」が67.1%、「申込済みだが、空きがない」が8.5%、「申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない」、「申し込み済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない」がともに1.2%となっています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「まだ、申込をしていない」が65.0%、「申込済みだが、空きがない」が8.3%となっています。また、「要介護3～5」では、「まだ、申込をしていない」が72.7%、「申込済みだが、空きがない」が9.1%、「申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない」、「申し込み済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない」がともに4.5%となっています。



資料 在宅生活改善調査 調査票

調査要領

1 調査の目的

- ・自宅等（サ高住、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム含む）に住んでいる方で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討することを目的に実施します。

2 ご回答にあたって

- ・本調査票は、新座市内の全ての居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所を対象に送付しております。
- ・ご回答いただいた内容を、貴事業所の許可なしに、貴事業所が特定される形で公表することはありません。
- ・本調査はメールでのご回答をお願いしておりますが、郵送でご回答していただいても構いません。

3 本調査の回答者

- ・「事業者票」については、管理者の方にご回答をお願いしております。
- ・「利用者票」については、貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方（介護予防支援事業所にあつてはプランを作成する方）にご回答をお願いしております（非常勤の方も含みます）。

4 調査票のご回答方法

この度お送りしたアンケート調査では、以下の2種類の Excel ファイルを送付しております。

【事業者票】

- ・各事業所の、管理者の方を対象とした調査票です。管理者の方はご回答をお願いします。
- ・回答を記入した、1ファイルをご提出ください。

【利用者票】

- ・各ケアマネジャーのご担当の利用者のうち、「(自宅等にお住まいの方で) 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についての調査票です。
- ・次ページのフローにしたがって対象者を抽出し、対象となる利用者の方について「利用者票」にご回答をお願いします。本調査票は、ケアマネジャーの方がご回答ください。
- ・ケアマネジャー全員分の回答を1つのファイルに集約し、ご提出ください。
対象者の人数が多く、1つのファイルに回答が収まらない場合には、複数のファイルを提出することも可能です。その場合は、Excel ファイルを複製して使用してください。
- ・対象となる利用者がいない場合は、事業者票のみ提出してください。

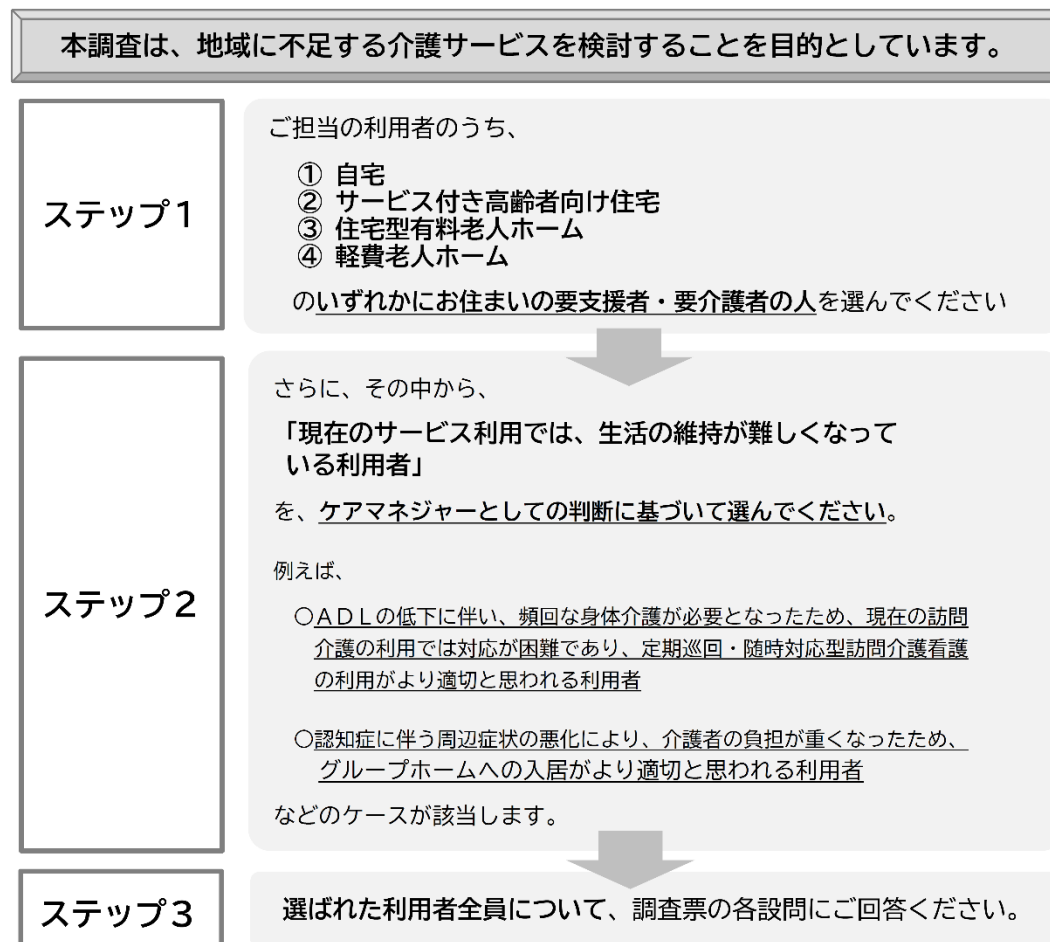
5 調査票の提出方法及び提出先について

- ・管理者の方は、回答済みの調査票ファイル全てを添付し、令和7年12月23日（火）までに、下記メールアドレスにご返信いただきますよう、お願いします。
- ・メールアドレス：kaiho@city.niiza.lg.jp

6 「利用者票」の対象者の抽出方法

- ・「利用者票」は、ケアマネジャーの視点からみた「(自宅等にお住まいの方で)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。
- ・各ケアマネジャーの方は、ご担当の利用者のうち、調査への回答の対象となる利用者を以下のフローにしたがって抽出し、「利用者票」の各設問にご回答ください。

<回答の対象となる要支援者・要介護者の抽出方法>



7 問い合わせ先

新座市役所 介護保険課 介護給付・事業者係
電話：048-424-5361（直通）

管理者記入用

在宅生活改善調査 【事業所票】

※令和7年12月1日現在の状況について、の中にご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。(数値を記入)

1) 所属するケアマネジャーの人数(※資格をお持ちの方の人数)		人
2) 「自宅等(3)を除く)」にお住まいの利用者数		人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数		人

} (※事業所全体の利用者数)

ここからは、貴事業所において、過去1年の間(令和6年12月1日～令和7年11月30日)に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者」と「自宅等で死亡した利用者」についてお尋ねします。

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。

※入院後に自宅等に戻った方、現在一時的に入院中の方は含めないでください。(数値を記入)
 ※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②自宅等での死亡」、
 搬送先から転院等の後に死亡したケースは「①自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。

①自宅等から、居場所を変更した利用者								②自宅等での死亡	合計★
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		

問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。(数値を記入)

※入院した後に自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。
 ※搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。
 ※問3の合計(★)と、問2の合計(★)が一致することをご確認ください。

行先	市(区町村)内	市(区町村)外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)		
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) 病院・診療所 ※一時的な入院を除く		
13) その他		
14) 行先を把握していない		
15) 自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む		
合計★		

合計人数が一致することを、「確認」ください

在宅生活改善調査 利用者票（ケアマネジャー記入用）

「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についてお答えください。
 例えば「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」、「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。

〇の中に、令和7年12月1日現在の状況について回答してください。△は、回答エラーのため、修正してください。エラー内容は、CG列～CS列を参照ください。■は、回答・選択不要部分です。

問1. 対象となる利用者の状況等				問2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由							
問1-1	問1-2	問1-3	問2-1	問2-2				問2-3			
世帯類型	現在の居所	要支援・要介護度	本人の状態等に属する理由	主に本人の意向等に属する理由				主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由			
1. 独居 2. 夫婦のみ 3. 単身の子供との同居 4. その他の同居	1. 自宅等（持ち家） 2. 自宅等（借家） 3. 住宅型有料 4. サ高住 5. 軽費老人ホーム	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 新規申請中	1 該当なし 2 必要な生活支援の発生・増大 3 必要な身体介護の増大 4 認知症の症状の悪化 5 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり 6 その他、本人の状態等の改善 7 本人の状態等の改善	1 該当なし 2 本人が一部の居宅サービスの利用を望まない 3 生活不安が大きい 4 居住環境が不便 5 軽減を望む 6 本人が介護者の負担の軽減を望む 7 その他、本人の意向等がある				1 該当なし 2 介護者の介護に不安・負担の増大 3 介護者が一部の居宅サービスの利用を望まない 4 家族等の介護等技術では対応が困難 5 費用負担が重い 6 家族等になり就労継続が 7 性に課題がある 8 その他、家族等介護者の意向等がある			
(1～4のうち、1つ選択)	(1～5のうち、1つ選択)	(1～8のうち、1つ選択)	(1～7のうち、あてはまるものすべてに○)	(1～7のうち、あてはまるものすべてに○)				(1～8のうち、あてはまるものすべてに○)			
			1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7 8		

問2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由

問2-4								問2-5										問2-6															
【問2-1 本人の状態等に属する理由で「3.必要な身体介護の増大」を選択の場合は回答】								【問2-1 本人の状態等に属する理由で「4.認知症の症状の悪化」を選択の場合は回答】										【問2-1 本人の状態等に属する理由で「5.医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択の場合は回答】															
理由となる、具体的な「身体介護」								理由となる、具体的な「認知症の症状」										理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」															
1 見守り・付き添い	2 移動	3 食事・摂取	4 排泄（日中）	5 排泄（夜間）	6 入浴	7 更衣	8 その他	1 家事に支障がある	2 一人での外出が困難	3 薬の飲み忘れ	4 金銭管理が困難	5 意欲の低下	6 徘徊がある	7 暴言・暴力などがある	8 強い拒否がある	9 深夜の対応	10 近隣住民等とのトラブル	11 その他	1 点滴の管理	2 中心静脈栄養	3 透析	4 ストーマの処置	5 酸素療法	6 レスビレータ	7 気管切開の処置	8 疼痛の看護	9 経管栄養	10 モニタリング測定	11 褥瘡の処置	12 カテーテル	13 喀痰吸引	14 インスリン注射	15 その他
問2-1で「3.」を選択した場合に回答 (1～8のうち、あてはまるものすべてに○)								問2-1で「4.」を選択した場合に回答 (1～11のうち、あてはまるものすべてに○)										問2-1で「5.」を選択した場合に回答 (1～15のうち、あてはまるものすべてに○)															
1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15																															

問3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するためのサービス利用の変更等

問3-1	問3-2
※実際にサービスがあるかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。	住まい施設等（「12.」～「19.」）を1つでも選択した場合は、問3-3以降も回答
どのようなサービスに変更することで改善できると思うか	問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービス
1. より適切な「在宅サービス」に変更 (例：小多機等) 2. より適切な「住まい施設等」に変更 (例：サ高住、特養への入居（所）等) 3. より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい施設等」に変更 (例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所等) 4. 「1.」～「3.」では、改善は難しい ⇒【問3-2以降の回答は不要】 ※「在宅サービス」の定義は、問3-2の選択肢1～11 「住まい施設等」の定義は、問3-2の選択肢12～19	1 ショートステイ 2 訪問介護 3 夜間訪問介護 4 訪問看護 5 訪問リハビリ 6 認知症対応型通所介護 7 定期巡回サロニス 8 小規模多機能 9 看護訪問診療 10 01居宅療養管理指導 11 11住宅型有料老人ホーム 12 12サ高住（特定施設入居者生活介護） 13 13軽費老人ホーム 14 14グループホーム 15 15特定施設入居者生活介護 16 16介護老人保健施設 17 17特別養護老人ホーム 18 18介護療養型医療施設 19 19その他
(1～4のうち、1つ選択)	(【問3-1で「1.」～「3.」を選択した場合】1～11のうち、あてはまるもの1つ以上に○) (【問3-1で「2.」～「3.」を選択した場合】12～19のうち、あてはまるもの1つ以上に○)
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

問3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するためのサービス利用の変更

問3-3	問3-4	問3-5
【問3-2で「12.」～「19.」を選択の場合は回答】	【問3-2で「12.」～「18.」を選択の場合は回答】	【問3-2で「19.」を選択の場合は回答】
利用者の入所・入居の緊急度	入所・入居できていない理由	特養に入所できていない理由
1. 緊急性が高い 2. 入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫 3. その他	1. まだ、申込をしていない 2. 申込済みだが、空きがない 3. 申込済みで空きはあるが、希望の住まい施設等に空きがない 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない 5. その他	1. まだ、申込をしていない 2. 申込済みだが、空きがない 3. 申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない 5. その他
問3-2で「12.」～「19.」を選択した場合に回答 (1～3のうち、1つ選択)	問3-2で「12.」～「18.」を選択した場合に回答 (1～5のうち、1つ選択)	問3-2で「19.」を選択した場合に回答 (1～5のうち、1つ選択)

第10期新座市高齢者福祉計画・
新座市介護保険事業計画策定のためのアンケート調査
結果報告書

発行年月：令和8年3月

発行：新座市

編集：新座市 いきいき健康部 介護保険課

所在地：〒352-8623 埼玉県新座市野火止一丁目1番1号

電話：048-424-5361（直通）

F A X：048-482-5882